

あま市  
高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定  
に関する実態調査

調査結果報告書



令和5年3月

あま市



# 目次

あま市 .....	1
高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定 .....	1
に関する実態調査 .....	1
調査結果報告書 .....	1
<b>I 調査概要 .....</b>	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	1
2 調査方法 .....	1
3 調査票の対象者及び回収状況 .....	1
4 報告書の見方 .....	2
<b>II 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】 .....</b>	<b>3</b>
1) 回答者の属性 .....	3
1-1 調査票の記入者 .....	3
1-2 居住地区 .....	3
1-3 年齢 .....	4
1-4 性別 .....	4
2) あなたのご家族や生活状況について .....	5
2-1 家族構成 .....	5
2-2 介護・介助の要否 .....	6
2-3 介護・介助が必要になった原因 .....	7
2-4 主な介護・介助者 .....	8
2-5 現在の経済状況 .....	9
3) からだを動かすことについて .....	10
3-1 階段昇降 .....	10
3-2 椅子からの立ち上がり .....	10
3-3 15分位続けて歩くこと .....	11
3-4 過去1年間の転倒経験 .....	11
3-5 転倒に対する不安 .....	12
3-6 外出頻度 .....	12
3-7 外出回数の減少 .....	13
3-8 外出を控えている .....	13
3-9 外出を控えている理由 .....	14
3-10 移動手段 .....	14
4) 食べることについて .....	15
4-1 BMI .....	15

4-2	固いものの食べにくさ	15
4-3	お茶や汁物等でむせること	16
4-4	口の渴き	16
4-5	歯磨き習慣	17
4-6	歯の数および入れ歯の利用状況	17
4-7	歯の噛み合わせ	18
4-8	入れ歯のお手入れ	18
4-9	体重減少の有無	19
4-10	食事をともにする機会	19
5)	毎日の生活について	20
5-1	物忘れの頻度	20
5-2	電話番号を調べてかけること	20
5-3	携帯電話やスマートフォンを利用すること	21
5-4	今日の日付がわからなくなること	22
5-5	一人での外出	22
5-6	買物習慣	23
5-7	食事の用意	23
5-8	請求書の支払い	24
5-9	預貯金の出し入れ	24
5-10	年金などの書類を書くこと	25
5-11	新聞を読むこと	25
5-12	本や雑誌を読むこと	26
5-13	健康についての記事や番組への関心	26
5-14	友人の家を訪ねること	27
5-15	相談にのること	27
5-16	若い人に話しかけること	28
5-17	趣味の有無	29
5-18	生きがいの有無	29
6)	地域での活動について	30
6-1	活動への参加頻度	30
6-2	地域づくりへの参加意向（参加者）	31
6-3	地域づくりへの参加意向（企画・運営（お世話役））	32
7)	たすけあいについて	33
7-1	「たすけあい」について	33
7-2	家族や友人・知人以外の相談相手	37
7-3	友人関係について	38
8)	健康について	41
8-1	現在の健康状態	41
8-2	現在の幸福度	42
8-3	精神状態について	43

8-4	物事への興味等について	44
8-5	飲酒習慣の有無	45
8-6	喫煙習慣の有無	46
8-7	聴力について	47
8-8	聴力について	48
8-9	かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師について	49
8-10	治療中または後遺症のある病気について	50
9)	地域でのたすけあいについて	51
9-1	手伝ってもらったら助かること	51
10)	認知症について	52
10-1	認知症の症状や家族に認知症の症状がある人	52
10-2	認知症に関する相談窓口について	53
10-3	認知症サポーターについて	54
10-4	認知症になっても安心して暮らすために必要なこと	55
11)	介護保険制度および高齢者福祉施策について	56
11-1	地域包括支援センターについて	56
11-2	地域包括支援センターの事業について	57
11-3	介護予防への関心	58
11-4	介護予防のための様々な事業について	59
11-5	介護予防のための講習等への参加意向	60
11-6	介護予防のための講習会等に参加したくない理由	61
11-7	積極的に参加したい介護予防事業	62
11-8	フレイルについて	63
11-9	介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する情報	64
11-10	介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する相談先	65
11-11	終末期を迎える場所について	66
11-12	あま市の高齢者施策に望むこと	67
12)	生活機能の低下	69
	【運動器機能】	70
	【認知機能 × 運動器機能】	70
	【閉じこもり】	71
	【低栄養】	71
	【口腔機能】	72
	【認知機能 × 口腔機能】	72
	【認知機能】	73
	【IADL】	73
<b>Ⅲ</b>	<b>調査結果【在宅介護実態調査】</b>	<b>75</b>
1)	調査票対象者様ご本人について	75
1-1	調査票の回答者	75

1-2	世帯類型	75
1-3	性別	76
1-4	年齢	76
1-5	要介護度	77
1-6	施設等への入所・入居の検討状況	77
1-7	現在抱えている傷病	78
1-8	介護保険サービスの利用の有無	79
1-9	介護保険サービスの利用状況	80
1-10	介護保険サービスの利用回数	81
1-11	介護保険サービスを利用していない理由	82
1-12	新たに利用したいと思う介護保険サービス	83
1-13	「介護保険サービス以外」の支援・サービス	84
1-14	在宅生活の継続に必要な支援・サービス	85
1-15	訪問診療の利用の有無	86
1-16	特に力を入れてほしい介護施策	87
1-17	地域包括支援センターの認知	89
1-18	地域包括支援センターの利用の有無	90
1-19	地域包括支援センターの印象	90
1-20	地域包括支援センターに特に力を入れてほしい事業	91
1-21	家族や親族からの介護の頻度	92
2)	主な介護者の方について	93
2-1	介護を理由に仕事を辞めた家族・親族の有無	93
2-2	家族や親族の中の主な介護者	94
2-3	介護者の性別	94
2-4	介護者の年齢	95
2-5	介護の継続年数	95
2-6	現在行っている介護	96
2-7	現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護	97
2-8	介護者の現在の勤務形態	98
2-9	介護をする際の働き方の調整	98
2-10	仕事と介護の両立のための勤務先からの支援	99
2-11	働きながらの介護の継続	99

#### IV 調査結果【介護支援専門員】 ..... 101

1)	調査回答者について	101
1-1	勤務形態	101
1-2	介護支援専門員としての経験年数	101
1-3	所持している資格	102
1-4	所持している資格	102
2)	ケアプランの作成について	103

2-1	担当しているケアプランの件数.....	103
2-2	施設入所が好ましいと思われるケース.....	104
2-3	ケアプランを立てるにあたり気をつけていること.....	105
2-4	ケアプランを立てるときの偏り.....	105
2-5	ケアプランの作成で困ることの有無.....	106
2-6	ケアプランの作成で困ること.....	106
2-7	ケアプランに関して悩んだときの相談相手.....	107
2-8	ケアプランに介護保険サービス以外のサービスを取り入れることの有無.....	107
2-9	ケアプランを立てるときに取り入れるサービス.....	108
2-10	医療機関（主治医）との連携.....	108
2-11	医療機関（主治医）との連携がとられている・連携がとられていない理由.....	109
2-12	介護支援専門員と医療機関（主治医）との連携強化.....	109
2-13	地域包括支援センターとの連携.....	110
2-14	連携しなかった理由.....	110
2-15	地域包括支援センターに期待すること.....	111
3)	高齢者虐待について.....	112
3-1	家庭内における高齢者虐待の関わりの有無.....	112
3-2	高齢者虐待に関わったときに相談した機関.....	112
3-3	高齢者虐待に関わったとき課題に感じたこと.....	113
3-4	高齢者虐待の対応として必要な制度や仕組み.....	113
4)	高齢者施策について.....	114
4-1	介護保険サービスの中で供給が不足しているサービス.....	114
4-2	地域の中で活性化を期待するインフォーマルサービス.....	115
4-3	あま市において地域包括ケアシステムを実現するために必要なこと.....	116
4-4	在宅医療や介護に関する問題や地域包括ケアネットワークの構築について.....	117



# I 調查概要



## I 調査概要

### 1 調査の目的

本調査は、令和5年度に見直しを予定している「あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の改定に向け、市民の皆様のお考えやご意見をお伺いし、計画への反映に役立てるために実施するものです。

### 2 調査方法

①調査地域

あま市全域

②調査期間

令和5年1月10日～1月31日

③調査方法

無作為抽出による郵送配布、無記名郵送回収

### 3 調査票の対象者及び回収状況

	介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査	介護支援専門員調査
対象	65歳以上の市民 (要介護認定者を除く)	要介護等認定を受けて おり、在宅で生活して いる市民	介護支援専門員
配布数	3,000件	1,000件	85件
抽出方法	住民基本台帳等による無作為抽出		居宅介護支援事業所等 を通じた配布・回収
回収数	2,143件	630件	81件
有効回収数	2,143件	630件	81件
回収率	71.4%	63.0%	95.3%

## 4 報告書の見方

---

- グラフ・表中の「n」はアンケートの回答数を示している。
- 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%にならない場合もある。
- 複数回答の場合、回答の合計比率が100%を超える場合がある。
- グラフ・表として示したもののうち、回答数が0の場合は表示を省略している。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もある。
- クロス集計の分析軸は、各項目で無回答であったサンプルを集計対象から除外している。そのため、分析軸の項目全体の合計サンプル数は、全体サンプル数とは一致しない。

## Ⅱ 調査結果

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査



## Ⅱ 調査結果【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

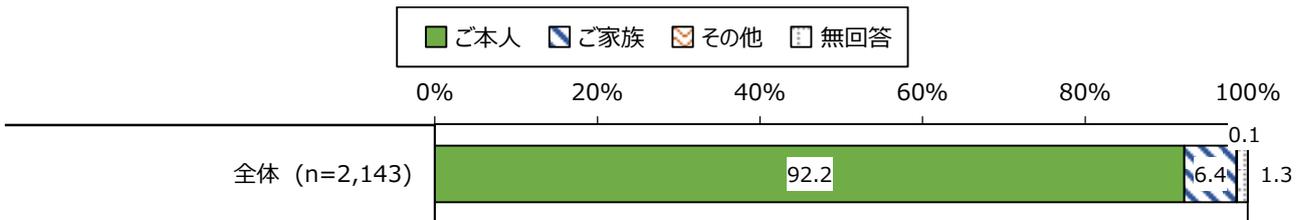
### 1) 回答者の属性

#### 1-1 調査票の記入者

問1 調査票をご記入いただくのはどなたですか。(〇は1つ)

◆ 「ご本人が記入」が約9割、「ご家族が記入」が約1割

調査票の記入者は、「ご本人が記入」が92.2%、「ご家族が記入」が6.4%となっています。

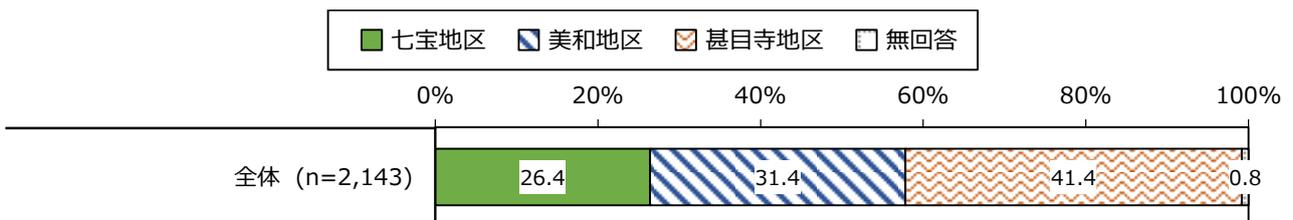


#### 1-2 居住地区

問2 お住まいの地域はどちらですか。(〇は1つ)

◆ 「七宝地区」、「美和地区」が約3割、「甚目寺地区」が約4割

回答者の居住地区は、「七宝地区」が26.4%、「美和地区」が31.4%、「甚目寺地区」が41.4%となっています。

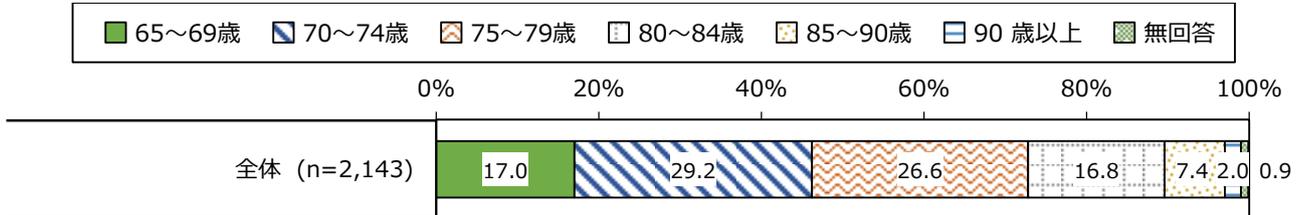


### 1-3 年齢

問3 ご本人の年齢は何歳ですか。(○は1つ)

◆ “前期高齢者”、“後期高齢者” がともに約5割

回答者の年齢は、「70～74歳」が29.2%と最も多く、「65～69歳」17.0%と合わせた“前期高齢者”は46.2%となっています。また、「75～79歳」26.6%、「80～84歳」16.8%、「85～90歳」7.4%、「90歳以上」2.0%を合わせた“後期高齢者”は52.8%となっています。

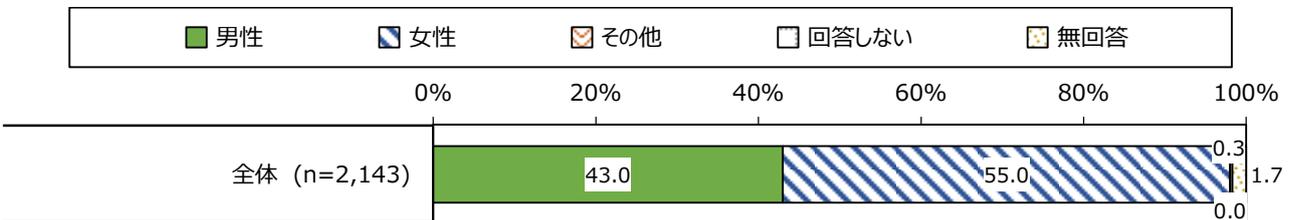


### 1-4 性別

問4 ご本人の性別について教えてください。(○は1つ)

◆ 「男性」が43.0%、「女性」が55.0%

回答者の性別は、「男性」が43.0%、「女性」が55.0%となっています。



## 2) あなたのご家族や生活状況について

### 2-1 家族構成

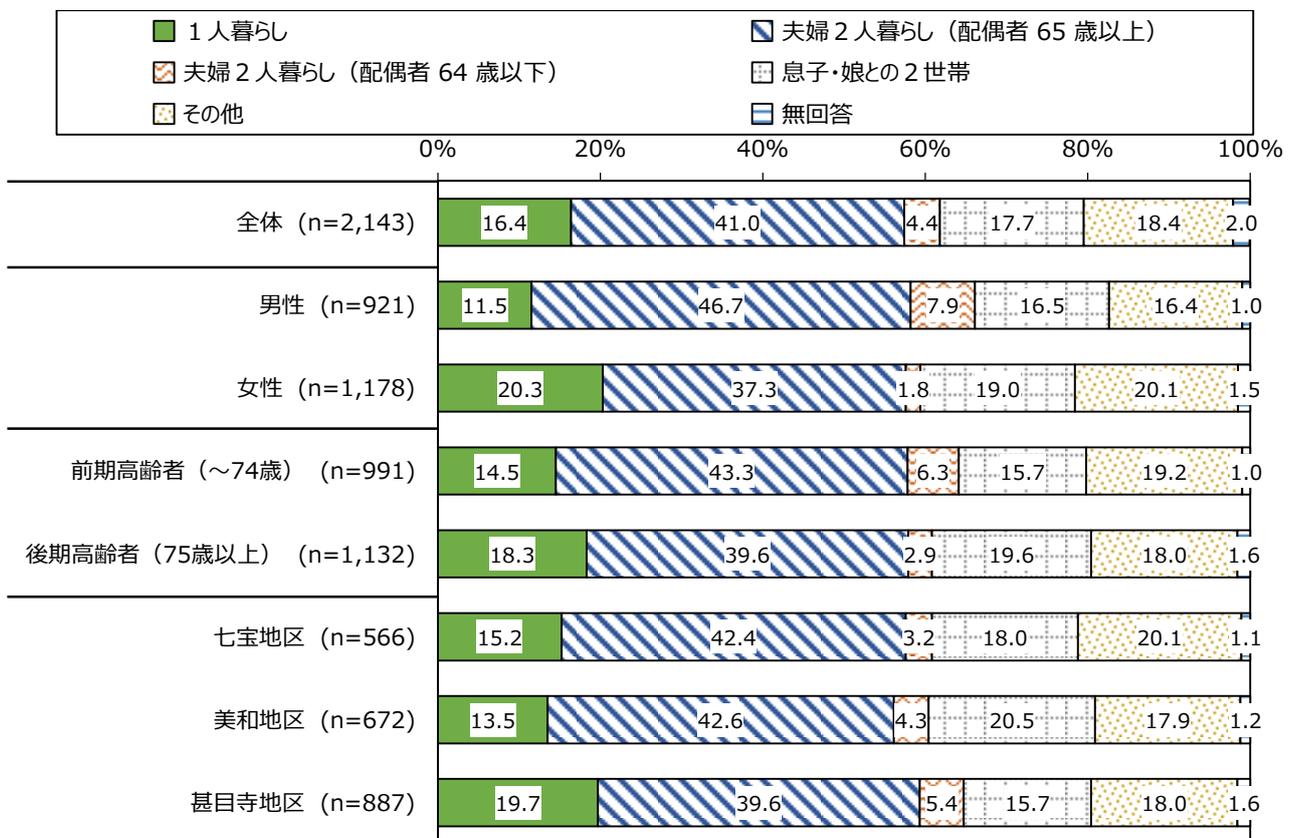
問5 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

#### ◆ 「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が約4割

回答者の家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が41.0%と最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が17.7%となっています。

性別で見ると、男性のほうが「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が女性より多くなっています。また、女性のほうが「一人暮らし」が男性より多くなっています。

年代別で見ると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「一人暮らし」前期高齢者（～74歳）よりも多くなっています。



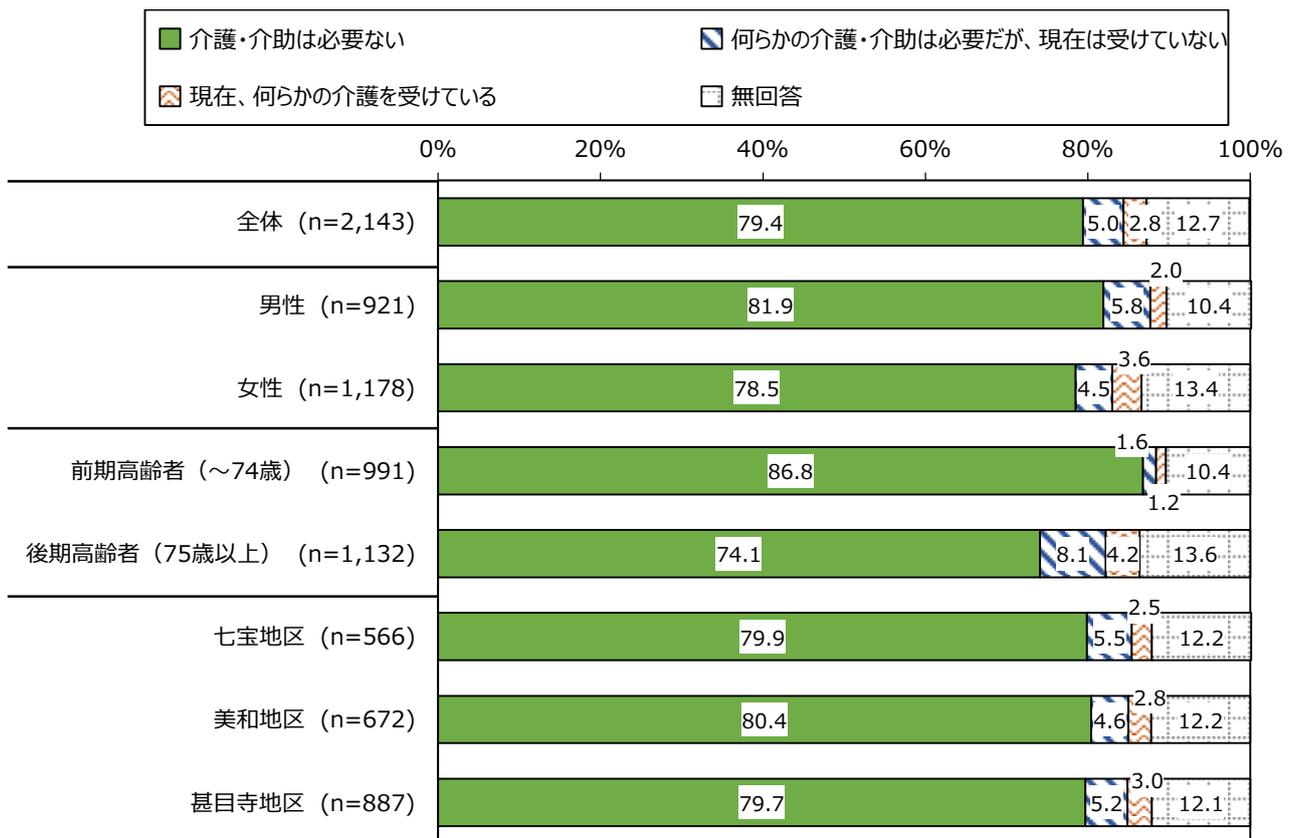
## 2-2 介護・介助の要否

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

### ◆ “介護の必要がある” が約1割

介護・介助の要否について、「介護・介助は必要ない」が79.4%となっています。また、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の5.0%、「現在、何らかの介護を受けている」の2.8%を合わせた“介護の必要がある”人は7.8%となっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）のほうが「介護・介助は必要ない」が10ポイント以上多くなっています。また、後期高齢者（75歳以上）では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が8.1%となっています。



### 2-3 介護・介助が必要になった原因

問6で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方にお聞きします。

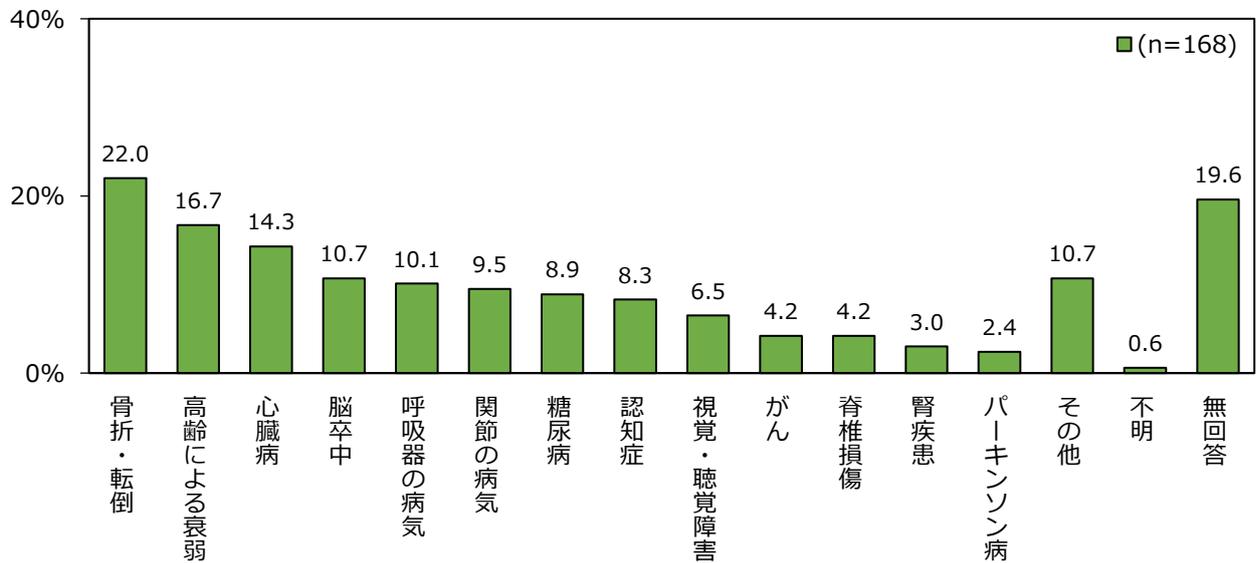
問6-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（〇はいくつでも）

#### ◆ 「骨折・転倒」が約2割

介護・介助が必要になった原因について、「骨折・転倒」が22.0%と最も多く、次いで「高齢による衰弱」が16.7%、「心臓病」が14.3%となっています。

性別で見ると、男性のほうが「認知症」、「脳卒中」が多く、女性のほうが「骨折・転倒」、「心臓病」が多くなっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「心臓病」、「高齢による衰弱」が10ポイント以上多くなっています。



	骨折・転倒	高齢による衰弱	心臓病	脳卒中	呼吸器の病気	関節の病気	糖尿病	認知症	視覚・聴覚障害	がん	脊椎損傷	腎疾患	パーキンソン病	その他	不明	無回答
全体 (n=168)	22.0	16.7	14.3	10.7	10.1	9.5	8.9	8.3	6.5	4.2	4.2	3.0	2.4	10.7	0.6	19.6
男性 (n=71)	16.9	15.5	9.9	14.1	9.9	9.9	5.6	15.5	5.6	1.4	7.0	2.8	5.6	11.3	1.4	22.5
女性 (n=95)	26.3	17.9	16.8	8.4	10.5	9.5	11.6	3.2	6.3	6.3	2.1	3.2	0.0	10.5	0.0	17.9
前期高齢者（～74歳） (n=28)	14.3	7.1	0.0	10.7	10.7	7.1	3.6	7.1	3.6	0.0	3.6	0.0	3.6	17.9	0.0	28.6
後高齢者期（75歳以上） (n=139)	23.0	18.7	17.3	10.8	10.1	10.1	10.1	8.6	7.2	5.0	4.3	3.6	2.2	9.4	0.7	18.0
七宝地区 (n=45)	20.0	22.2	6.7	15.6	6.7	4.4	11.1	11.1	6.7	2.2	4.4	4.4	0.0	13.3	0.0	20.0
美和地区 (n=50)	24.0	16.0	18.0	10.0	14.0	8.0	10.0	14.0	10.0	0.0	4.0	4.0	6.0	14.0	0.0	12.0
基目寺地区 (n=73)	21.9	13.7	16.4	8.2	9.6	13.7	6.8	2.7	4.1	8.2	4.1	1.4	1.4	6.8	1.4	24.7

## 2-4 主な介護・介助者

問6で「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方にお聞きます。

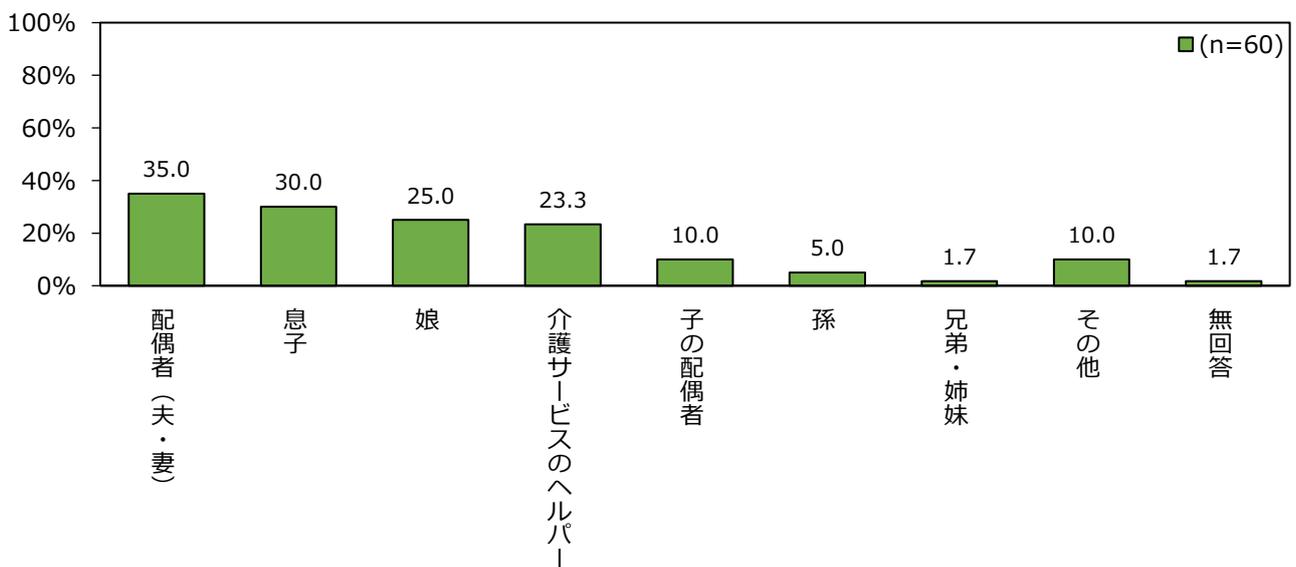
問6-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。（○はいくつでも）

### ◆ 「配偶者（夫・妻）」に介助を受けている人が約4割

主な介護・介助者について、「配偶者」が35.0%と最も多く、次いで「息子」が30.0%、「娘」が25.0%となっています。

性別で見ると、男性のほうが「配偶者」が多く、女性のほうが「息子」が多くなっています。

年代別で見ると、前期高齢者（～74歳）は「配偶者」が多く、後期高齢者（75歳以上）は「息子」が多くなっています。



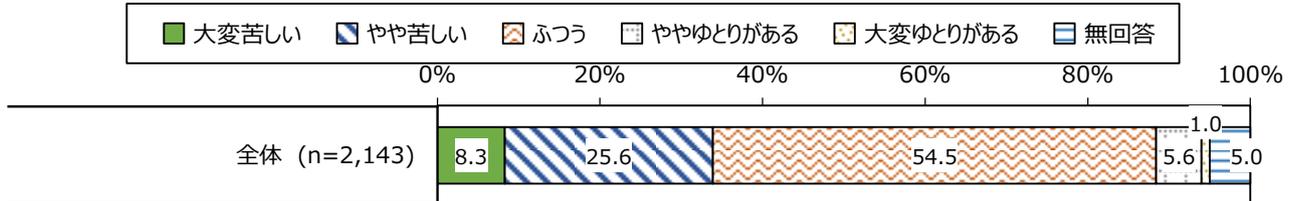
	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	介護サービスのヘルパー	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体 (n=60)	35.0	30.0	25.0	23.3	10.0	5.0	1.7	10.0	1.7
男性 (n=18)	61.1	11.1	16.7	11.1	5.6	0.0	0.0	11.1	0.0
女性 (n=42)	23.8	38.1	28.6	28.6	11.9	7.1	2.4	9.5	2.4
前期高齢者 (～74歳) (n=12)	66.7	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
後高齢者期 (75歳以上) (n=47)	27.7	38.3	29.8	25.5	12.8	6.4	2.1	6.4	2.1
七宝地区 (n=14)	64.3	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
美和地区 (n=19)	47.4	21.1	31.6	15.8	0.0	5.3	0.0	21.1	0.0
碓氷寺地区 (n=27)	11.1	37.0	25.9	33.3	14.8	7.4	3.7	7.4	3.7

## 2-5 現在の経済状況

問7 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

◆ 「やや苦しい」と「大変苦しい」が合わせて約3割

現在の経済状況について、「ふつう」が54.5%と最も多く、次いで「やや苦しい」が25.6%、「大変苦しい」が8.3%、「ややゆとりがある」が5.6%となっています。



### 3) からだを動かすことについて

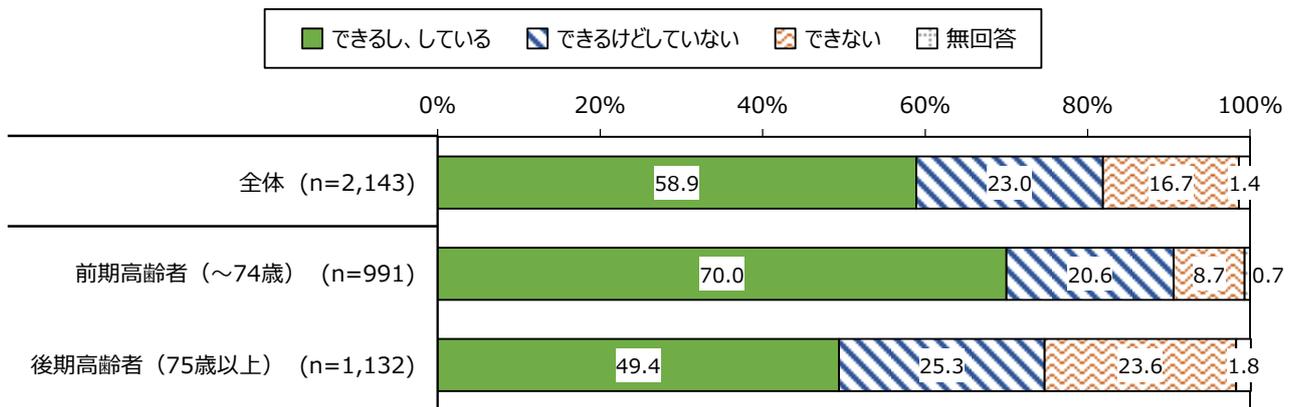
#### 3-1 階段昇降

問8 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」が約2割

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できるし、している」が58.9%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が23.0%、「できない」が16.7%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者(75歳以上)のほうが「できない」が14.9ポイント多くなっています。



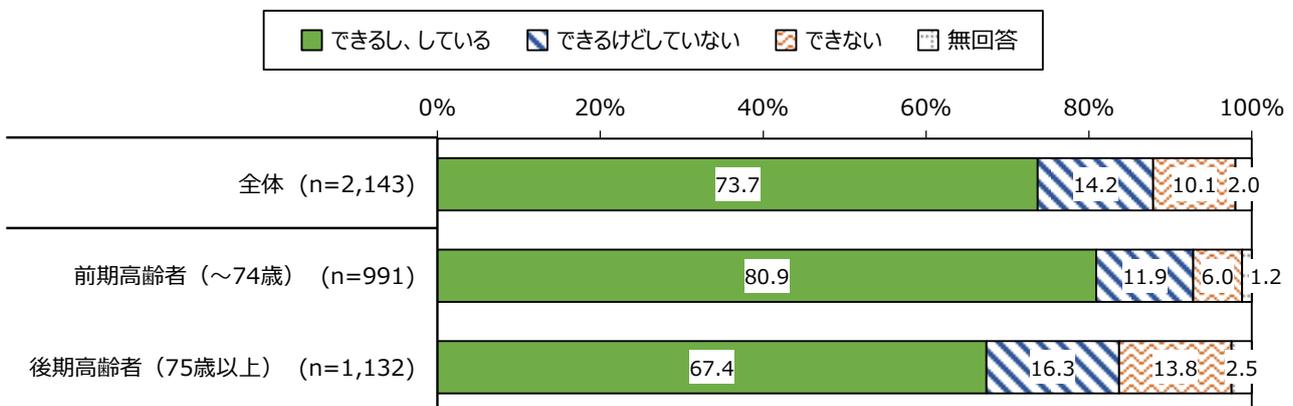
#### 3-2 椅子からの立ち上がり

問9 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」が約1割

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについて、「できるし、している」が73.7%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が14.2%、「できない」が10.1%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者(75歳以上)のほうが「できない」が7.8ポイント多くなっています。



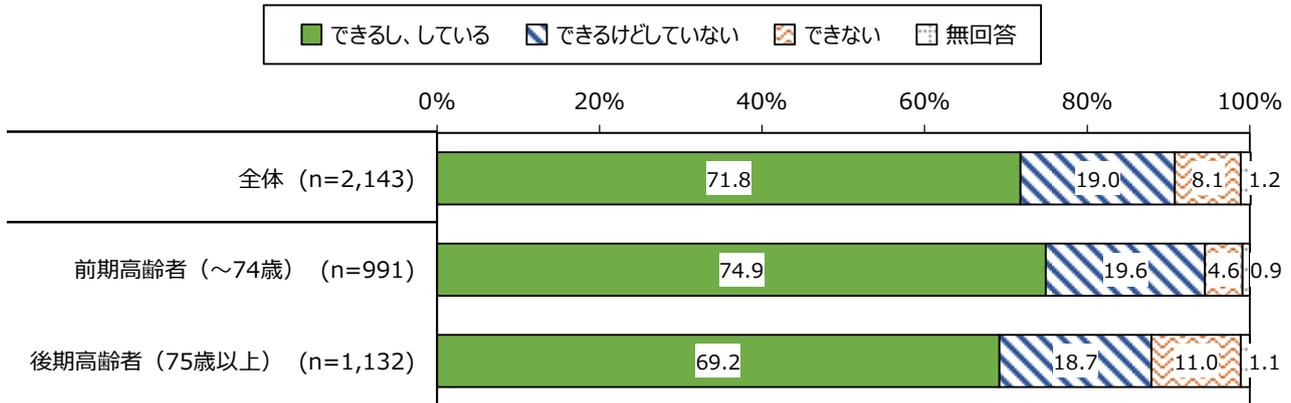
### 3-3 15分位続けて歩くこと

問10 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」が1割

15分位続けて歩くことについて、「できるし、している」が71.8%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が19.0%、「できない」が8.1%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「できない」が6.4ポイント多くなっています。



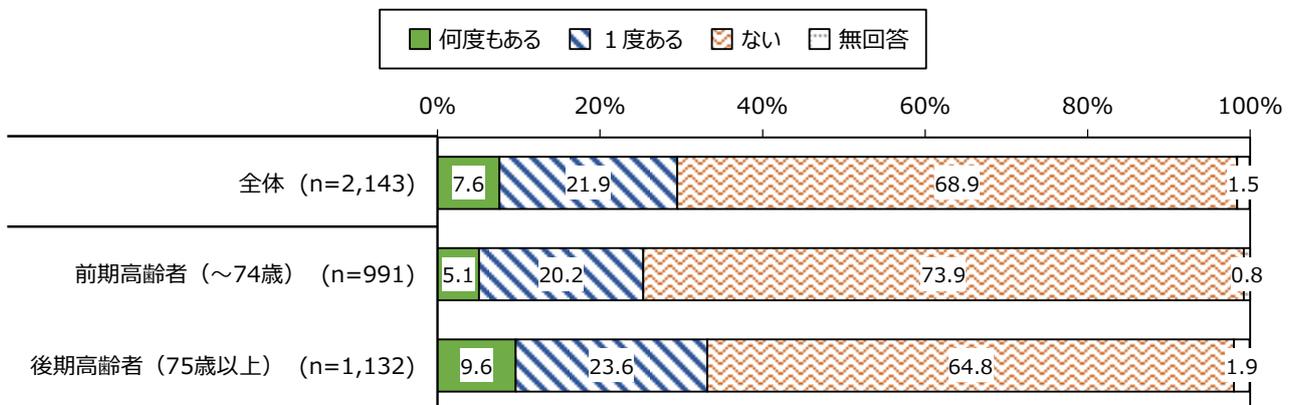
### 3-4 過去1年間の転倒経験

問11 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

◆ “転倒経験がある”が約3割

過去1年間の転倒経験について、「ない」が68.9%と最も多くなっています。一方で「何度もある」の7.6%と「1度ある」の21.9%を合わせた“転倒経験がある”人は29.5%となっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが“転倒経験がある”が多くなっています。



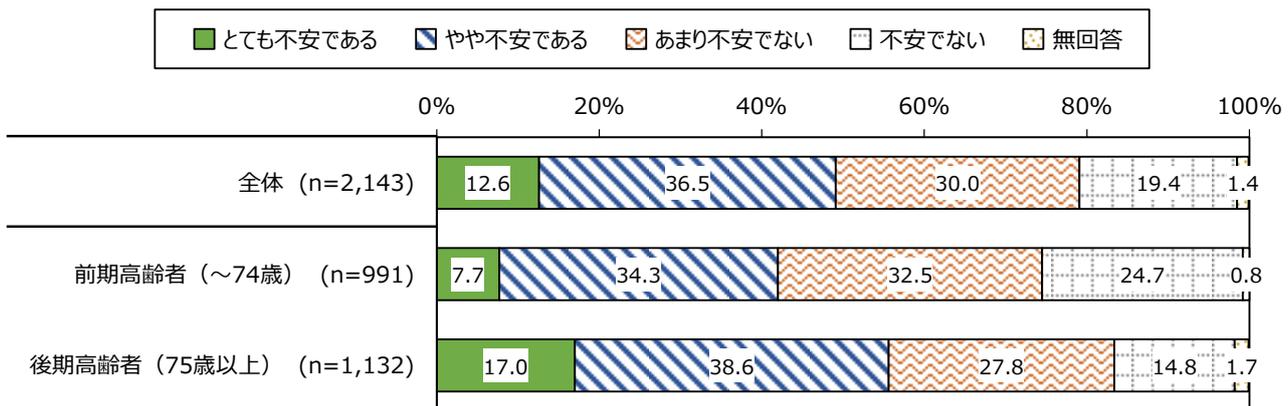
### 3-5 転倒に対する不安

問12 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

◆ “不安を感じている” が約5割

転倒に対する不安について、「とても不安である」の12.6%と「やや不安である」の36.5%を合わせた“不安を感じている”は49.1%となっています。一方で、「あまり不安でない」の30.0%と「不安でない」の19.4%を合わせた“不安を感じていない”人は49.4%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者(75歳以上)のほうが“不安を感じている”が10ポイント以上多くなっています。



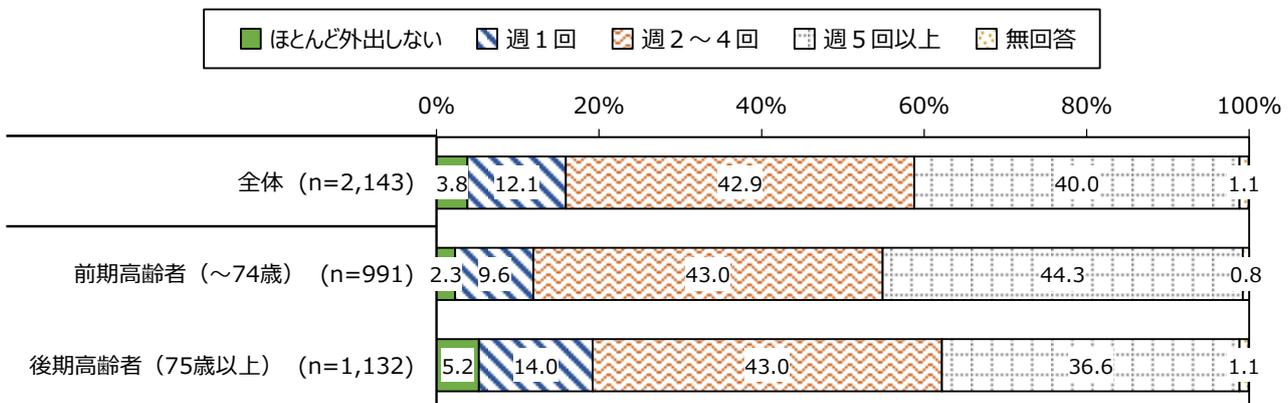
### 3-6 外出頻度

問13 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

◆ 「ほとんど外出しない」は少数

外出頻度について、「週2~4回」が42.9%と最も多く、次いで「週5回以上」の40.0%、「週1回」の12.1%となっており、これらを合わせた95.0%が“週1回以上外出している”ことになります。一方で、「ほとんど外出しない」は3.8%となっています。

年代別でみると、前期高齢者(~74歳)のほうが「週5回以上」が多くなっています。



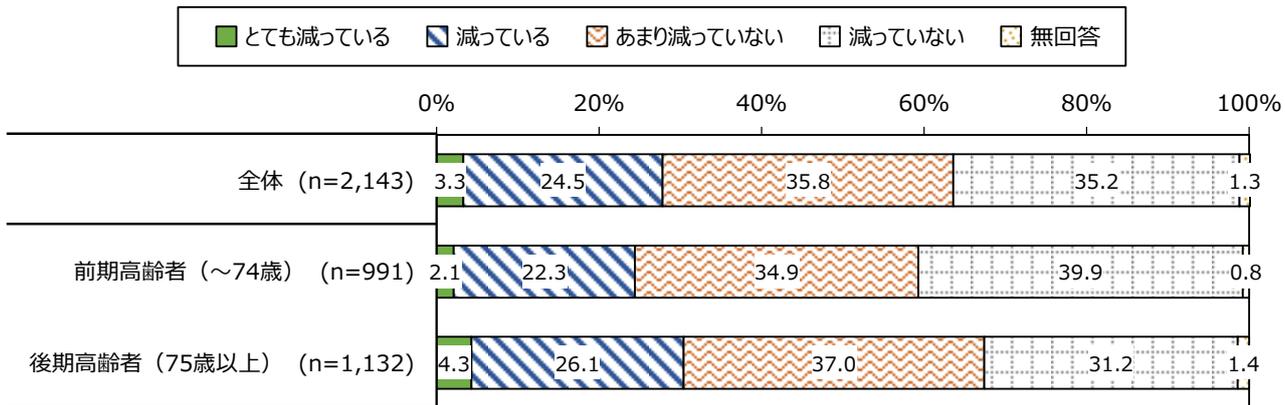
### 3-7 外出回数の減少

問 14 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

◆ “外出回数が減っている” が約3割

昨年と比べて外出回数について、「あまり減っていない」が35.8%と最も多く、「減っていない」の35.2%と合わせた“外出回数は減っていない”は71.0%となっています。一方で、「とても減っている」の3.3%、「減っている」の24.5%を合わせた“外出回数が減っている”人は27.8%となっています。

年代別で見ると、後期高齢者（75歳以上）のほうが“外出回数が減っている”が多くなっています。



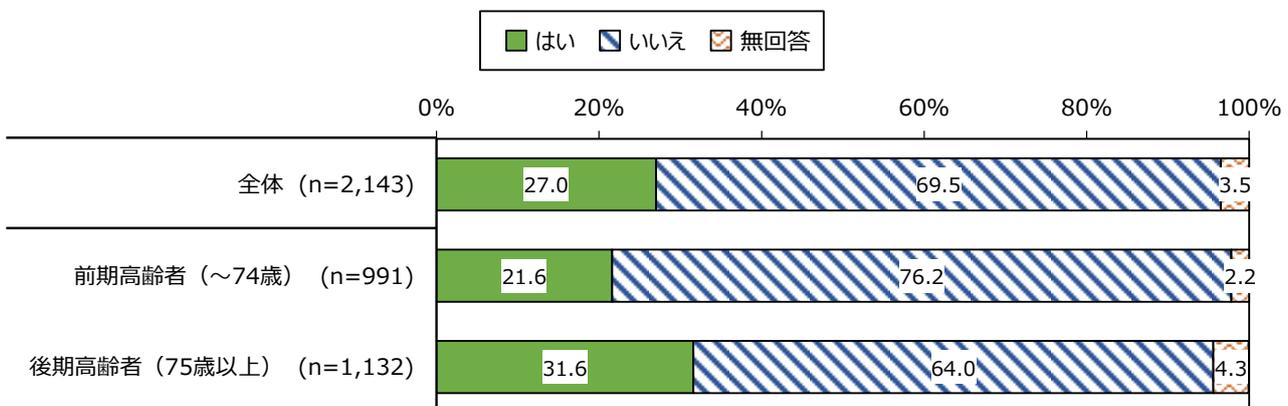
### 3-8 外出を控えている

問 15 外出を控えていますか。(○は1つ)

◆ 外出を控えている人が約3割

外出を控えているかについて、「はい」が27.0%、「いいえ」が69.5%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が10ポイント多くなっています。



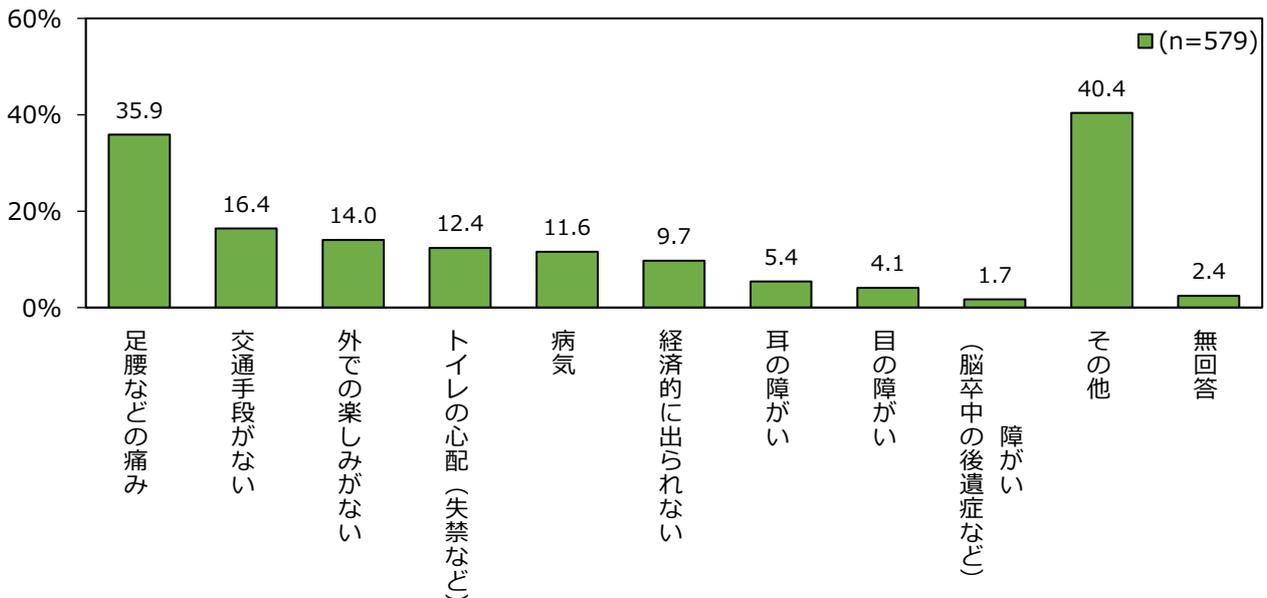
### 3-9 外出を控えている理由

問 15 で「はい」とお答えの方にお聞きします。

問 15-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

◆ 「足腰などの痛み」が約4割

外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 35.9%と最も多く、次いで「交通手段がない」が 16.4%、「外での楽しみがない」が 14.0%、「トイレの心配（失禁など）」が 12.4% となっています。

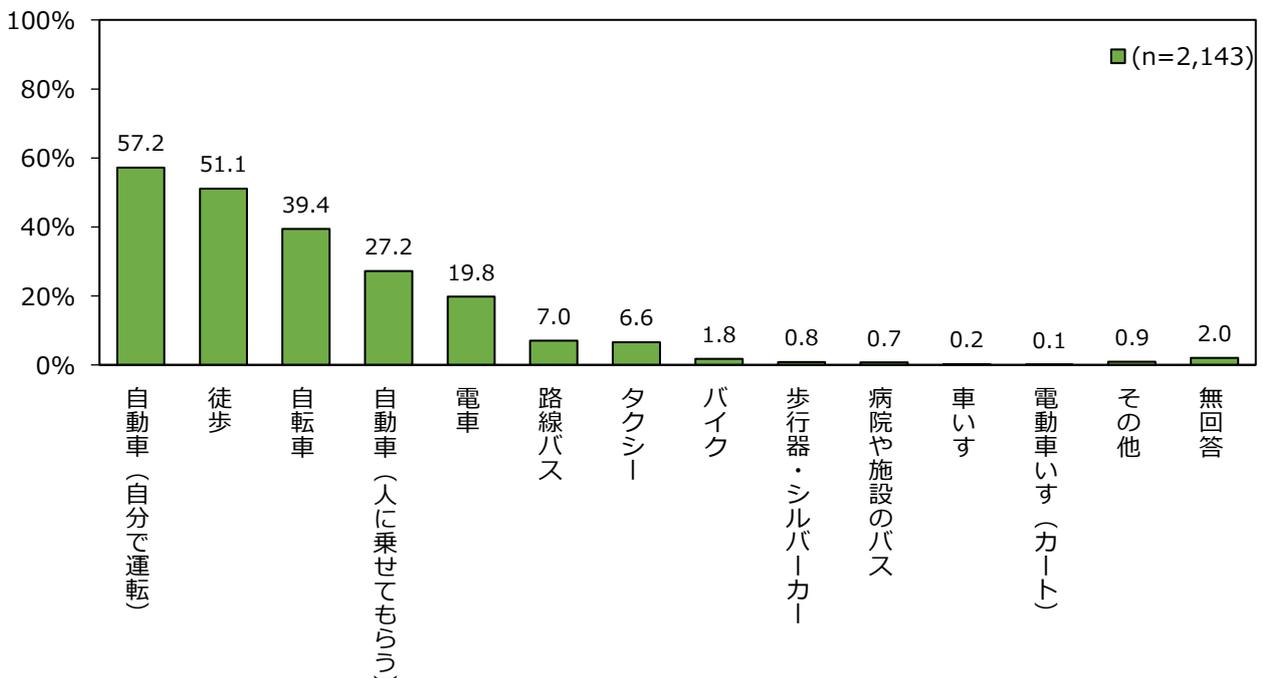


### 3-10 移動手段

問 16 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

◆ 「自動車（自分で運転）」が約6割

外出する際の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が 57.2%と最も多く、次いで「徒歩」が 51.1%、「自転車」が 39.4%となっています。



## 4) 食べることについて

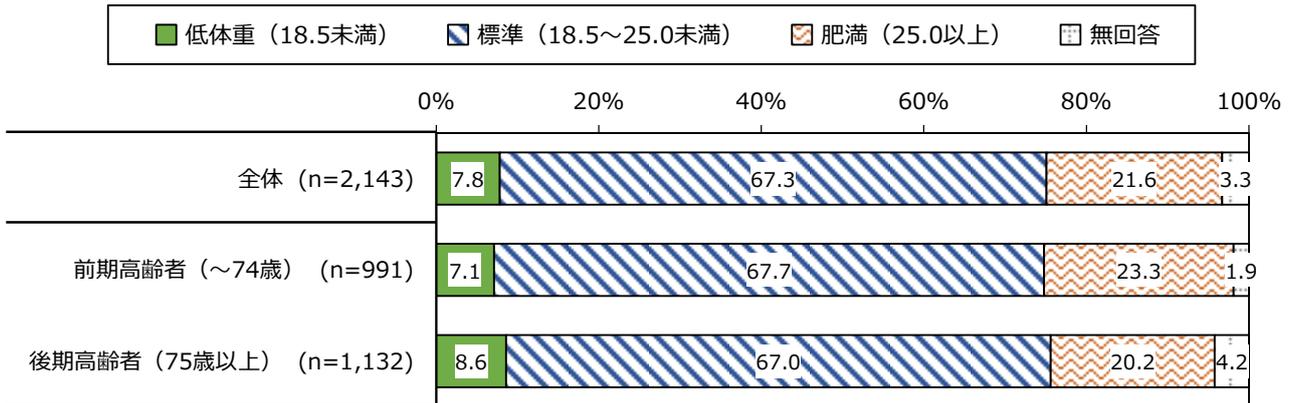
### 4-1 BMI

問 17 身長と体重をお書きください。

◆ 「肥満」が約2割、「低体重」が約1割

身長、体重を基にBMIを計算したところ、「標準（18.5～25.0未満）」が67.3%と最も多く、次いで「肥満（25以上）」が21.6%、「低体重（18.5未満）」が7.8%となっています。

年代別で比較しても大きな差はみられません。



※BMI：成人の肥満度を表す体格指数。体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))で算出される。

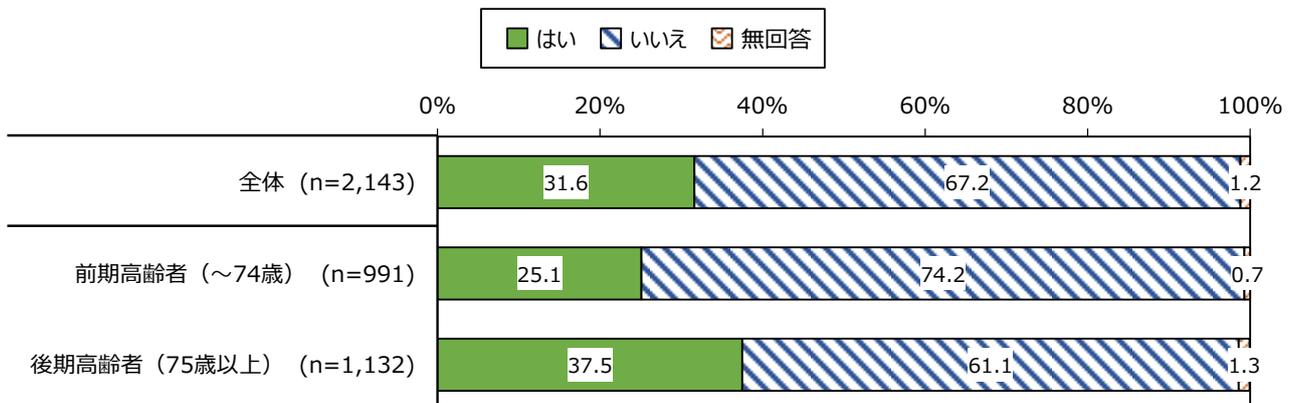
### 4-2 固いものの食べにくさ

問 18 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

◆ 半年前に比べて固いものが食べにくくなった人が約3割

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が31.6%、「いいえ」が67.2%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者(75歳以上)のほうが「はい」が10ポイント以上多くなっています。



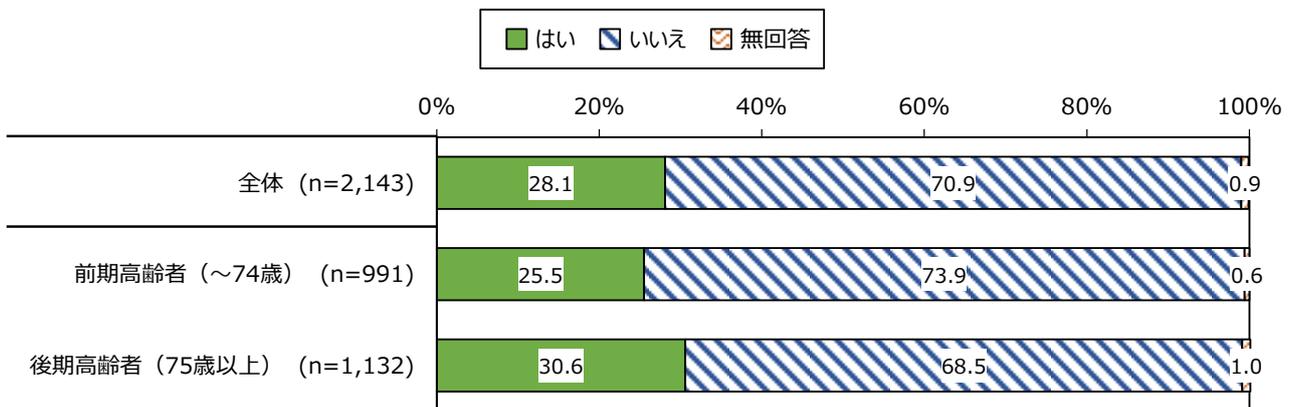
### 4-3 お茶や汁物等でむせること

問 19 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

◆ お茶や汁物等でむせることがある人が約3割

お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が28.1%、「いいえ」が70.9%となっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が多くなっています。



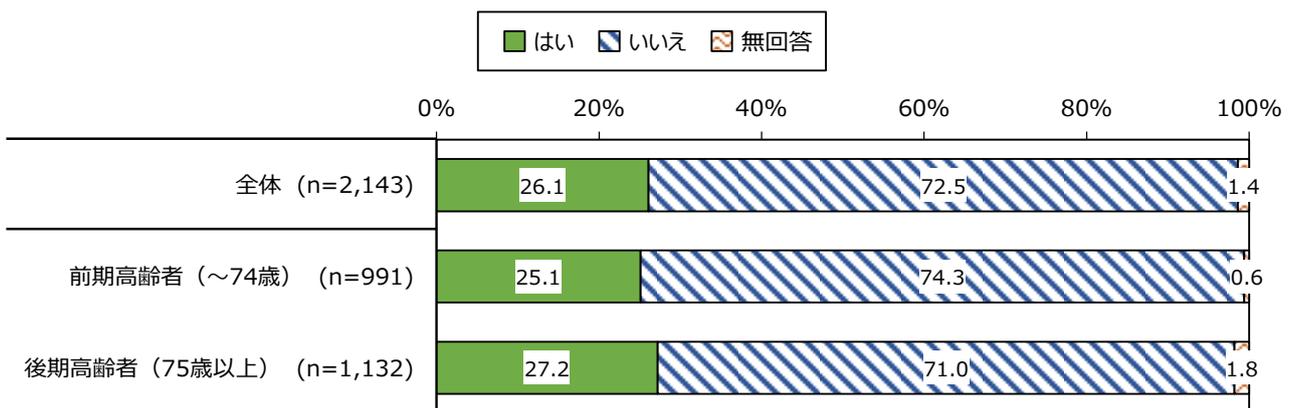
### 4-4 口の渇き

問 20 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

◆ 口の渇きが気になる人が約3割

口の渇きが気になるかについて、「はい」が26.1%、「いいえ」が72.5%となっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が多くなっています。

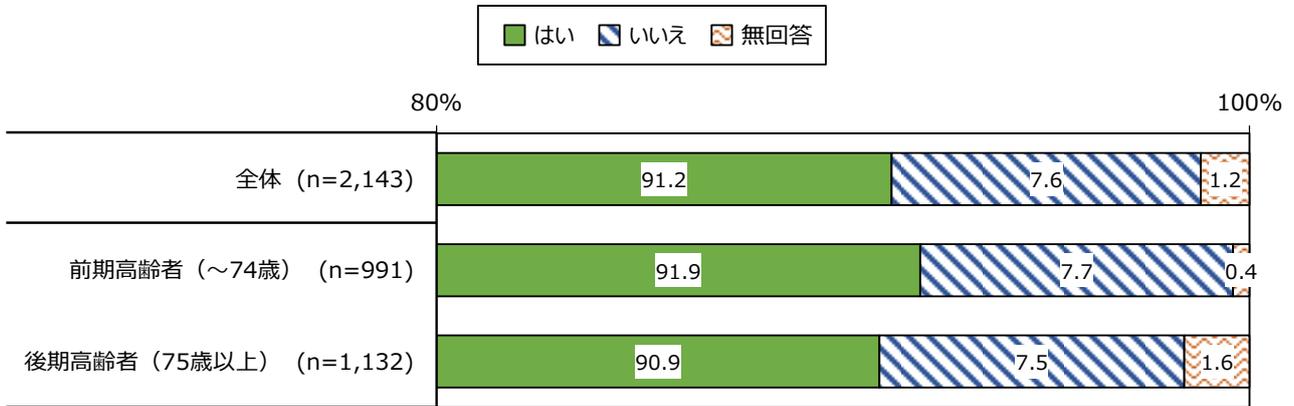


### 4-5 歯磨き習慣

問 21 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ）

◆ 歯磨きを毎日していない人が約1割

歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が91.2%、「いいえ」が7.6%となっています。  
年代別で比較しても大きな差はみられません。



### 4-6 歯の数および入れ歯の利用状況

問 22 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

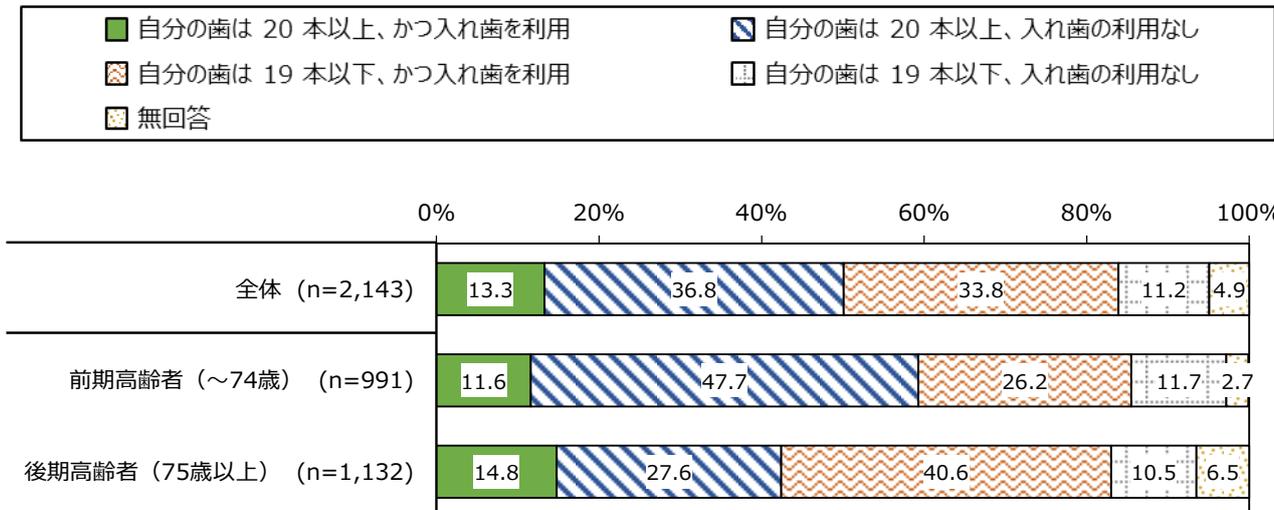
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）（○は1つ）

◆ “入れ歯を利用” は約5割

歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が36.8%と最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が33.8%となっています。

また、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の13.3%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の33.8%を合わせた“入れ歯を利用”は47.1%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが“入れ歯を利用”が15ポイント以上多くなっています。

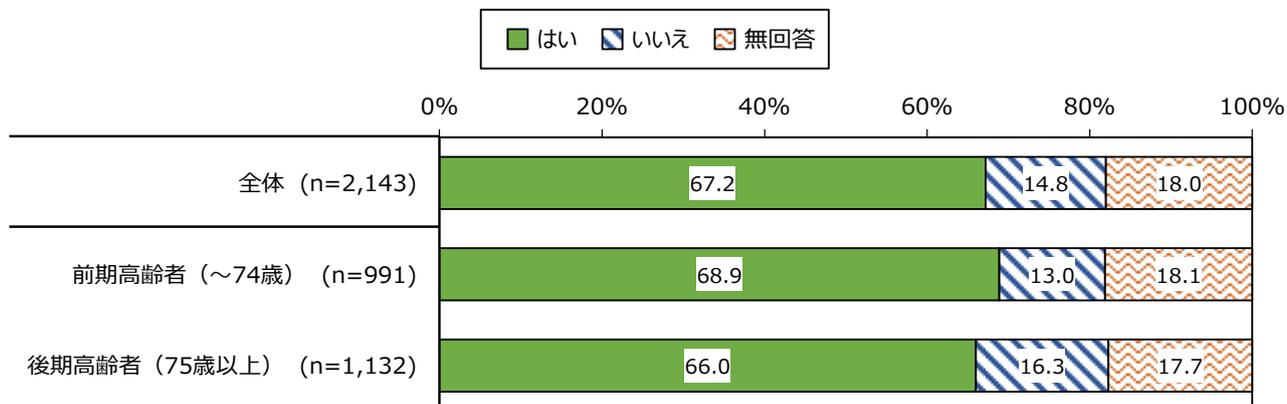


#### 4-7 歯の噛み合わせ

問 22-1 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

◆ 噛み合わせが悪い人が約1割

歯の噛み合わせが良いかについて、「はい」が67.2%、「いいえ」が14.8%となっています。  
年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「はい」が多くなっています。



#### 4-8 入れ歯のお手入れ

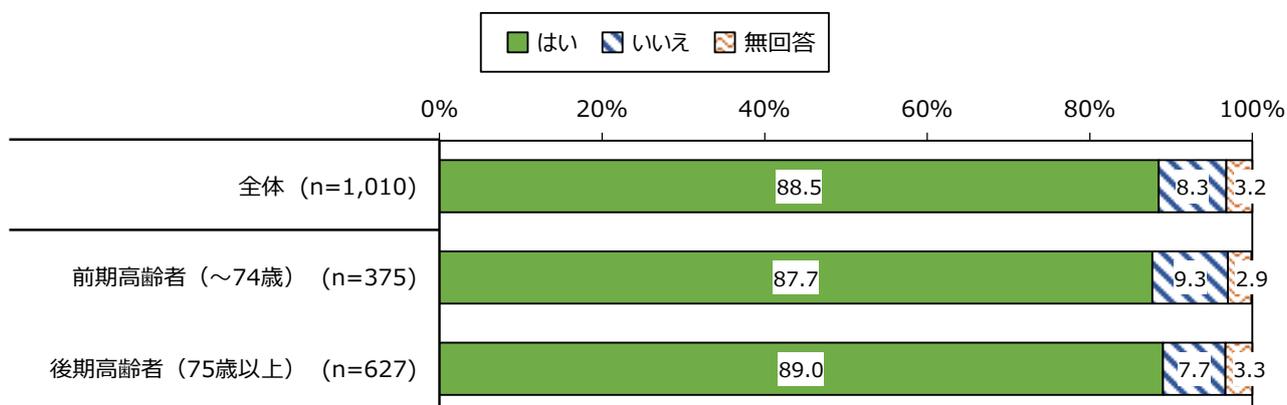
問 22 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方にお聞きします。

問 22-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

◆ 毎日入れ歯の手入れをしていない人が約1割

毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が88.5%、「いいえ」が8.3%となっています。

年代別で比較しても大きな差はみられません。



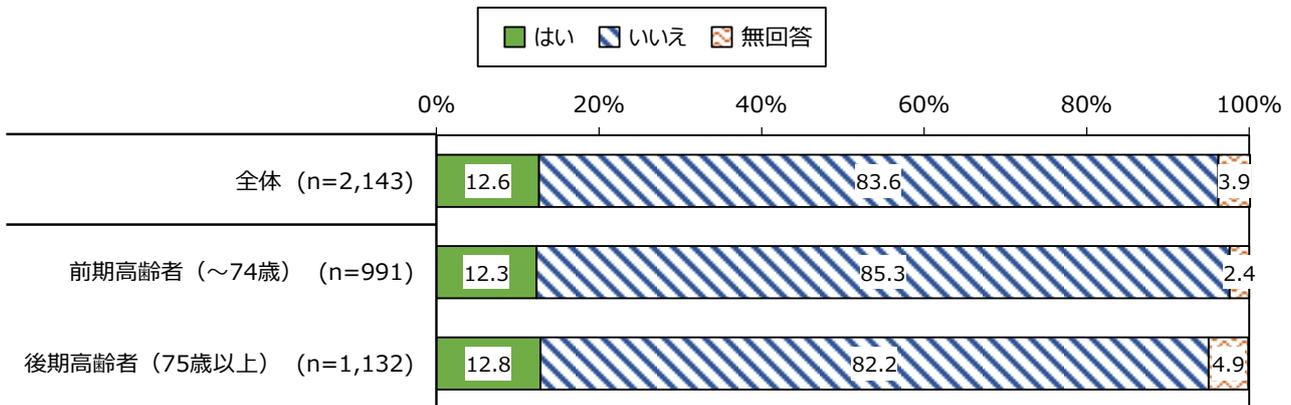
### 4-9 体重減少の有無

問 23 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

◆ 6か月間で2～3kgの体重減少があった人が約1割

6か月間で体重減少があったかについて、「はい」が12.6%、「いいえ」が83.6%となっています。

年代別で比較しても大きな差はみられません。



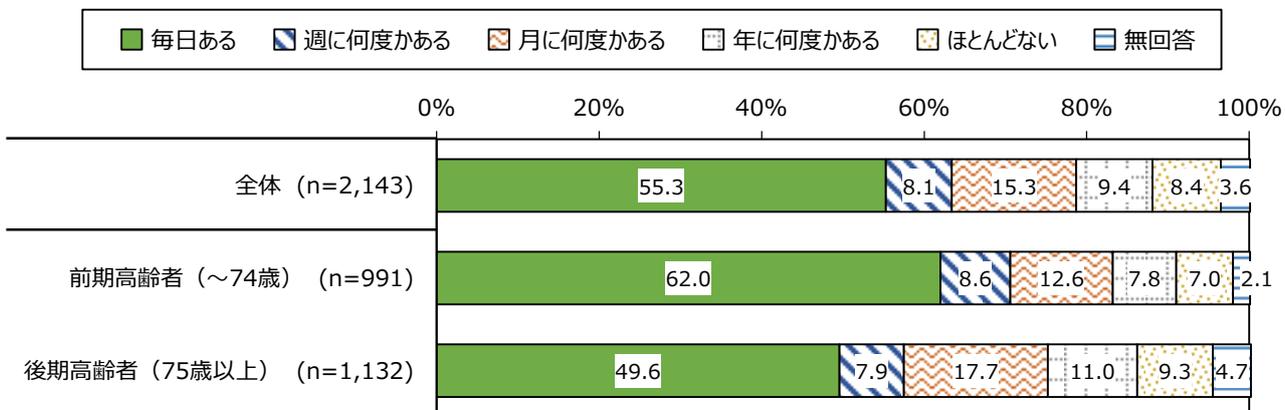
### 4-10 食事をとる機会

問 24 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

◆ 食事をとる機会がほとんどない人が約1割

食事をとる機会について、「毎日ある」が55.3%と最も多く、「週に何度かある」の8.1%、「月に何度かある」の15.3%、「年に何度かある」の9.4%を合わせた“食事をとる機会がある”と回答した人は88.1%となっています。一方で、「ほとんどない」は8.4%となっています。

年代別でみると、前期高齢者(～74歳)のほうが“食事をとる機会がある”が多くなっています。



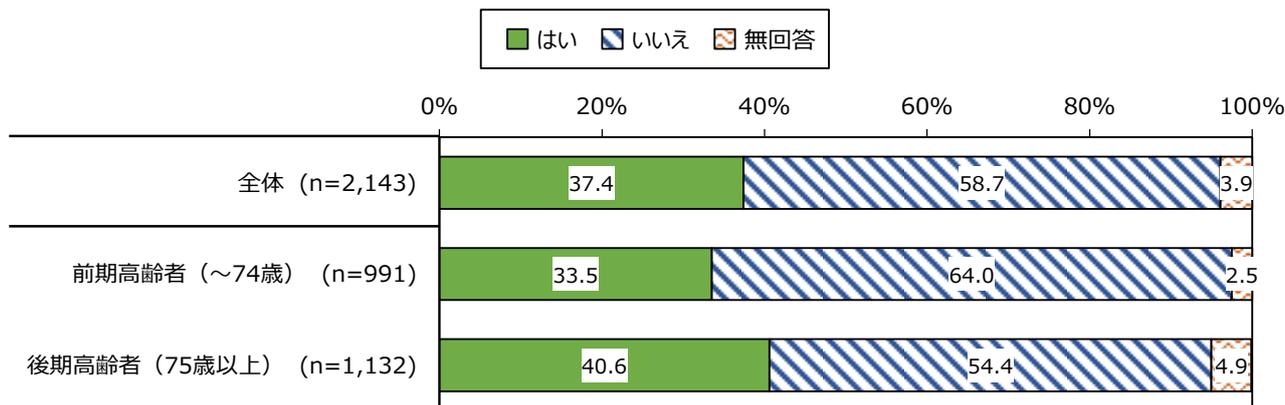
## 5) 毎日の生活について

### 5-1 物忘れの頻度

問 25 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

◆ 物忘れが多いと感じる人が約4割

物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が37.4%、「いいえ」が58.7%となっています。  
年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が多くなっています。



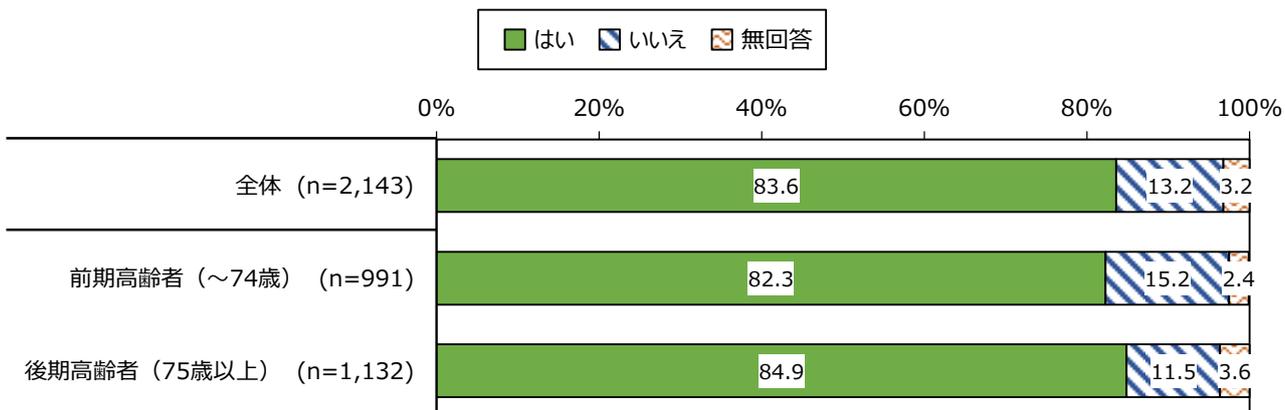
### 5-2 電話番号を調べてかけること

問 26 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

◆ 自分で電話をかけることをしない人が約1割

自分で電話番号を調べてかけることをしているかについて、「はい」が83.6%、「いいえ」が13.2%となっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が多くなっています。



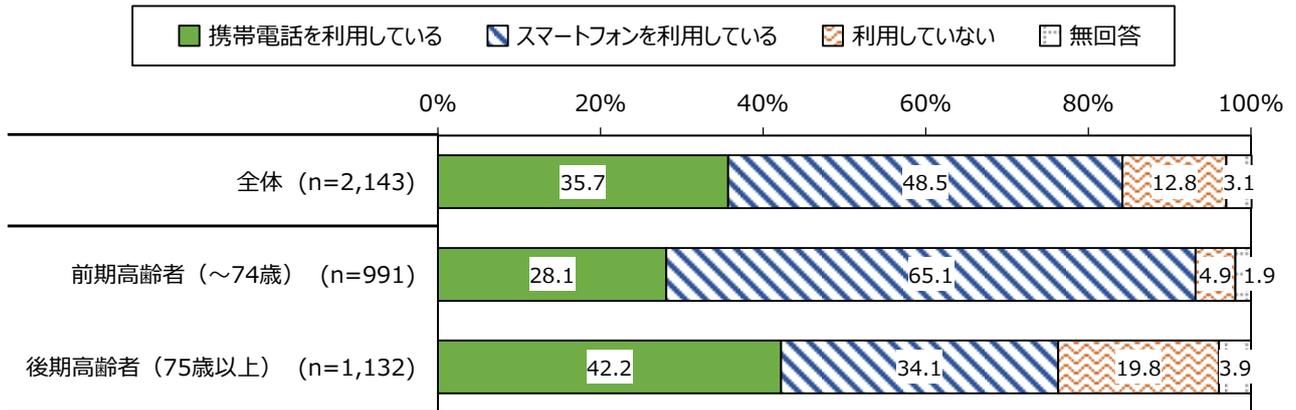
### 5-3 携帯電話やスマートフォンを利用すること

問 27 携帯電話やスマートフォンを利用していますか。(○は1つ)

◆ スマートフォンを利用している人が約5割

携帯電話やスマートフォンを利用しているかについて、「携帯電話を利用している」が 35.7%、「スマートフォンを利用している」が 48.5%、「利用していない」が 12.8%となっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「利用していない」が多くなっています。



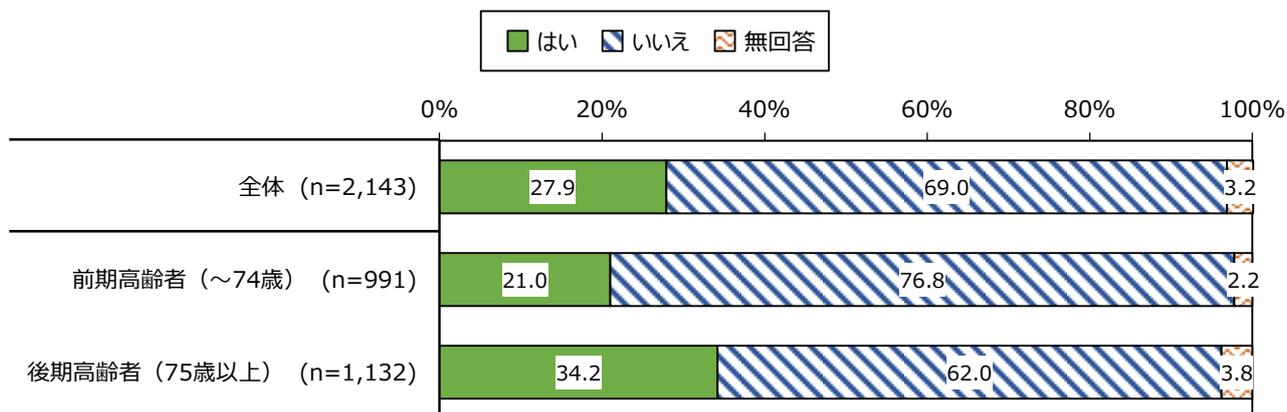
### 5-4 今日の日付がわからなくなること

問 28 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

◆ 今日が何月何日かわからない時がある人が約3割

今日の日付がわからない時があるかについて、「はい」が27.9%、「いいえ」が69.0%となっています。

年代別で比較すると、後期高齢者(75歳以上)のほうが「はい」が10ポイント以上多くなっています。



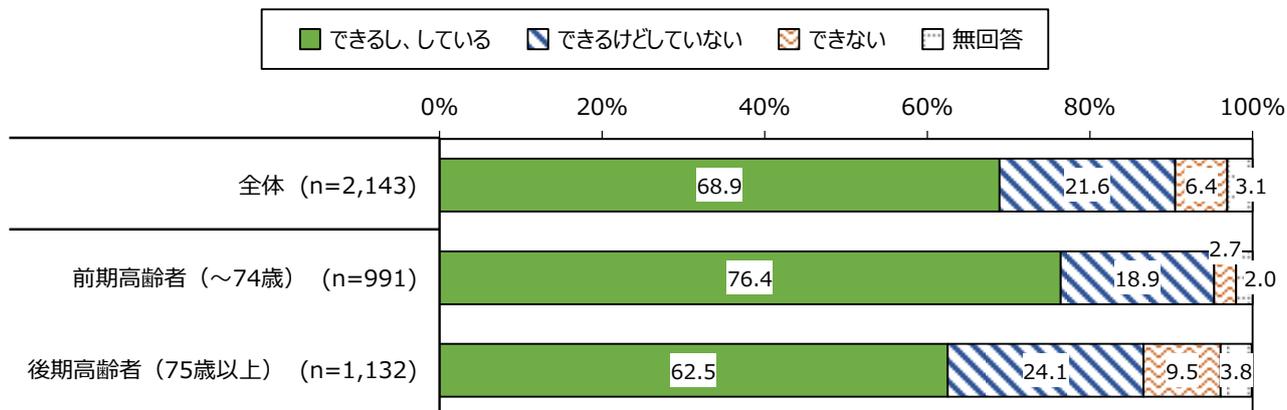
### 5-5 一人での外出

問 29 バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)

◆ 「できない」が約1割

一人で外出しているかについて、「できるし、している」が68.9%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.6%となっています。一方で、「できない」は6.4%となっています。

年代別で比較すると、前期高齢者(~74歳)のほうが「できるし、している」が10ポイント以上多くなっています。



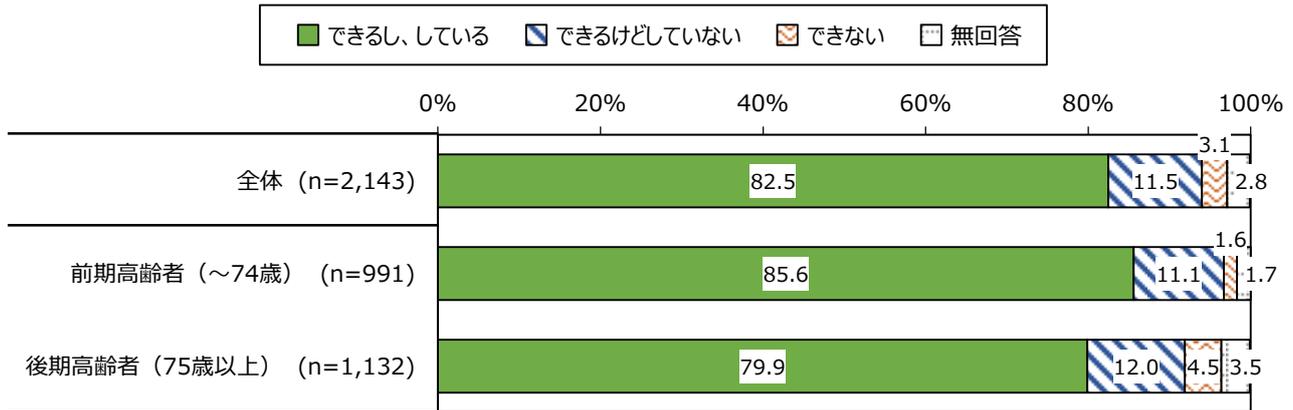
### 5-6 買物習慣

問 30 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」が少数

自分で買物をしているかについて、「できるし、している」が82.5%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.5%となっています。一方で、「できない」は3.1%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「できるし、している」が多くなっています。



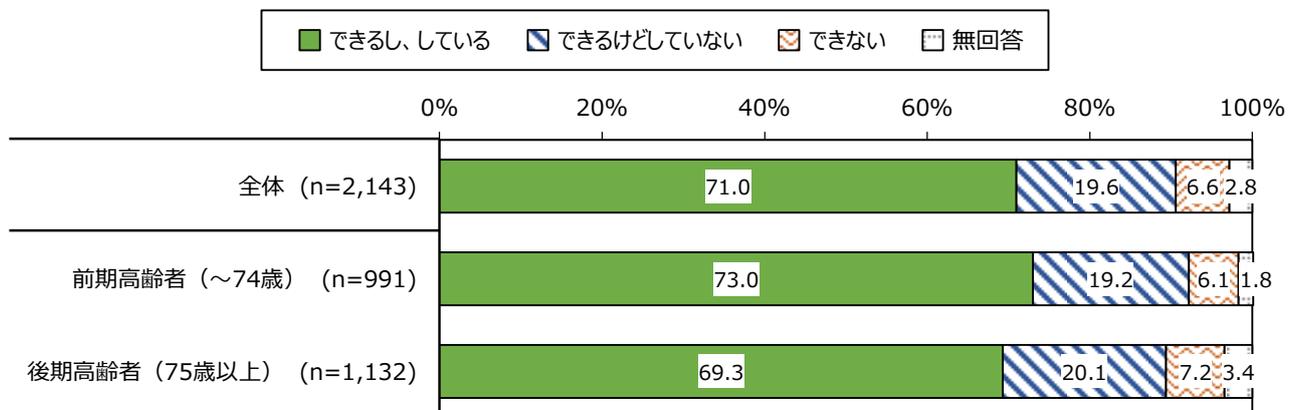
### 5-7 食事の用意

問 31 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」が約1割

自分で食事の用意をしているかについて、「できるし、している」が71.0%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が19.6%となっています。一方で、「できない」は6.6%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「できるし、している」が多くなっています。



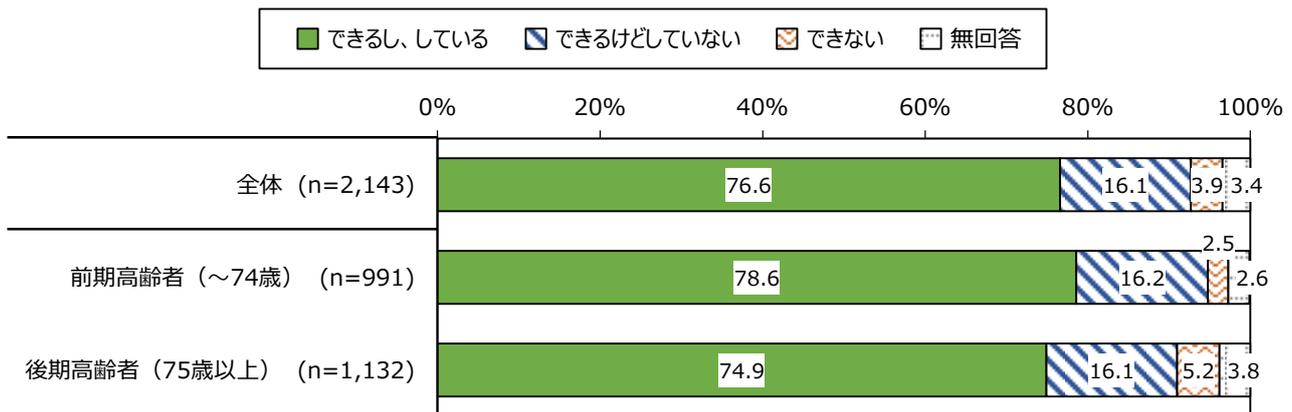
### 5-8 請求書の支払い

問 32 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」が少数

請求書の支払いをしているかについて、「できるし、している」が76.6%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が16.1%となっています。一方で、「できない」は3.9%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「できるし、している」が多くなっています。



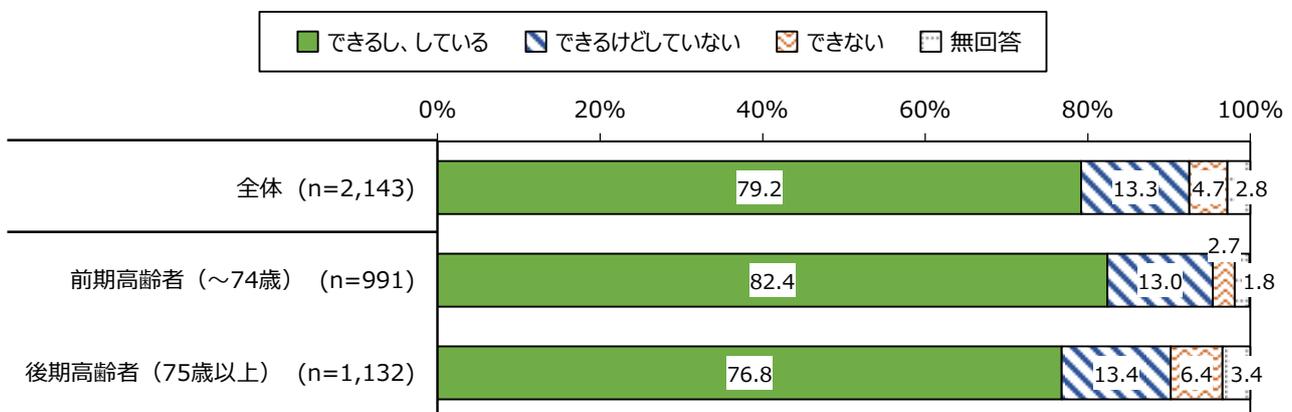
### 5-9 預貯金の出し入れ

問 33 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

◆ 「できない」が少数

自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「できるし、している」が79.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.3%となっています。一方で、「できない」は4.7%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「できるし、している」が多くなっています。

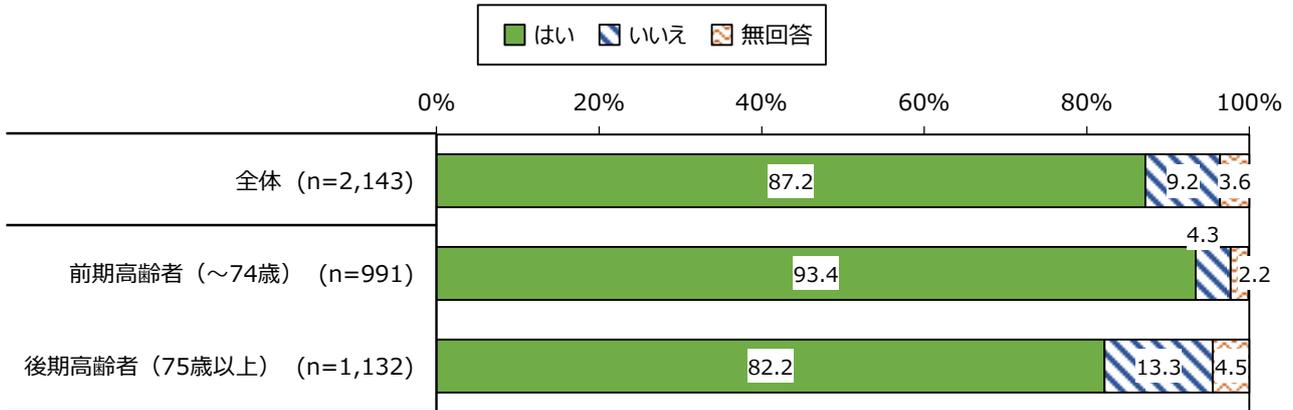


### 5-10 年金などの書類を書くこと

問 34 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（○は1つ）

◆ 年金などの書類が書けない人が約1割

年金などの書類が書けるかについて、「はい」が87.2%、「いいえ」が9.2%となっています。  
年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「はい」が多くなっています。

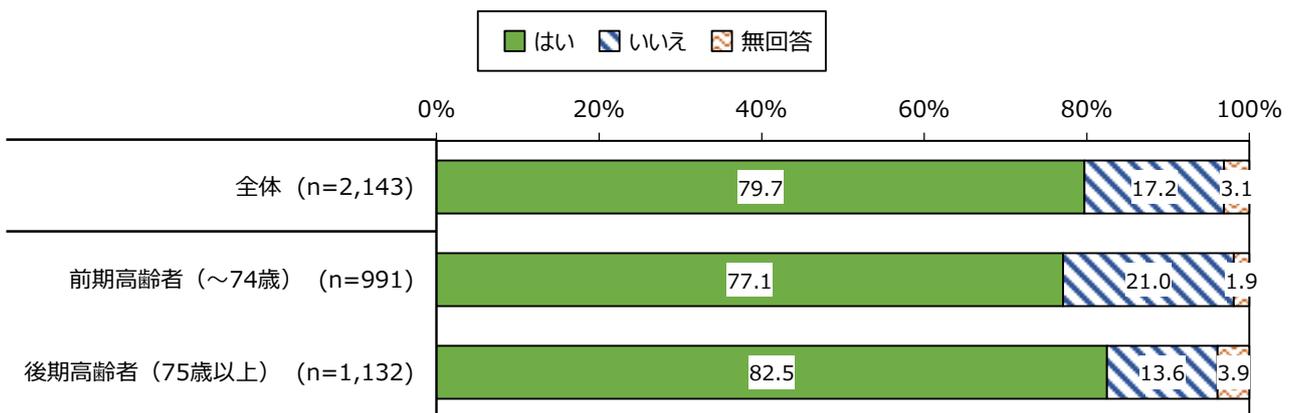


### 5-11 新聞を読むこと

問 35 新聞を読んでいますか。（○は1つ）

◆ 新聞を読んでいない人が約2割

新聞を読んでいるかについて、「はい」が79.7%、「いいえ」が17.2%となっています。  
年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が多くなっています。

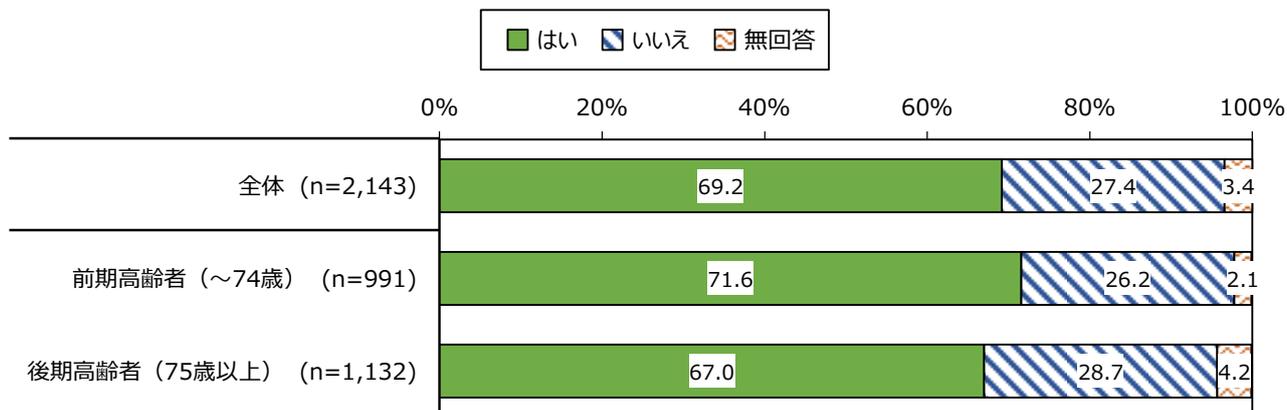


## 5-12 本や雑誌を読むこと

問 36 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

### ◆ 本や雑誌を読んでいない人が約3割

本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が69.2%、「いいえ」が27.4%となっています。年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「はい」が多くなっています。



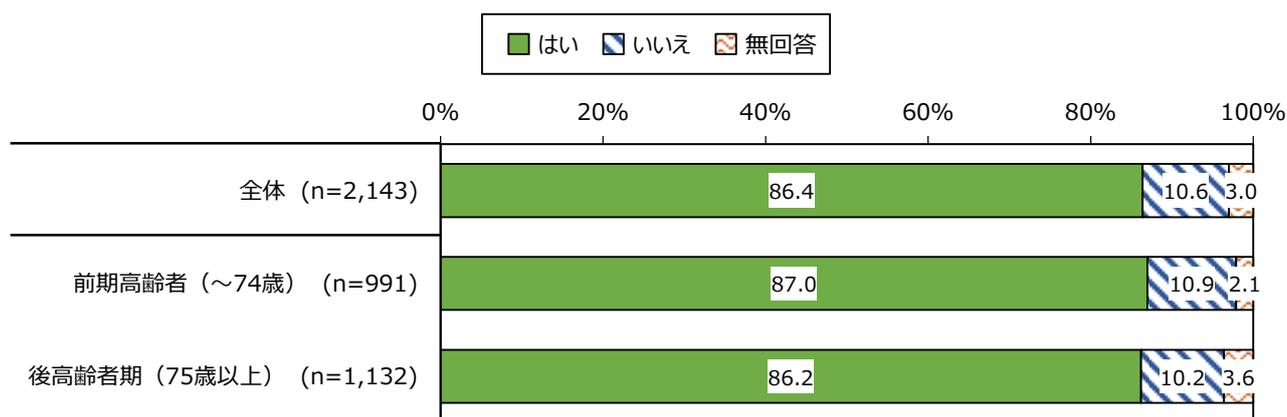
## 5-13 健康についての記事や番組への関心

問 37 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

### ◆ 健康についての記事や番組に関心がない人が約1割

健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が86.4%、「いいえ」が10.6%となっています。

年代別で比較しても大きな差はみられません。

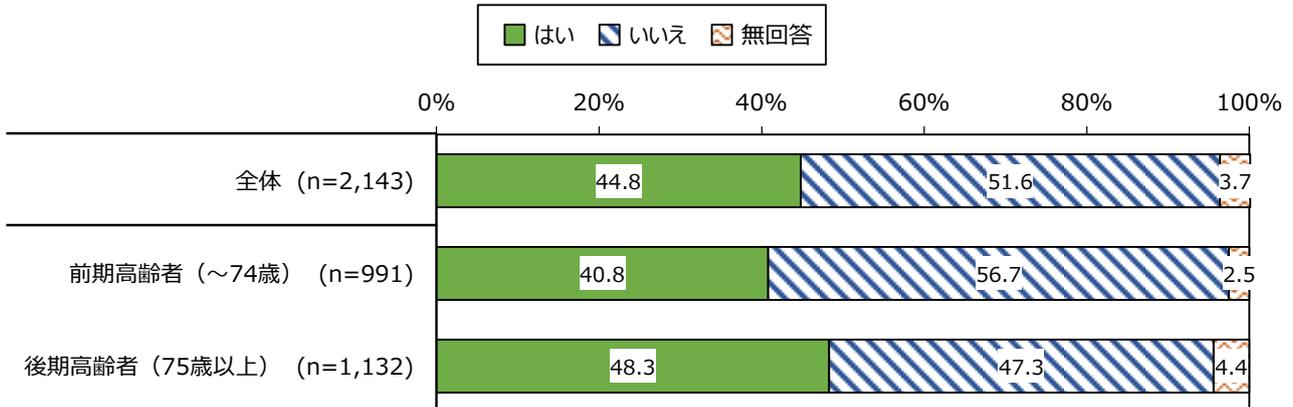


### 5-14 友人の家を訪ねること

問 38 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

◆ 友人の家を訪ねていない人が約5割

友人の家を訪ねているかについて、「はい」が44.8%、「いいえ」が51.6%となっています。年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が多くなっています。



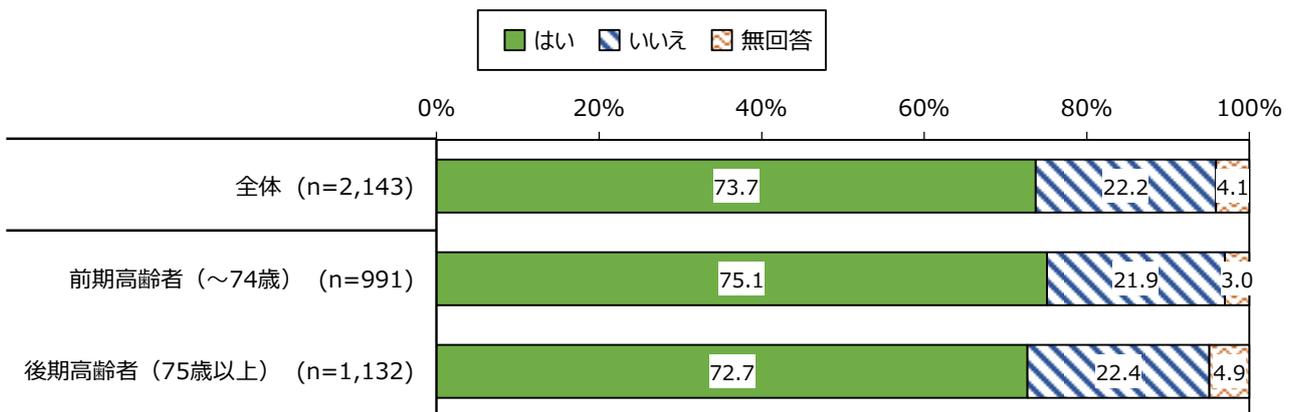
### 5-15 相談にのること

問 39 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

◆ 家族や友人の相談にのっていない人が約2割

家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が73.7%、「いいえ」が22.2%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「はい」が多くなっています。



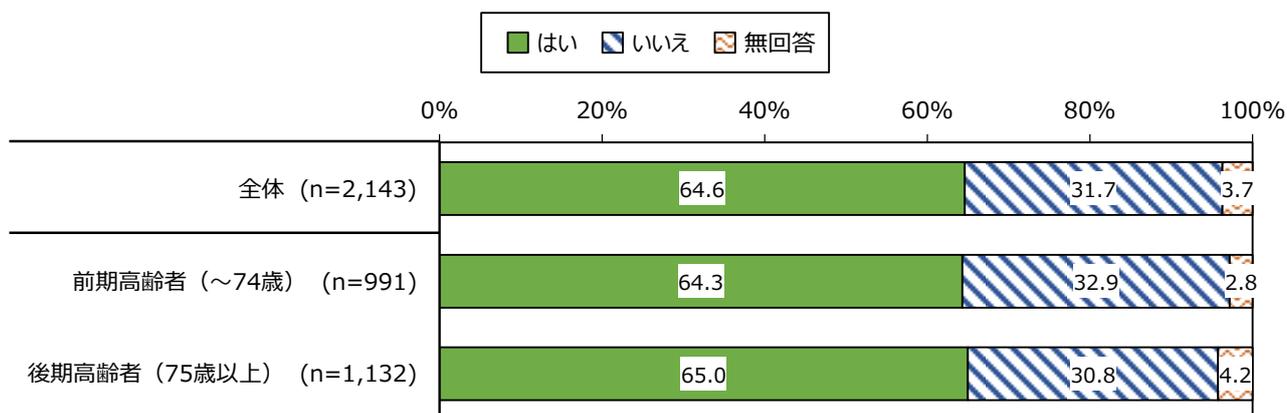
## 5-16 若い人に話しかけること

問 40 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

### ◆ 若い人に話しかけることがない人が約3割

若い人に話しかけることがあるかについて、「はい」が64.6%、「いいえ」が31.7%となっています。

年代別で比較しても大きな差はみられません。

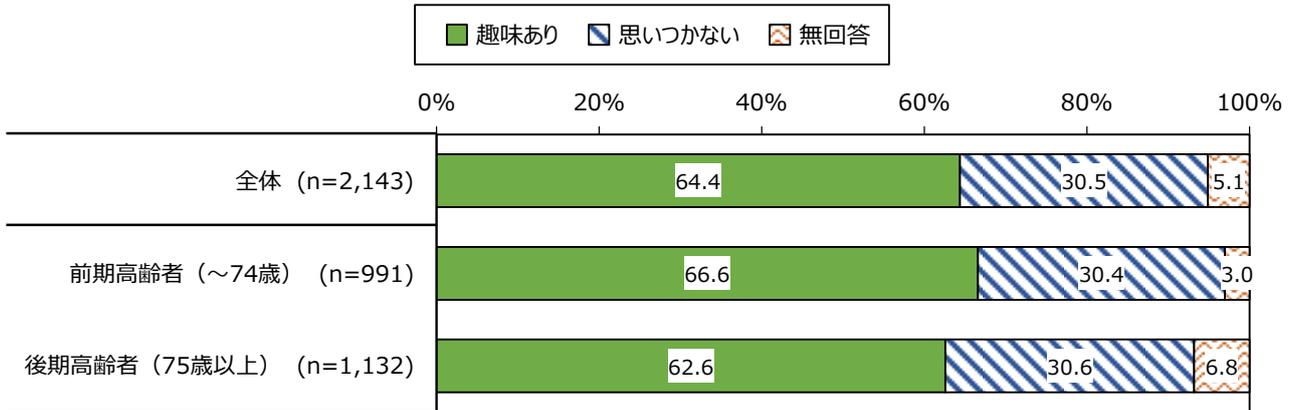


### 5-17 趣味の有無

問 41 趣味はありますか。(○は1つ)

◆ 趣味がない人が約3割

趣味の有無について、「趣味あり」が64.4%、「思いつかない」が30.5%となっています。  
年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「趣味あり」が多くなっています。



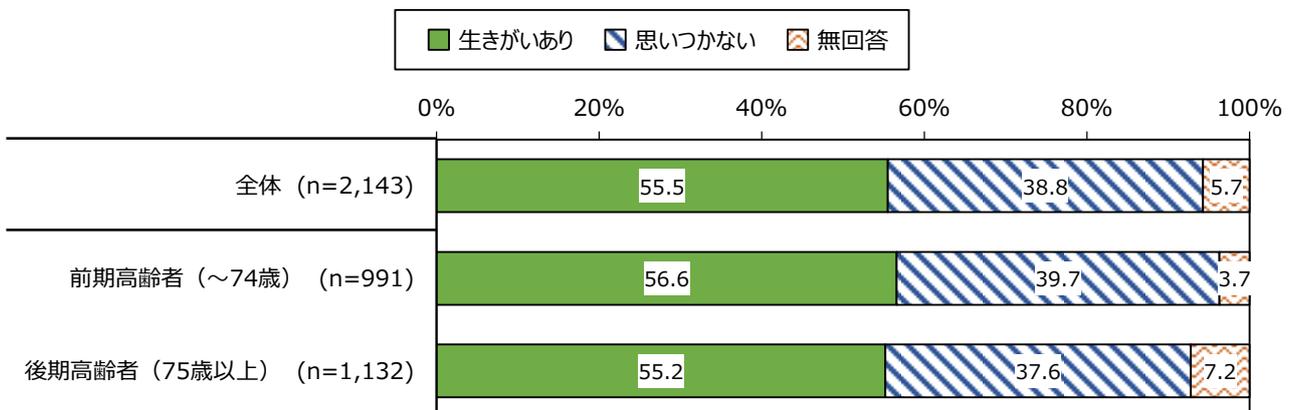
### 5-18 生きがいの有無

問 42 生きがいはありますか。(○は1つ)

◆ 生きがいを持っていない人が約4割

生きがいの有無について、「生きがいあり」が55.5%、「思いつかない」が38.8%となっています。

年代別で比較しても大きな差はみられません。



## 6) 地域での活動について

### 6-1 活動への参加頻度

問 43 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※(1)～(8)それぞれに回答してください。

#### ◆ 「(5) 介護予防のための通いの場」に参加している人は少数

地域での活動への参加について、「参加している」は「(8) 収入のある仕事」が 22.7%と最も多く、次いで「(3) 趣味関係のグループ」が 20.0%、「(7) 町内会・自治体」が 17.9%となっています。

参加頻度については、(1) ボランティアのグループ、(3) 趣味関係のグループ、(4) 学習・教養サークル、(5) 介護予防のための通いの場は「月1～3回」、(2) スポーツ関係のグループやクラブは「週2～3回」、(6) 老人クラブ、(7) 町内会・自治会は「年に数回」、(8) 収入のある仕事は「週4回以上」が最も多くなっています。

	参加している	参加している					参加していない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
(1) ボランティアのグループ (n=2,143)	9.7	1.0	1.2	1.1	3.4	3.0	60.4	29.8
(2) スポーツ関係のグループやクラブ (n=2,143)	16.7	2.6	5.3	3.3	4.0	1.5	55.9	27.5
(3) 趣味関係のグループ (n=2,143)	20.0	1.3	2.8	3.8	8.4	3.7	53.1	27.0
(4) 学習・教養サークル (n=2,143)	5.1	0.2	0.4	0.9	2.2	1.4	62.8	32.1
(5) 介護予防のための通いの場 (n=2,143)	2.6	0.1	0.6	0.3	1.0	0.6	65.0	32.3
(6) 老人クラブ (n=2,143)	8.1	0.3	0.5	0.6	2.4	4.3	61.7	30.1
(7) 町内会・自治会 (n=2,143)	17.9	0.2	0.3	0.7	2.4	14.3	51.8	30.2
(8) 収入のある仕事 (n=2,143)	22.7	13.2	5.8	1.4	0.9	1.4	50.1	27.1

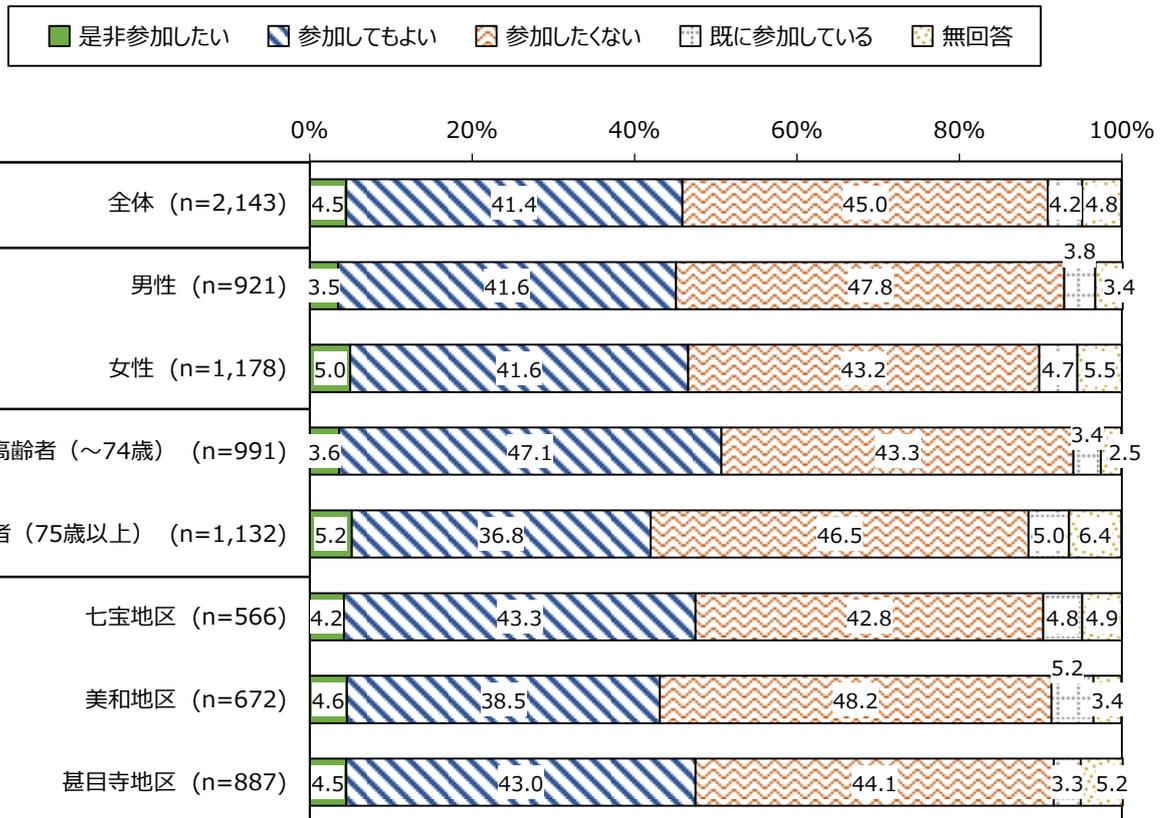
## 6-2 地域づくりへの参加意向（参加者）

問 44 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

### ◆ 「参加したくない」が約5割

地域づくり活動への参加について、「参加してもよい」が41.4%と最も多く、「是非参加したい」の4.5%、「既に参加している」の4.2%と合わせた“参加意向がある”は50.1%となっています。一方で、「参加したくない」は45.0%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが“参加意向がある”が多くなっています。



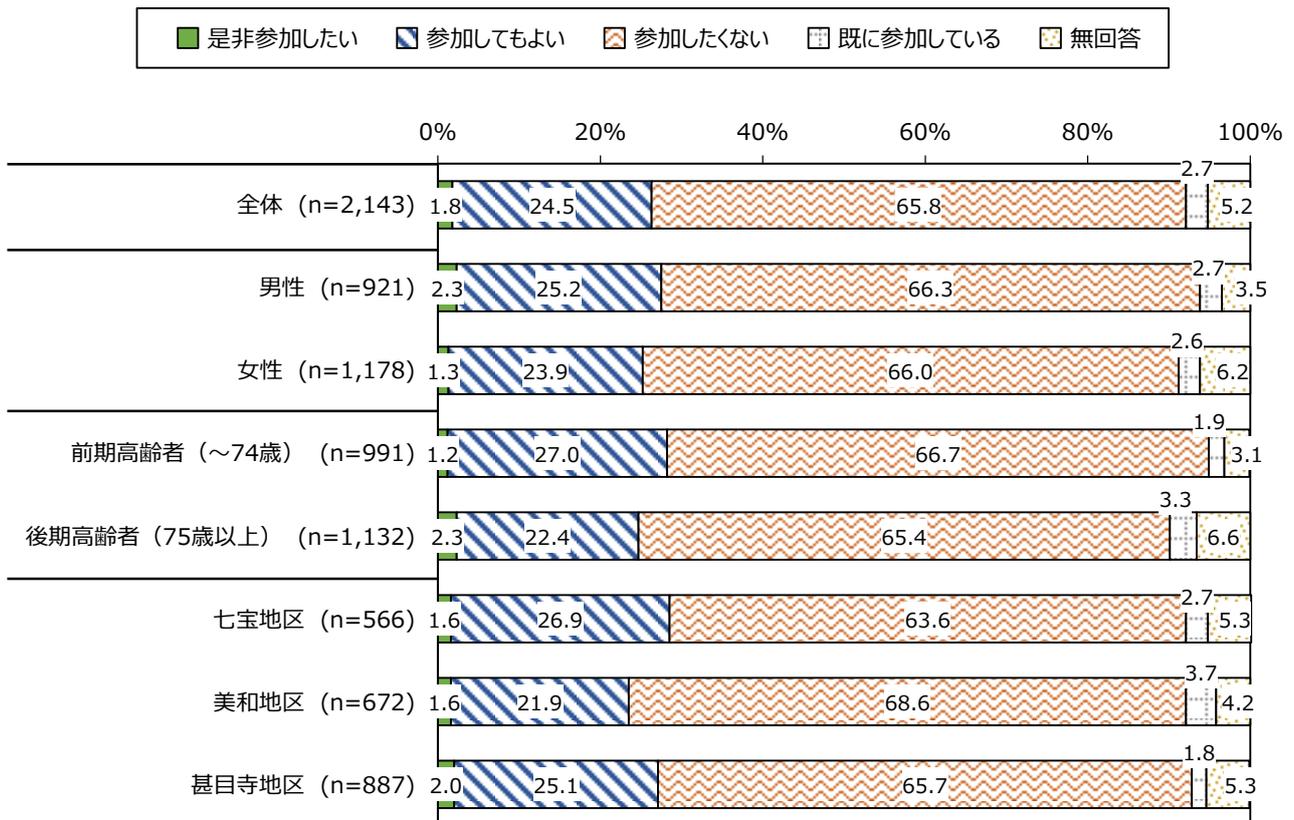
### 6-3 地域づくりへの参加意向（企画・運営（お世話役））

問 45 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（〇は1つ）

◆ 「参加したくない」が約7割

地域づくり活動の企画・運営（お世話役）への参加について、「参加したくない」が65.8%と最も多くなっています。一方で、「是非参加したい」の1.8%、「参加してもよい」の24.5%、「既に参加している」の2.7%を合わせた“参加意向がある”は29.0%となっています。

性別でみると、男性のほうが“参加意向がある”が多くなっています。



## 7) たすけあいについて

### 7-1 「たすけあい」について

問 46 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。  
 あてはまる人すべてに○をつけてください。あてはまる人がいない場合は「そのような人は  
 いない」に○をつけてください。

#### (1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（○はいくつでも）

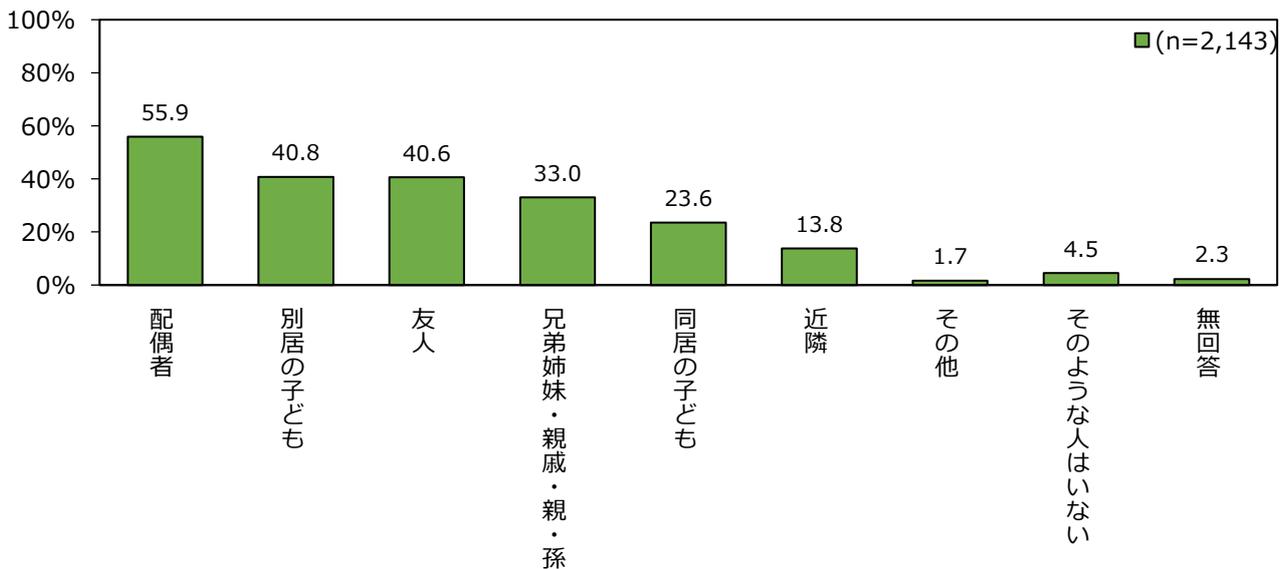
##### ◆ 「配偶者」が約6割

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が55.9%と最も多く、次いで「別居の子ども」が40.8%、「友人」が40.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が33.0%となっています。

性別で比較すると、男性のほうが「配偶者」が25ポイント以上多くなっています。女性では「友人」が20ポイント以上多くなっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）のほうが「配偶者」が10ポイント以上多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「配偶者」が3.2ポイント少なくなっています。



	配偶者	別居の子ども	友人	親・兄弟・孫姉妹・親戚・	同居の子ども	近隣	その他	なそのよう ない な 人 は い	無回答
全体 (n=2,143)	55.9	40.8	40.6	33.0	23.6	13.8	1.7	4.5	2.3
前回調査 (R2) (n=2,008)	59.1	37.7	41.4	35.4	23.6	13.5	2.5	3.7	2.6
男性 (n=921)	71.3	31.1	27.3	25.0	17.3	7.6	1.5	6.9	2.0
女性 (n=1,178)	44.3	49.0	50.8	39.3	28.4	18.8	1.8	2.6	2.4
前期高齢者（～74歳） (n=991)	62.7	40.4	44.4	34.0	21.2	12.1	1.7	4.6	1.3
後高齢者期（75歳以上） (n=1,132)	50.0	41.6	37.2	32.2	25.7	15.5	1.6	4.5	2.9
七宝地区 (n=566)	56.4	43.8	43.5	35.0	24.7	17.3	2.1	4.1	1.1
美和地区 (n=672)	58.6	40.8	40.6	32.3	25.9	12.1	2.1	3.9	2.2
碓目寺地区 (n=887)	53.7	39.3	38.9	32.6	21.2	13.2	1.0	5.4	2.8

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいくつでも）

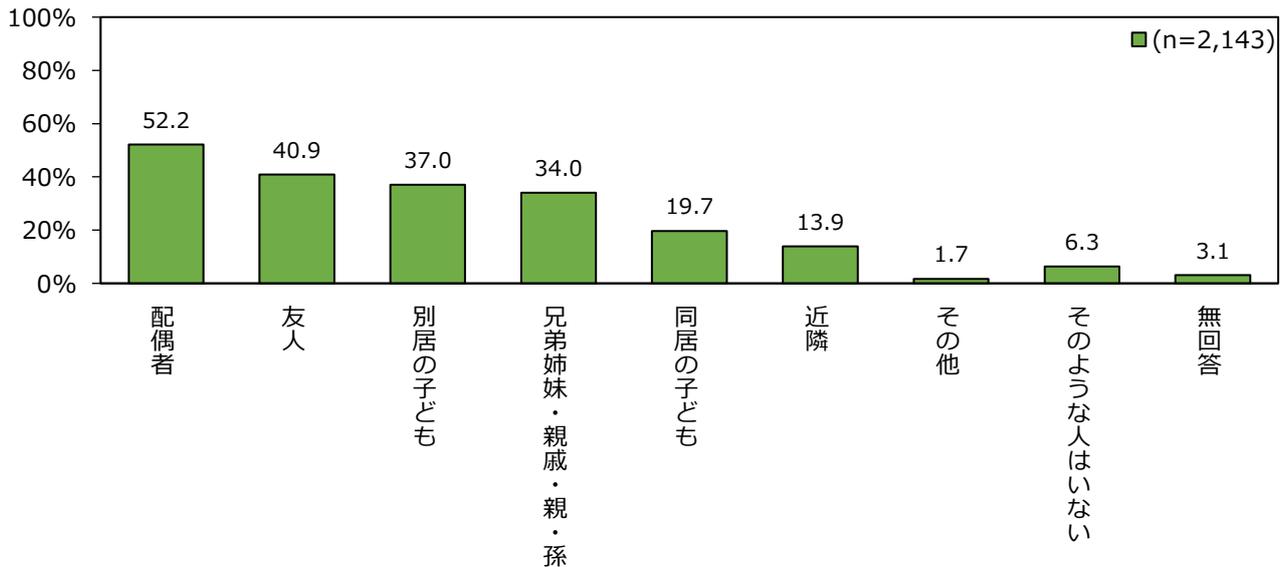
◆ 「配偶者」が約5割

心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が52.2%と最も多く、次いで「友人」が40.9%、「別居の子ども」が37.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が34.0%となっています。

性別で比較すると、男性のほうが「配偶者」が25ポイント以上多くなっています。女性では「友人」が20ポイント以上多くなっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）のほうが「配偶者」が10ポイント以上多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「配偶者」が4.3ポイント少なくなっています。



	配偶者	友人	別居の子ども	親・兄弟姉妹・孫・親戚・親戚・	同居の子ども	近隣	その他	ない	そのような人はいない	無回答
全体 (n=2,143)	52.2	40.9	37.0	34.0	19.7	13.9	1.7	6.3	3.1	
前回調査 (R2) (n=2,008)	56.5	41.2	36.2	34.9	20.8	15.6	2.2	6.0	3.5	
男性 (n=921)	68.9	27.7	28.6	26.5	15.9	7.3	1.7	7.6	2.9	
女性 (n=1,178)	39.6	50.8	43.7	39.9	22.5	19.4	1.6	5.2	3.0	
前期高齢者 (～74歳) (n=991)	59.6	43.5	39.3	34.8	18.9	11.9	1.9	6.4	1.5	
後高齢者期 (75歳以上) (n=1,132)	45.8	38.6	35.2	33.4	20.5	15.9	1.4	6.3	4.2	
七宝地区 (n=566)	53.2	41.3	37.3	34.6	20.7	17.1	2.3	5.7	3.2	
美和地区 (n=672)	54.5	41.8	37.8	33.3	20.2	13.8	1.8	6.4	1.9	
甚目寺地区 (n=887)	50.2	40.1	36.4	34.4	18.8	12.2	1.1	6.5	3.5	

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（〇はいくつでも）

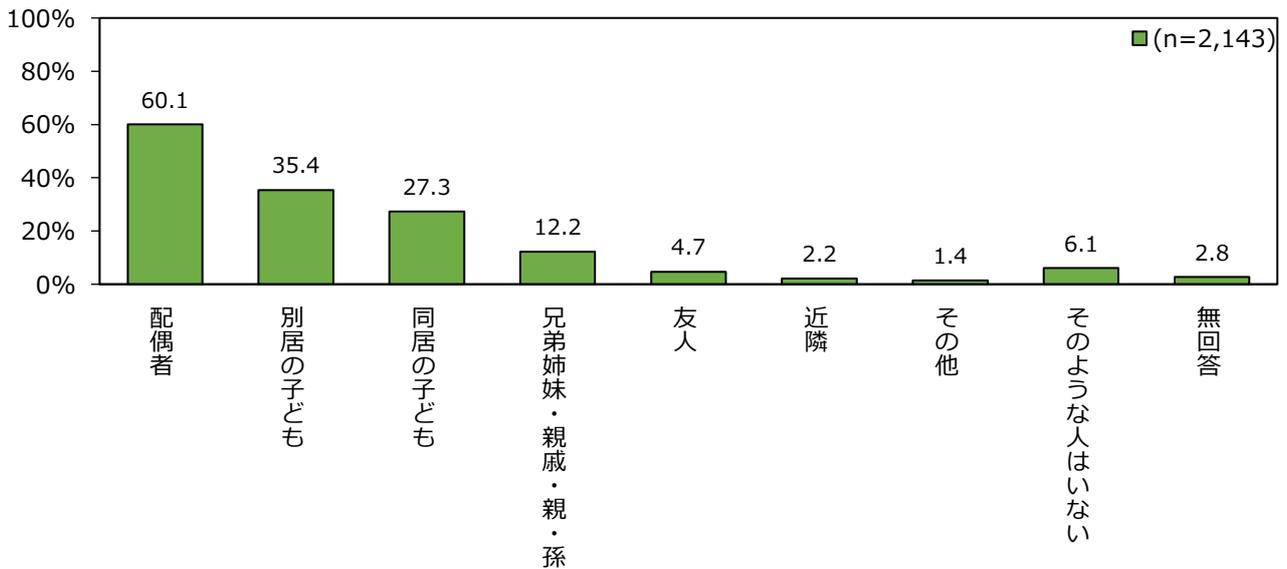
◆ 「配偶者」が約6割

病気で寝込んだときに看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が60.1%と最も多く、次いで「別居の子ども」が35.4%、「同居の子ども」が27.3%となっています。

性別で比較すると、男性のほうが「配偶者」が25ポイント以上多くなっています。女性では「別居の子ども」が15ポイント以上多くなっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）のほうが「配偶者」が15ポイント以上多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「配偶者」が5.9ポイント少なくなっています。



	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	友人	近隣	その他	ない その ような 人 は い ない	無 回 答
全体 (n=2,143)	60.1	35.4	27.3	12.2	4.7	2.2	1.4	6.1	2.8
前回調査 (R2) (n=2,008)	66.0	32.5	28.5	14.2	3.9	1.7	1.5	5.5	2.0
男性 (n=921)	75.9	26.0	20.1	8.9	1.7	0.7	1.2	6.9	2.4
女性 (n=1,178)	48.3	43.0	33.1	14.5	6.8	3.2	1.7	5.4	2.8
前期高齢者（～74歳） (n=991)	68.3	33.4	23.2	11.8	4.5	1.7	1.2	6.9	1.9
後高齢者期（75歳以上） (n=1,132)	53.2	37.5	31.0	12.5	4.8	2.7	1.7	5.4	3.2
七宝地区 (n=566)	60.4	37.1	31.3	13.1	5.3	3.4	0.7	5.5	1.1
美和地区 (n=672)	63.8	33.9	26.5	11.3	4.0	1.8	2.1	6.5	2.8
甚目寺地区 (n=887)	57.5	36.0	25.6	12.3	4.7	1.8	1.5	6.2	3.4

(4) 反対に、看病や世話をしあける人 (〇はいくつでも)

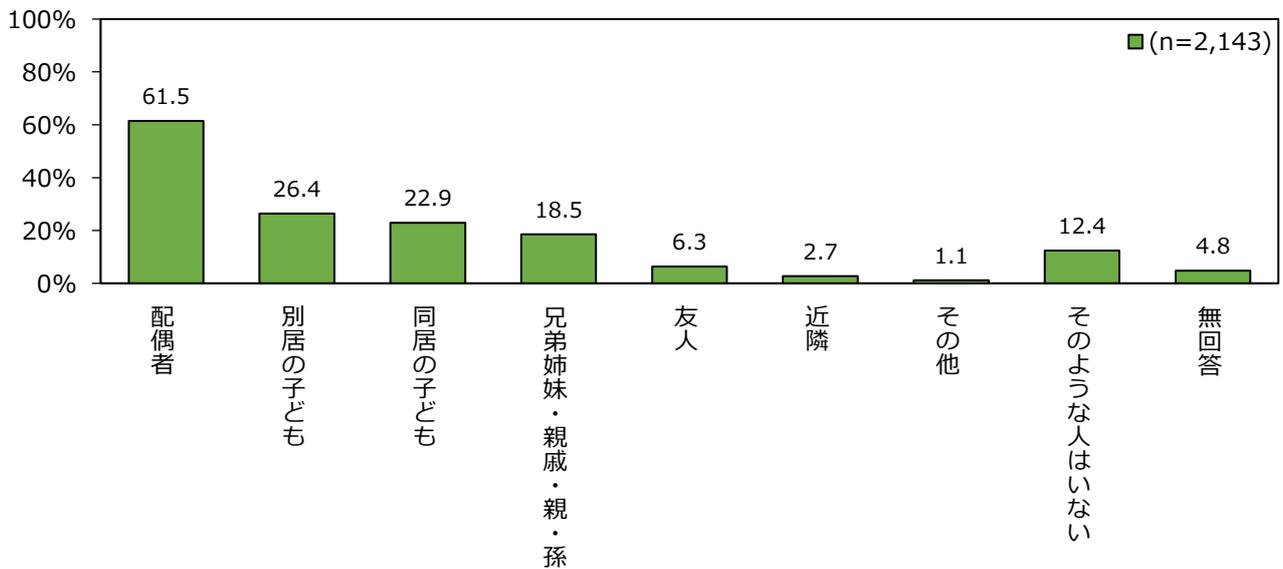
◆ 「配偶者」が約6割

看病や世話をしあける人について、「配偶者」が61.5%と最も多く、次いで「別居の子ども」が26.4%、「同居の子ども」が22.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が18.5%となっています。

性別で比較すると、男性のほうが「配偶者」が20ポイント以上多くなっています。女性では「別居の子ども」が10ポイント以上多く、「同居の子ども」や「兄弟姉妹・親戚・親・孫」も多くなっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）のほうが「配偶者」が10ポイント以上多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が5.3ポイント少なくなっています。



	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親兄弟・孫姉妹・親戚・	友人	近隣	その他	なその いよ うな 人 は い 	無 回 答
全体 (n=2,143)	61.5	26.4	22.9	18.5	6.3	2.7	1.1	12.4	4.8
前回調査 (R2) (n=2,008)	65.7	27.8	24.0	23.8	6.0	3.0	2.0	10.7	3.7
男性 (n=921)	73.4	18.9	19.0	13.5	2.1	1.2	1.1	11.6	4.0
女性 (n=1,178)	52.8	32.0	25.7	22.2	9.4	3.8	1.0	13.3	5.1
前期高齢者 (～74歳) (n=991)	68.3	31.1	22.2	21.4	6.4	2.5	1.0	10.6	1.9
後高齢者期 (75歳以上) (n=1,132)	55.9	22.3	23.6	16.2	6.2	2.9	1.1	14.0	6.9
七宝地区 (n=566)	62.5	26.0	24.6	17.7	6.4	3.7	0.9	12.5	4.2
美和地区 (n=672)	66.5	25.1	23.7	18.5	5.7	2.5	1.5	11.5	4.2
基目寺地区 (n=887)	57.4	27.7	21.5	19.3	6.7	2.3	0.9	13.2	5.1

## 7-2 家族や友人・知人以外の相談相手

問 47 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
(〇はいくつでも)

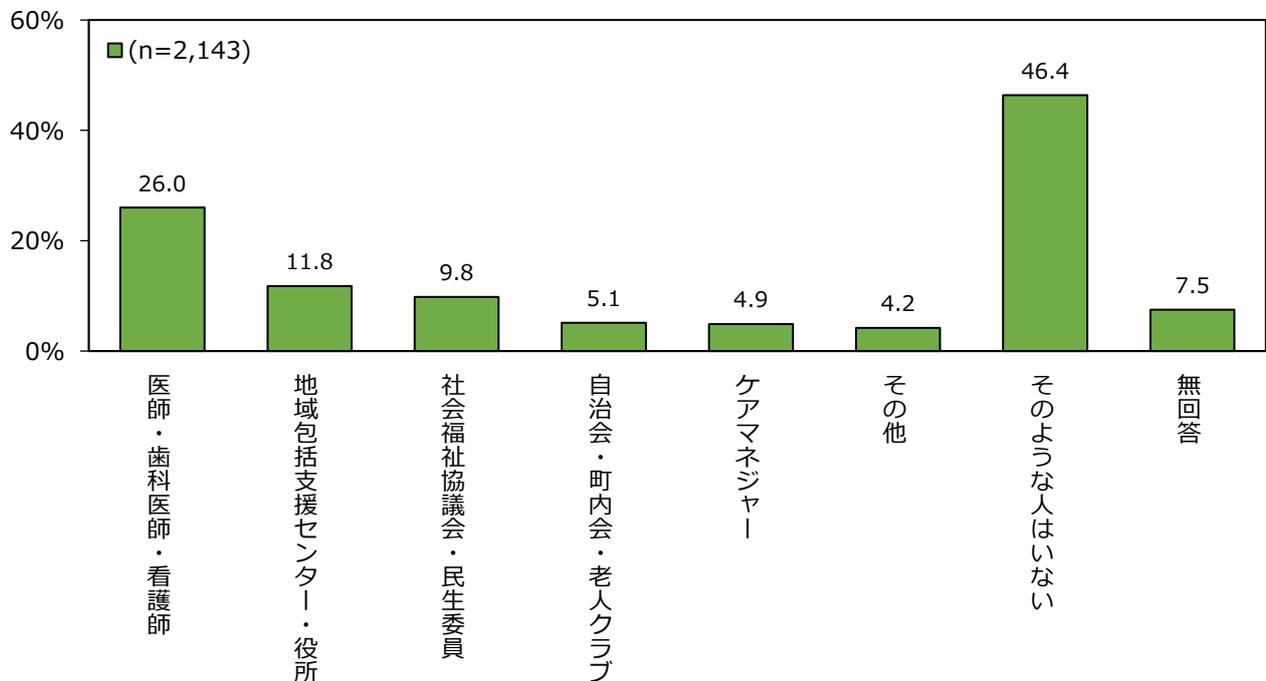
### ◆ 「そのような人はいない」が約5割

何かあったときに相談する相手について、「そのような人はいない」が46.4%と最も多くなっています。相談相手がいる人では、「医師・歯科医師・看護師」が26.0%と最も多く、次いで「地域包括支援センター・役所」が11.8%、「社会福祉協議会・民生委員」が9.8%となっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「社会福祉協議会・民生委員」が多くなっています。

家族構成でみると、1人暮らしは他の家族構成より「社会福祉協議会・民生委員」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「そのような人はいない」が3.7ポイント多くなっています。



	看護 師・ 歯 科 医 師・ 看 護 師	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー・ 役 所	民 生 委 員 ・ 社 会 福 祉 協 議 会	老 人 ク ラ ブ ・ 町 内 会 ・ 自 治 会	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	そ の 他	そ の よ う な 人 は い ない	無 回 答
全体 (n=2,143)	26.0	11.8	9.8	5.1	4.9	4.2	46.4	7.5
前回調査 (R2) (n=2,008)	26.3	13.2	10.0	5.0	4.7	4.8	42.7	10.0
男性 (n=921)	23.6	9.1	9.1	6.3	3.8	4.6	52.2	5.9
女性 (n=1,178)	27.7	14.2	10.3	4.3	5.6	4.0	42.4	8.6
前期高齢者 (~74歳) (n=991)	23.7	11.3	6.4	3.6	3.5	5.0	53.9	4.5
後高齢者期 (75歳以上) (n=1,132)	28.2	12.5	12.6	6.5	5.8	3.6	40.1	9.8
七宝地区 (n=566)	27.4	12.5	11.1	5.7	5.7	3.9	44.7	8.0
美和地区 (n=672)	26.0	11.9	10.9	6.1	4.9	4.2	44.5	7.0
菟目寺地区 (n=887)	25.4	11.5	7.9	4.2	4.2	4.6	49.2	7.2
1人暮らし (n=352)	19.6	13.6	14.5	3.1	5.1	3.4	46.0	9.4
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=879)	28.9	14.2	10.0	5.1	4.8	3.4	46.8	6.4
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=95)	28.4	8.4	4.2	8.4	1.1	9.5	41.1	7.4
息子・娘との2世帯 (n=380)	29.2	9.2	7.9	6.3	4.2	4.2	43.7	8.4

### 7-3 友人関係について

問 48 友人関係についておうかがいします。

#### (1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

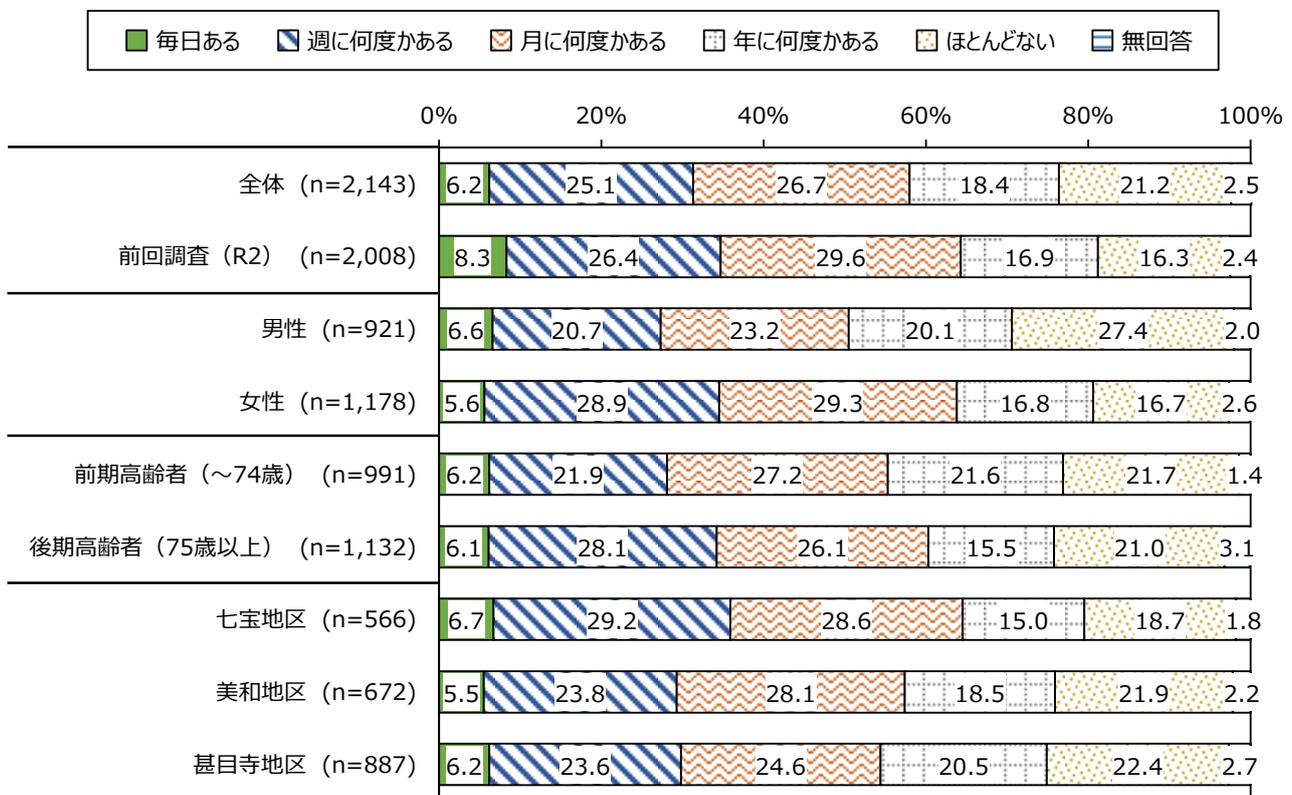
◆ 「ほとんどない」が約2割

友人・知人と会う頻度について、「月に何度かある」が26.7%と最も多く、次いで「週に何度かある」が25.1%、「年に何度かある」が18.4%となっています。一方で、「ほとんどない」は21.2%となっています。

性別で見ると、女性のほうが「週に何度かある」、「月に何度かある」が多くなっています。

年代別で見ると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「週に何度かある」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「ほとんどない」が4.9ポイント多くなっています。



(2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(〇は1つ)

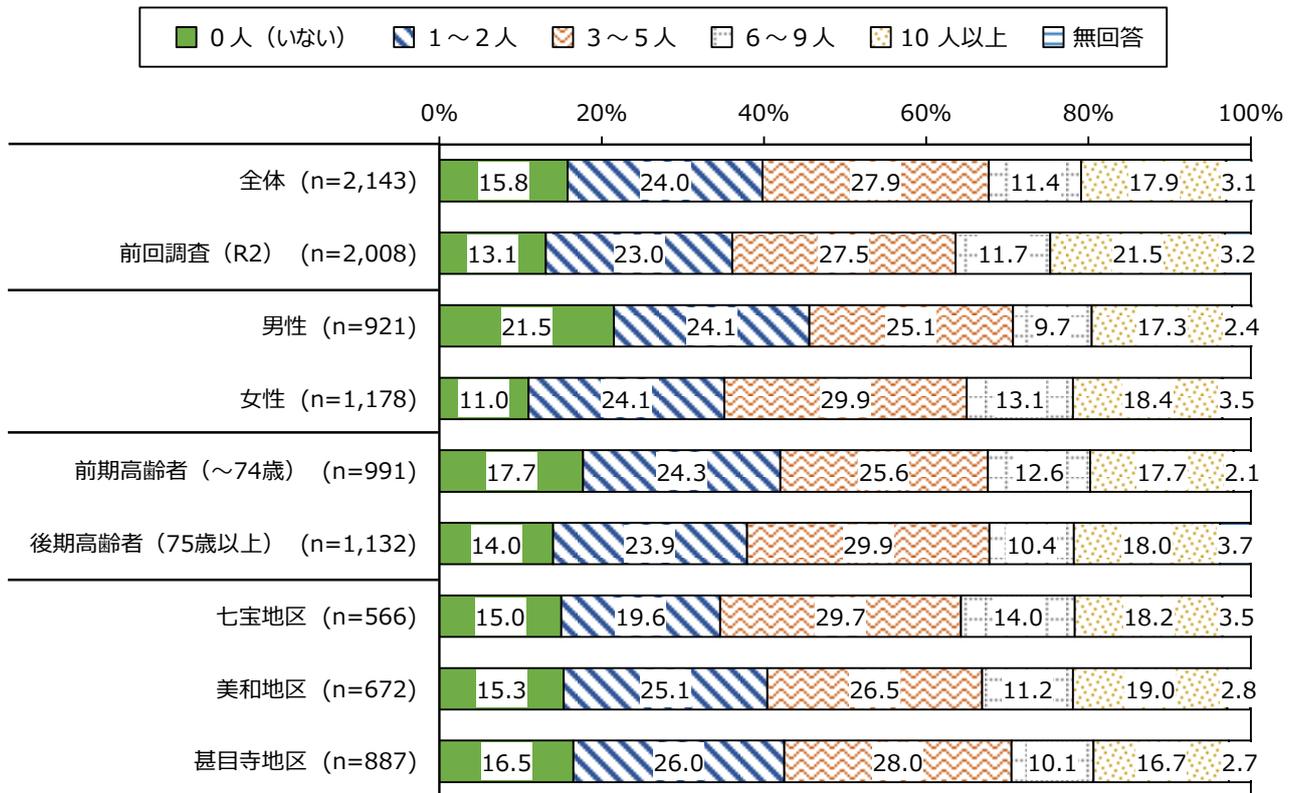
◆ 「0人 (いない)」が約2割

1か月間に会った友人・知人の数について、「3～5人」が27.9%と最も多く、次いで「1～2人」が24.0%、「10人以上」が17.9%となっています。

性別で見ると、男性のほうが「0人 (いない)」が多くなっています。また、女性では「3～5人」が多くなっています。

年代別で見ると、前期高齢者（～74歳）のほうが「0人 (いない)」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「0人 (いない)」が2.7ポイント多くなっており、「10人以上」が3.6ポイント少なくなっています。



(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

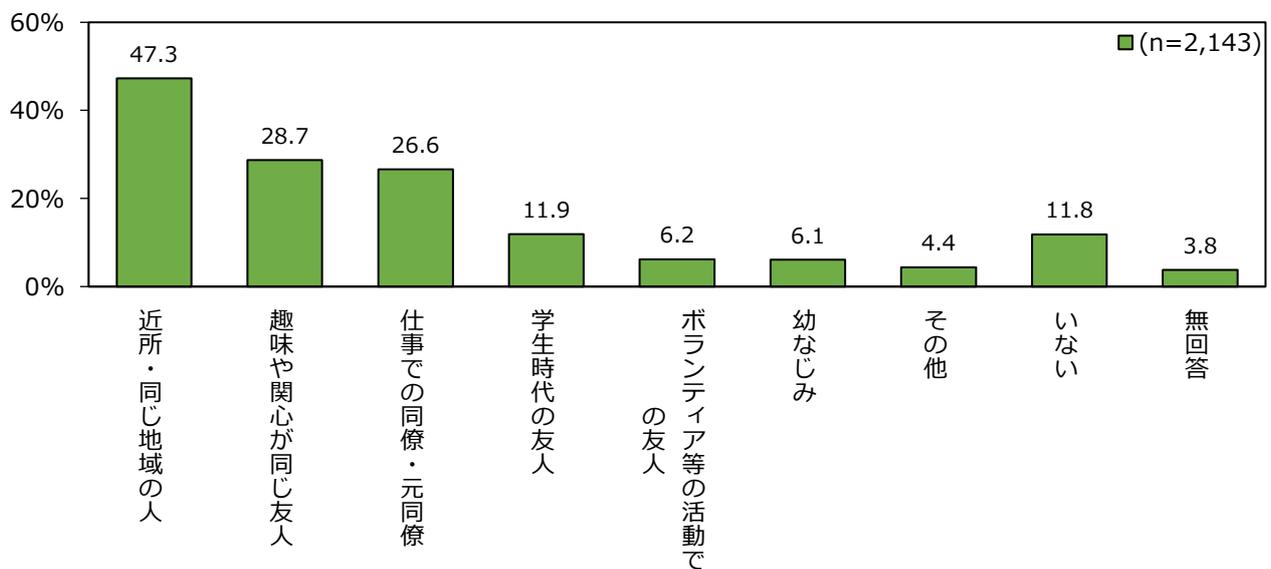
◆ 「近所・同じ地域の人」が約5割

よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が47.3%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が28.7%、「仕事での同僚・元同僚」が26.6%となっています。

性別で比較すると、女性のほうが「近所・同じ地域の人」が20ポイント以上多くなっています。また、「趣味や関心が同じ友人」も多くなっています。男性では「仕事での同僚・元同僚」が多くなっています。

年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「近所・同じ地域の人」が10ポイント以上多くなっています。前期高齢者（～74歳）では「仕事での同僚・元同僚」が15ポイント以上多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「いない」が2.5ポイント多くなっており、「仕事での同僚・元同僚」が3.9ポイント少なくなっています。



	人近所・同じ地域の	友趣味や関心が同じ	同仕事での同僚・元	学生時代の友人	活動でのボランティア等の	幼なじみ	その他	いない	無回答
全体 (n=2,143)	47.3	28.7	26.6	11.9	6.2	6.1	4.4	11.8	3.8
前回調査 (R2) (n=2,008)	49.2	32.2	30.5	13.0	6.2	7.7	4.9	9.3	3.1
男性 (n=921)	36.3	25.6	31.6	11.7	6.8	7.2	4.3	16.0	3.8
女性 (n=1,178)	56.5	31.2	22.3	12.1	5.8	5.2	4.4	8.7	3.5
前期高齢者（～74歳） (n=991)	40.2	29.1	35.7	15.4	5.8	5.8	4.2	12.5	2.4
後高齢者期（75歳以上） (n=1,132)	54.1	28.4	18.6	8.9	6.7	6.3	4.6	11.2	4.9
七宝地区 (n=566)	54.6	28.1	23.9	12.5	7.6	6.2	5.7	11.1	3.7
美和地区 (n=672)	46.9	30.2	26.5	11.8	6.1	6.4	4.0	11.2	3.9
甚目寺地区 (n=887)	43.9	28.1	28.4	11.8	5.4	5.5	3.9	12.7	3.6

## 8) 健康について

### 8-1 現在の健康状態

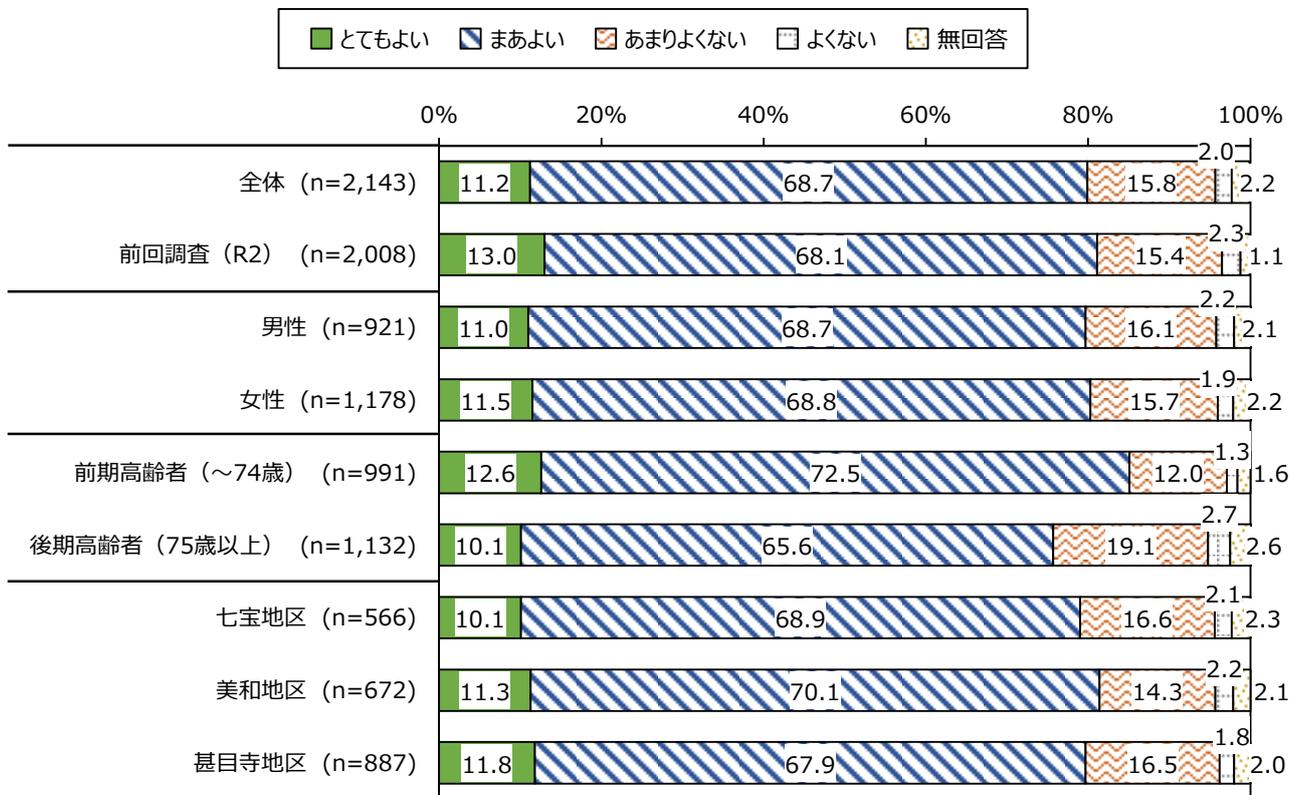
問 49 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

#### ◆ “健康状態はよくない” 人が約2割

現在の健康状態について、「まあよい」が68.7%と最も多く、「とてもよい」の11.2%と合わせた“健康状態がよい”と回答した人は79.9%となっています。一方で、「あまりよくない」の15.8%と「よくない」の2.0%を合わせた“健康状態はよくない”人は17.8%となっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（～74歳）のほうが“健康状態がよい”が10ポイント程度多くなっています。

前回調査と比較しても大きな変化はみられません。



## 8-2 現在の幸福度

問 50 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）。(○は1つ)

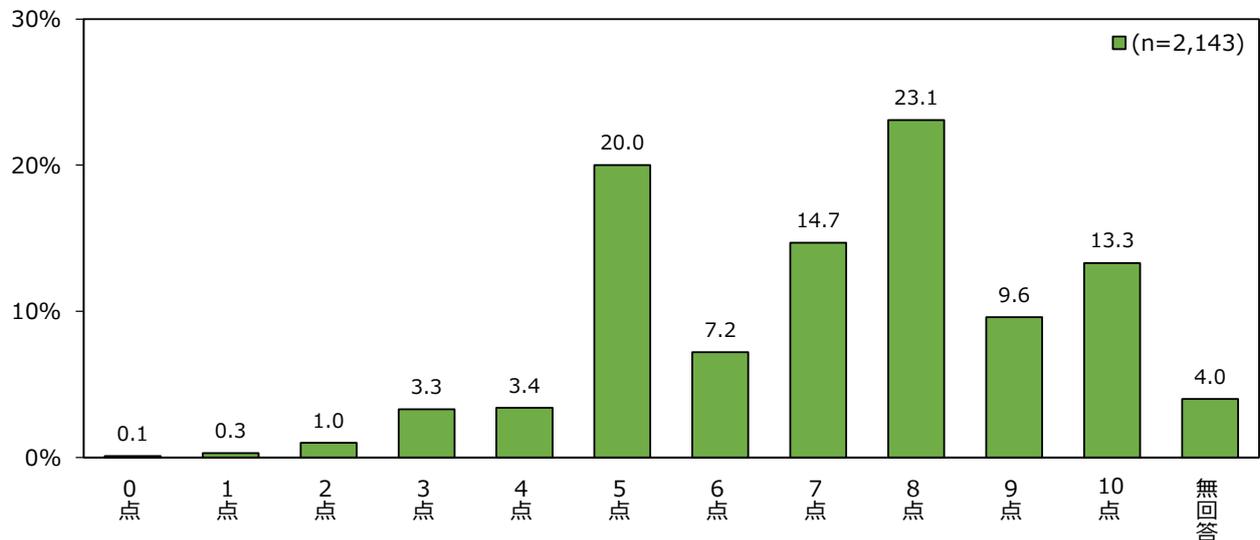
### ◆ 10点満点中、「5点」以上が約9割

現在の幸福度について、「0点（とても不幸）」から「10点（とても幸せ）」の中でどの程度幸せか採点をしていただいたところ、「8点」が23.1%と最も多く、次いで「5点」が20.0%、「7点」が14.7%となっています。また、「5点」以上の点数を回答した人が87.9%となっています。

性別でみると、男性は女性より「5点」が多く、女性は男性より「8点」が多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「8点」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「10点」が2.7ポイント少なくなっています。



	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体 (n=2,143)	0.1	0.3	1.0	3.3	3.4	20.0	7.2	14.7	23.1	9.6	13.3	4.0
前回調査 (R2) (n=2,008)	0.5	0.2	0.9	2.0	3.0	19.9	7.6	14.2	23.1	10.1	16.0	2.4
男性 (n=921)	0.1	0.3	1.3	4.3	4.2	22.4	8.4	15.6	20.4	7.3	11.8	3.8
女性 (n=1,178)	0.2	0.3	0.7	2.5	2.7	17.7	6.3	14.4	25.6	11.4	14.3	4.0
前期高齢者（～74歳） (n=991)	0.2	0.1	1.0	3.8	3.9	18.5	7.8	16.8	23.9	9.9	11.5	2.6
後期高齢者（75歳以上） (n=1,132)	0.1	0.5	1.0	2.7	2.9	21.0	6.6	13.2	22.7	9.5	14.8	5.0
七宝地区 (n=566)	0.2	0.2	0.9	3.0	2.8	20.5	7.2	15.4	22.3	9.7	12.7	5.1
美和地区 (n=672)	0.0	0.7	0.6	2.7	2.2	20.7	8.0	14.4	24.0	9.8	13.4	3.4
菟目寺地区 (n=887)	0.2	0.1	1.4	3.9	4.6	18.8	6.5	14.8	23.3	9.5	13.4	3.4

### 8-3 精神状態について

問 51 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。  
(○は1つ)

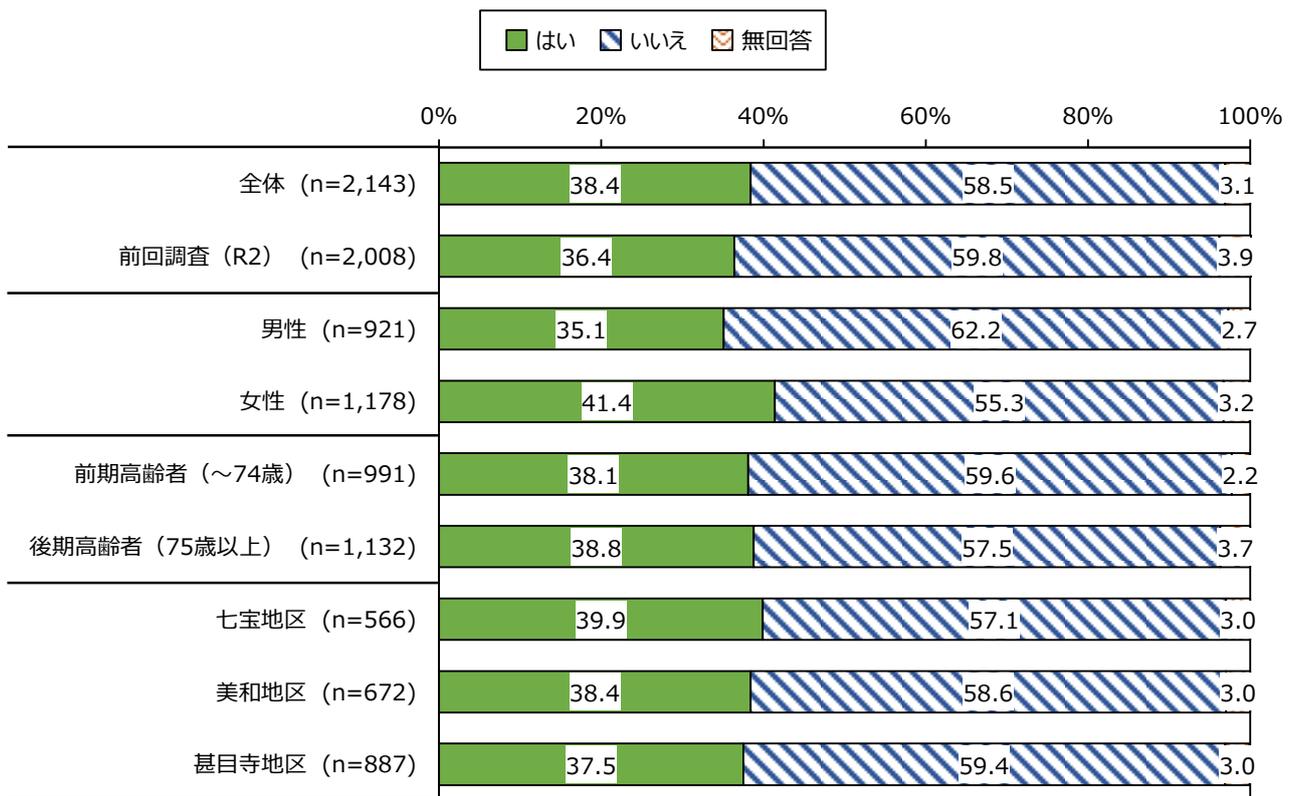
◆ 気分が沈んだりすることがあった人が約4割

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が38.4%、「いいえ」が58.5%となっています。

性別でみると、女性のほうが「はい」が多くなっています。

年代別で比較しても大きな差はみられません。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「はい」が2.0ポイント多くなっています。



### 8-4 物事への興味等について

問 52 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

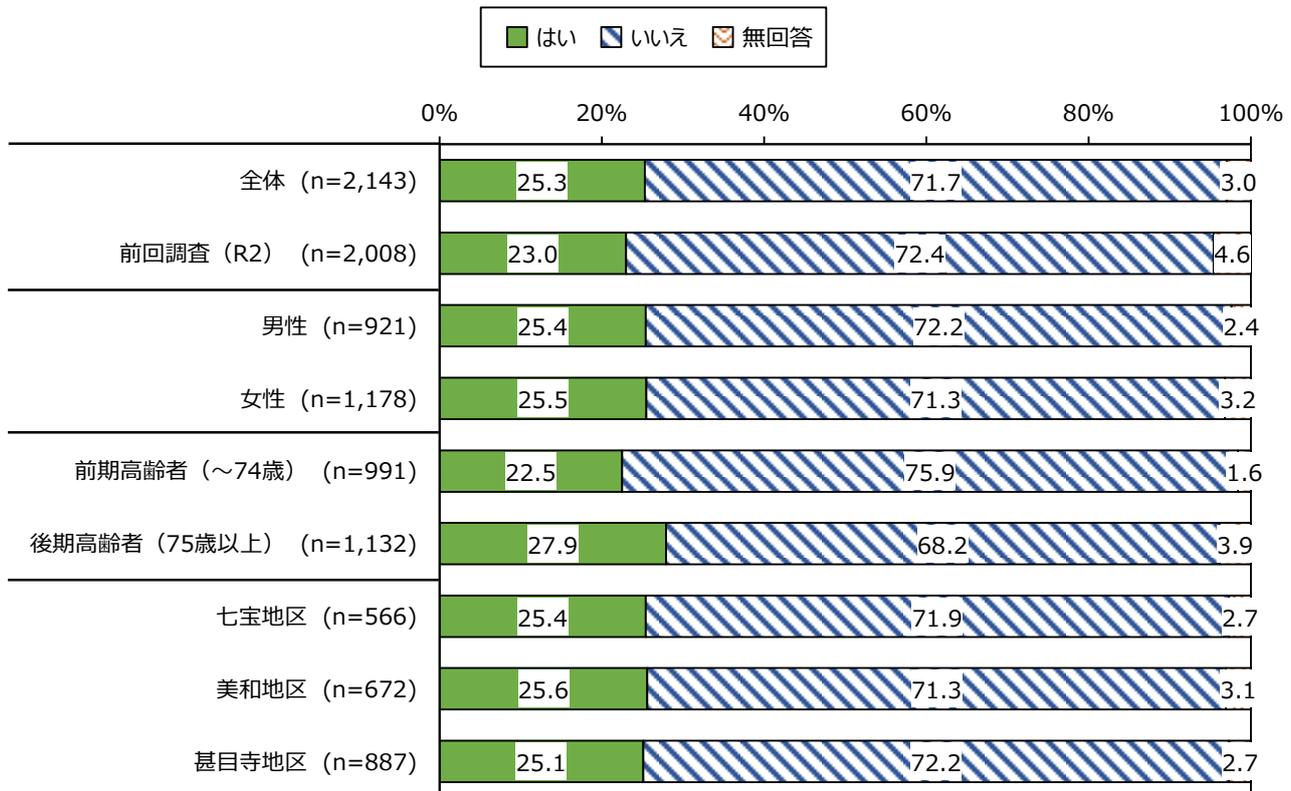
◆ 物事への興味がわからないことがあった人が約3割

物事に対する興味がわからなかったり、心から楽しめない感じがよくあったかについて、「はい」が25.3%、「いいえ」が71.7%となっています。

性別で比較しても大きな差は見られません。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「はい」が2.3ポイント多くなっています。



### 8-5 飲酒習慣の有無

問 53 お酒は飲みますか。(○は1つ)

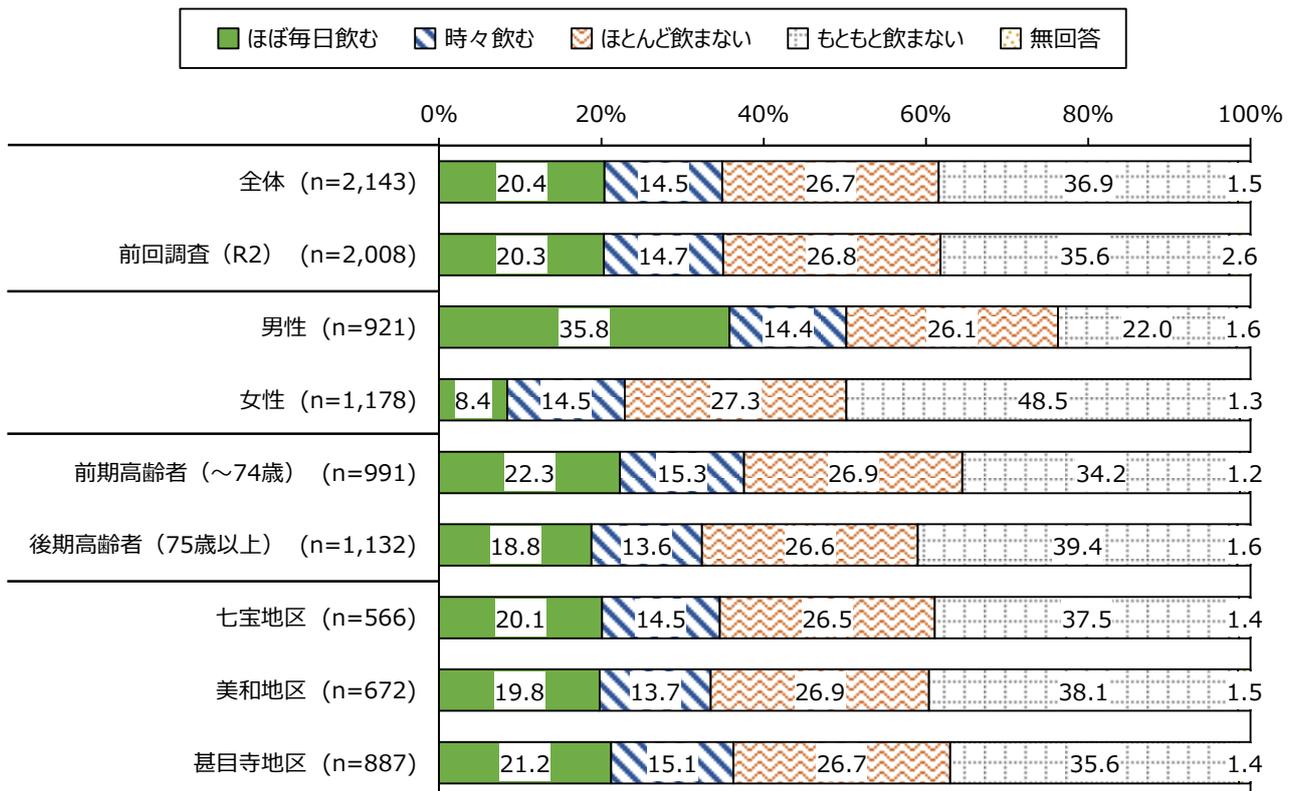
◆ 「ほぼ毎日飲む」が約2割

飲酒の習慣について、「もともと飲まない」が36.9%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が26.7%、「ほぼ毎日飲む」が20.4%、「時々飲む」が14.5%となっています。

性別で比較すると、男性のほうが「ほぼ毎日飲む」が25ポイント以上多くなっています。女性では「もともと飲まない」が25ポイント以上多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「ほぼ毎日飲む」が多くなっています。

前回調査と比較しても大きな変化はみられません。



### 8-6 喫煙習慣の有無

問 54 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

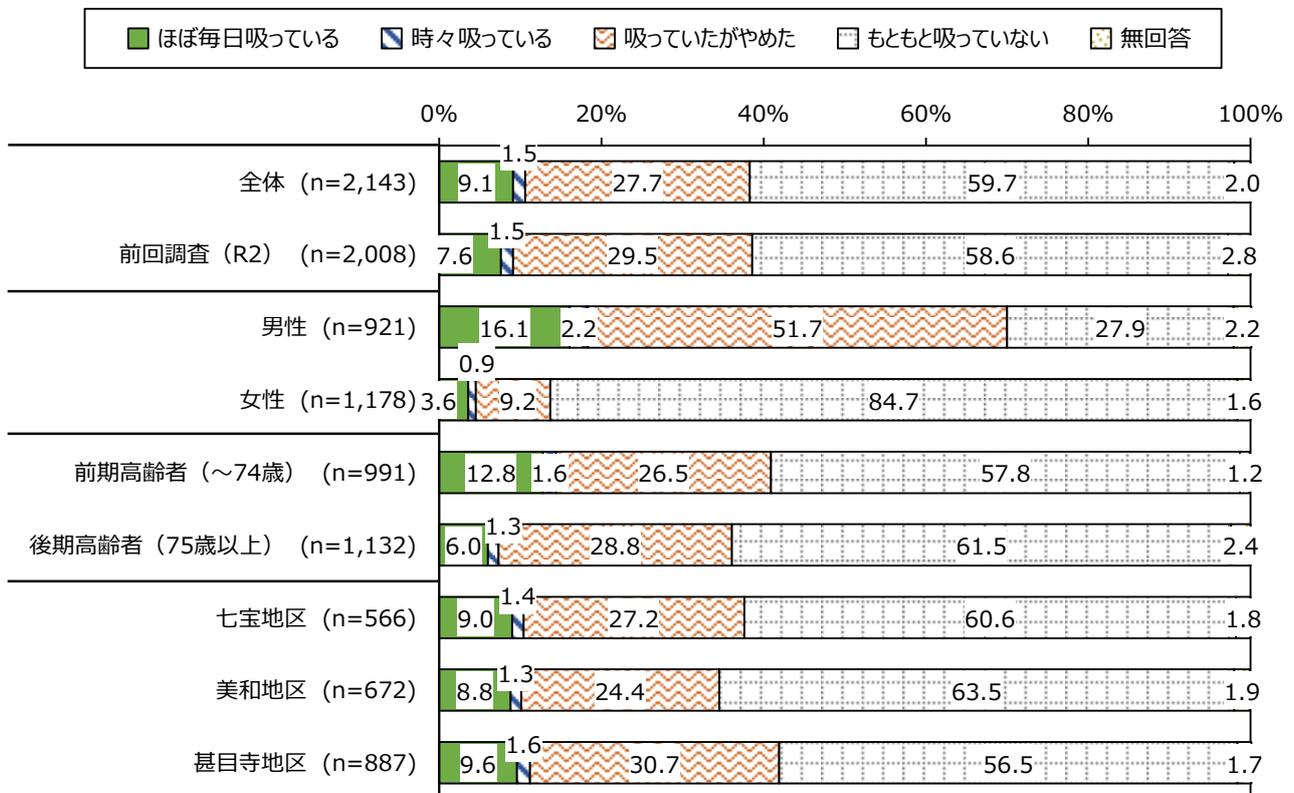
◆ “吸っている” が約1割

喫煙の習慣について、「もともと吸っていない」が59.7%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が27.7%となっています。一方で、「ほぼ毎日吸っている」の9.1%、「時々吸っている」の1.5%を合わせた“吸っている”は10.6%となっています。

性別で比較すると、男性のほうが「ほぼ毎日吸っている」が16.1%、「時々吸っている」が2.2%を合わせた“吸っている”は18.3%となっており、女性の“吸っている”4.5%に比べ13.8ポイント多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「ほぼ毎日吸っている」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが“吸っている”が1.5ポイント多くなっています。



### 8-7 聴力について

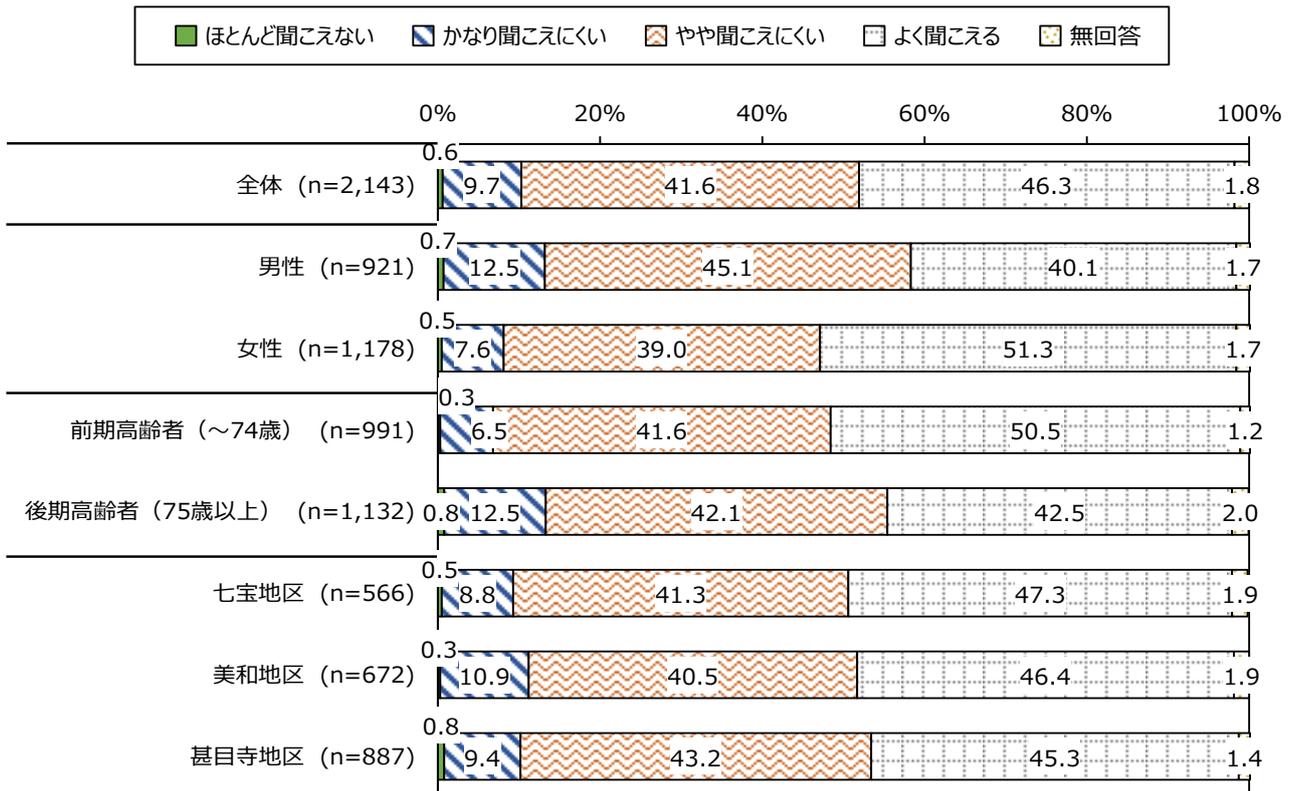
問 55 自分の聴力についてどのように感じますか。(○は1つ)

◆ “聞こえにくい” が約5割

自分の聴力について、「よく聞こえる」が46.3%と最も多く、次いで「やや聞こえにくい」が41.6%となっています。また、「かなり聞こえにくい」の9.7%と「やや聞こえにくい」の41.6%を合わせた“聞こえにくい”は51.3%、「ほとんど聞こえない」が0.6%、となっています。

性別で比較すると、女性のほうが「よく聞こえる」が10ポイント以上多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「よく聞こえる」が多くなっています。



### 8-8 聴力について

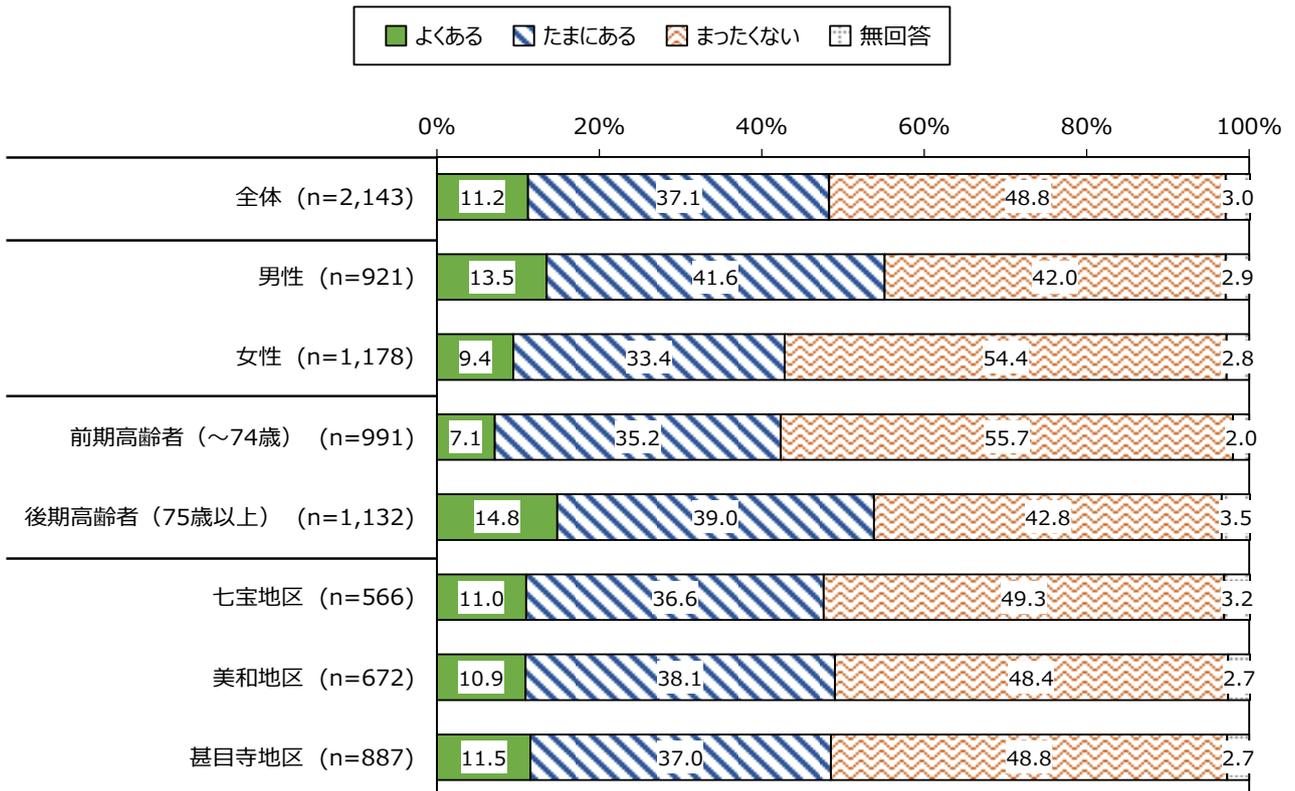
問 56 耳の聞こえが悪いといわれることがありますか。(○は1つ)

◆ “聞こえが悪いといわれたことがある” が約5割

耳の聞こえが悪いといわれることについて、「まったくない」が48.8%と最も多く、次いで「たまにある」が37.1%、「よくある」が11.2%となっています。

性別で比較すると、女性のほうが「まったくない」が10ポイント以上多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「まったくない」が多くなっています。



### 8-9 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師について

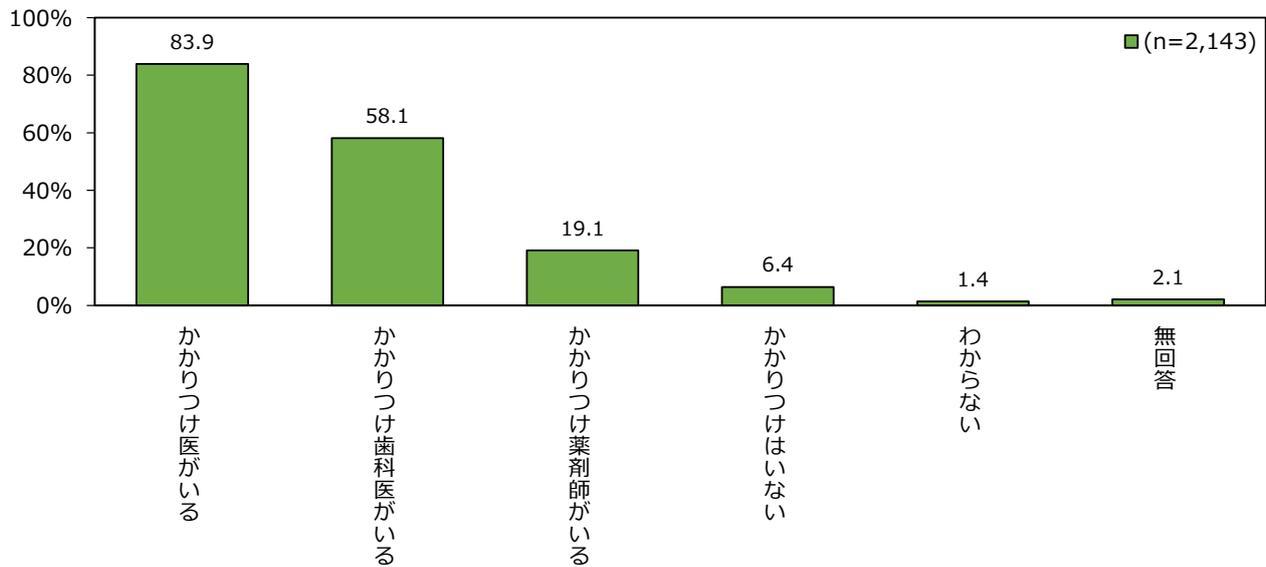
問 57 かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(○はいくつでも)

◆ 「かかりつけ医がいる」が約8割

かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師について、「かかりつけ医がいる」が 83.9%と最も多く、次いで「かかりつけ歯科医がいる」が 58.1%、「かかりつけ薬剤師がいる」が 19.1%となっています。

性別でみると、女性のほうが「かかりつけ医がいる」、「かかりつけ歯科医がいる」、「かかりつけ薬剤師がいる」のいずれも多くなっています。

年代でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「かかりつけ医がいる」が多くなっています。



	るか かり つけ 医が い	が か い り つ け 歯 科 医	が か い り つ け 薬 剤 師	い か り つ け は い な	わ か ら な い	無 回 答
全体 (n=2,143)	83.9	58.1	19.1	6.4	1.4	2.1
男性 (n=921)	83.9	52.2	16.5	6.7	1.8	2.2
女性 (n=1,178)	84.3	62.8	21.5	6.1	0.8	1.9
前期高齢者（～74歳） (n=991)	80.4	58.1	18.2	8.3	1.7	1.3
後期高齢者（75歳以上） (n=1,132)	87.4	58.4	20.3	4.8	1.1	2.6
七宝地区 (n=566)	88.2	59.9	15.9	3.7	0.9	1.6
美和地区 (n=672)	84.4	60.1	18.5	6.1	1.3	2.4
菟目寺地区 (n=887)	81.4	56.0	22.1	8.2	1.7	1.9

### 8-10 治療中または後遺症のある病気について

問 58 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

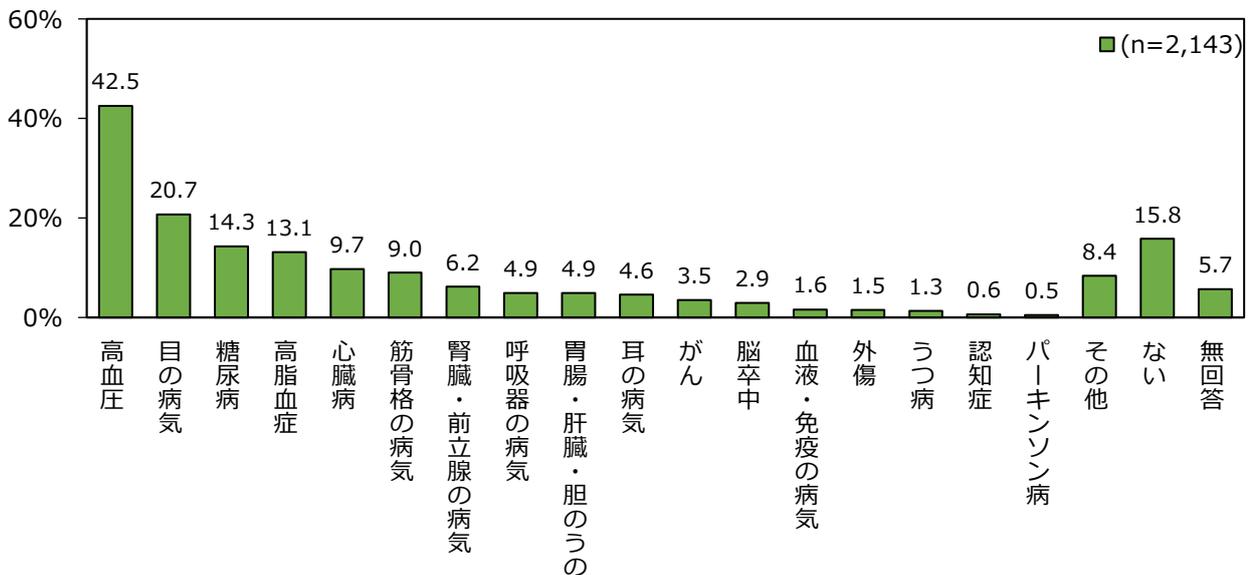
◆ 「高血圧」が約4割、「目の病気」が約2割

治療中または後遺症のある病気について、「高血圧」が42.5%と最も多く、次いで「目の病気」が20.7%、「糖尿病」が14.3%、「高脂血症」が13.1%、「心臓病」が9.7%となっています。また、治療中または後遺症のある病気は「ない」が(15.8%)となっています。

性別でみると、男性は「腎臓・前立腺の病気」が多く、女性は「筋骨格の病気」が多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者(～74歳)のほうが「高脂血症」が多く、後期高齢者(75歳以上)のほうが「高血圧」、「心臓病」が多くなっています。

前回調査と比較しても大きな変化はみられません。



	高血圧	目の病気	糖尿病	高脂血症	心臓病	筋骨格の病気	腎臓・前立腺の病気	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	耳の病気	がん	脳卒中	血液・免疫の病気	外傷	うつ病	認知症	パーキンソン病	その他	ない	無回答
全体 (n=2,143)	42.5	20.7	14.3	13.1	9.7	9.0	6.2	4.9	4.9	4.6	3.5	2.9	1.6	1.5	1.3	0.6	0.5	8.4	15.8	5.7
前回調査 (R2) (n=2,008)	42.2	21.1	13.3	12.0	8.9	8.5	6.5	5.1	5.2	5.9	3.9	2.8	1.5	2.8	1.6	0.5	0.4	7.6	15.6	7.8
男性 (n=921)	43.1	17.7	16.0	10.4	13.7	3.5	11.9	6.2	5.1	4.9	3.8	4.1	1.7	1.1	1.1	0.9	0.7	9.6	15.5	4.6
女性 (n=1,178)	42.1	23.0	13.2	15.3	6.4	13.4	1.8	4.1	4.9	4.2	3.4	1.9	1.5	2.0	1.4	0.4	0.3	7.6	16.2	6.4
前期高齢者(～74歳) (n=991)	37.7	18.9	13.6	15.2	6.4	7.6	4.7	4.0	3.9	3.6	3.7	2.0	1.5	0.6	1.3	0.1	0.2	9.2	21.2	4.1
後高齢者期(75歳以上) (n=1,132)	46.7	22.3	14.9	11.2	12.7	10.1	7.4	5.7	5.9	5.4	3.4	3.7	1.7	2.4	1.2	1.1	0.7	7.9	11.1	6.8
七宝地区 (n=566)	45.4	19.6	14.7	14.8	9.4	7.2	7.1	4.1	6.0	4.2	3.5	3.7	1.4	2.1	1.1	0.4	0.4	7.1	13.3	5.8
美和地区 (n=672)	41.2	21.9	12.2	15.3	10.0	9.2	6.8	5.7	4.6	4.3	2.8	3.3	1.8	1.8	1.2	1.0	0.6	10.6	17.7	4.9
菟目寺地区 (n=887)	41.6	20.5	15.6	10.4	9.8	9.9	5.1	5.0	4.6	5.0	4.2	2.1	1.6	1.0	1.6	0.5	0.5	7.7	16.1	5.9

## 9) 地域でのたすけあいについて

### 9-1 手伝ってもらったら助かること

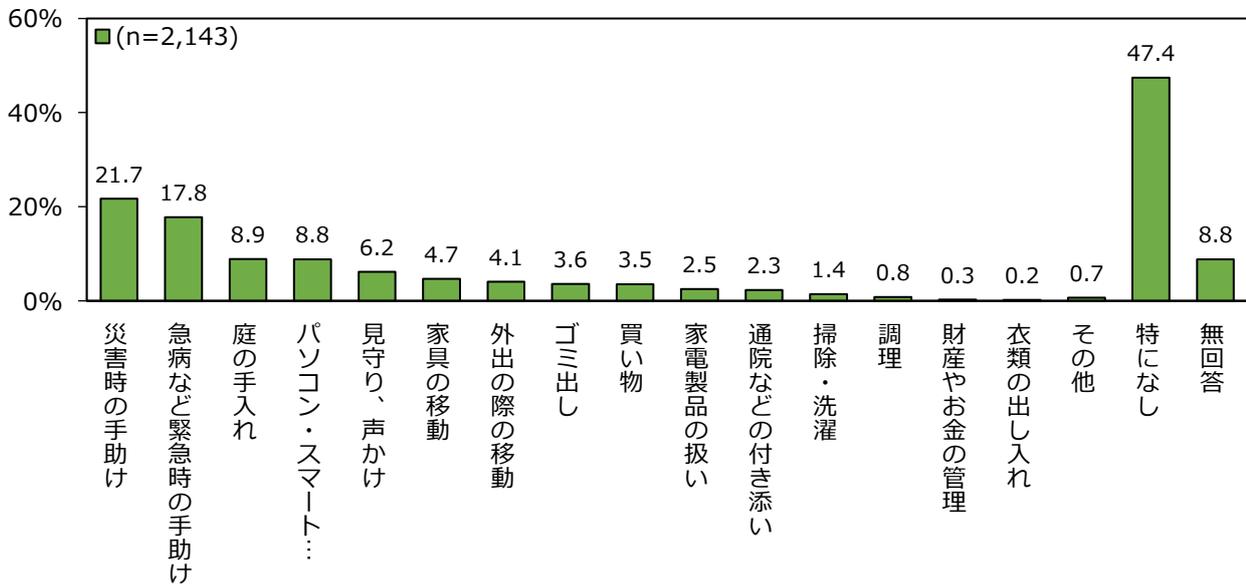
問 59 地域で手伝ってもらったらたすかと思うことはありますか。(○は3つまで)

#### ◆ 「災害時の手助け」が約2割

手伝ってもらったら助かることについて、「災害時の手助け」が21.7%と最も多く、次いで「急病など緊急時の手助け」が17.8%、「庭の手入れ」が8.9%、「パソコン・スマートフォン等の操作」が8.8%となっています。

性別で見ると、男性のほうが「パソコン・スマートフォン等の操作」が多く、女性のほうが「急病など緊急時の手助け」が多くなっています。

年代別で見ると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「急病など緊急時の手助け」が多くなっています。



	災害時の手助け	急病など緊急時の手助け	庭の手入れ	パソコン等の操作	見守り、声かけ	家具の移動	外出の際の移動	ゴミ出し	買い物	家電製品の扱い	通院などの付き添い	掃除・洗濯	調理	財産やお金の管理	衣類の出し入れ	その他	特になし	無回答
全体 (n=2,143)	21.7	17.8	8.9	8.8	6.2	4.7	4.1	3.6	3.5	2.5	2.3	1.4	0.8	0.3	0.2	0.7	47.4	8.8
男性 (n=921)	21.8	15.7	7.2	10.9	6.0	3.5	2.9	3.4	1.5	2.1	1.6	1.6	0.9	0.4	0.1	0.7	51.0	7.5
女性 (n=1,178)	21.9	19.4	10.3	7.4	6.6	5.5	5.0	3.8	4.9	2.9	2.8	1.1	0.8	0.2	0.2	0.7	44.5	9.7
前期高齢者 (~74歳) (n=991)	22.5	14.9	8.3	9.7	5.3	4.0	3.0	2.1	2.1	1.8	1.2	0.9	0.4	0.2	0.0	0.3	55.4	4.6
後高齢者期 (75歳以上) (n=1,132)	21.0	20.2	9.5	8.1	7.1	5.3	5.1	4.9	4.5	3.1	3.3	1.6	1.2	0.4	0.3	1.0	40.5	12.3
七宝地区 (n=566)	21.9	15.2	8.3	8.7	6.9	4.6	4.4	3.9	3.2	3.0	2.7	1.4	1.6	0.5	0.2	1.1	46.8	9.0
美和地区 (n=672)	21.0	17.9	9.4	9.1	5.7	4.0	4.6	3.3	3.3	2.4	2.8	1.0	0.6	0.3	0.0	0.4	47.6	9.4
菟目寺地区 (n=887)	22.2	19.3	9.0	8.8	6.3	5.3	3.6	3.6	3.7	2.3	1.7	1.5	0.6	0.1	0.2	0.6	47.6	8.1

## 10) 認知症について

### 10-1 認知症の症状や家族に認知症の症状がある人

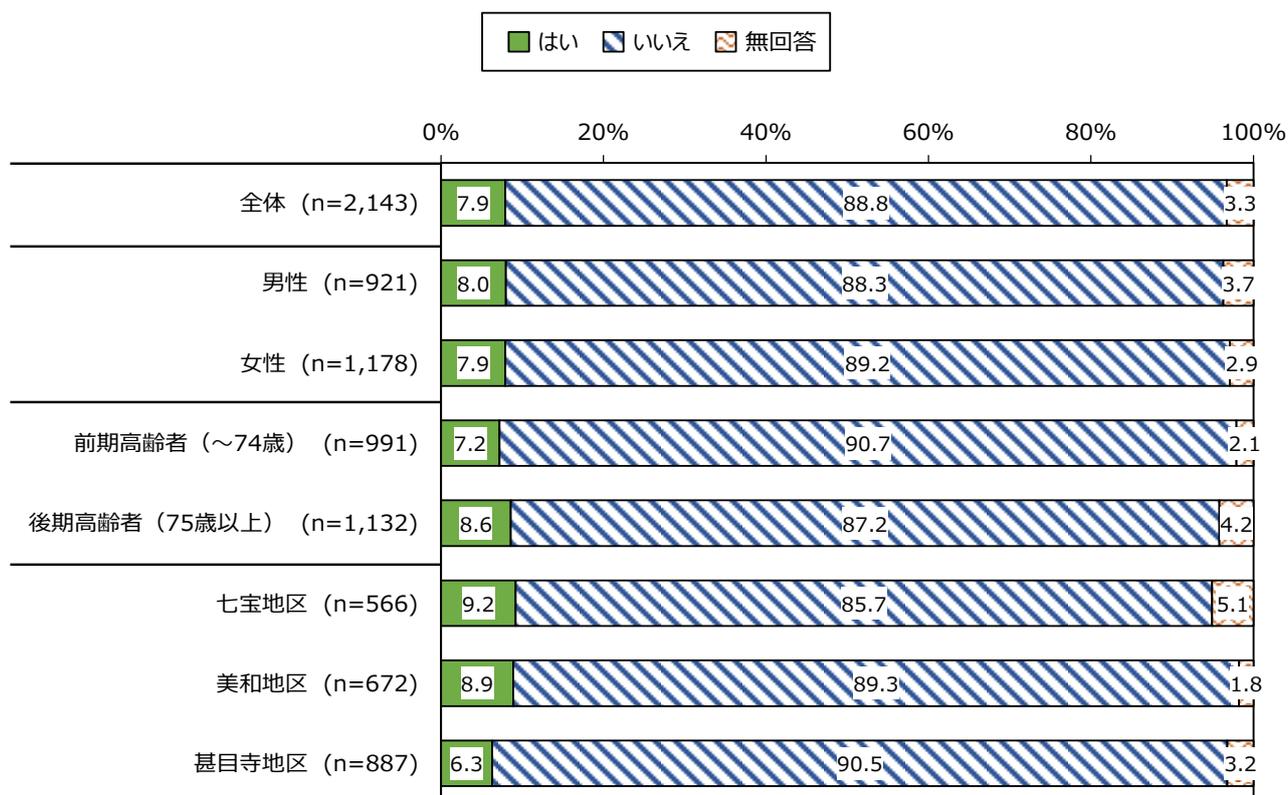
問 60 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

◆ 認知症の症状や家族に認知症の症状がある人が約1割

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人について、「はい」が7.9%、「いいえ」が88.8%となっています。

性別で比較しても大きな差は見られません。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「はい」が多くなっています。



## 10-2 認知症に関する相談窓口について

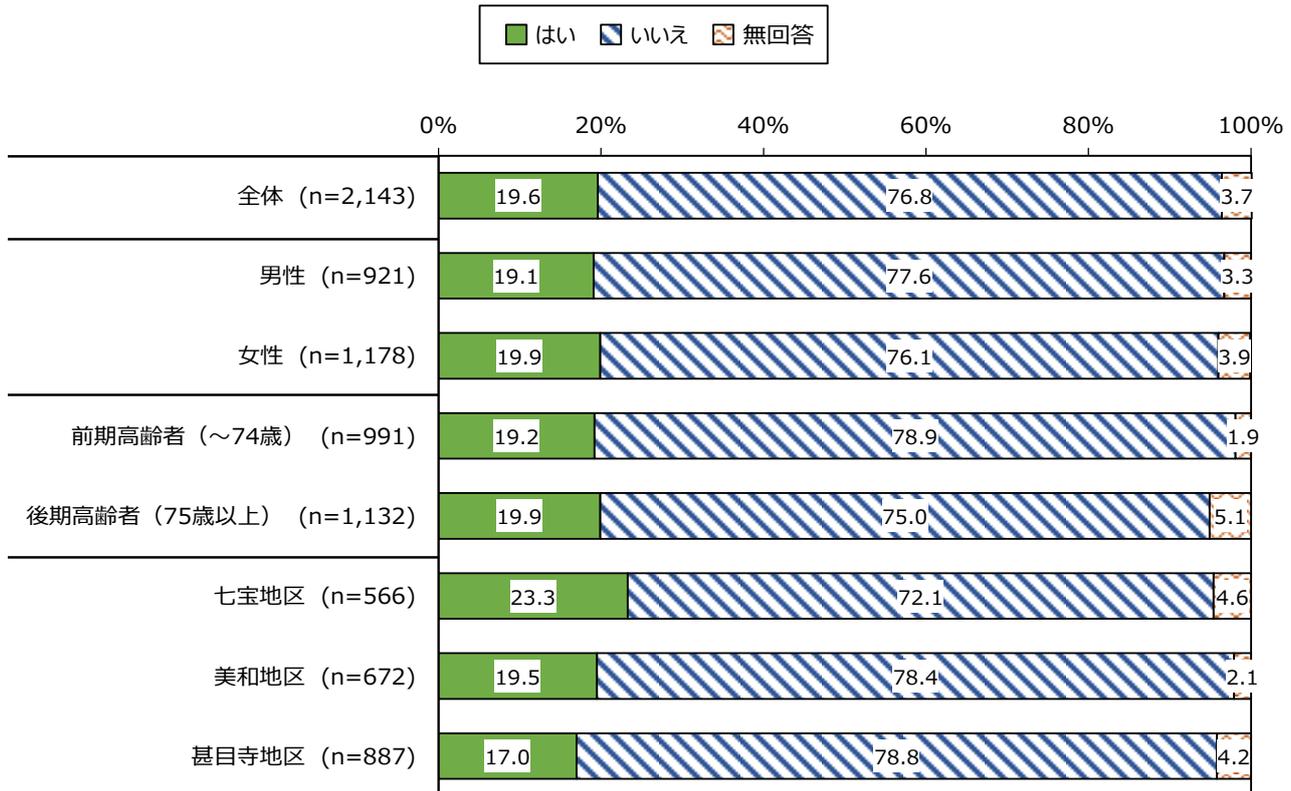
問 61 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

### ◆ 認知症に関する相談窓口を知らない人が約8割

認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が19.6%、「いいえ」が76.8%となっています。

性別で比較しても大きな差は見られません。

年代別で比較しても大きな差はみられません。



### 10-3 認知症サポーターについて

問 62 認知症サポーターを知っていますか。(○は1つ)

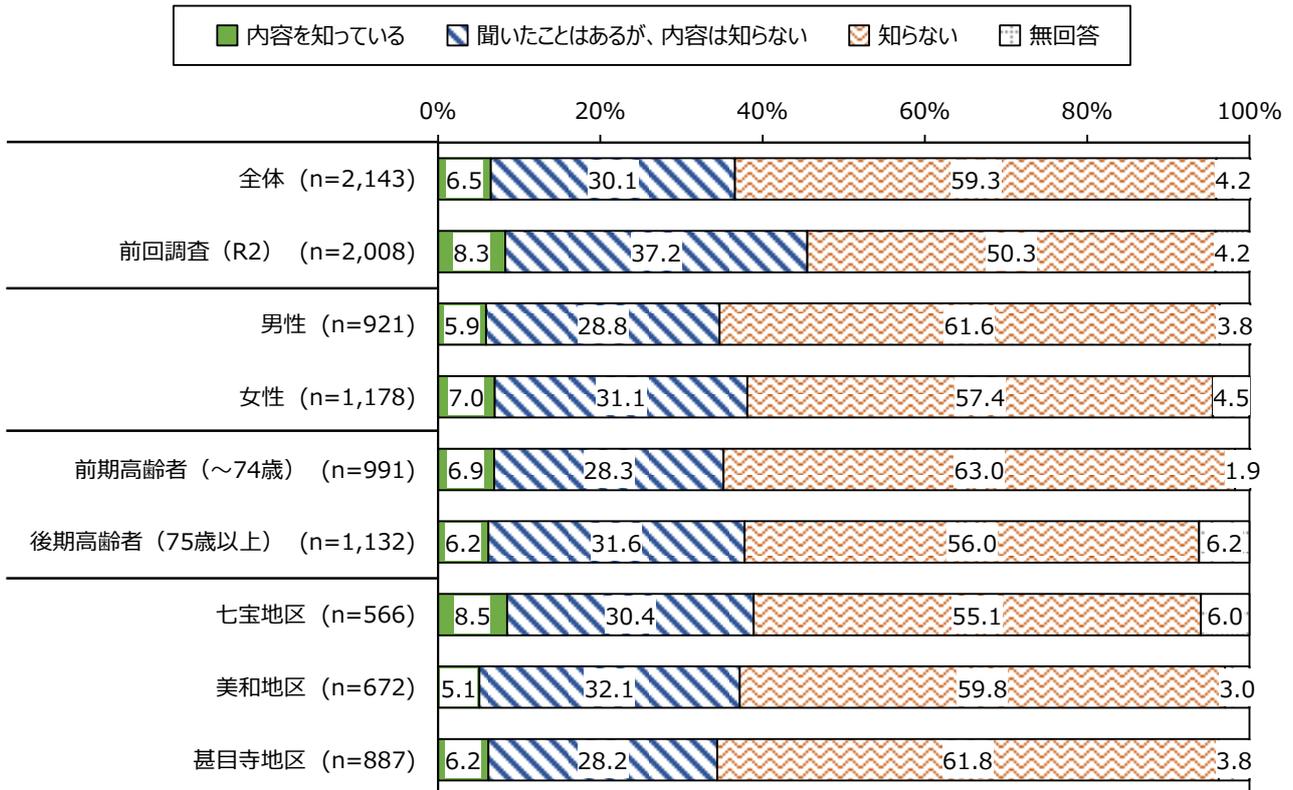
◆ 「知らない」が約6割

認知症サポーターの認知度について、「知らない」が59.3%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が30.1%となっています。「内容を知っている」は6.5%となっています。

性別でみると、男性のほうが「知らない」が多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「知らない」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「知らない」が9.0ポイント多くなっています。



10-4 認知症になっても安心して暮らすために必要なこと

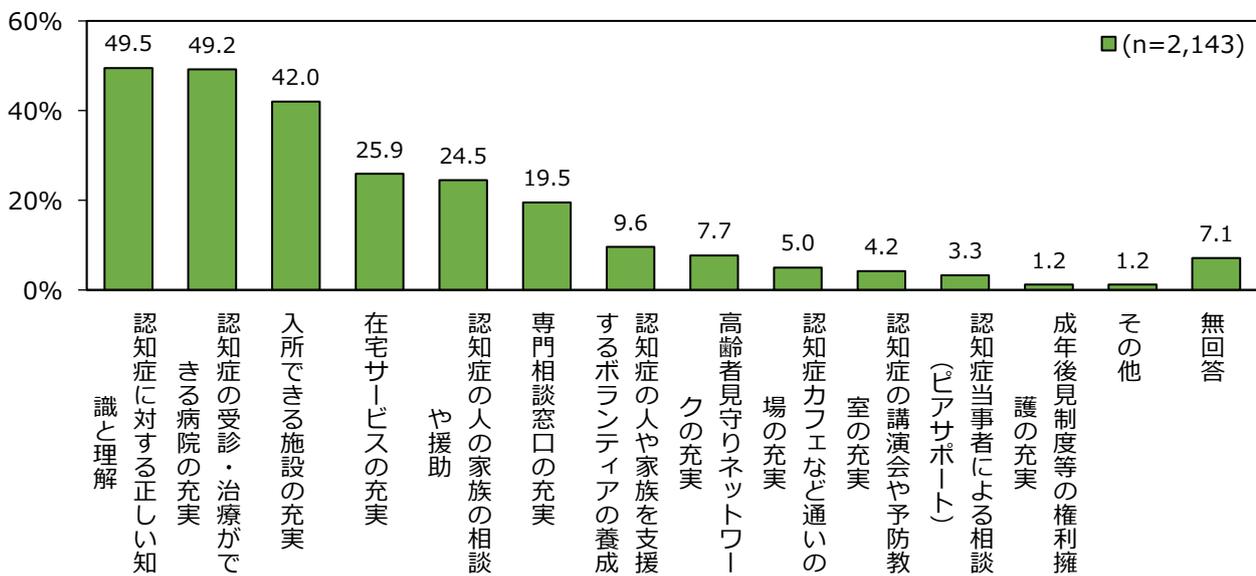
問 63 認知症になっても安心して暮らしていくために、あなたが必要だと思うことは何ですか。  
(〇は3つまで)

◆ 「認知症に対する正しい知識と理解」が約5割

認知症になっても安心して暮らすために必要なことについて、「認知症に対する正しい知識と理解」が49.5%と最も多く、次いで「認知症の受診・治療ができる病院の充実」が49.2%、「入所できる施設の充実」が42.0%となっています。

性別でみると、男性のほうが「在宅サービスの充実」が多く、女性のほうが「認知症の人の家族の相談や援助」が多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「認知症の人の家族の相談や援助」が多くなっています。



	認知症に対する正しい知識と理解	認知症の受診・治療ができる病院の充実	入所できる施設の充実	在宅サービスの充実	認知症の人の家族の相談や援助	専門相談窓口の充実	認知症の人や家族を支援するボランティアの養成	高齢者見守りネットワークの充実	認知症カフェなど通いの場の充実	認知症の講演会や予防教室の充実	認知症当事者による相談（ピアサポート）	成年後見制度等の権利擁護の充実	その他	無回答
全体 (n=2,143)	49.5	49.2	42.0	25.9	24.5	19.5	9.6	7.7	5.0	4.2	3.3	1.2	1.2	7.1
男性 (n=921)	49.5	49.6	43.5	30.0	21.2	20.4	8.4	8.5	3.1	4.1	2.4	0.9	1.4	6.4
女性 (n=1,178)	49.1	48.6	40.8	23.1	27.5	19.1	10.7	7.1	6.1	4.2	3.9	1.4	1.0	7.7
前期高齢者（～74歳） (n=991)	50.6	51.4	44.0	28.9	28.5	21.4	10.0	6.9	4.8	4.4	3.5	1.4	0.8	4.0
後高齢者期（75歳以上） (n=1,132)	48.5	47.3	40.4	23.4	21.4	17.8	9.3	8.4	5.2	3.8	3.0	1.0	1.6	9.8
七宝地区 (n=566)	47.7	49.3	42.8	27.6	26.1	18.2	9.9	7.6	3.9	4.2	2.8	1.4	1.1	7.8
美和地区 (n=672)	49.0	52.1	40.9	24.6	25.7	22.0	8.8	7.7	6.4	4.5	3.6	1.0	1.8	6.7
基目寺地区 (n=887)	51.2	47.0	42.4	26.0	22.7	18.4	9.9	7.8	4.7	3.7	3.3	1.1	0.9	6.9

## 11) 介護保険制度および高齢者福祉施策について

### 11-1 地域包括支援センターについて

問 64 あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。(○は1つ)

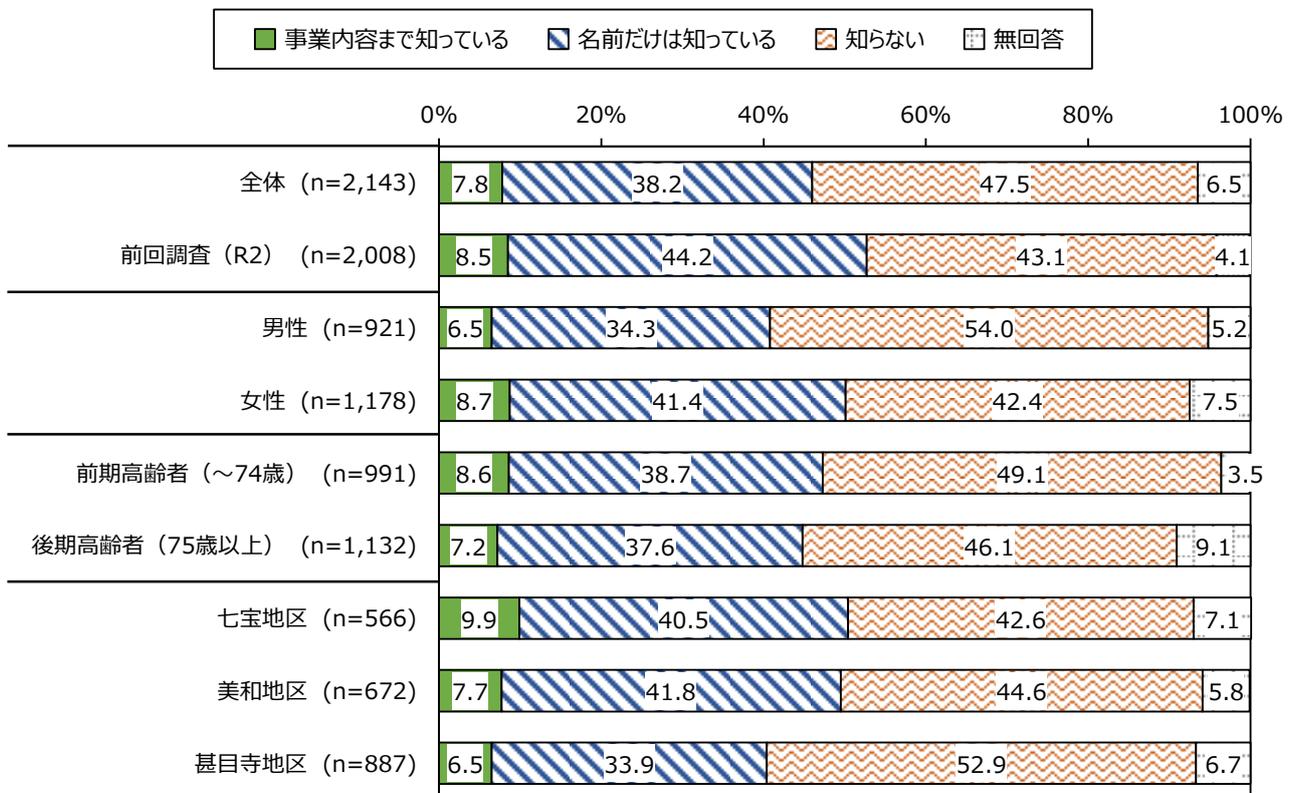
◆ “地域包括支援センターを知らない” が約5割

地域包括支援センターについて、「名前だけは知っている」が 38.2%で、「事業内容まで知っている」の 7.8%と合わせた“地域包括支援センターを知っている”人は 46.0%となっています。一方で、「知らない」が 47.5%となっています。

性別でみると、男性のほうが「知らない」が多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「知らない」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「知らない」が 4.4 ポイント多くなっています。



## 11-2 地域包括支援センターの事業について

問 64 で「事業内容まで知っている」とお答えの方にお聞きます。

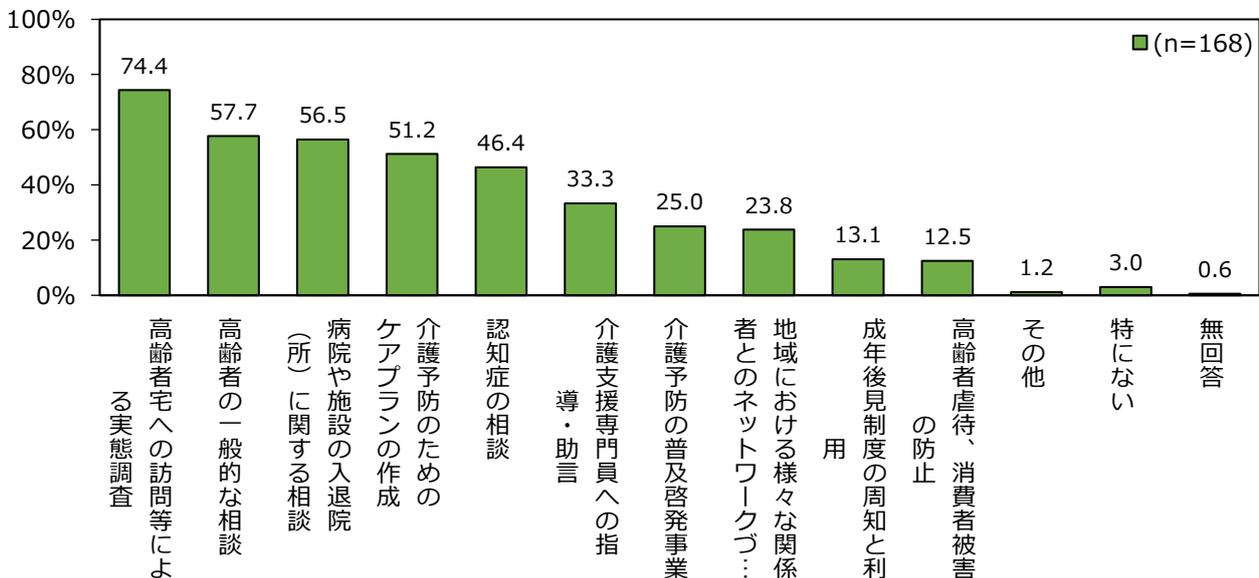
問 64-1 地域包括支援センターでは、さまざまな事業を行っています。あなたは地域包括支援センターが行っている事業の中で、知っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

### ◆ 「高齢者宅への訪問等による実態調査」が約7割

地域包括支援センターの事業で知っているものについて、「高齢者宅への訪問等による実態調査」が 74.4%と最も多く、次いで「高齢者の一般的な相談」が 57.7%、「病院や施設の入退院(所)に関する相談」が 56.5%、「介護予防のためのケアプランの作成」が 51.2%となっています。

性別で比較すると、男性のほうが「介護予防の普及啓発事業」が 25 ポイント以上多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者(～74 歳)のほうが「地域における様々な関係者とのネットワークづくり」、「認知症の相談」が多くなっています。



	高齢者宅への訪問等による実態調査	高齢者の一般的な相談	病院や施設の入退院(所)に関する相談	介護予防のためのケアプランの作成	認知症の相談	介護支援専門員への指導・助言	介護予防の普及啓発事業	地域における様々な関係者とのネットワークづくり	成年後見制度の周知と利用	高齢者虐待、消費者被害の防止	その他	特になし	無回答
全体 (n=168)	74.4	57.7	56.5	51.2	46.4	33.3	25.0	23.8	13.1	12.5	1.2	3.0	0.6
男性 (n=60)	75.0	66.7	50.0	48.3	51.7	35.0	41.7	30.0	20.0	20.0	3.3	3.3	0.0
女性 (n=103)	74.8	52.4	62.1	54.4	44.7	32.0	16.5	20.4	9.7	8.7	0.0	1.9	1.0
前期高齢者(～74歳) (n=85)	78.8	60.0	57.6	52.9	52.9	31.8	27.1	32.9	17.6	12.9	2.4	2.4	0.0
後高齢者期(75歳以上) (n=81)	69.1	55.6	56.8	50.6	40.7	35.8	23.5	14.8	8.6	12.3	0.0	3.7	1.2
七宝地区 (n=56)	69.6	55.4	55.4	42.9	51.8	32.1	19.6	32.1	12.5	12.5	0.0	3.6	1.8
美和地区 (n=52)	71.2	59.6	63.5	61.5	50.0	28.8	26.9	19.2	5.8	11.5	1.9	0.0	0.0
甚目寺地区 (n=58)	81.0	58.6	53.4	51.7	39.7	39.7	29.3	20.7	20.7	13.8	1.7	5.2	0.0

### 11-3 介護予防への関心

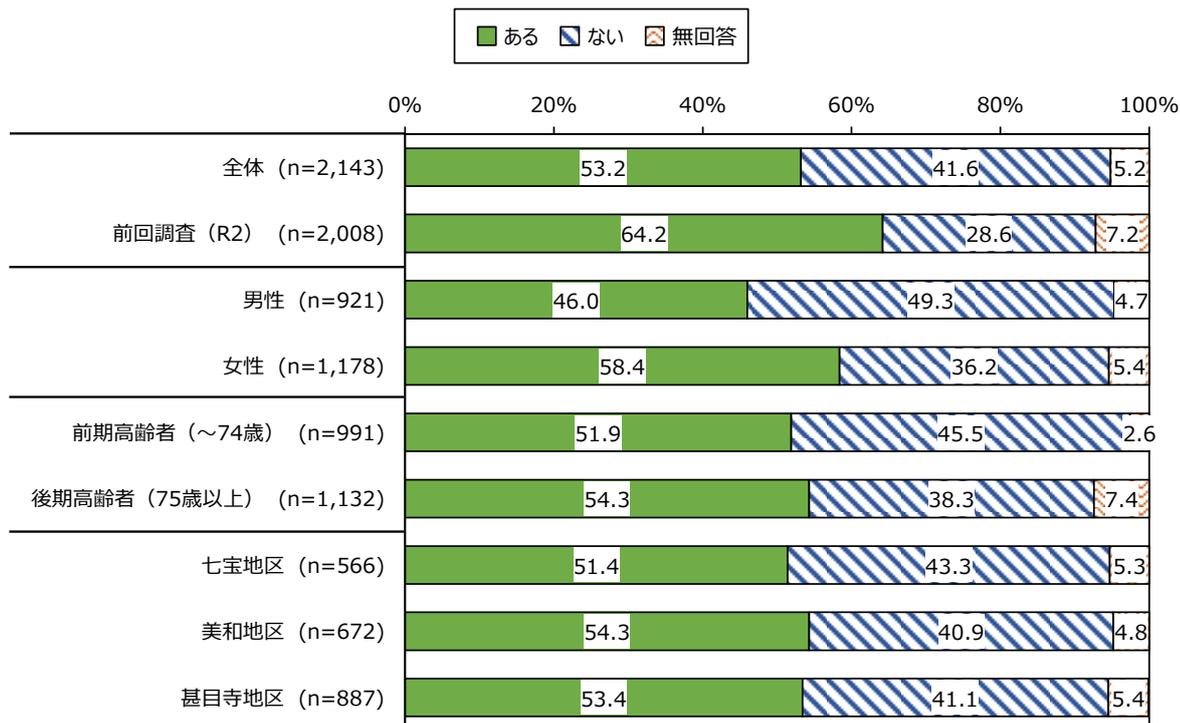
問 65 介護予防（できるだけ介護が必要な状態にならないようにするための教室等）に関心がありますか。（○は1つ）

◆ 介護予防に関心がない人が約4割

介護予防への関心について、「ある」が53.2%、「ない」が41.6%となっています。

性別でみると、女性のほうが「ある」が多くなっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「ある」が多くなっています。



### 11-4 介護予防のための様々な事業について

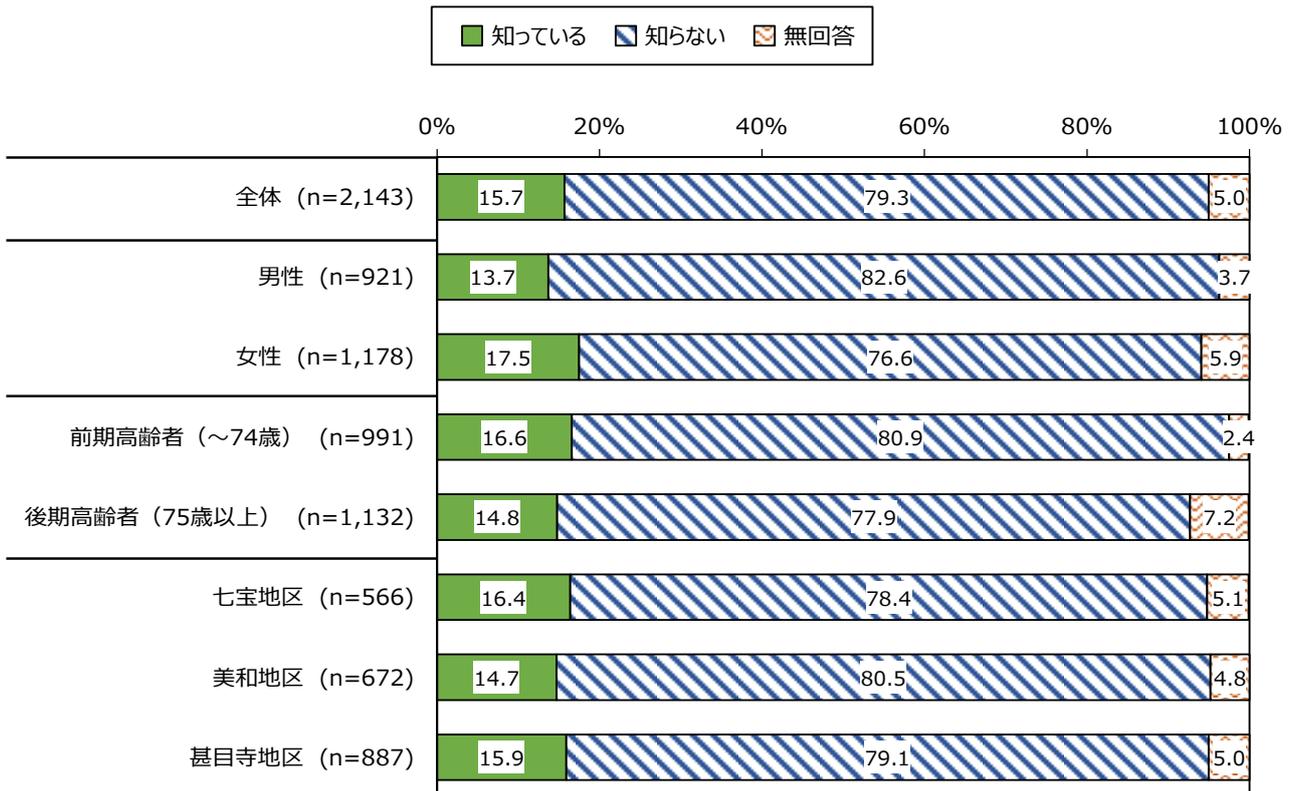
問 66 介護予防のための様々な事業があることを知っていますか。(○は1つ)

◆ 「知らない」人が約8割

介護予防のための様々な事業があることを「知っている」が15.7%、「知らない」が79.3%となっています。

性別で見ると、男性のほうが「知らない」が多くなっています。

年代別で見ると、前期高齢者（～74歳）のほうが「知らない」が多くなっています。



### 11-5 介護予防のための講習等への参加意向

問 67 介護予防のためのさまざまな講習やトレーニングに参加してみたいと思いますか。  
(○は1つ)

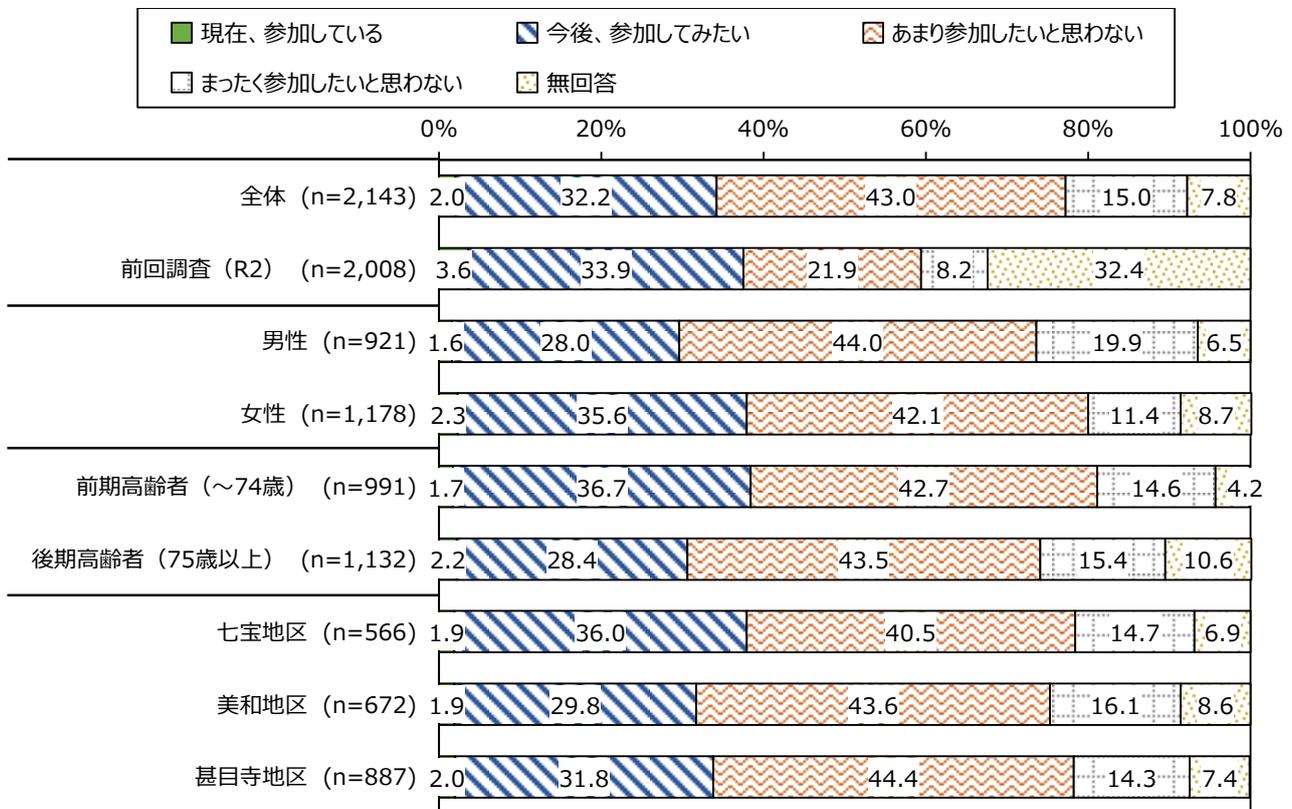
◆ “参加したいと思わない” が約6割

介護予防のための講習等への参加について、「あまり参加したいと思わない」が43.0%と最も多く、次いで「今後、参加してみたい」が32.2%、「まったく参加したいと思わない」が15.0%となっています。

性別で見ると、女性のほうが「今後、参加してみたい」が多くなっています。

年代別で見ると、前期高齢者（～74歳）のほうが「今後、参加してみたい」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「あまり参加したいと思わない」が20ポイント以上多くなっています。



### 11-6 介護予防のための講習会等に参加したくない理由

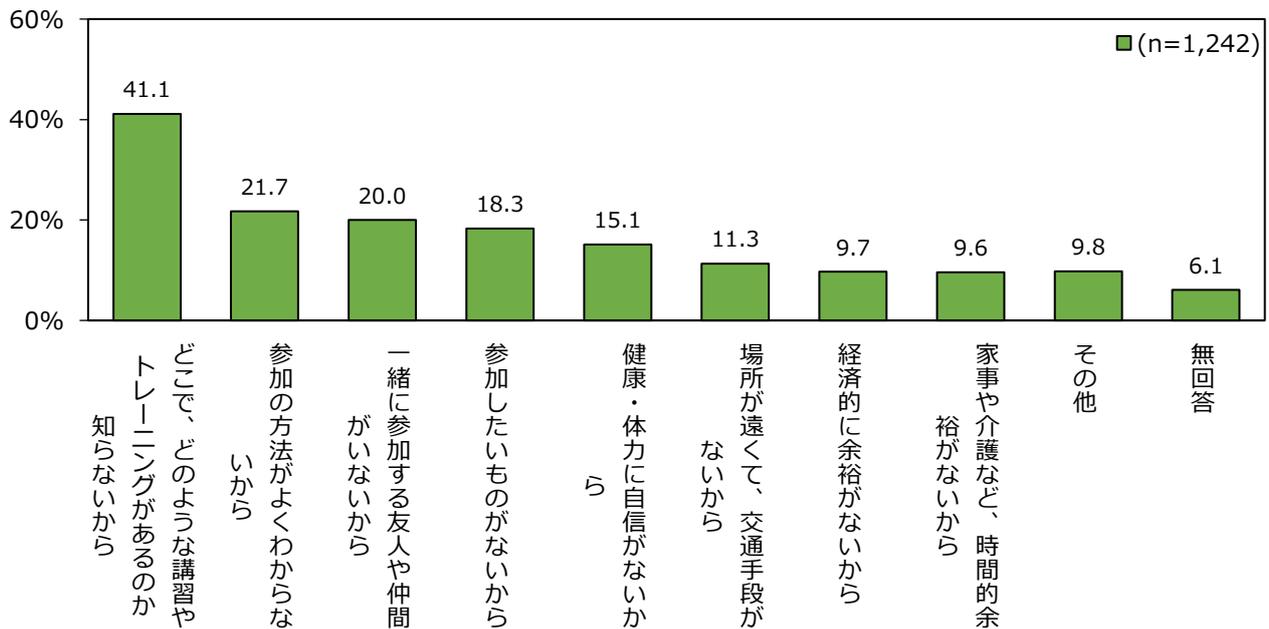
問 67 で「あまり参加したいと思わない」または「まったく参加したいと思わない」とお答えの方にお聞きします。

問 67-1 それはなぜですか。(○はいくつでも)

◆ 「どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから」が約4割

参加したくない理由について、「どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから」が 41.1%と最も多く、次いで「参加の方法がよくわからないから」が 21.7%、「一緒に参加する友人や仲間がないから」が 20.0%となっています。

性別及び年代別でみると、男性と前期高齢者（～74歳）のほうが「どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから」が多くなっています。



	どこで、どのような講習やトレーニングがあるのか知らないから	参加の方法がよくわからないから	一緒に参加する友人や仲間がないから	参加したいものがないから	健康・体力に自信がないから	場所が遠くて、交通手段がないから	経済的に余裕がないから	家事や介護など、時間的余裕がないから	その他	無回答
全体 (n=1,242)	41.1	21.7	20.0	18.3	15.1	11.3	9.7	9.6	9.8	6.1
男性 (n=588)	44.6	24.3	20.2	23.0	11.7	5.4	10.7	6.3	10.7	4.9
女性 (n=630)	37.8	18.9	19.4	14.4	18.6	16.2	8.9	12.9	9.0	7.1
前期高齢者（～74歳） (n=568)	44.9	21.7	21.5	17.6	11.4	6.9	10.4	10.4	13.0	5.3
後高齢者期（75歳以上） (n=666)	38.1	21.8	18.9	18.9	18.3	14.9	9.0	9.0	7.2	6.8
七宝地区 (n=312)	39.7	19.9	18.3	19.2	17.6	11.2	9.6	8.0	8.3	9.0
美和地区 (n=401)	42.6	21.2	18.5	17.2	14.7	12.2	5.2	9.7	12.0	5.7
菟目寺地区 (n=521)	40.9	23.4	22.5	18.6	14.0	10.4	13.1	10.6	9.2	4.6

11-7 積極的に参加したい介護予防事業

問 68 どのような介護予防の事業であれば参加したいと思いますか。  
(〇はいくつでも)

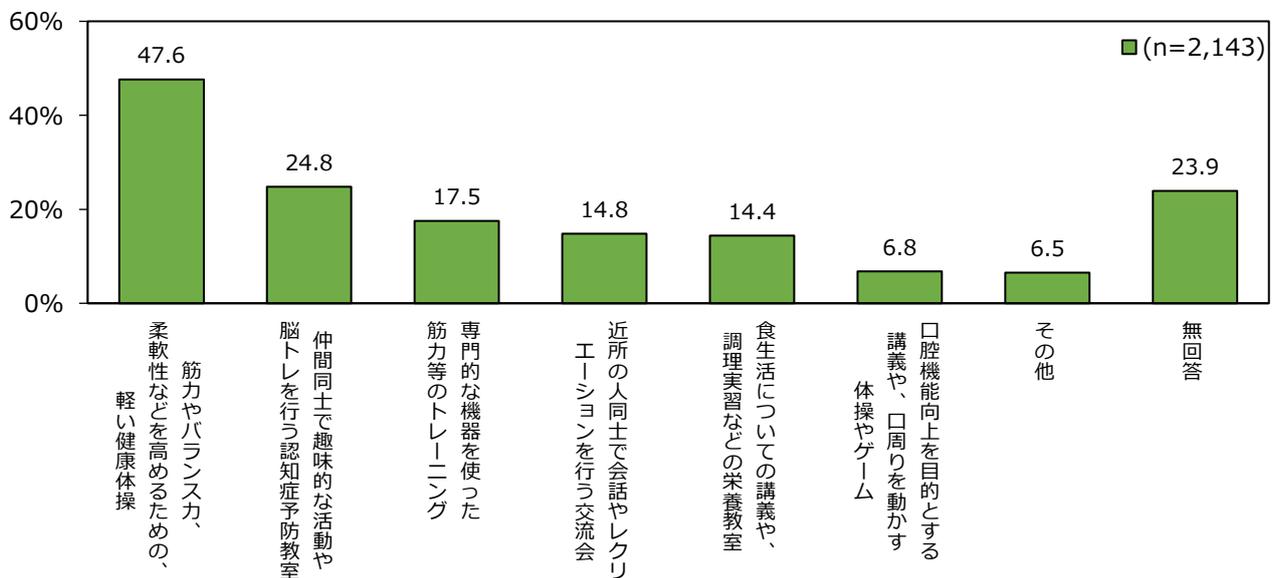
◆ 「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操」が約5割

積極的に参加したい介護予防事業について、「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操」が47.6%と最も多く、次いで「仲間同士で趣味的な活動や脳トレを行う認知症予防教室」が24.8%、「専門的な機器を使った筋力等のトレーニング」が17.5%となっています。

性別でみると、男性のほうが「専門的な機器を使った筋力等のトレーニング」が多く、女性は「食生活についての講義や、調理実習などの栄養教室」が多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「近所の人同士で会話やレクリエーションを行う交流会」が4.8ポイント少なくなっています。



	軽柔軟性などを高めるための、軽い健康体操	筋力やバランス力、柔軟性などを高めるための、軽い健康体操	仲間同士で趣味的な活動や脳トレを行う認知症予防教室	専門的な機器を使った筋力等のトレーニング	近所の人同士で会話やレクリエーションを行う交流会	食生活についての講義や、調理実習などの栄養教室	口腔機能向上を目的とする講義や、口周りを動かす体操やゲーム	その他	無回答
全体 (n=2,143)	47.6	47.6	24.8	17.5	14.8	14.4	6.8	6.5	23.9
前回調査 (R2) (n=2,008)	49.9	49.9	26.8	15.7	19.6	16.3	7.8	6.8	19.6
男性 (n=921)	45.5	45.5	23.7	23.5	12.4	11.8	4.3	8.8	22.5
女性 (n=1,178)	48.8	48.8	25.6	12.8	16.8	16.4	9.0	4.8	25.0
前期高齢者（～74歳） (n=991)	53.2	53.2	26.6	23.1	11.4	16.0	7.8	7.7	17.1
後高齢者期（75歳以上） (n=1,132)	42.7	42.7	23.1	12.8	17.9	13.0	6.1	5.7	29.5
七宝地区 (n=566)	48.8	48.8	23.9	14.5	14.8	13.8	6.9	6.9	24.0
美和地区 (n=672)	48.4	48.4	25.1	16.8	15.3	15.3	6.1	5.1	25.1
甚目寺地区 (n=887)	46.2	46.2	25.3	20.1	14.7	14.2	7.4	7.6	22.4

## 11-8 フレイルについて

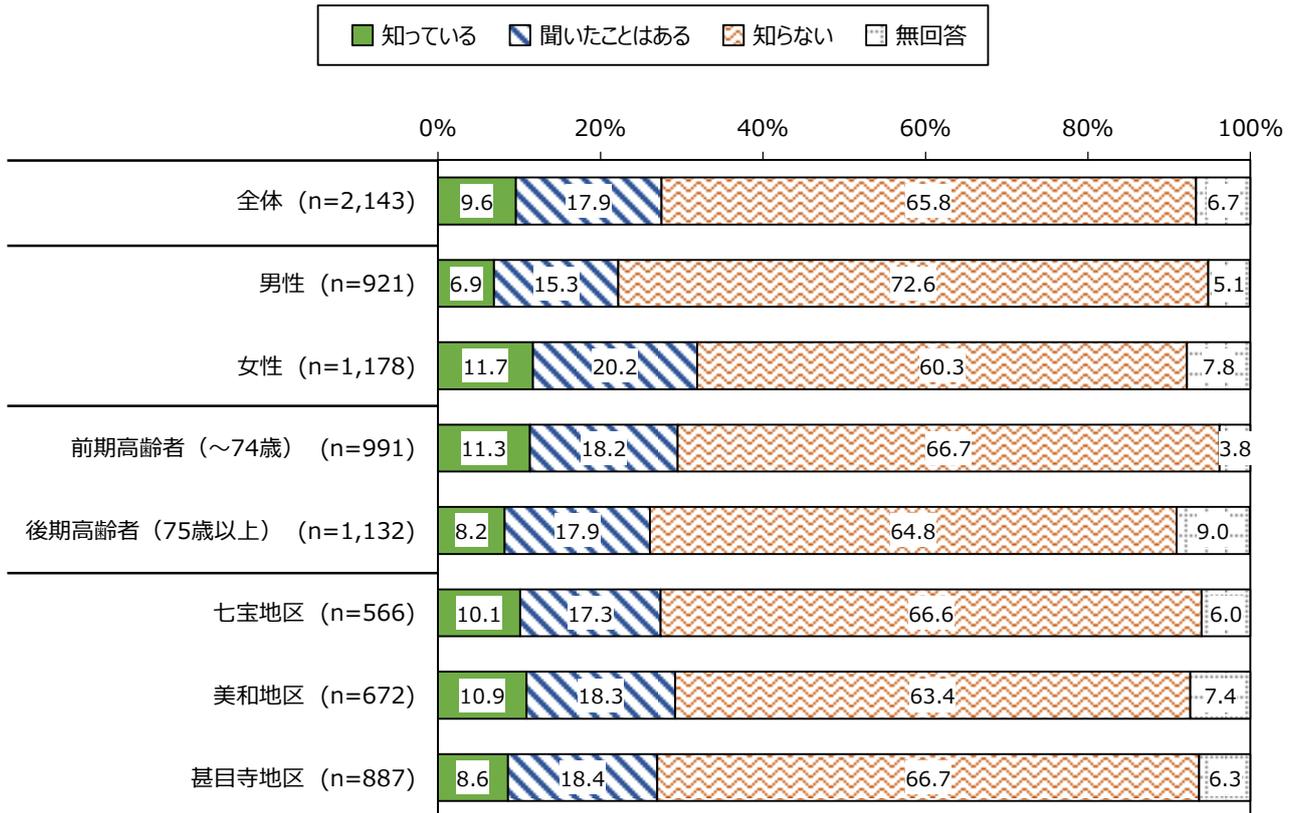
問 69 フレイル（健康な状態から要介護へ移行する中間の段階を意味する）を知っていますか。  
（○は1つ）

### ◆ 「知らない」が約7割

フレイルについて、「知らない」が65.8%と最も多く、次いで「聞いたことはある」が17.9%、「知っている」が9.6%となっています。

性別でみると、女性のほうが「知っている」が多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「知っている」が多くなっています。



### 11-9 介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する情報

問 70 介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する情報をどこから得ていますか。  
(○はいくつでも)

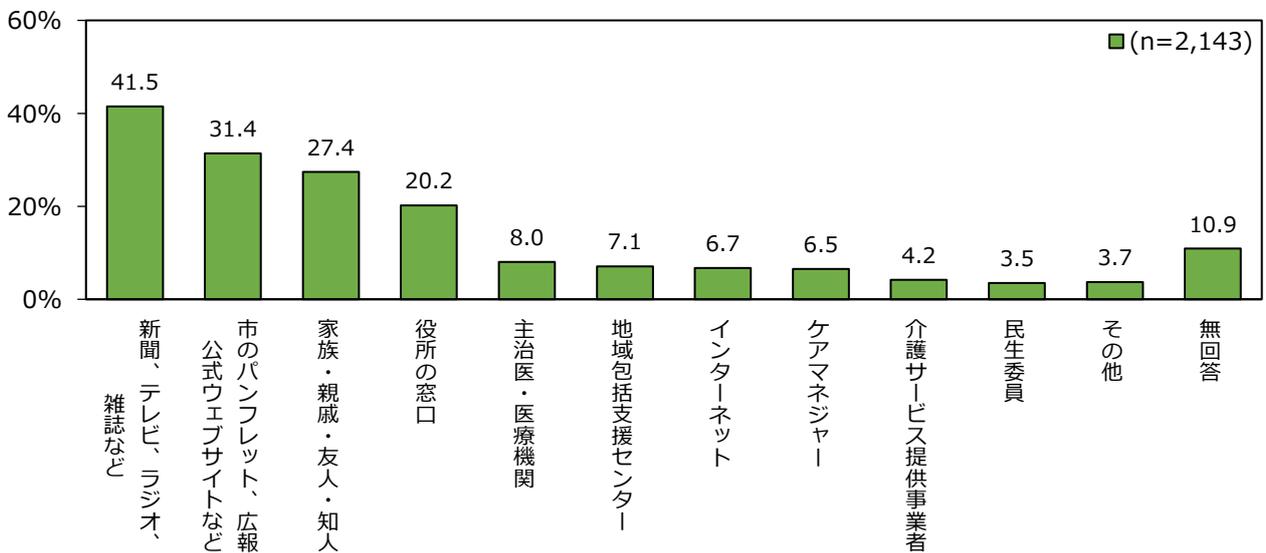
◆ 「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌など」が約4割

介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する情報をどこから得ているかについて、「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌など」が41.5%と最も多く、次いで「市のパンフレット、広報、公式ウェブサイトなど」が31.4%、「家族・親戚・友人・知人」が27.4%、「役所の窓口」が20.2%となっています。

性別でみると、男性のほうが「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌など」が多く、女性は「家族・親戚・友人・知人」が多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「市のパンフレット、広報、公式ウェブサイトなど」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「市のパンフレット、広報、公式ウェブサイトなど」が8.9ポイント少なくなっています。



	雑 誌 な ど	新 聞 、 テ レ ビ 、 ラ ジ オ	市 の パ ン フ レ ッ ト 、 公 式 ウ ェ ブ サ イ ト 、 広 報	家 族 ・ 親 戚 ・ 友 人 ・ 知 人	役 所 の 窓 口	主 治 医 ・ 医 療 機 関	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	イ ン タ ー ネ ッ ト	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	業 者 介 護 サ ー ビ ス 提 供 事	民 生 委 員	そ の 他	無 回 答
全体 (n=2,143)	41.5	31.4	27.4	20.2	8.0	7.1	6.7	6.5	4.2	3.5	3.7	10.9	
前回調査 (R2) (n=2,008)	41.4	40.3	25.2	17.2	9.4	6.5	5.2	6.0	2.9	3.1	3.6	11.1	
男性 (n=921)	44.4	33.2	24.8	21.6	8.3	6.9	9.1	5.6	4.5	4.1	3.6	9.7	
女性 (n=1,178)	38.7	30.4	29.6	19.2	8.1	7.2	4.8	7.4	4.0	3.0	3.9	11.8	
前期高齢者（～74歳） (n=991)	41.2	35.9	26.8	19.7	7.4	6.0	10.4	7.2	4.9	2.3	4.6	7.4	
後高齢者期（75歳以上） (n=1,132)	41.6	27.7	28.1	20.6	8.7	8.1	3.4	6.1	3.5	4.4	3.0	13.9	
七宝地区 (n=566)	39.0	34.3	29.7	17.7	8.0	9.5	3.7	6.5	4.6	4.2	3.9	8.7	
美和地区 (n=672)	42.3	29.0	27.7	19.5	8.0	7.4	6.1	7.3	3.4	3.6	4.3	12.6	
菟目寺地区 (n=887)	42.4	31.7	26.0	22.3	8.2	5.3	8.8	6.1	4.5	2.8	3.3	10.8	

### 11-10 介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する相談先

問 71 介護保険制度や高齢者に対するサービスなどについて困ったとき、よく分からないことがあったときは、どこに相談しますか。(〇はいくつでも)

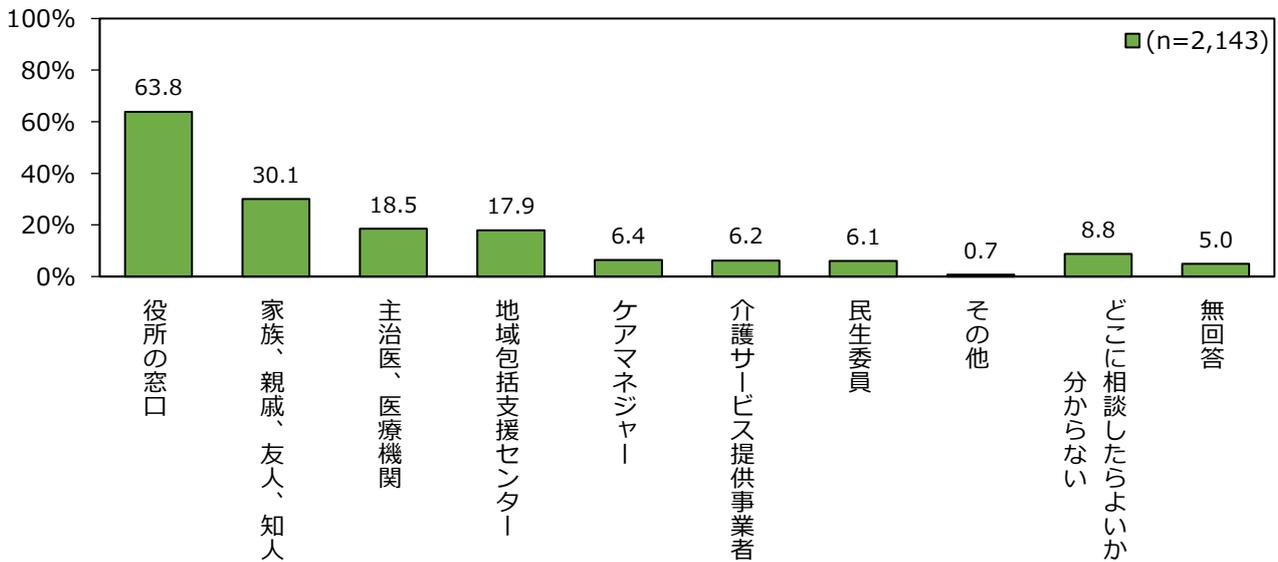
◆ 「役所の窓口」に相談する人が約6割

サービスに関する相談先について、「役所の窓口」が63.8%と最も多く、次いで「家族、親戚、友人、知人」が30.1%、「主治医、医療機関」が18.5%となっています。

性別でみると、女性のほうが「地域包括支援センター」、「家族、親戚、友人、知人」が多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「役所の窓口」が多く、後期高齢者（75歳以上）は「主治医、医療機関」が多くなっています。

前回調査と比較しても大きな変化はみられません。



	役所の窓口	家族、親戚、友人、知人	主治医、医療機関	地域包括支援センター	ケアマネジャー	介護サービス提供事業者	民生委員	その他	どこに相談したらよいか分からない	無回答
全体 (n=2,143)	63.8	30.1	18.5	17.9	6.4	6.2	6.1	0.7	8.8	5.0
前回調査 (R2) (n=2,008)	62.2	31.5	17.8	18.4	7.0	5.0	6.6	0.8	8.7	5.5
男性 (n=921)	64.3	28.3	18.0	15.0	5.9	6.0	5.5	1.1	11.4	5.2
女性 (n=1,178)	63.8	31.3	19.0	20.3	7.0	6.2	6.5	0.3	6.6	4.8
前期高齢者（～74歳） (n=991)	67.6	29.4	15.6	18.0	7.5	7.0	3.8	0.6	8.8	3.5
後高齢者期（75歳以上） (n=1,132)	60.8	30.9	21.1	17.8	5.6	5.4	8.0	0.7	8.8	6.1
七宝地区 (n=566)	58.0	33.9	20.5	22.6	5.7	7.2	8.0	0.7	7.6	4.1
美和地区 (n=672)	65.0	28.7	18.2	18.2	7.6	6.4	8.2	0.4	9.5	5.5
甚目寺地区 (n=887)	67.1	29.0	17.6	14.8	6.1	5.2	3.2	0.8	9.0	5.1

11-11 終末期を迎える場所について

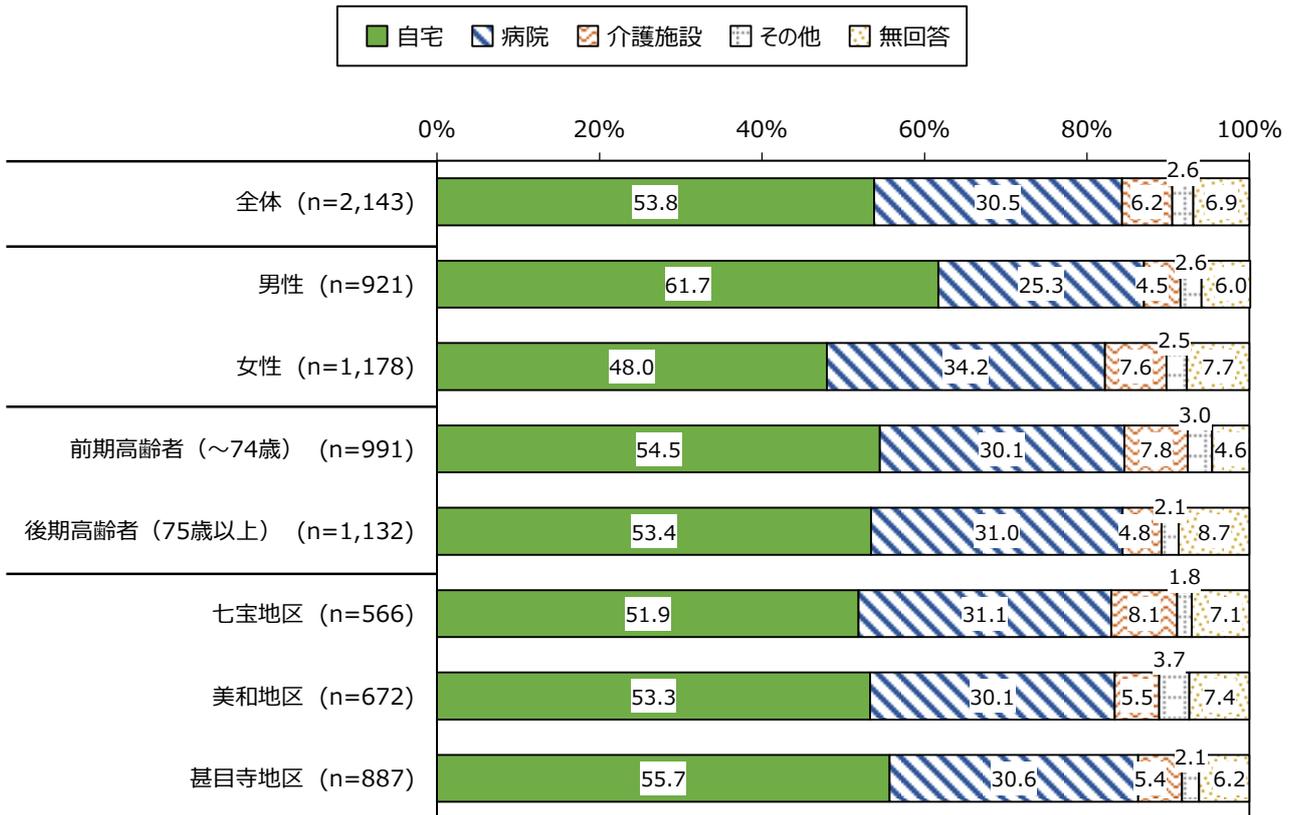
問 72 人生の最期を迎える場所についてお考えに最も近いものはどこですか。(〇は1つ)

◆ 「自宅」が約5割

終末期を迎える場所について、「自宅」が53.8%と最も多く、次いで「病院」が30.5%、「介護施設」が6.2%となっています。

性別でみると、男性のほうが「自宅」が多くなっています。

年代別でみると、前期高齢者（～74歳）のほうが「介護施設」が多くなっています。



## 11-12 あま市の高齢者施策に望むこと

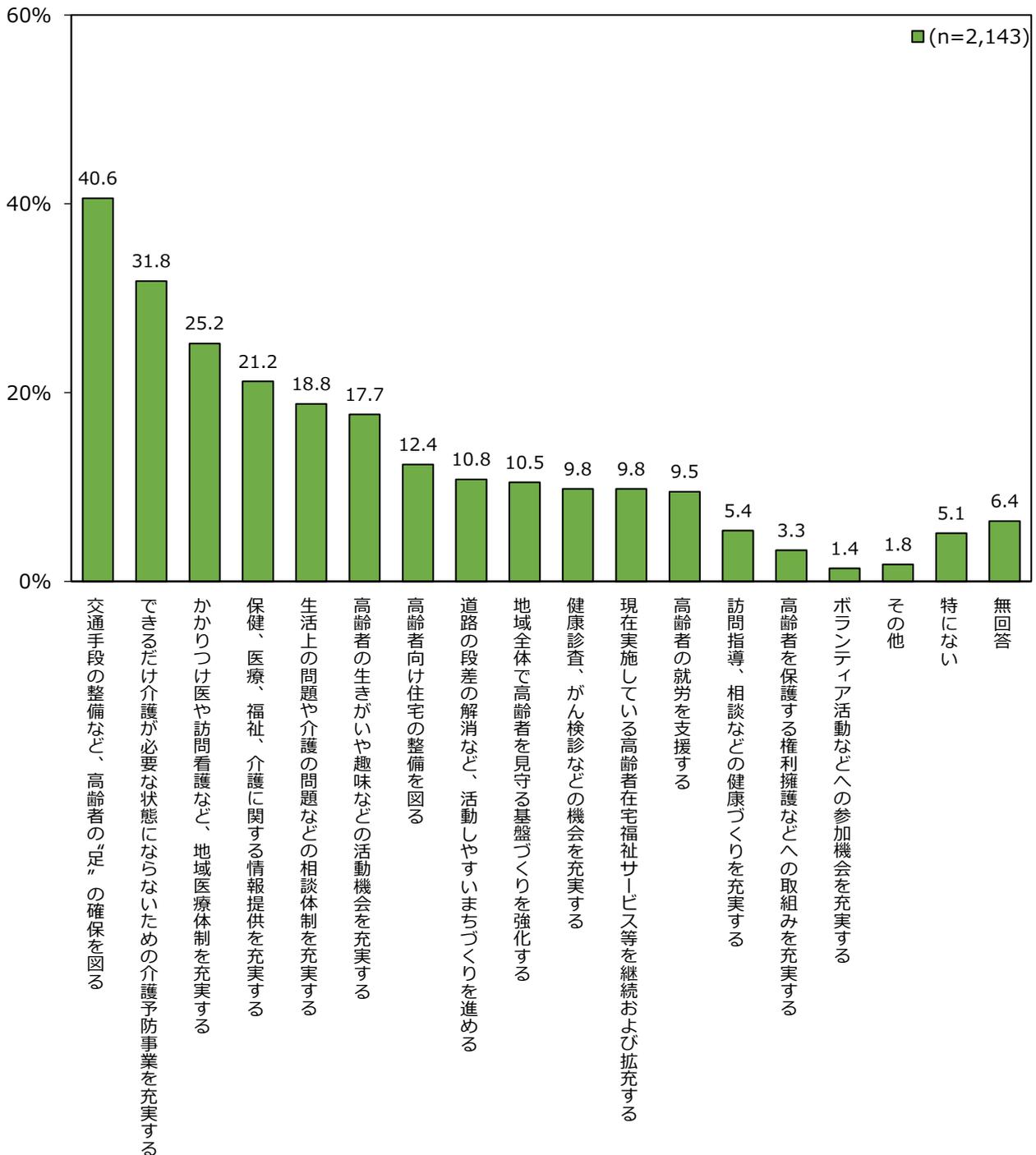
問 73 あま市の高齢者施策に関して、どのようなことを望みますか。(〇は3つまで)

### ◆ 「交通手段の整備など、高齢者の“足”の確保を図る」が約4割

あま市の高齢者施策に望むことについて、「交通手段の整備など、高齢者の“足”の確保を図る」が40.6%と最も多く、次いで「できるだけ介護が必要な状態にならないための介護予防事業を充実する」が31.8%、「かかりつけ医や訪問看護など、地域医療体制を充実する」が25.2%となっています。

性別でみると、女性のほうが「交通手段の整備など、高齢者の“足”の確保を図る」が多く、男性は「高齢者の生きがいや趣味などの活動機会を充実する」が多くなっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「交通手段の整備など、高齢者の“足”の確保を図る」が多くなっています。



## Ⅱ 調査結果【介護予防・日常生活圏域二一ス調査】

### 調査結果報告書

	交通手段の整備など、高齢者の“足”の確保を図る	できるだけ介護が必要な状態にならないための介護予防事業を充実する	かかりつけ医や訪問看護など、地域医療体制を充実する	保健、医療、福祉、介護に関する情報提供を充実する	生活上の問題や介護の問題などの相談体制を充実する	高齢者の生きがいや趣味などの活動機会を充実する	高齢者向け住宅の整備を図る	道路の段差の解消など、活動しやすいまちづくりを進める	地域全体で高齢者を守る基盤づくりを強化する	健康診査、がん検診などの機会を充実する	現在実施している高齢者在宅福祉サービス等を継続および拡充する	高齢者の就労を支援する	訪問指導、相談などの健康づくりを充実する	高齢者を保護する権利擁護などへの取組みを充実する	ボランティア活動などへの参加機会を充実する	その他	特になし	無回答
全体 (n=2,143)	40.6	31.8	25.2	21.2	18.8	17.7	12.4	10.8	10.5	9.8	9.8	9.5	5.4	3.3	1.4	1.8	5.1	6.4
男性 (n=921)	35.3	32.8	24.3	22.7	19.3	20.2	13.0	7.4	10.7	14.1	8.7	11.9	5.6	3.8	1.8	1.8	5.4	6.3
女性 (n=1,178)	44.9	30.6	26.1	19.8	18.2	15.4	12.1	13.3	10.2	6.7	11.0	7.5	5.2	2.9	1.1	1.8	5.0	6.6
前期高齢者（～74歳） (n=991)	38.6	33.7	24.8	21.5	22.3	18.2	15.6	9.9	9.4	11.1	11.4	14.7	4.9	3.0	1.9	1.3	4.8	3.3
後高齢者期（75歳以上） (n=1,132)	42.4	30.1	25.6	20.8	15.5	17.4	9.6	11.7	11.6	8.7	8.7	4.9	5.7	3.5	1.0	2.2	5.5	9.0
七宝地区 (n=566)	45.8	32.9	27.9	23.9	19.4	17.0	10.4	10.2	11.7	9.7	8.7	8.3	6.5	3.5	1.1	1.6	5.7	4.6
美和地区 (n=672)	41.8	32.1	24.1	20.8	16.8	19.2	11.5	10.4	11.3	8.0	10.3	7.6	4.2	3.0	1.5	1.3	4.6	8.0
菟目寺地区 (n=887)	36.5	30.7	24.7	19.7	19.6	17.2	14.4	11.5	9.2	11.3	10.5	11.6	5.5	3.4	1.6	2.3	5.1	6.3

## 12) 生活機能の低下

生活機能について、「運動器機能」、「閉じこもり」、「低栄養」、「口腔機能」、「認知機能」、「IADL」の6項目について評価し、各機能の低下やリスクの該当状況を分析しました。

各リスクの把握のための設問項目は、以下のとおりです。

項目	設問	質問事項	回答（配点）		
			0	1	
生活全般	運動器機能	問8	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できるし、している できるけどしていない	できない
		問9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できるし、している できるけどしていない	できない
		問10	15分位続けて歩いていますか	できるし、している できるけどしていない	できない
		問11	過去1年間に転んだ経験がありますか	ない	何度もある 1度ある
		問12	転倒に対する不安は大きいですか	あまり不安でない 不安でない	とても不安である やや不安である
	閉じこもり	問13	週に1回以上は外出していますか	週1回 週2～4回 週5回以上	ほとんど外出しない
	低栄養	問17	身長 cm 体重 kg(※BMI = ) ※体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m))	18.5 以上	18.5 未満
		問23	6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか	いいえ	はい
	口腔機能	問18	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	いいえ	はい
		問19	お茶や汁物等でむせることがありますか	いいえ	はい
		問20	口の渇きが気になりますか	いいえ	はい
	認知機能	問25	物忘れが多いと感じますか	いいえ	はい
	IADL	問29	バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している できるけどしていない	できない
		問30	自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している できるけどしていない	できない
		問31	自分で食事の用意をしていますか	できるし、している できるけどしていない	できない
		問32	自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している できるけどしていない	できない
		問33	自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している できるけどしていない	できない

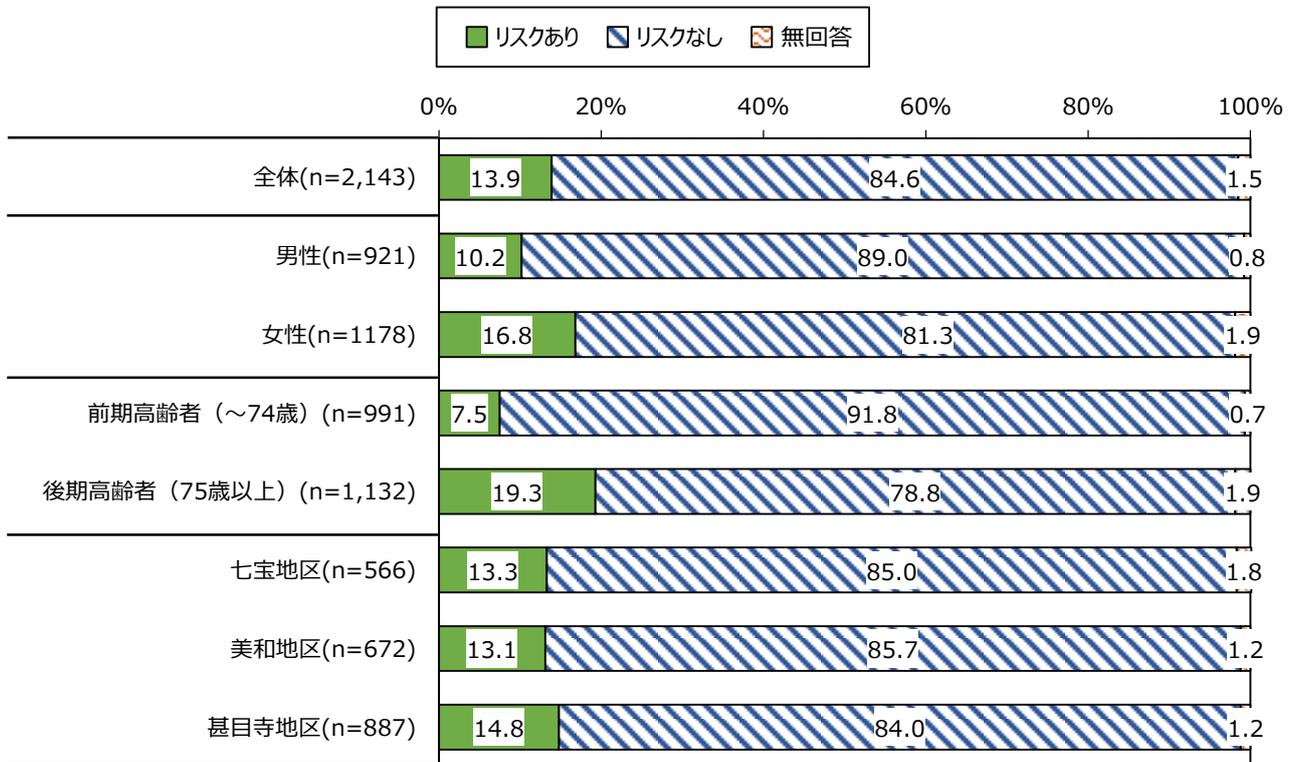
上記の設問で1がついた数を集計し、以下の基準に該当した場合、リスクありとしました。

項目	運動器機能	閉じこもり	低栄養	口腔機能	認知機能	IADL
該当基準	3/5以上	ほとんど外出しない	2/2以上	2/3以上	はい	4/5でやや低下 3/5以下で低下

【運動器機能】

運動器機能の低下は、「リスクなし」が84.6%、「リスクあり」が13.9%となっています。  
性別で見ると、女性のほうが「リスクあり」が多くなっています。

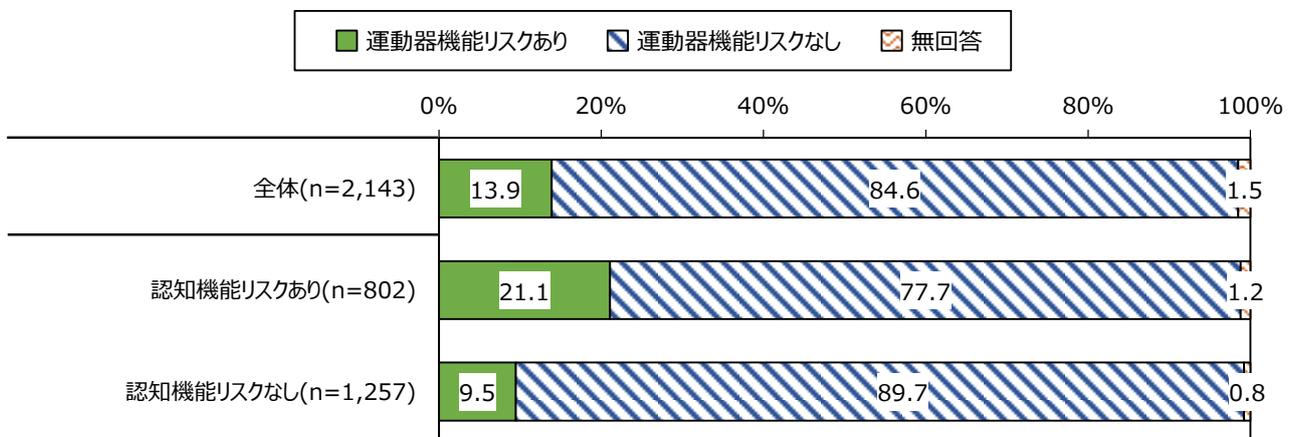
年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「リスクあり」が10ポイント以上多くなっています。



【認知機能 × 運動器機能】

「認知機能リスクあり」の中では、「運動器機能リスクあり」が21.1%となっており、10ポイント以上多くなっています。

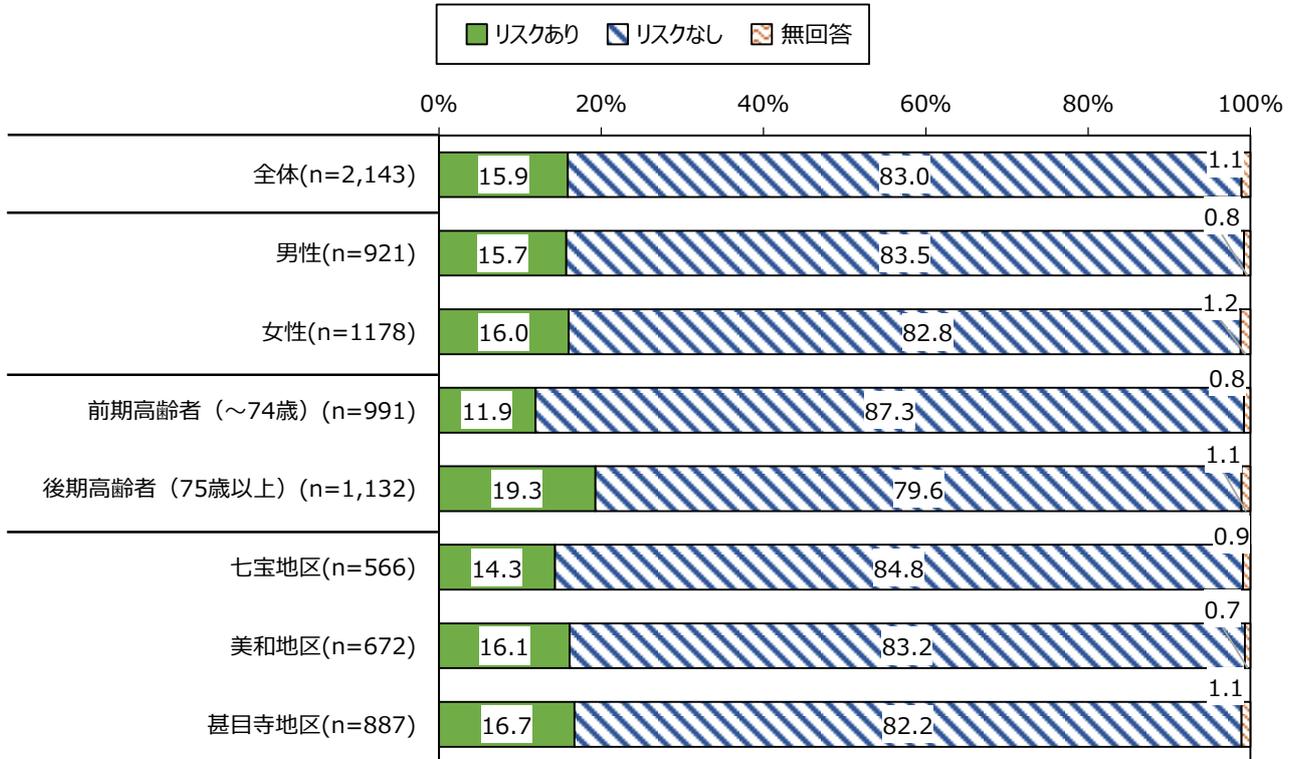
「認知機能リスクなし」の中では、「運動器機能リスクあり」が9.5%となっています。



【閉じこもり】

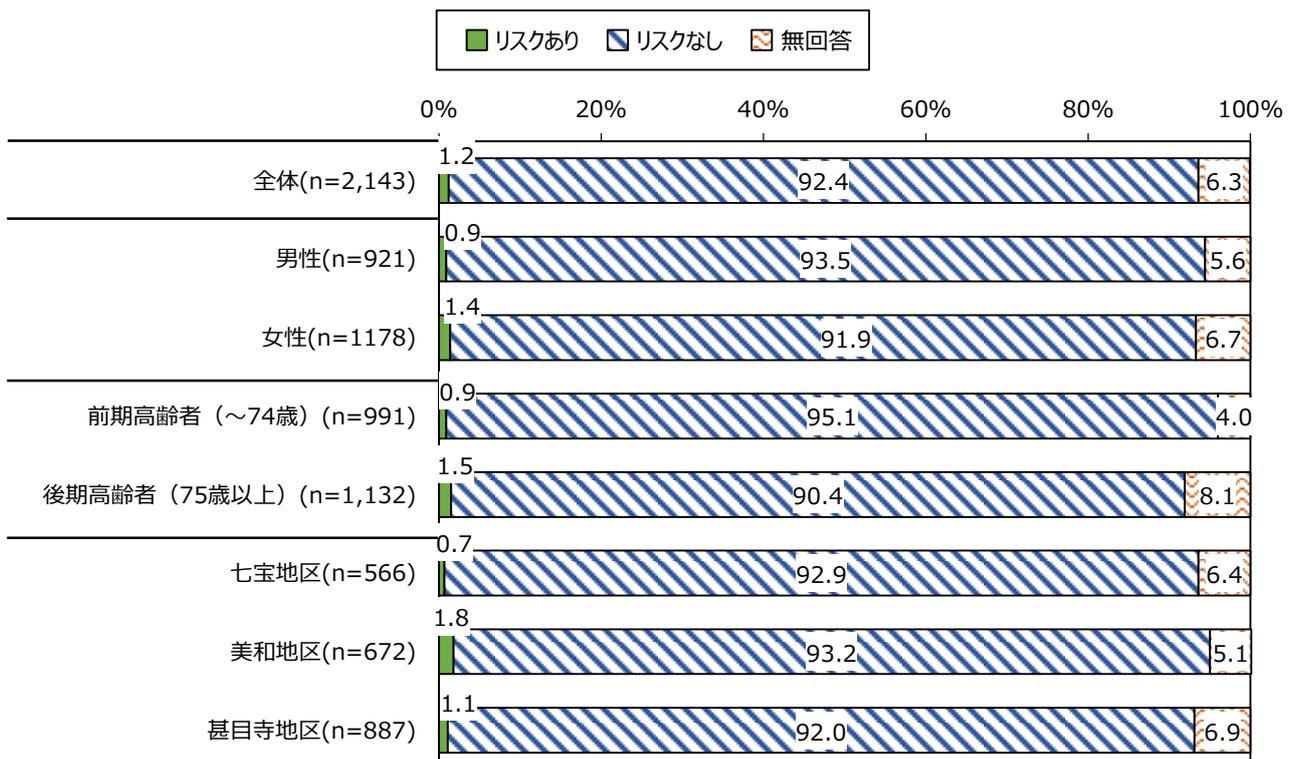
ほとんど外出せず、閉じこもりになることについて、「リスクなし」が83.0%、「リスクあり」が15.9%となっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「リスクあり」が多くなっています。



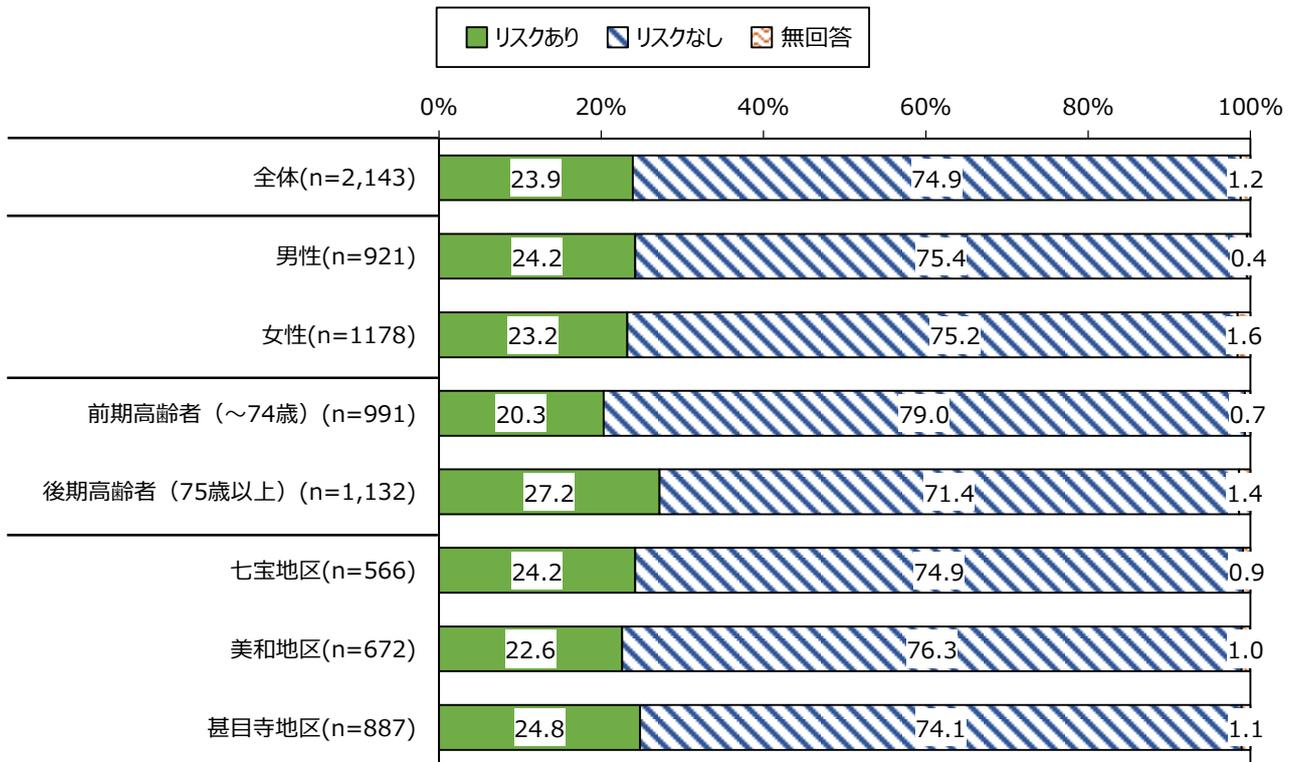
【低栄養】

低栄養は、「リスクなし」が92.4%、「リスクあり」が1.2%となっています。



【口腔機能】

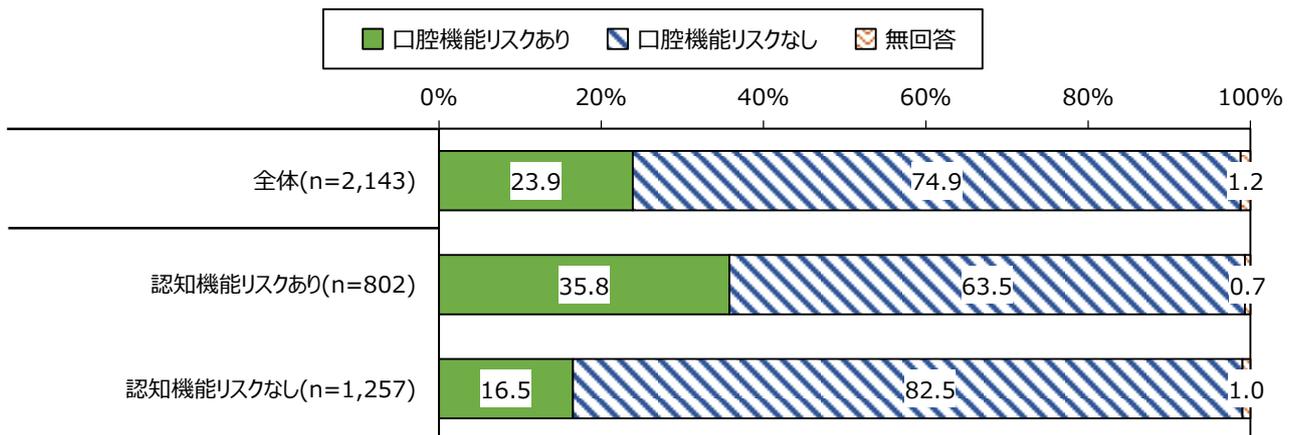
口腔機能の低下は、「リスクなし」が74.9%、「リスクあり」が23.9%となっています。  
年代別で見ると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「リスクあり」が多くなっています。



【認知機能 × 口腔機能】

認知機能で「リスクあり」の中では、「口腔機能リスクあり」が35.8%となっており、20ポイント程度多くなっています。

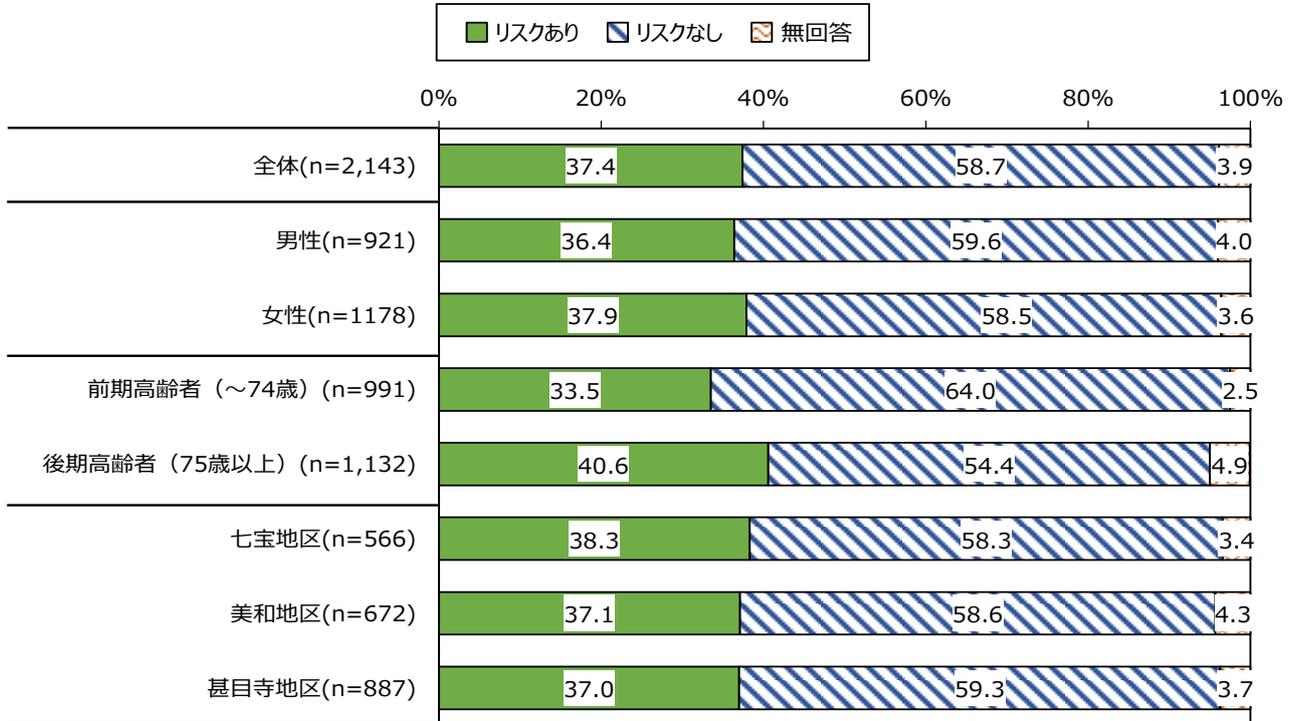
認知機能で「リスクなし」の中では、「口腔機能リスクあり」が16.5%となっています。



【認知機能】

認知機能の低下は、「リスクなし」が58.7%、「リスクあり」が37.4%となっています。

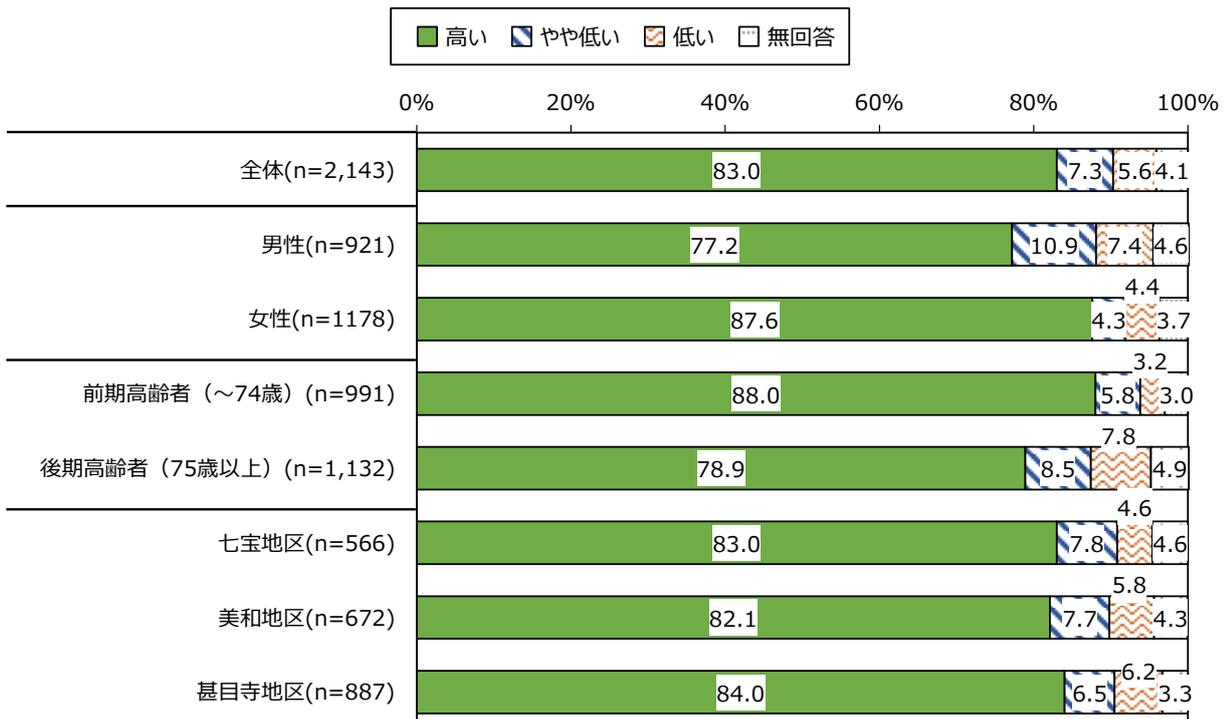
年代別で比較すると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「リスクあり」が7ポイント以上多くなっています。



【IADL】

IADLの低下は、「リスクなし（「高い」）」が83.0%、「リスクあり（「やや低い」+「低い」）」が12.9%となっています。

年代別で見ると、後期高齢者（75歳以上）のほうが「リスクあり」が多くなっています。





# Ⅲ 調査結果

在宅介護実態調査



### Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

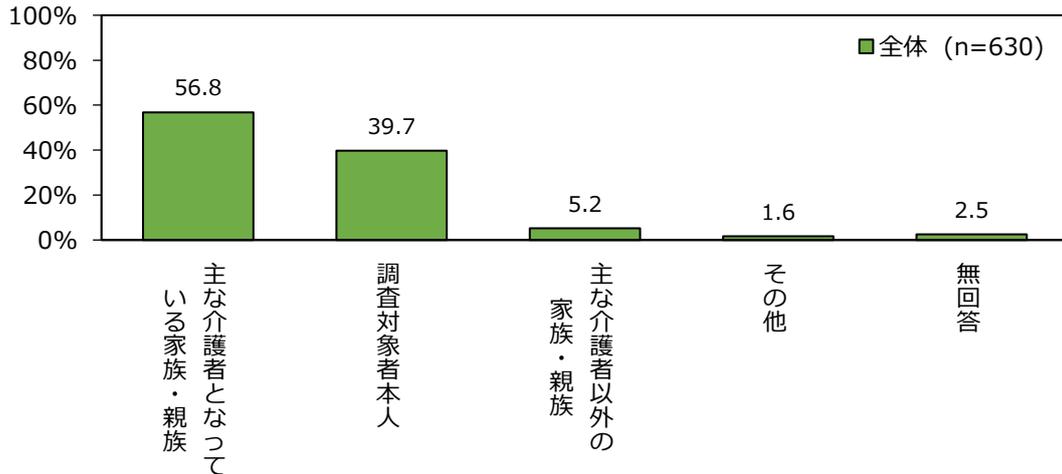
#### 1) 調査票対象者様ご本人について

##### 1-1 調査票の回答者

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(〇はいくつでも)

◆ 「主な介護者となっている家族・親族」が約6割

調査票の回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が56.8%と最も多く、次いで「調査対象者本人」が39.7%、「主な介護者以外の家族・親族」が5.2%となっています。

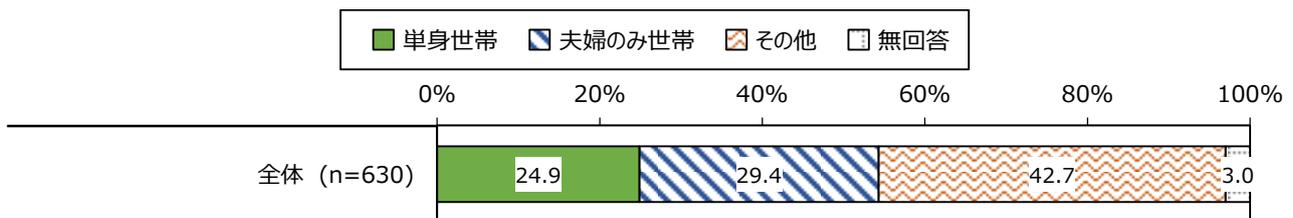


##### 1-2 世帯類型

問2 世帯類型について、ご回答ください。(〇は1つ)

◆ 「単身世帯」が約2割、「夫婦のみ世帯」が約3割

対象者の世帯類型は、「単身世帯」24.9%、「夫婦のみ世帯」が29.4%となっています。

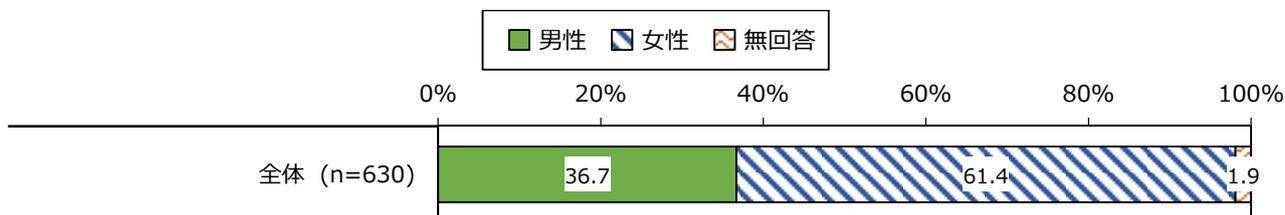


### 1-3 性別

問3 本人の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

◆ 「男性」が約4割、「女性」が約6割

対象者の性別は、「男性」が36.7%、「女性」が61.4%となっています。

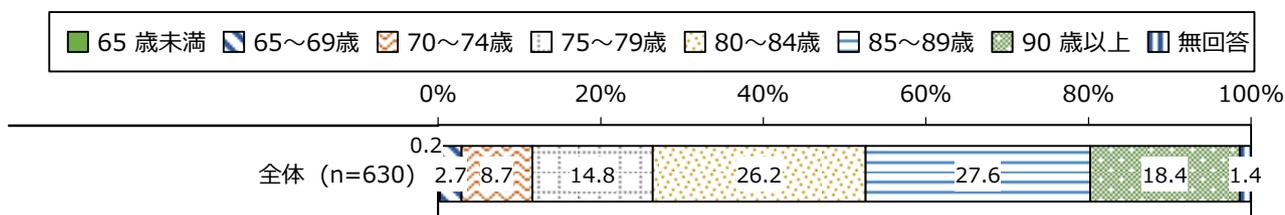


### 1-4 年齢

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

◆ “前期高齢者（～74歳）”が約1割、“後期高齢者（75歳以上）”が約9割

対象者の年齢は、「85～89歳」が27.6%と最も多く、次いで、「80～84歳」が26.2%、「90歳以上」が18.4%、「75～79歳」が14.8%となっており、これらを合計した“後期高齢者（75歳以上）”が87.0%となっています。また、「65～69歳」の2.7%、「70～74歳」の8.7%を合わせた“前期高齢者（～74歳）”は11.4%となっています。

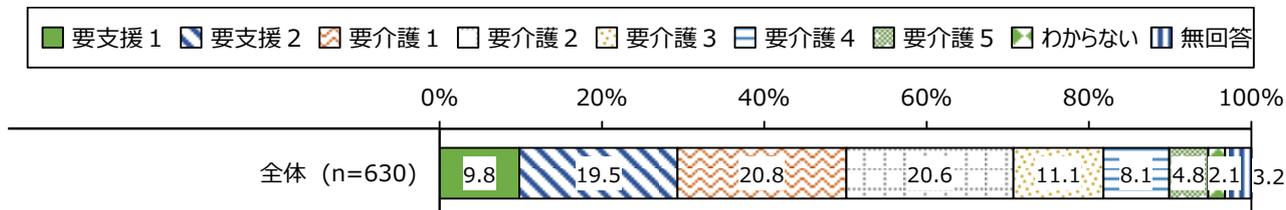


## 1-5 要介護度

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(○は1つ)

### ◆ 「要支援2」、「要介護1」、「要介護2」がそれぞれ約2割

対象者の要介護度は、「要介護1」が20.8%と最も多く、次いで「要介護2」が20.6%、「要支援2」が19.5%、「要介護3」が11.1%となっています。



## 1-6 施設等への入所・入居の検討状況

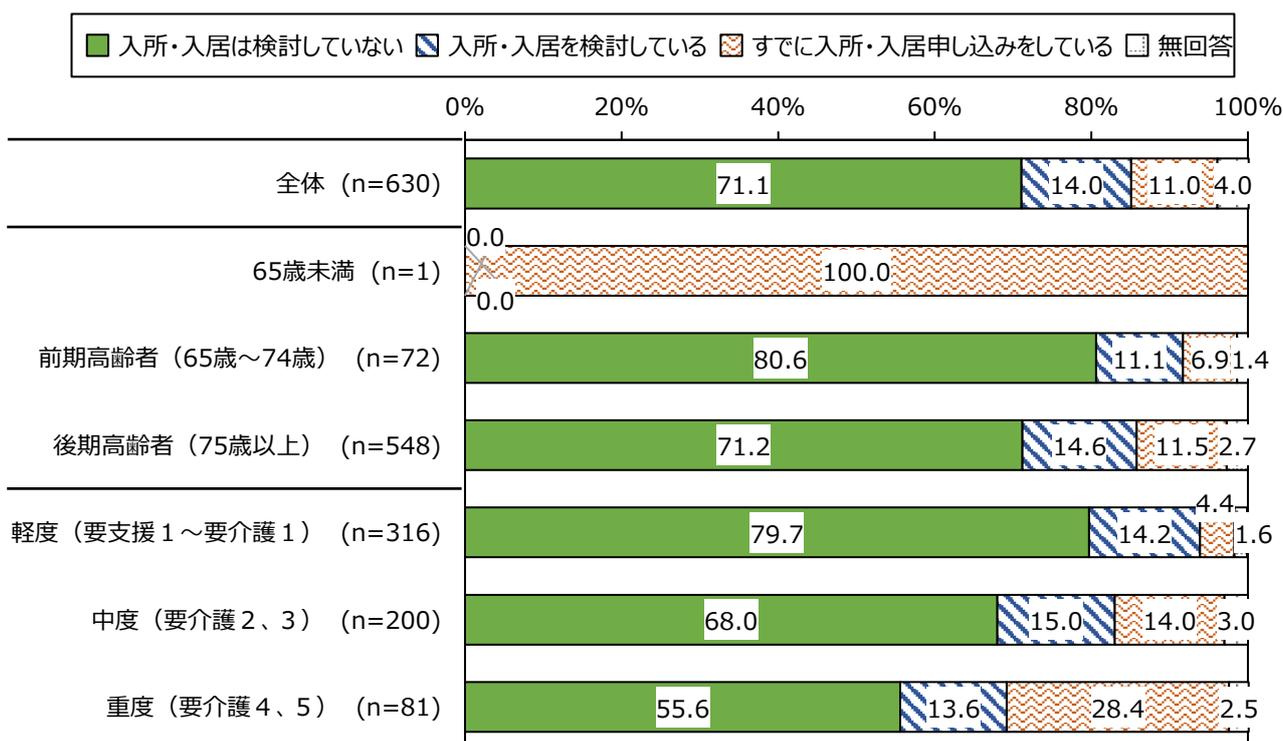
問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

### ◆ 「入所・入居は検討していない」が約7割

施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が71.1%と最も多くなっています。「入所・入居を検討している」は14.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は11.0%となっており、これらを合わせた“入所・入居を検討又は申し込みをしている”人の割合は25.0%となっています。

年代別でみると、後期高齢者（75歳以上）のほうが“入所・入居を検討又は申し込みをしている”が多くなっています。

要介護度でみると、重度（要介護4、5）は「申し込みをしている」が他の要介護度より多くなっています。



### 1-7 現在抱えている傷病

問7 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。  
（〇はいくつでも）

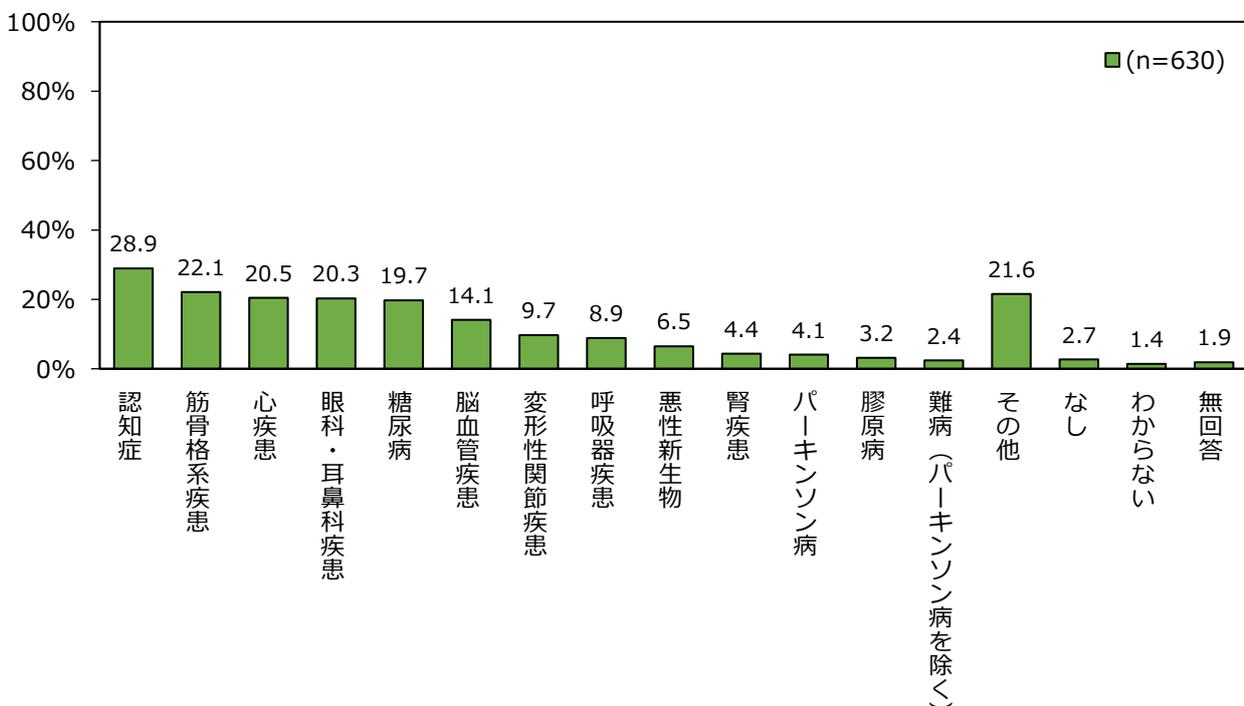
◆ 「認知症」が約3割

対象者が現在抱えている傷病について、「認知症」が28.9%と最も多く、次いで「筋骨格系疾患」が22.1%、「心疾患」が20.5%、「眼科・耳鼻科疾患」が20.3%となっています。

性別で比較すると、男性は「脳血管疾患」が女性より10ポイント以上多く、女性は「筋骨格系疾患」、「変形性関節疾患」が男性より多くなっています。

年代別で比較すると、前期高齢者（65歳～74歳）は「脳血管疾患」が後期高齢者（75歳以上）より15ポイント以上多く、後期高齢者（75歳以上）は「認知症」が前期高齢者（65歳～74歳）より15ポイント以上多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「心疾患」が4.6ポイント多くなっています。



	認知症	筋骨格系疾患	心疾患	眼科・耳鼻科疾患	糖尿病	脳血管疾患	変形性関節疾患	呼吸器疾患	悪性新生物	腎疾患	パーキンソン病	膠原病	難病（パーキンソン病を除く）	その他	なし	わからない	無回答
全体 (n=630)	28.9	22.1	20.5	20.3	19.7	14.1	9.7	8.9	6.5	4.4	4.1	3.2	2.4	21.6	2.7	1.4	1.9
前回調査 (R2) (n=535)	33.8	23.9	15.9	18.7	18.9	13.5	11.4	7.3	5.4	2.8	5.2	3.0	2.6	18.5	3.4	3.0	2.4
男性 (n=231)	26.8	16.9	20.3	18.6	20.8	21.6	4.3	13.4	10.0	6.1	3.9	2.6	3.0	19.5	2.6	2.2	1.7
女性 (n=387)	30.2	25.3	20.2	22.0	19.4	9.8	12.9	6.2	4.7	3.6	4.4	3.6	1.8	23.3	2.6	1.0	1.8
65歳未満 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
前期高齢者 (65歳～74歳) (n=72)	13.9	13.9	11.1	12.5	20.8	31.9	11.1	6.9	5.6	4.2	4.2	6.9	6.9	26.4	0.0	1.4	0.0
後期高齢者 (75歳以上) (n=548)	30.8	23.4	21.7	21.7	19.9	12.0	9.5	9.1	6.8	4.6	4.2	2.7	1.6	21.0	2.9	1.5	2.0

## 1-8 介護保険サービスの利用の有無

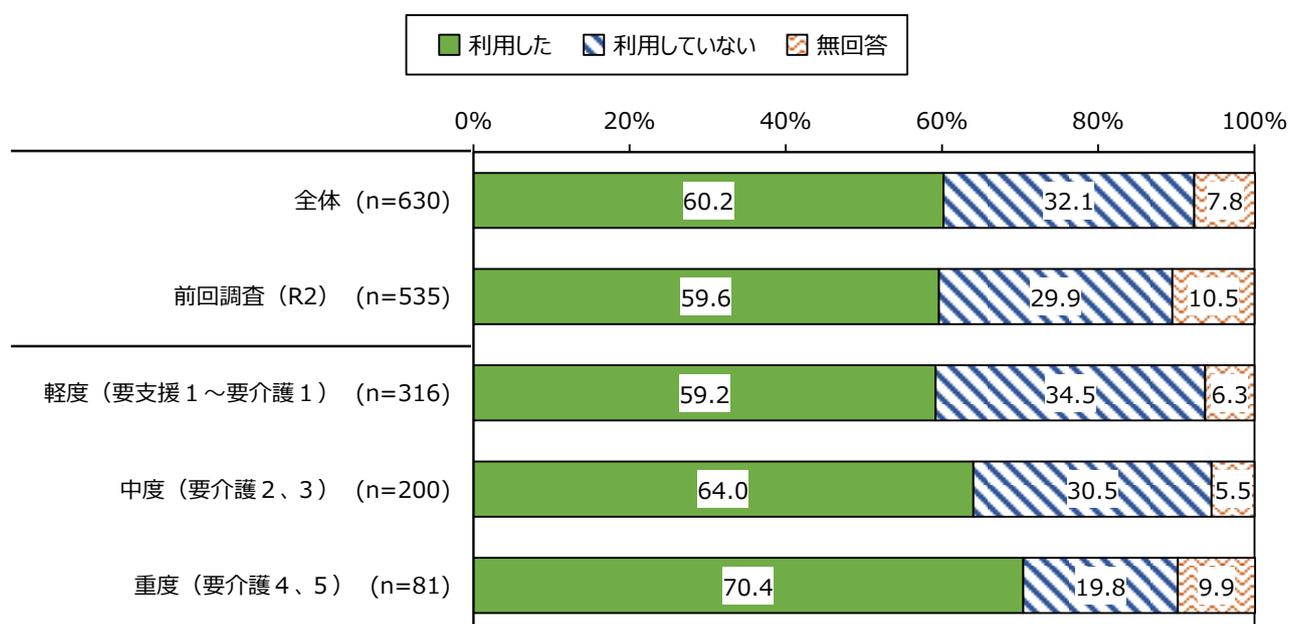
問8 令和4年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○は1つ)

### ◆ サービスを「利用した」が約6割

介護保険サービス利用の有無について、「利用した」は60.2%、「利用していない」は32.1%となっています。

要介護度で見ると、重度(要介護4、5)は「利用した」が他の要介護度より多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「利用していない」が2.2ポイント多くなっています。



### 1-9 介護保険サービスの利用状況

問8で「利用した」と回答した方にお伺いします。

問8-1 以下の介護保険サービスについて、令和4年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください。（それぞれ1つに○）

◆ 利用したサービスで多いのは「通所介護」で約6割

介護保険サービスの利用状況について、利用したサービスで最も多いのは「通所介護」で61.0%となっています。次いで「通所リハビリテーション」が26.6%、「訪問介護」が21.8%となっています。

サービスの利用頻度について最も多かったのはそれぞれ、訪問介護は「週2回程度」で7.1%、訪問入浴介護は「週2回程度」で3.4%、訪問看護は「週1回程度」で8.2%、訪問リハビリテーションは「週2回程度」で4.5%、通所介護は「週2回程度」で25.9%、通所リハビリテーションは「週2回程度」で11.6%、夜間対応型訪問介護は「週1回程度」で0.8%、ショートステイは「月1～7日程度」で7.4%、居宅療養管理指導は「月1回程度」で4.0%となっています。

上段；人  
下段；%

	全体	利用していない	利用した	利用した					無回答
				週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	
A. 訪問介護	379.0	105.0	83.0	22.0	27.0	10.0	2.0	22.0	191.0
	100.0	27.7	21.8	5.8	7.1	2.6	0.5	5.8	50.4
B. 訪問入浴介護	379.0	132.0	27.0	8.0	13.0	3.0	2.0	1.0	220.0
	100.0	34.8	7.1	2.1	3.4	0.8	0.5	0.3	58.0
C. 訪問看護	379.0	119.0	50.0	31.0	13.0	0.0	2.0	4.0	210.0
	100.0	31.4	13.2	8.2	3.4	0.0	0.5	1.1	55.4
D. 訪問リハビリテーション	379.0	125.0	46.0	16.0	17.0	9.0	1.0	3.0	208.0
	100.0	33.0	12.2	4.2	4.5	2.4	0.3	0.8	54.9
E. 通所介護	379.0	59.0	231.0	34.0	98.0	49.0	20.0	30.0	89.0
	100.0	15.6	61.0	9.0	25.9	12.9	5.3	7.9	23.5
F. 通所リハビリテーション	379.0	153.0	101.0	25.0	44.0	16.0	7.0	9.0	125.0
	100.0	40.4	26.6	6.6	11.6	4.2	1.8	2.4	33.0
G. 夜間対応型訪問介護	379.0	186.0	4.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	189.0
	100.0	49.1	1.1	0.8	0.3	0.0	0.0	0.0	49.9

	全体	利用していない	利用した	無回答
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	379.0	240.0	26.0	113.0
	100.0	63.3	6.9	29.8
I. 小規模多機能型居宅介護	379.0	234.0	16.0	129.0
	100.0	61.7	4.2	34.0
J. 看護小規模多機能型居宅介護	379.0	242.0	3.0	134.0
	100.0	63.9	0.8	35.4

	全体	利用していない	利用した	利用した				無回答
				月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上	
K. ショートステイ	379.0	247.0	44.0	28.0	7.0	4.0	5.0	88.0
	100.0	65.2	11.6	7.4	1.8	1.1	1.3	23.2

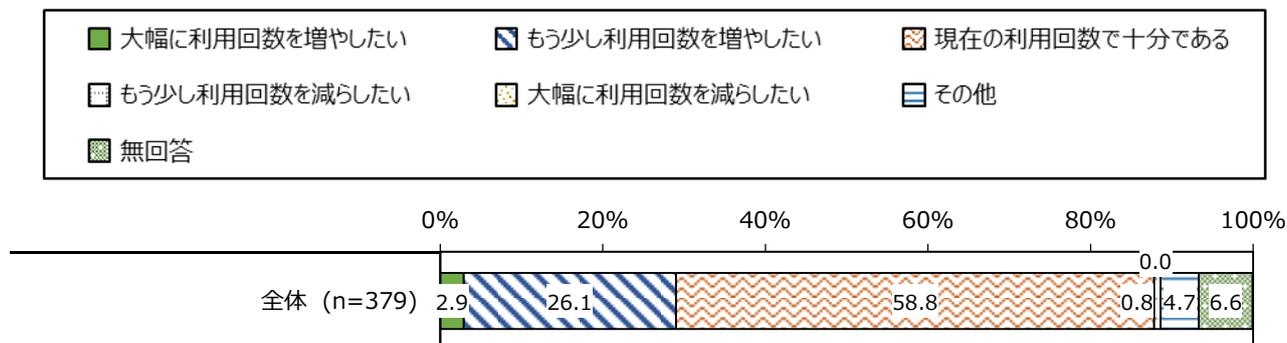
	全体	利用していない	利用した	利用した				無回答
				月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度	
L. 居宅療養管理指導	379.0	244.0	25.0	15.0	6.0	0.0	4.0	110.0
	100.0	64.4	6.7	4.0	1.6	0.0	1.1	29.0

## 1-10 介護保険サービスの利用回数

問8-2 現在利用している介護保険サービスの利用回数について、どのようにお考えですか。  
(○は1つ)

### ◆ 「現在の利用回数で十分である」が約6割

介護保険サービスの利用回数について、「現在の利用回数で十分である」が58.8%と最も多く、次いで「もう少し利用回数を増やしたい」が26.1%となっています。



### 1-11 介護保険サービスを利用していない理由

問8で「利用していない」と回答した方にお伺いします。

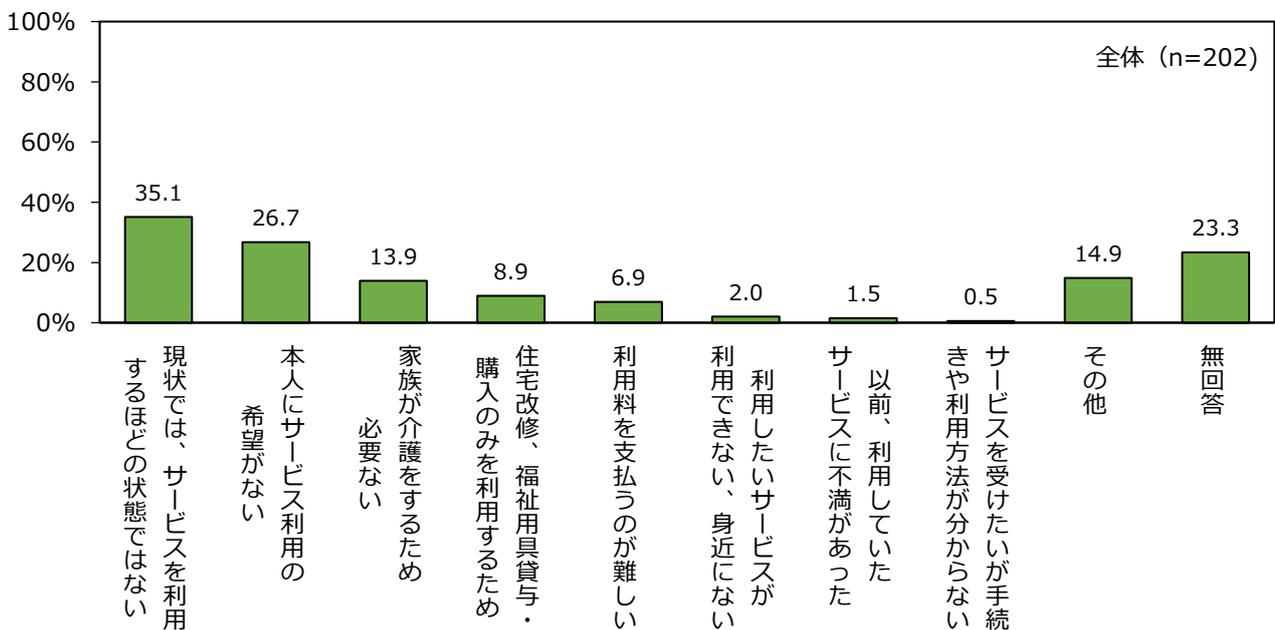
問8-3 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

◆ 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が約4割

介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が35.1%と最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が26.7%、「家族が介護をするため必要ない」が13.9%となっています。

要介護度でみると、軽度（要支援1～要介護1）は「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が他の要介護度より多くなっています。

前回調査とみると、今回調査のほうが「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が多くなっています。



	い	用	現	希	本	必	家	た	与	住	い	利	い	利	サ	以	な	続	サ	そ	無
	用	す	状	望	人	要	族	め	・	宅	利	用	用	用	ー	前	い	き	ー	の	回
	す	る	で	が	に	な	が	購	購	改	用	料	用	ビ	・	入	サ	や	ビ	他	答
	る	ほ	は	な	サ	い	介	入	入	修	支	支	じ	ス	ス	入	入	利	ス		
	は	ど	の	い	ー	護	を	の	福	・	払	払	が	に	に	不	分	方	が		
	な	を	を	の	ス	す	る	利	社	が	う	う	難	が	あ	分	法	法	分		
	な	を	を	の	利	た	た	し	貸	難	が	が	し	あ	ら	ら	が	が	ら		
	な	を	を	の	の	め	め	し	す	し	た	た	な	た	手	手	手	手	手		
全体 (n=202)	35.1	26.7	13.9	8.9	6.9	2.0	1.5	0.5	14.9	23.3											
前回調査 (R2) (n=160)	26.9	21.3	16.9	8.8	5.6	1.9	1.3	5.0	19.4	26.3											
軽度 (要支援1～要介護1) (n=109)	46.8	31.2	11.0	9.2	8.3	0.9	1.8	0.9	4.6	22.0											
中度 (要介護2、3) (n=61)	14.8	18.0	18.0	13.1	6.6	4.9	0.0	0.0	26.2	27.9											
重度 (要介護4、5) (n=16)	18.8	18.8	18.8	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	43.8	18.8											
わからない (n=10)	60.0	50.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0											
無回答 (n=6)	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7											

## 1-12 新たに利用したいと思う介護保険サービス

問9 今後、新たに利用したいと思う介護保険サービスはありますか。(〇は3つまで)

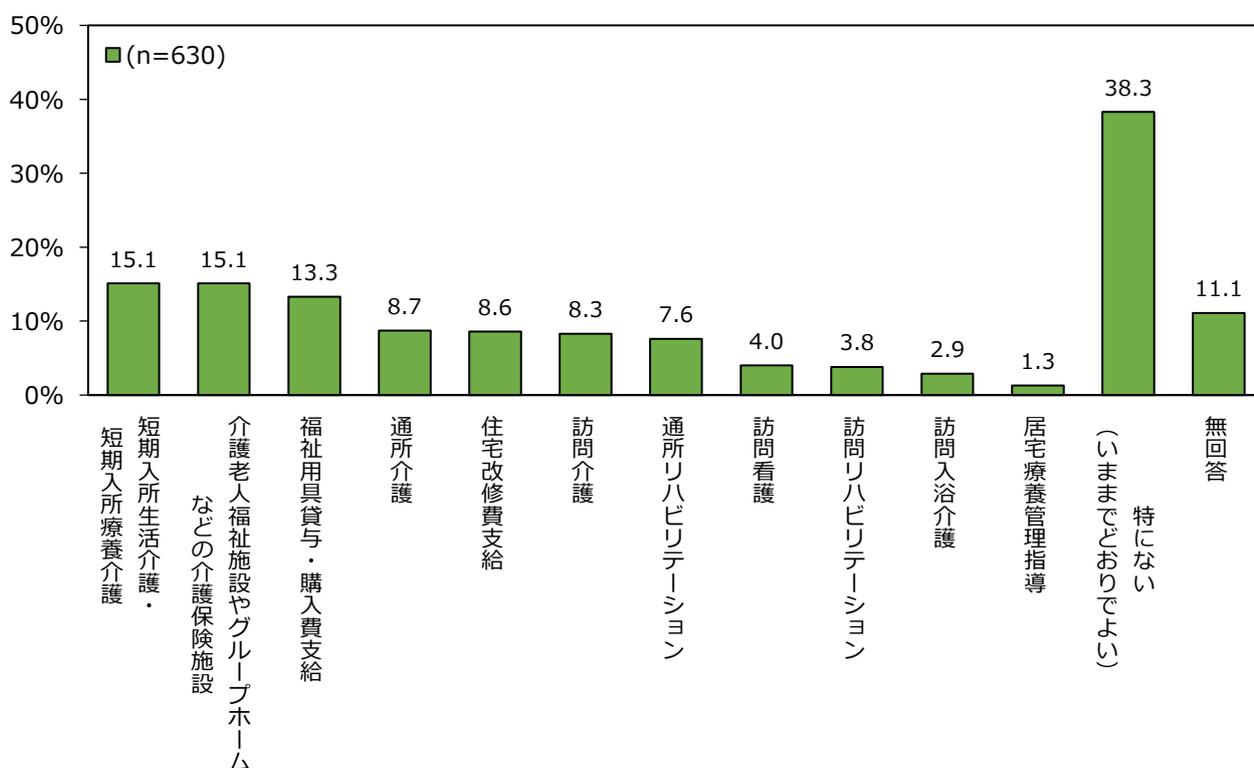
### ◆ 「特にない (いままでどおりでよい)」が約4割

新たに利用したいと思う介護保険サービスについて、「特にない」が38.3%と最も多くなっています。サービスの利用を希望している人では、「短期入所生活介護・短期入所療養介護」、「介護老人福祉施設やグループホームなどの介護保険施設」がともに15.1%と最も多く、次いで「福祉用具貸与・購入費支給」が13.3%、「通所介護」が8.7%となっています。

要介護度でみると、中度（要介護2、3）は「介護老人福祉施設やグループホームなどの介護保険施設」が他の要介護度より多くなっています。

介護者の有無で比較すると、介護者がいる人のほうが「短期入所生活介護・短期入所療養介護」が15ポイント以上多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「訪問入浴介護」が3.5ポイント少なくなっています。



	短期入所療養介護・短期入所生活介護	介護老人福祉施設やグループホームなどの介護保険施設	福祉用具貸与・購入費支給	通所介護	住宅改修費支給	訪問介護	通所リハビリテーション	訪問看護	訪問リハビリテーション	訪問入浴介護	居宅療養管理指導	特にない (いままでどおりでよい)	無回答
全体 (n=630)	15.1	15.1	13.3	8.7	8.6	8.3	7.6	4.0	3.8	2.9	1.3	38.3	11.1
前回調査 (R2) (n=535)	14.0	14.6	10.5	9.3	6.2	6.0	6.5	3.2	3.6	6.4	2.4	39.6	11.2
軽度 (要支援1～要介護1) (n=316)	15.5	14.9	14.9	9.8	9.5	9.5	8.9	2.8	3.2	2.2	1.9	37.0	9.5
中度 (要介護2、3) (n=200)	14.5	17.0	14.0	8.0	10.0	9.0	7.0	4.0	4.5	4.0	1.0	37.0	11.5
重度 (要介護4、5) (n=81)	18.5	13.6	8.6	6.2	4.9	4.9	4.9	6.2	4.9	1.2	0.0	43.2	12.3
介護者なし (n=168)	6.5	13.7	6.5	5.4	4.8	6.5	6.5	2.4	1.8	1.8	0.0	50.0	13.1
介護者あり (n=380)	21.6	16.1	16.1	9.7	10.8	8.4	6.8	5.0	5.3	3.9	1.8	34.7	6.8

1-13 「介護保険サービス以外」の支援・サービス

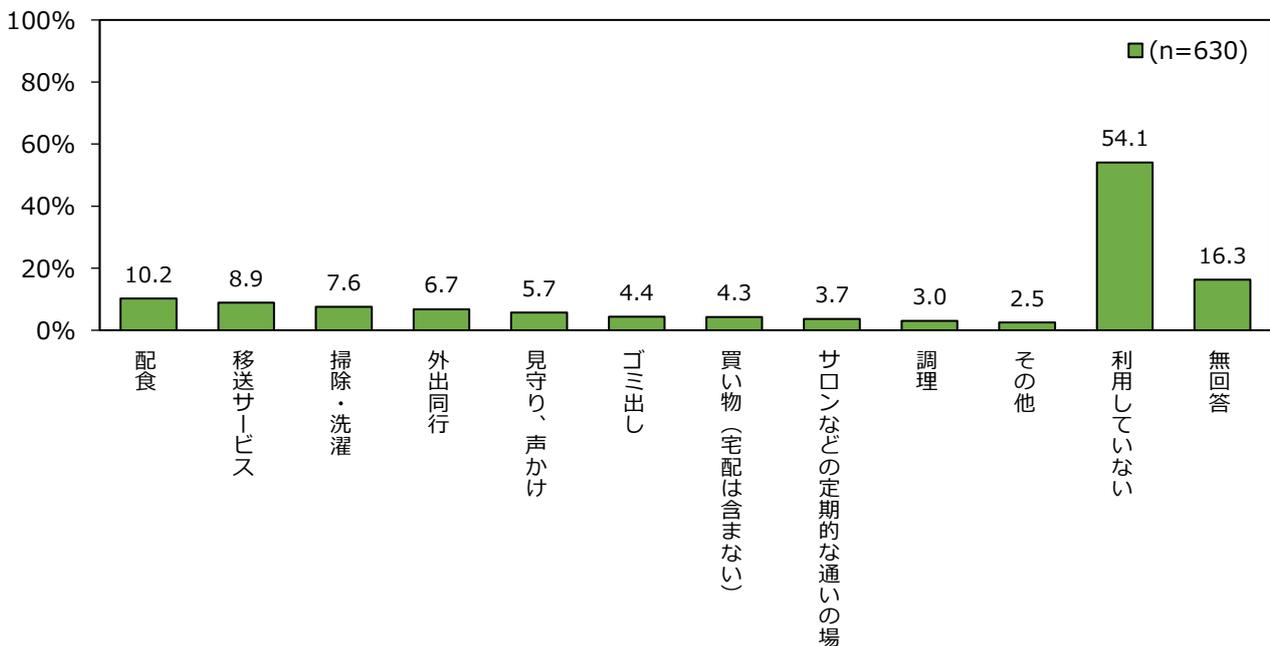
問10 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。  
(○はいくつでも)

◆ 「利用していない」が約5割、最も利用しているサービスは「配食」で約1割

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、「利用していない」が54.1%と最も多くなっています。利用しているサービスとしては、「配食」が10.2%と最も多く、次いで「移送サービス」が8.9%、「掃除・洗濯」が7.6%となっています。

介護者の有無でみると、介護者がいない人は「移送サービス」が多く、介護者がいる人は「配食」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「配食」が4.2ポイント、「移送サービス」が2.2ポイント多くなっています。



	配食	移送サービス	掃除・洗濯	外出同行	見守り、声かけ	ゴミ出し	買い物(宅配は含まない)	サロンなどの定期的な通いの場	調理	その他	利用していない	無回答
全体 (n=630)	10.2	8.9	7.6	6.7	5.7	4.4	4.3	3.7	3.0	2.5	54.1	16.3
前回調査 (R2) (n=535)	6.0	6.7	6.2	6.5	4.7	4.1	3.9	2.8	2.8	2.2	57.6	16.4
介護者なし (n=168)	4.8	10.7	8.9	6.5	6.0	3.6	4.2	4.2	2.4	2.4	57.1	16.1
介護者あり (n=380)	12.9	8.2	7.1	6.6	5.3	4.5	4.2	3.2	3.4	2.6	56.6	12.9

## 1-14 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

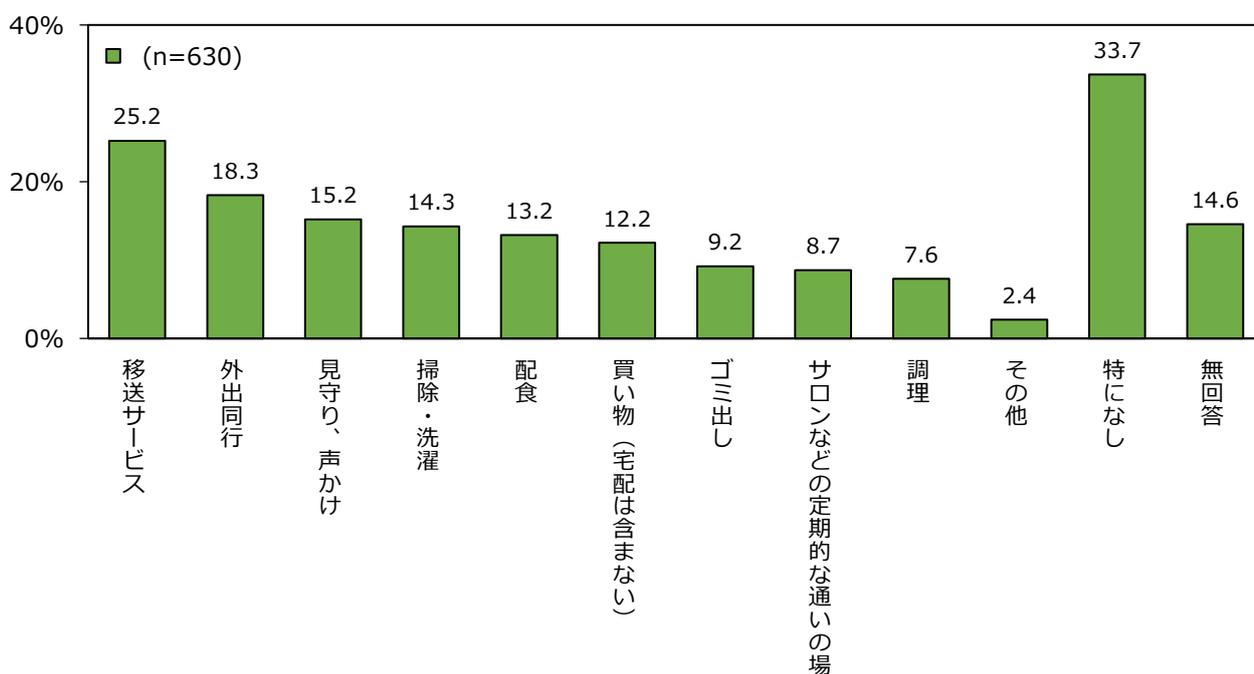
問 11 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

### ◆ 「特になし」が約3割、最も必要と感じるサービスは「移送サービス」

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「特になし」が33.7%と最も多くなっています。必要な支援・サービスとしては、「移送サービス」が25.2%と最も多く、次いで「外出同行」が18.3%、「見守り、声かけ」が15.2%、「掃除・洗濯」が14.3%となっています。

介護者の有無でみると、介護者がいる人のほうが「配食」、「外出同行」が多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「掃除・洗濯」が4.6ポイント、「見守り、声かけ」が4.5ポイント多くなっています。



	移送サービス	外出同行	見守り、声かけ	掃除・洗濯	配食	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	サロンなどの定期的な通いの場	調理	その他	特になし	無回答
全体 (n=630)	25.2	18.3	15.2	14.3	13.2	12.2	9.2	8.7	7.6	2.4	33.7	14.6
前回調査 (R2) (n=535)	22.4	16.8	10.7	9.7	10.7	9.0	8.2	7.1	5.6	1.9	40.4	14.8
介護者なし (n=168)	23.8	13.1	10.7	13.1	5.4	10.1	6.0	6.5	4.8	0.0	42.3	14.3
介護者あり (n=380)	27.9	22.1	17.6	15.3	16.8	13.7	11.1	9.7	9.2	3.2	32.6	10.8

### 1-15 訪問診療の利用の有無

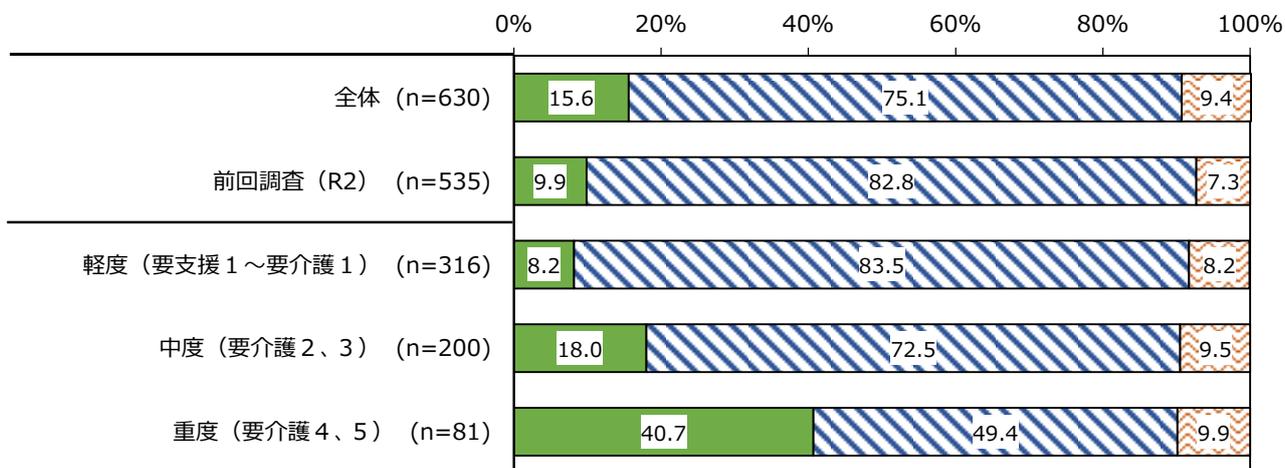
問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（○は1つ）

◆ 「利用している」が約2割

訪問診療の利用について、「利用している」が15.6%、「利用していない」が75.1%となっています。

要介護度でみると、重度（要介護4、5）は「利用している」が他の要介護度より多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「利用している」が5.7ポイント多くなっています。



## 1-16 特に力を入れてほしい介護施策

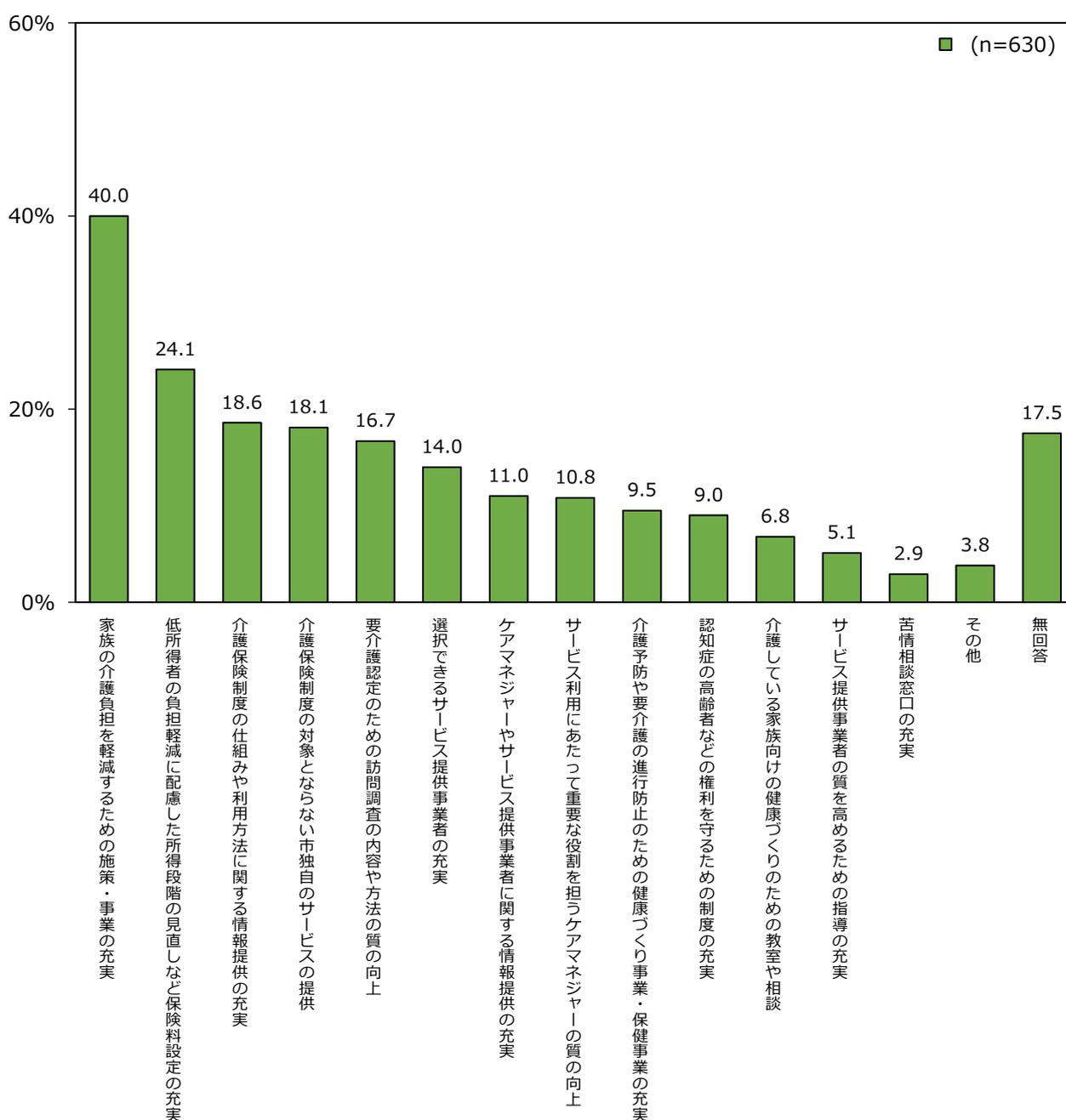
問 13 介護保険制度をはじめ、介護にかかわるこれからの施策のあり方について、特に力を入れてほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

### ◆ 「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が4割

特に力を入れてほしい介護施策について、「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が40.0%と最も多く、次いで「低所得者の負担軽減に配慮した所得段階の見直しなど保険料設定の充実」が24.1%、「介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実」が18.6%となっています。

要介護度でみると、重度（要介護4、5）は「サービス利用にあたって重要な役割を担うケアマネジャーの質の向上」が他の要介護度より多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「介護保険制度の対象とならない市独自のサービスの提供」が4.1ポイント多くなっています。



### Ⅲ 調査結果【在宅介護実態調査】

#### 調査結果報告書

		家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実	低所得者の負担軽減に配慮した所得段階の見直しなど保険料設定の充実	介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実	介護保険制度の対象とならない市独自のサービスの提供	要介護認定のための訪問調査の内容や方法の質の向上	選択できるサービス提供事業者の充実	ケアマネジャーやサービス提供事業者に関する情報提供の充実	サービス利用にあたって重要な役割を担うケアマネジャーの質の向上	介護予防や要介護の進行防止のための健康づくり事業・保健事業の充実	認知症の高齢者などの権利を守るための制度の充実	介護している家族向けの健康づくりのための教室や相談	サービス提供事業者の質を高めるための指導の充実	苦情相談窓口の充実	その他	無回答
全体	(n=630)	40.0	24.1	18.6	18.1	16.7	14.0	11.0	10.8	9.5	9.0	6.8	5.1	2.9	3.8	17.5
前回調査 (R2)	(n=535)	42.4	24.9	18.9	14.0	16.3	17.0	11.2	14.0	10.3	8.8	10.1	9.0	2.8	2.4	13.6
軽度 (要支援1～要介護1)	(n=316)	36.7	22.8	21.5	20.6	19.0	15.2	12.7	9.8	9.5	9.2	5.7	6.3	3.2	3.5	17.4
中度 (要介護2、3)	(n=200)	45.0	24.5	14.0	14.0	14.0	14.5	10.0	10.0	9.5	10.5	8.0	1.0	2.5	4.5	15.5
重度 (要介護4、5)	(n=81)	43.2	28.4	19.8	19.8	16.0	11.1	7.4	18.5	8.6	4.9	8.6	8.6	2.5	3.7	19.8

## 1-17 地域包括支援センターの認知

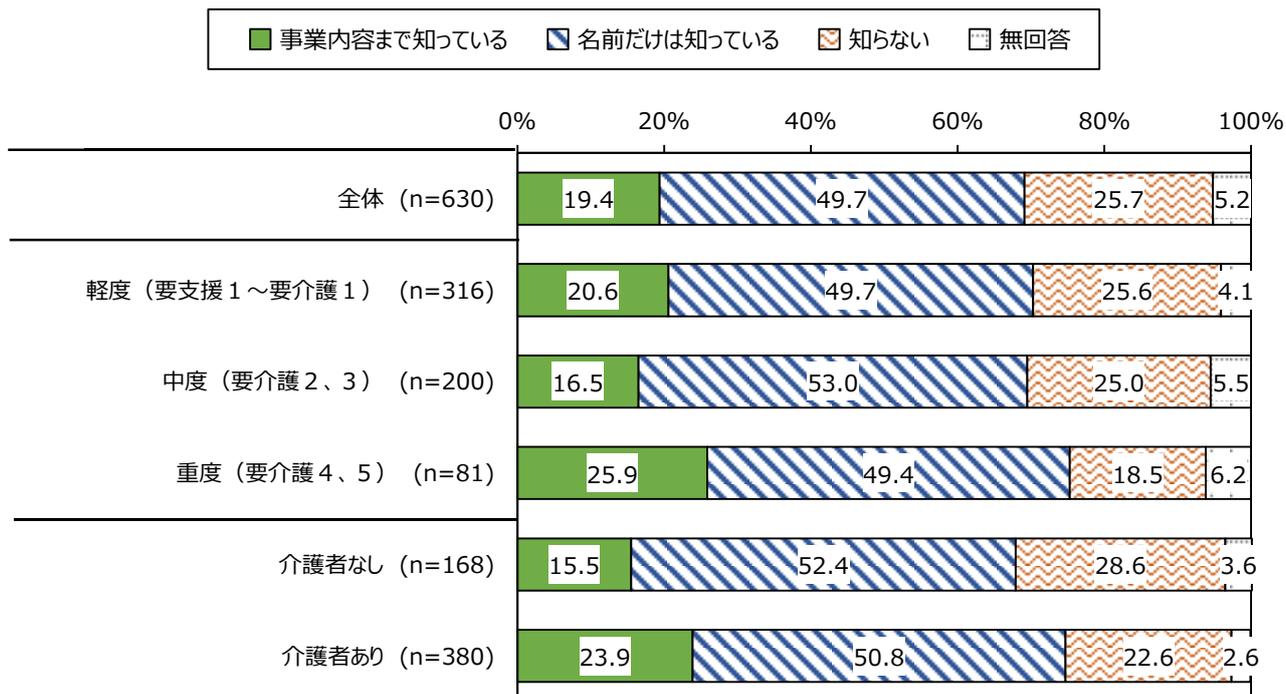
問 14 地域包括支援センターを知っていますか。(○は1つ)

### ◆ “知っている” 人が約7割

地域包括支援センターについて、「事業内容まで知っている」の19.4%と「名前だけは知っている」の49.7%を合わせた“知っている”人は69.1%となっています。

要介護度でみると、重度（要介護4、5）は“知っている”が他の要介護度より多くなっています。

介護者の有無でみると、介護者がいる人のほうが“知っている”が多くなっています。



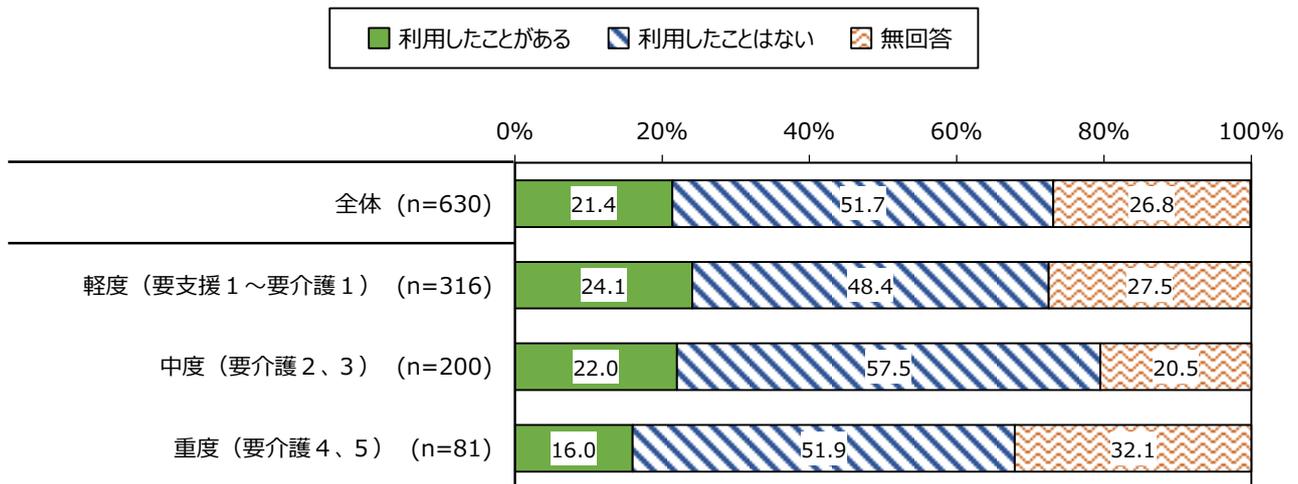
### 1-18 地域包括支援センターの利用の有無

問 15 地域包括支援センターを利用したことがありますか。(○は1つ)

◆ 「利用したことがある」が約2割

地域包括支援センター利用の有無について、「利用したことがある」が21.4%、「利用したことはない」が51.7%となっています。

要介護度でみると、軽度（要支援1～要介護1）は「利用したことがある」が他の要介護度より多くなっています。



### 1-19 地域包括支援センターの印象

問 15 で「利用したことがある」とお答えの方にお聞きします。

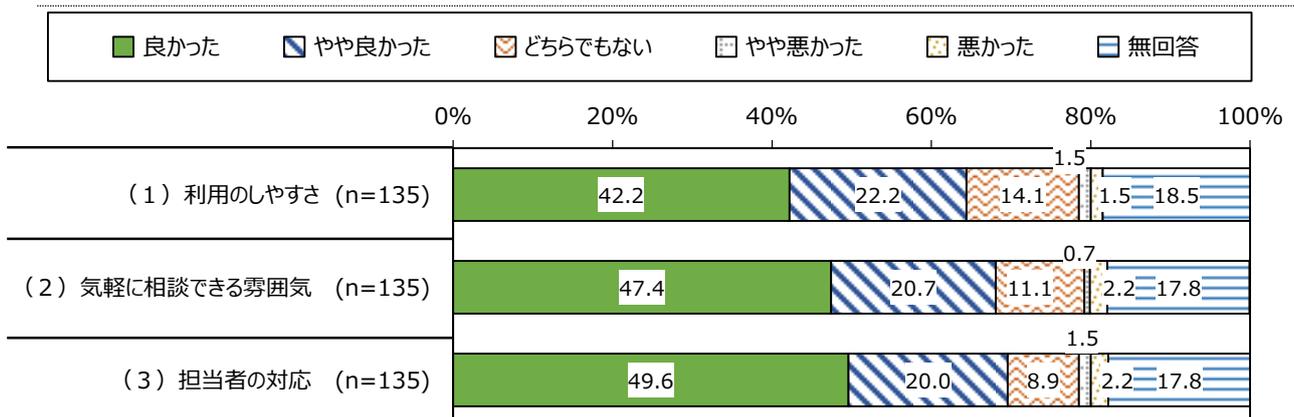
問 15-1 地域包括支援センターの印象はいかがでしたか。(1)～(3)それぞれに回答してください。(1)～(3)以外の印象がある場合、(4)にご記入ください。((1)～(3)はそれぞれ○は1つ)

◆ “良かった”はいずれも6割以上

地域包括支援センターの利用のしやすさについて、「良かった」の42.2%と「やや良かった」の22.2%を合わせた“良かった”人の割合は64.4%となっています。

気軽に相談できる雰囲気について、「良かった」の47.4%と「やや良かった」の20.7%を合わせた“良かった”人の割合は68.1%となっています。

担当者の対応について、「良かった」の49.6%と「やや良かった」の20.0%を合わせた“良かった”人の割合は69.6%となっています。



## 1-20 地域包括支援センターに特に力を入れてほしい事業

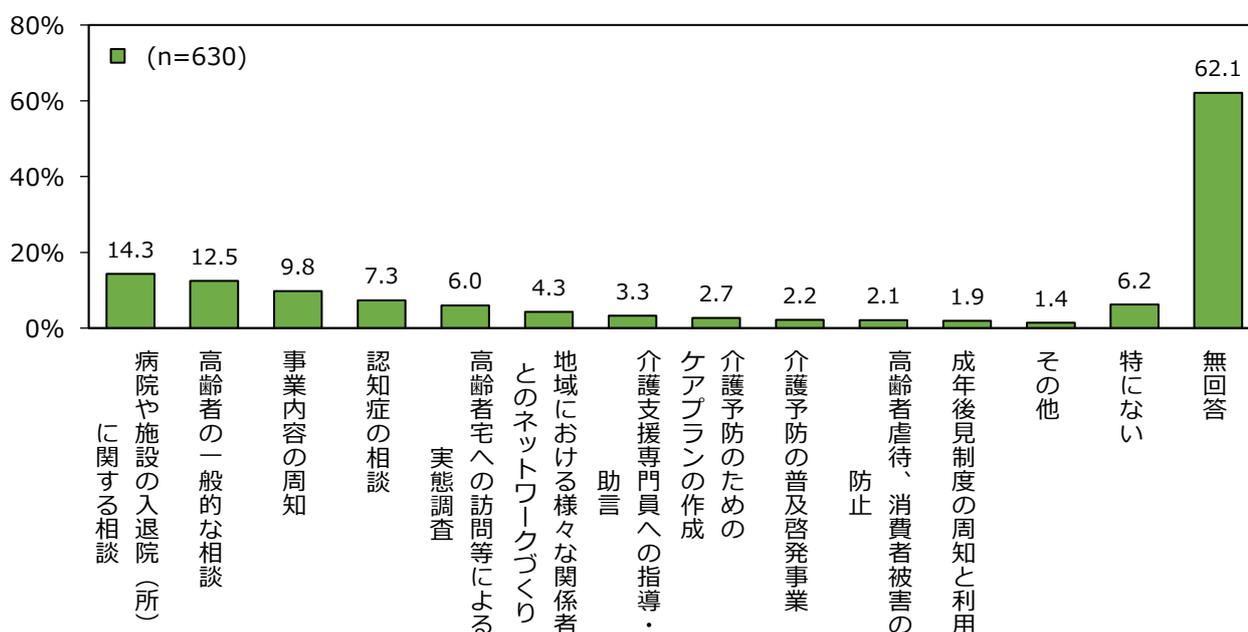
問 16 今後、地域包括支援センターに特に力を入れてほしい事業は何ですか。(〇は3つまで)

### ◆ 「病院や施設の入退院（所）に関する相談」、「高齢者の一般的な相談」が上位

地域包括支援センターに特に力を入れてほしい事業について、「病院や施設の入退院（所）に関する相談」が14.3%と最も多く、次いで「高齢者の一般的な相談」が12.5%、「事業内容の周知」が9.8%となっています。

要介護度でみると、軽度（要支援1～要介護1）は「高齢者の一般的な相談」が他の要介護度より多くなっています。

介護者の有無でみると、介護者がいる人は「病院や施設の入退院（所）に関する相談」、「高齢者の一般的な相談」、「事業内容の周知」が多くなっています。



		病院や施設の入退院（所）に関する相談	高齢者の一般的な相談	事業内容の周知	認知症の相談	高齢者宅への訪問等による実態調査	地域における様々な関係者とのネットワークづくり	介護支援専門員への指導・助言	介護予防のためのケアプランの作成	介護予防の普及啓発事業	高齢者虐待、消費者被害の防止	成年後見制度の周知と利用	その他	特になし	無回答
全体	(n=630)	14.3	12.5	9.8	7.3	6.0	4.3	3.3	2.7	2.2	2.1	1.9	1.4	6.2	62.1
前回調査 (R2)	(n=535)	31.0	21.3	23.7	20.4	13.6	11.0	6.5	4.1	7.3	2.2	1.7	1.1	14.8	14.2
軽度（要支援1～要介護1）	(n=316)	12.7	16.8	8.9	7.6	6.0	5.4	3.2	3.2	2.8	2.8	2.2	1.3	7.6	57.6
中度（要介護2、3）	(n=200)	17.0	8.5	12.0	8.0	6.5	3.5	3.0	3.0	1.5	1.0	2.5	2.5	5.0	64.5
重度（要介護4、5）	(n=81)	16.0	6.2	11.1	2.5	3.7	2.5	4.9	1.2	2.5	2.5	0.0	0.0	2.5	70.4
介護者なし	(n=168)	13.7	10.1	8.3	5.4	4.8	4.2	5.4	2.4	2.4	3.6	1.2	0.0	8.9	65.5
介護者あり	(n=380)	16.6	14.5	11.3	8.9	6.8	4.7	2.4	2.6	2.1	1.6	1.8	2.4	5.3	58.2

### 1-21 家族や親族からの介護の頻度

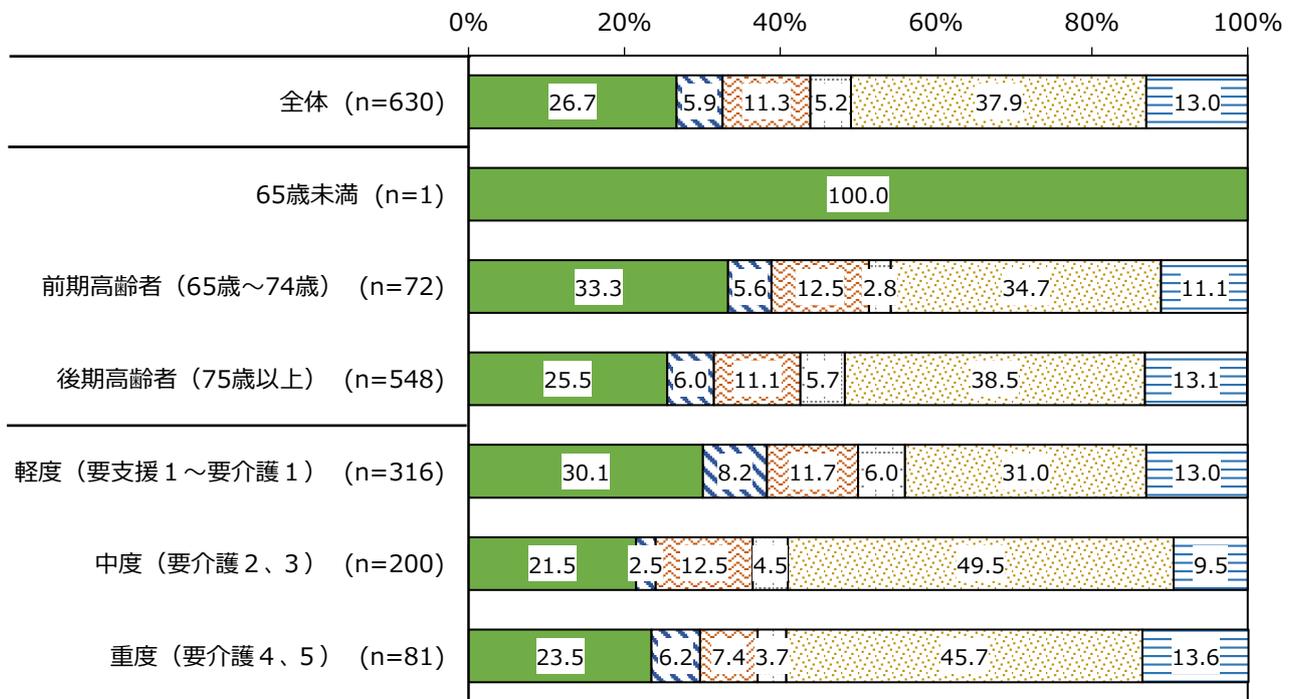
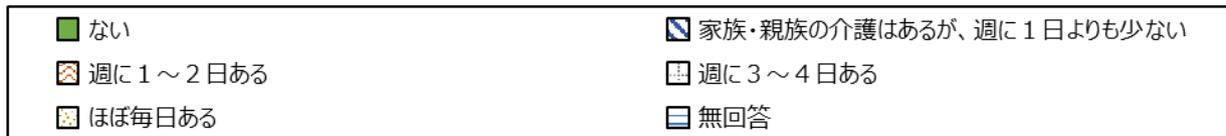
問 17 家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つ）

◆ 「ない」が約3割

家族や親族からの介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が37.9%と最も多く、次いで「ない」が26.7%、「週に1～2日ある」が11.3%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が5.9%、「週に3～4日ある」が5.2%となっています。

年代別でみると、前期高齢者（65歳～74歳）のほうが「ない」が多くなっています。

要介護度でみると、中度（要介護2、3）は「ほぼ毎日ある」が他の要介護度より多くなっています。



## 2) 主な介護者の方について

### 2-1 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族の有無

問17で「2」～「5」を選択された場合は、「主な介護者」の方に問19以降のご回答・ご記入をお願いします。

「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

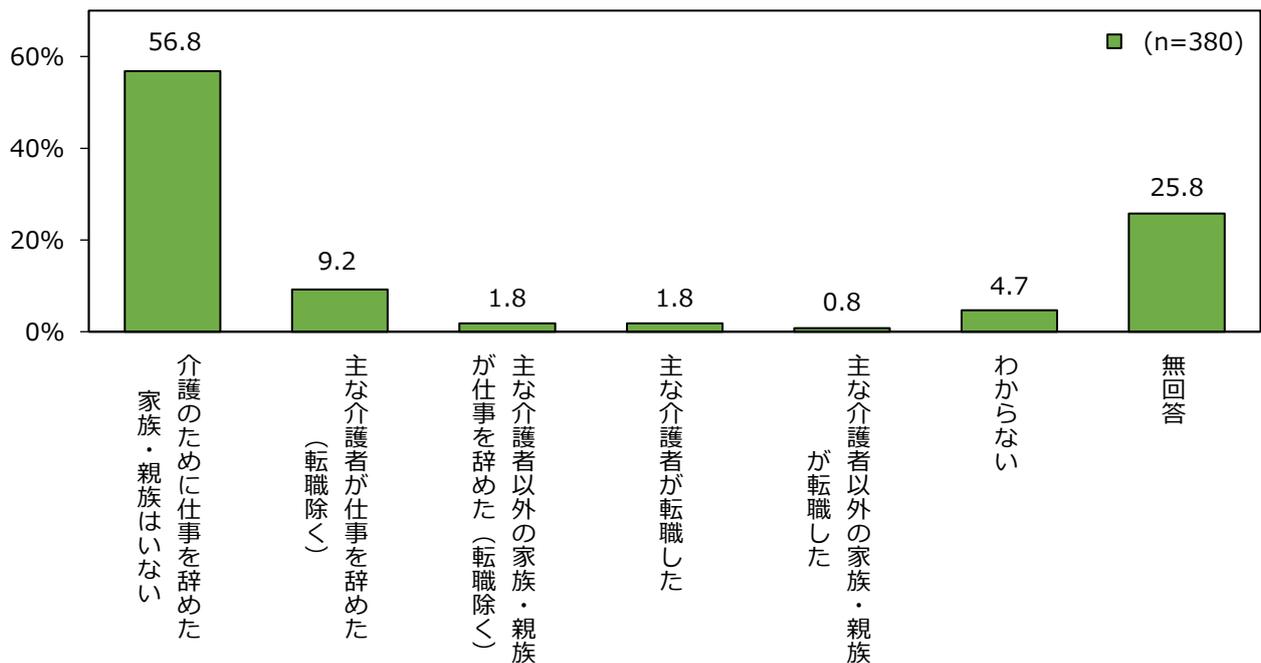
問18 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。  
（〇はいくつでも）

#### ◆ 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が約6割

介護を主な理由として仕事を辞めた方がいるかについて、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が56.8%となっています。また、「主な介護者が仕事を辞めた」は9.2%となっています。

要介護度でみると、中度（要介護2、3）は「主な介護者が仕事を辞めた」が他の要介護度より多くなっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が4.6ポイント少なくなっています。



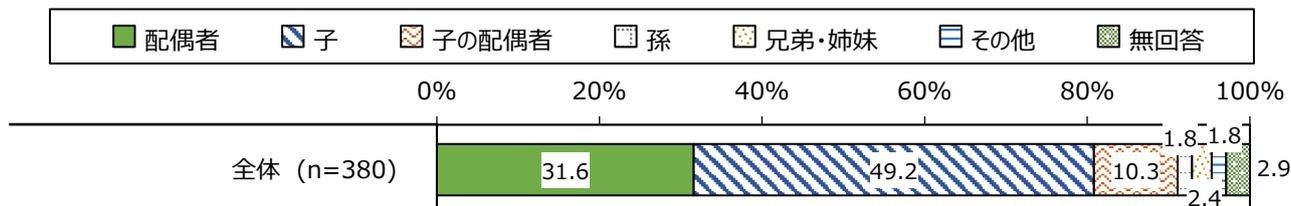
	家族・親族は いない	介護のた めに仕事 を辞めた	主な介護 者以外 の家族・ 親族が 仕事を 辞めた （転職 除く）	主な介護 者が 仕事を 辞めた （転職 除く）	主な介護 者が 転職し た	主な介護 者以外 の家族 が転職 した	わから ない	無回 答
全体 (n=380)	56.8	9.2	1.8	1.8	0.8	4.7	25.8	
前回調査 (R2) (n=350)	61.4	10.6	2.0	3.4	0.6	5.4	18.0	
軽度（要支援1～要介護1） (n=180)	57.8	9.4	1.7	2.8	1.1	4.4	23.9	
中度（要介護2、3） (n=138)	60.1	10.1	2.9	0.0	0.0	4.3	23.2	
重度（要介護4、5） (n=51)	49.0	7.8	0.0	3.9	2.0	2.0	37.3	

## 2-2 家族や親族の中の主な介護者

問 19 主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つ)

### ◆ 主な介護者は「配偶者」が約3割、「子」が約5割

主な介護者は、「子」が49.2%と最も多く、次いで「配偶者」が31.6%、「子の配偶者」が10.3%となっています。

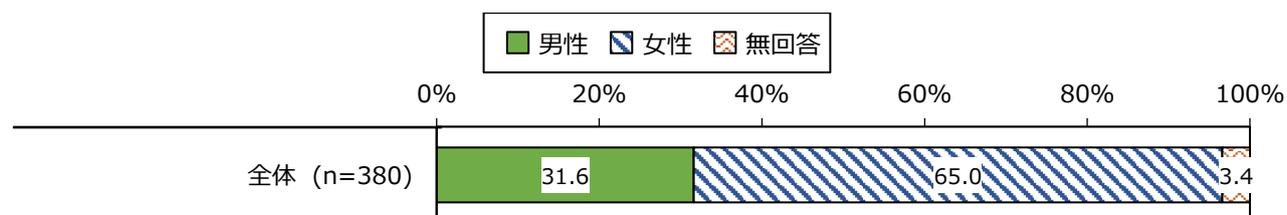


## 2-3 介護者の性別

問 20 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

### ◆ 「男性」が約3割、「女性」が約7割

主な介護者の性別は、「男性」が31.6%、「女性」が65.0%となっています。

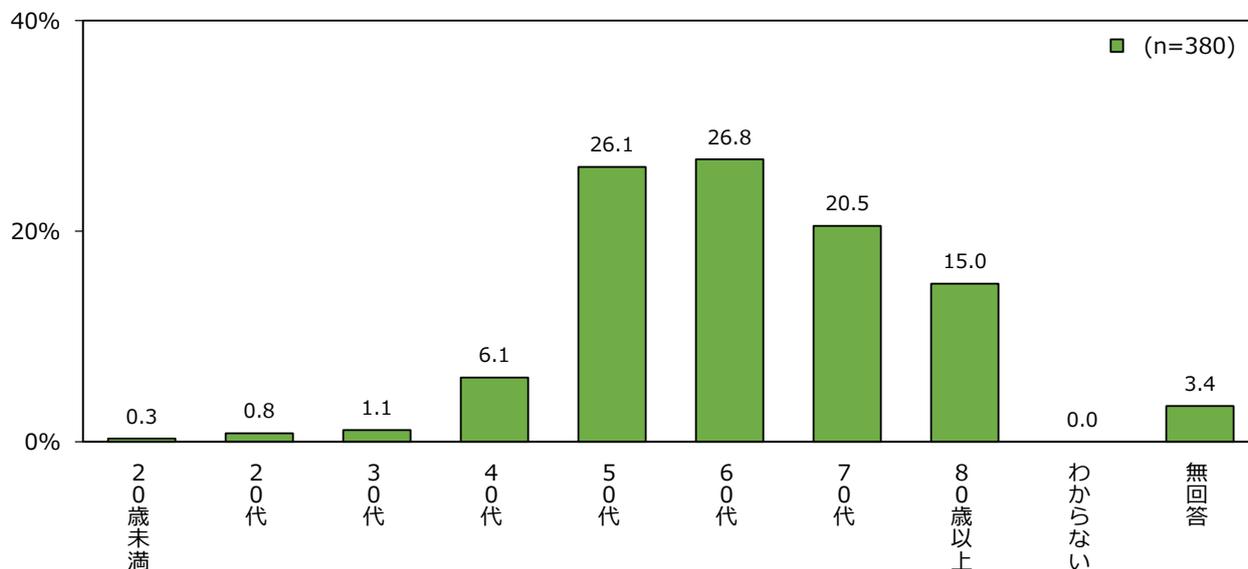


## 2-4 介護者の年齢

問 21 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

### ◆ 「50代」、「60代」がそれぞれ約3割

主な介護者の年齢は、「60代」が26.8%と最も多く、次いで「50代」が26.1%、「70代」が20.5%、「80歳以上」が15.0%となっています。

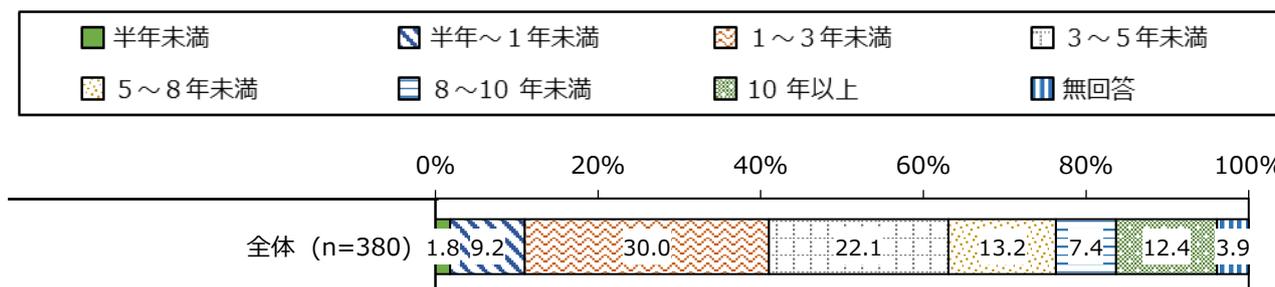


## 2-5 介護の継続年数

問 22 ご本人に対しては、どのくらい介護を続けていますか。(○は1つ)

### ◆ “5年以上”が約3割

介護の継続年数は、「1～3年未満」が30.0%と最も多く、次いで「3～5年未満」が22.1%、「5～8年未満」が13.2%、「10年以上」が12.4%、「半年～1年未満」が9.2%となっています。



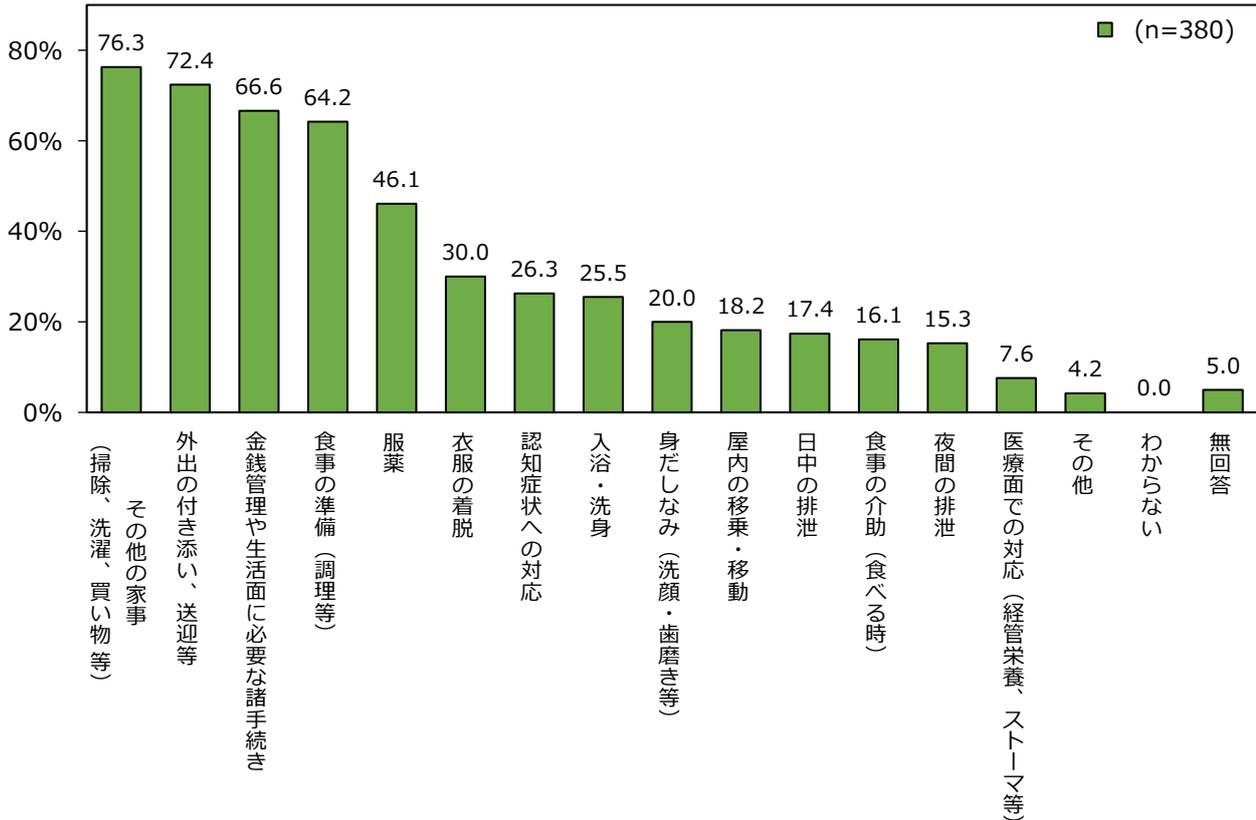
## 2-6 現在行っている介護

問 23 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

### ◆ 「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が約8割

現在行っている介護について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が76.3%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が72.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が66.6%、「食事の準備（調理等）」が64.2%、「服薬」が46.1%となっています。

要介護度でみると、重度（要介護4、5）は「日中の排泄」、「夜間の排泄」等複数の項目がが他の要介護度より多くなっています。



	(掃除、洗濯、買い物等) その他の家事	外出の付き添い、送迎等	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	食事の準備 (調理等)	服薬	衣服の着脱	認知症状への対応	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	屋内の移乗・移動	日中の排泄	食事の介助 (食べる時)	夜間の排泄	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	その他	わからない	無回答
全体 (n=380)	76.3	72.4	66.6	64.2	46.1	30.0	26.3	25.5	20.0	18.2	17.4	16.1	15.3	7.6	4.2	0.0	5.0
軽度 (要支援1～要介護1) (n=180)	72.8	70.0	65.6	55.6	40.6	16.1	30.0	18.3	6.7	11.7	5.6	7.8	5.0	5.6	4.4	0.0	7.2
中度 (要介護2、3) (n=138)	81.9	80.4	70.3	74.6	47.1	37.0	26.1	34.1	26.8	21.7	19.6	20.3	18.8	8.0	4.3	0.0	2.9
重度 (要介護4、5) (n=51)	84.3	62.7	66.7	74.5	66.7	62.7	15.7	31.4	52.9	35.3	54.9	37.3	43.1	13.7	2.0	0.0	2.0

## 2-7 現在の生活を継続していくにあたって不安を感じる介護

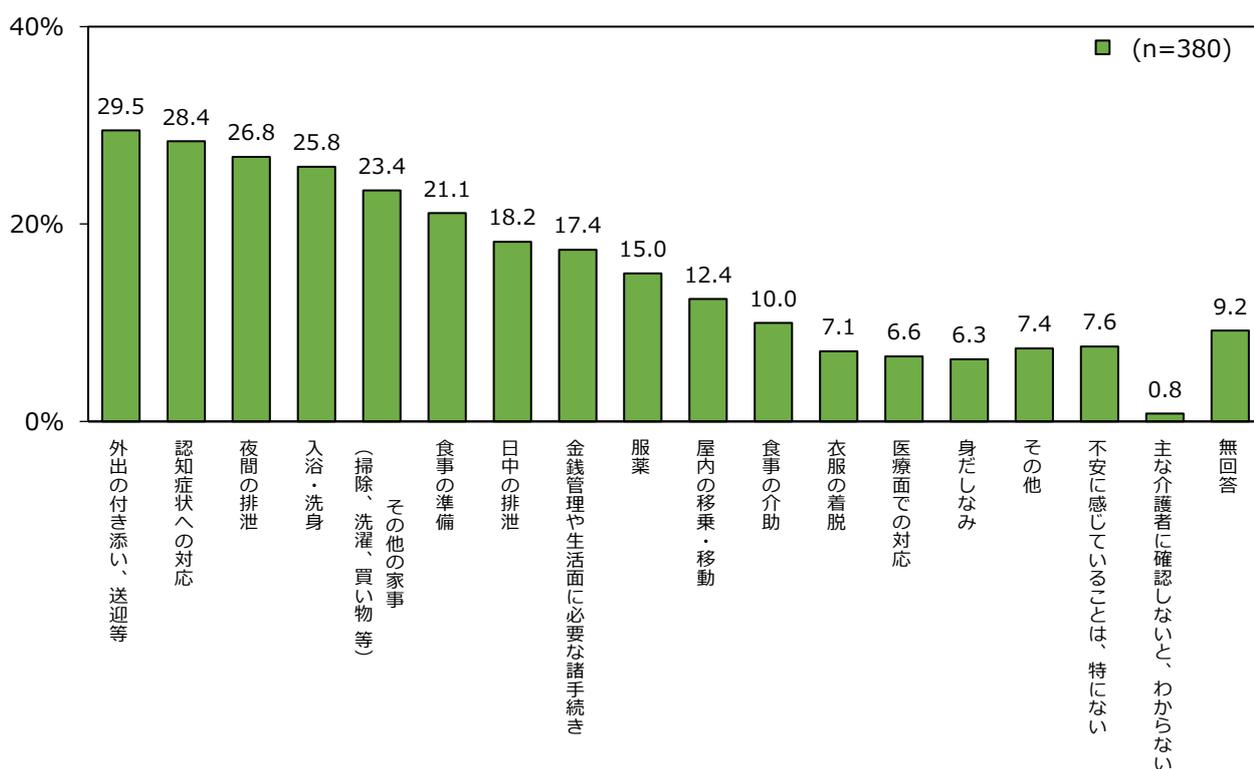
問 24 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

### ◆ 「外出の付き添い、送迎等」が約3割

不安を感じる介護について、「外出の付き添い、送迎等」が29.5%と最も多く、次いで「認知症状への対応」が28.4%、「夜間の排泄」が26.8%、「入浴・洗身」が25.8%となっています。

要介護度でみると、中度（要介護2、3）は「夜間の排泄」が他の要介護度より多くなっています。

世帯類型でみると、夫婦のみ世帯は「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が他の世帯類型より多くなっています。



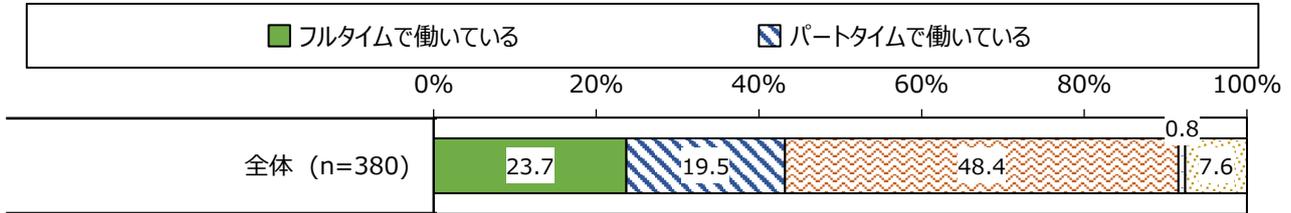
	外出の付き添い、送迎等	認知症状への対応	夜間の排泄	入浴・洗身	(掃除、洗濯、買い物等) その他の家事	食事の準備	日中の排泄	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	服薬	屋内の移乗・移動	食事の介助	衣服の着脱	医療面での対応	身だしなみ	その他	不安を感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体 (n=380)	29.5	28.4	26.8	25.8	23.4	21.1	18.2	17.4	15.0	12.4	10.0	7.1	6.6	6.3	7.4	7.6	0.8	9.2
軽度(要支援1~要介護1) (n=180)	29.4	31.1	25.0	25.0	21.1	16.1	18.3	16.7	20.0	10.0	5.6	5.6	7.2	7.8	8.9	8.3	0.6	12.2
中度(要介護2、3) (n=138)	29.0	24.6	33.3	26.8	28.3	27.5	21.0	18.1	10.9	16.7	16.7	8.0	3.6	4.3	5.8	7.2	1.4	5.8
重度(要介護4、5) (n=51)	27.5	29.4	21.6	25.5	21.6	21.6	13.7	15.7	7.8	11.8	9.8	9.8	13.7	5.9	7.8	5.9	0.0	7.8
単身世帯 (n=94)	25.5	28.7	27.7	20.2	17.0	16.0	17.0	14.9	16.0	8.5	6.4	5.3	6.4	4.3	9.6	7.4	0.0	12.8
夫婦のみ世帯 (n=95)	31.6	24.2	21.1	26.3	34.7	28.4	10.5	20.0	20.0	10.5	8.4	6.3	9.5	4.2	3.2	8.4	0.0	8.4
その他 (n=182)	30.2	30.8	30.8	29.1	20.9	20.3	23.6	18.1	11.0	15.4	13.2	8.2	4.9	8.8	8.2	7.7	1.6	7.7

## 2-8 介護者の現在の勤務形態

問 25 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

### ◆ 「働いていない」が約5割

主な介護者の現在の勤務形態について、「働いていない」が48.4%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が23.7%、「パートタイムで働いている」が19.5%となっています。



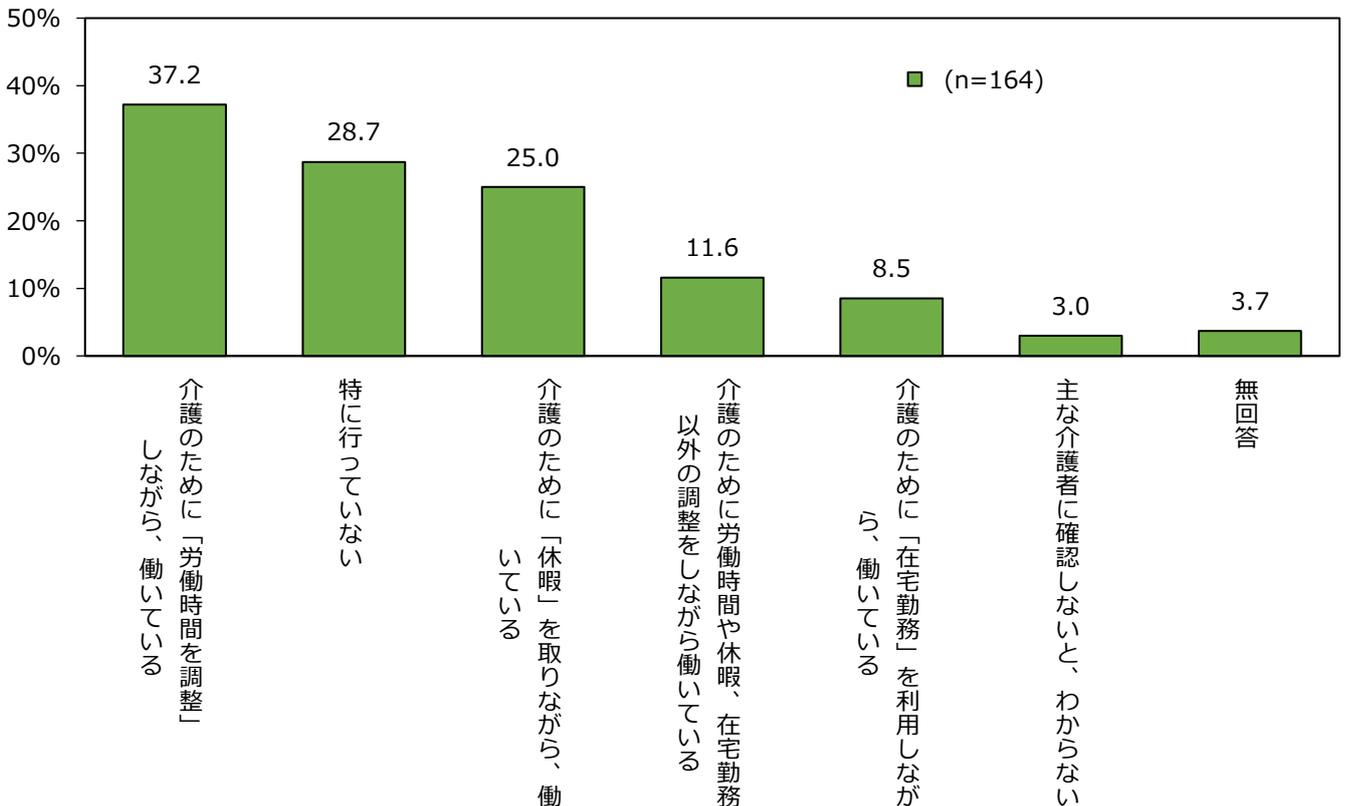
## 2-9 介護をする際の働き方の調整

ここから先は、問 25 で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問 26 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(○はいくつでも)

### ◆ 「特に行っていない」、「介護のために『労働時間を調整』しながら働いている」が約3割

介護をする際の働き方の調整について、「介護のために『労働時間を調整』しながら働いている」が37.2%と最も多く、次いで「特に行っていない」が28.7%、「介護のために『休暇』を取りながら働いている」が25.0%、「介護のために労働時間や休暇、在宅勤務以外の調整をしながら働いている」が11.6%となっています。

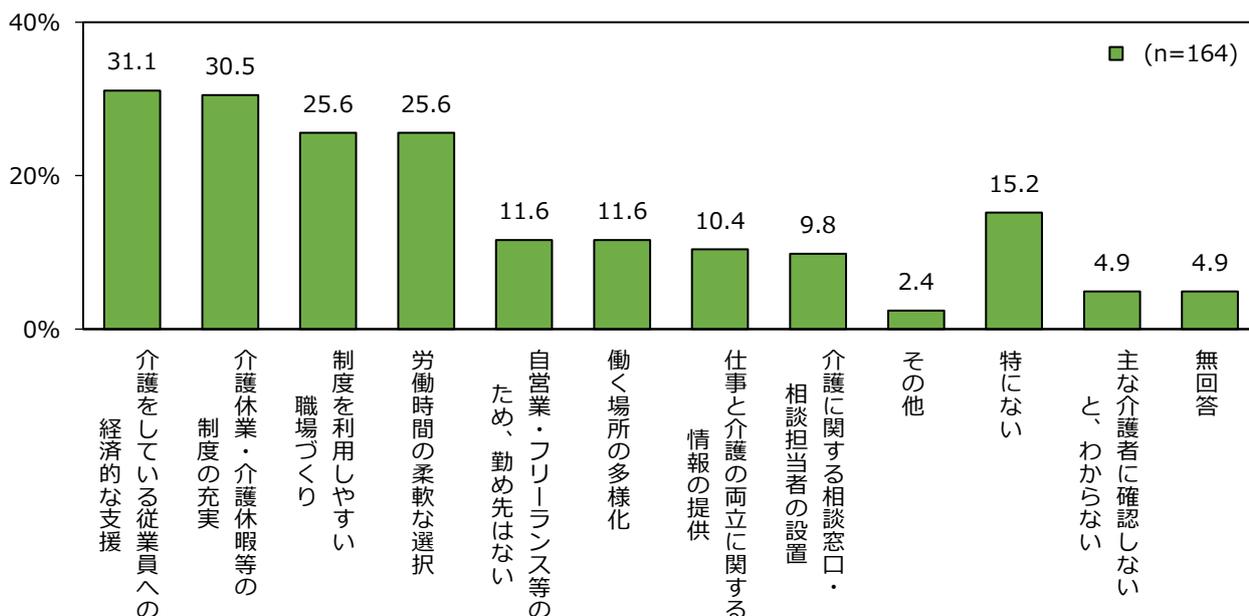


## 2-10 仕事と介護の両立のための勤務先からの支援

問 27 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

### ◆ 「介護をしている従業員への経済的な支援」が約3割

仕事と介護の両立に効果があると思われる勤務先からの支援について、「介護をしている従業員への経済的な支援」が31.1%と最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.5%、「制度を利用しやすい職場づくり」と「労働時間の柔軟な選択」が25.6%となっています。

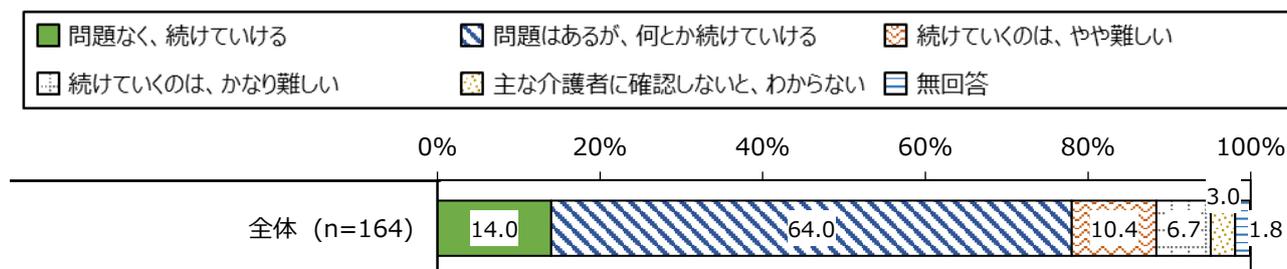


## 2-11 働きながらの介護の継続

問 28 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇は1つ)

### ◆ “続けていける”が約8割

今後も働きながら介護を続けていけるかについて、「問題なく、続けていける」の14.0%と「問題はあるが、何とか続けていける」の64.0%を合わせた“続けていける”人は78.0%となっています。一方で、「続けていくのは、やや難しい」の10.4%と「続けていくのは、かなり難しい」の6.7%を合わせた“続けていくのは、難しい”人は17.1%となっています。









# IV 調査結果

介護支援専門員調査



## IV 調査結果【介護支援専門員】

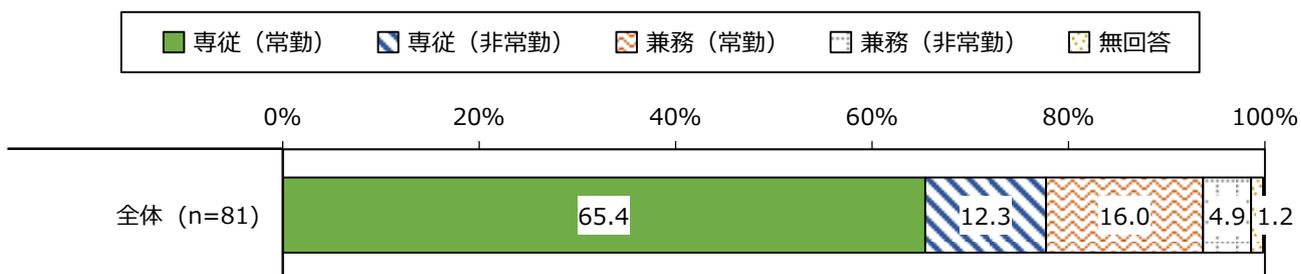
### 1) 調査回答者について

#### 1-1 勤務形態

問1 あなたの勤務形態は次のどれに該当しますか。(○は1つ)

##### ◆ 専従（常勤）が約7割

対象者の勤務形態について、「専従（常勤）」が65.4%と最も多く、次いで「兼務（常勤）」が16.0%、「専従（非常勤）」が12.3%、「兼務（非常勤）」が4.9%となっています。

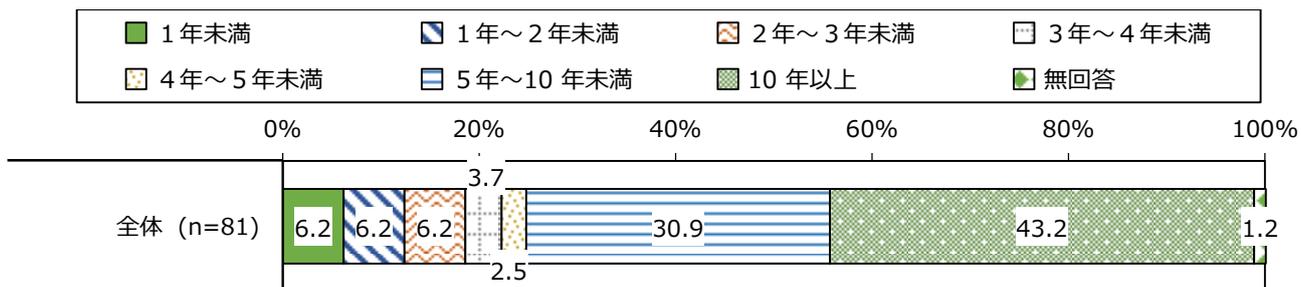


#### 1-2 介護支援専門員としての経験年数

問2 介護支援専門員としての経験年数をお答えください。(○は1つ)

##### ◆ 「5年以上」が約7割

対象者の介護支援専門員としての経験年数について、「10年以上」が43.2%と最も多く、次いで「5年～10年未満」が30.9%、「1年未満」、「1年～2年未満」、「2年～3年未満」がともに6.2%となっています。「10年以上」と「5年～10年未満」を合わせた“5年以上”は74.1%となっています。

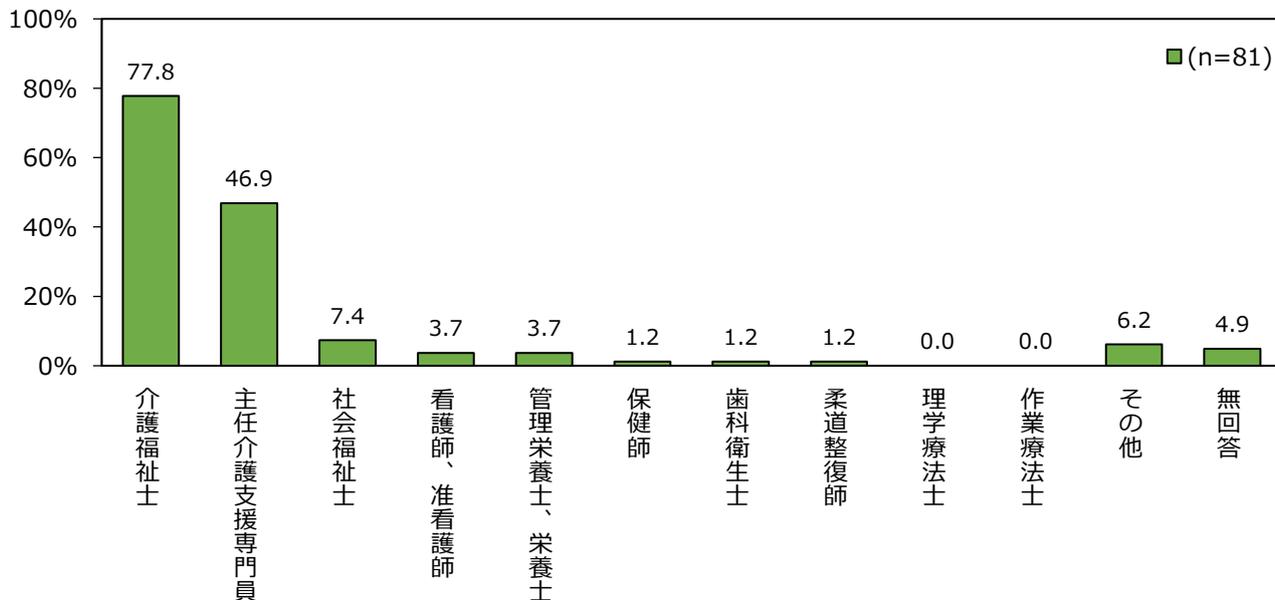


### 1-3 所持している資格

問3 次の資格の中でどれをお持ちですか。(〇はいくつでも)

◆ 「介護福祉士」が約8割

対象者が所持している資格は、「介護福祉士」が77.8%と最も多く、次いで「主任介護支援専門員」が46.9%、「社会福祉士」が7.4%、「看護師、准看護師」、「管理栄養士、栄養士」がともに3.7%となっています。



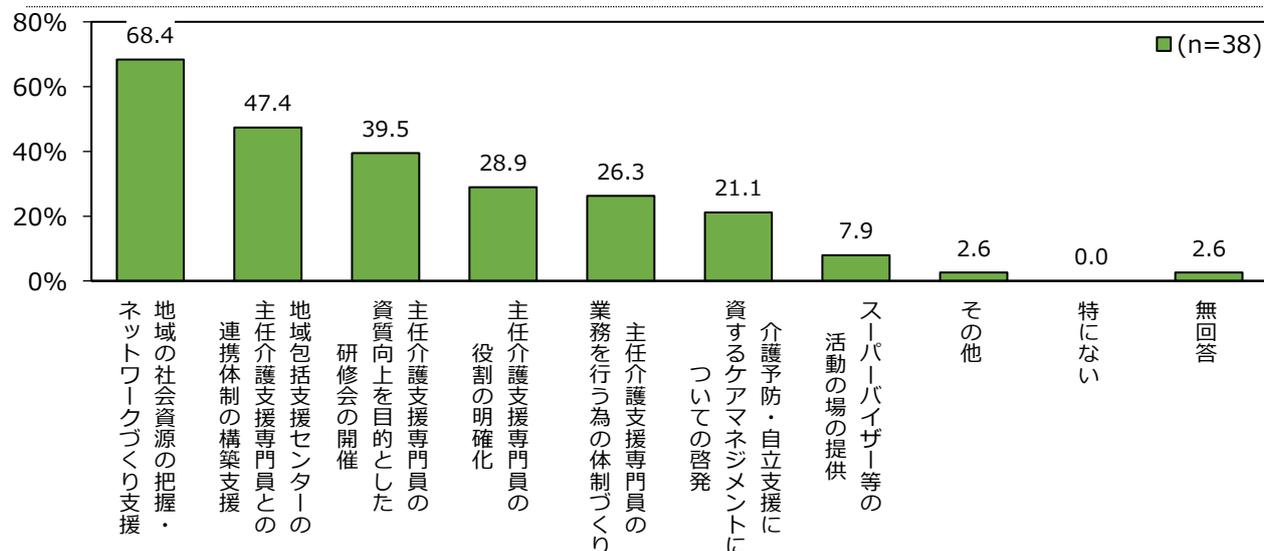
### 1-4 所持している資格

問3で「主任介護支援専門員」と答えた方にお聞きします。

問3-1 主任介護支援専門員としてどのような支援の充実が必要と考えますか (〇はいくつでも)

◆ 「地域の社会資源の把握・ネットワークづくり支援」が約7割

主任介護支援専門員として必要な支援の充実は、「地域の社会資源の把握・ネットワークづくり支援」が68.4%と最も多く、次いで「地域包括支援センターの主任介護支援専門員との連携体制の構築支援」が47.4%、「主任介護支援専門員の資質向上を目的とした研修会の開催」が39.5%となっています。



## 2) ケアプランの作成について

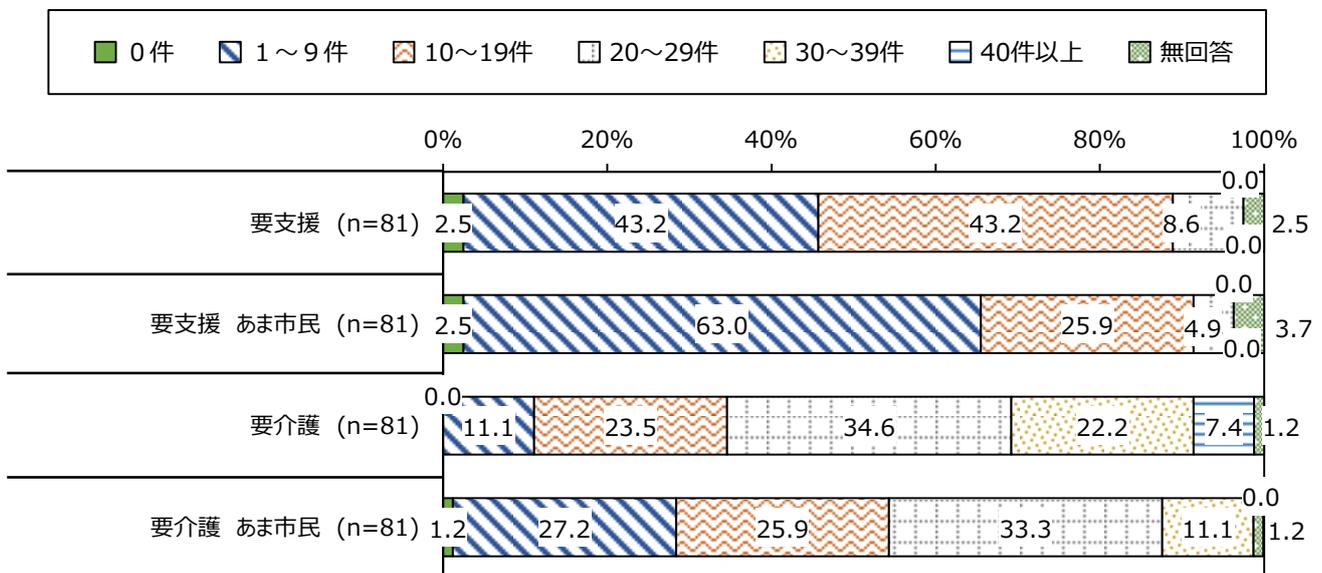
### 2-1 担当しているケアプランの件数

問4 令和4年12月31日現在で担当しているケアプランの件数は何件ですか。(実数で記入)

#### ◆ 要支援は「1～9件」、「10～19件」がそれぞれ約4割

対象者が担当しているケアプランの件数について、要支援では「1～9件」、「10～19件」がともに43.2%と最も多く、次いで「20～29件」が8.6%となっています。また、要支援の内、あま市民は「1～9件」が63.0%と最も多く、次いで「10～19件」が25.9%となっています。

要介護では「20～29件」が34.6%と最も多く、次いで「10～19件」が23.5%となっています。また、要介護の内、あま市民は「20～29件」が33.3%と最も多く、次いで「1～9件」が27.2%となっています。



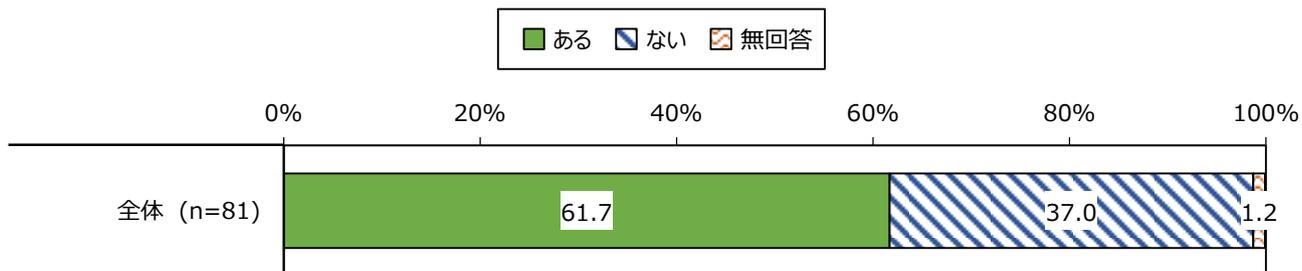
## 2-2 施設入所が好ましいと思われるケース

問4-1 あま市民の担当件数のうち、在宅での生活が困難で、施設入所が好ましいと思われるケースはありますか。ある場合は実際の件数もご記入ください。(〇は1つ。数字を記入)

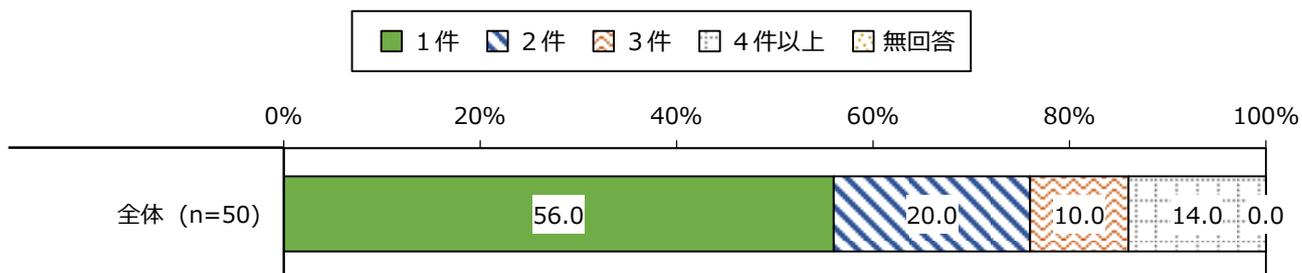
### ◆ 「ある」が6割、「ない」が4割

施設入所が好ましいと思われるケースについて、「ある」が61.7%、「ない」が37.0%となっています。

また、件数は「1件」が56.0%と最も多く、次いで「2件」が20.0%、「4件以上」が14.0%、「3件」が10.0%となっています。



### 【件数】



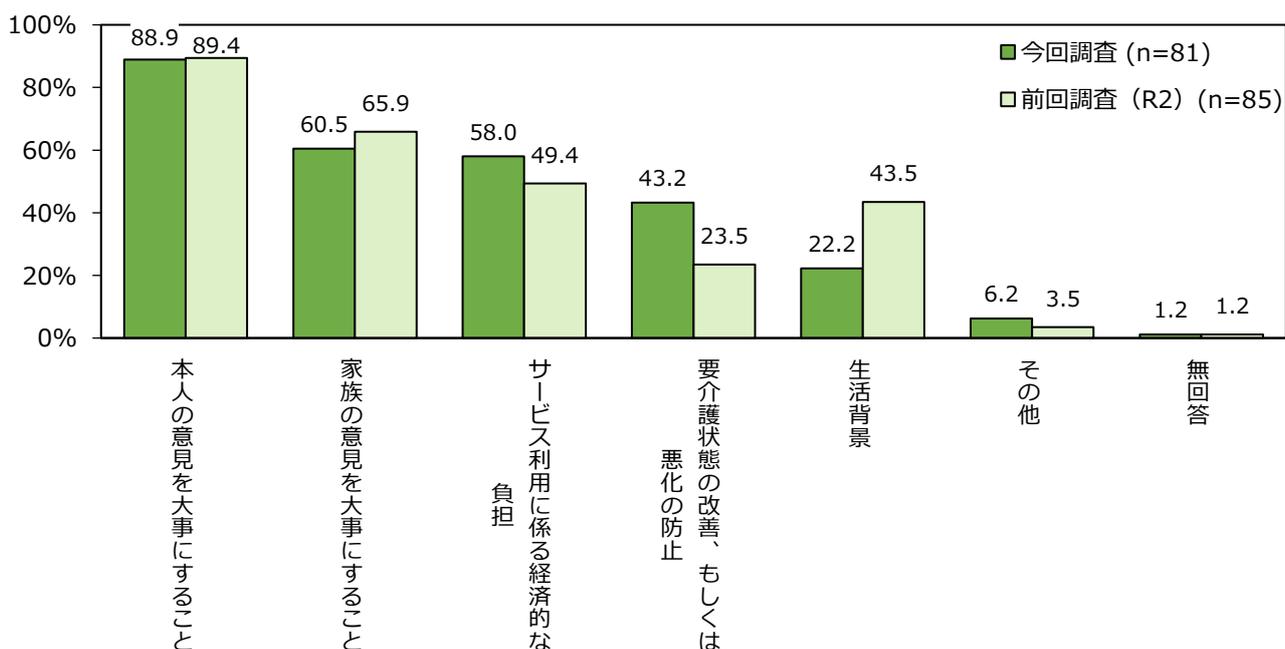
## 2-3 ケアプランを立てるにあたり気をつけていること

問5 ケアプランを立てるにあたり、生活機能の状態のほかに、どのようなことに気をつけていますか。(〇は3つまで)

### ◆ 「本人の意見を大事にすること」が約9割

ケアプランを立てるにあたり気をつけていることについて、「本人の意見を大事にすること」が88.9%と最も多く、次いで「家族の意見を大事にすること」が60.5%、「サービス利用に係る経済的な負担」が58.0%となっています。

前回調査と比較すると、今回調査のほうが「要介護状態の改善、もしくは悪化の防止」が15ポイント以上多くなっています。

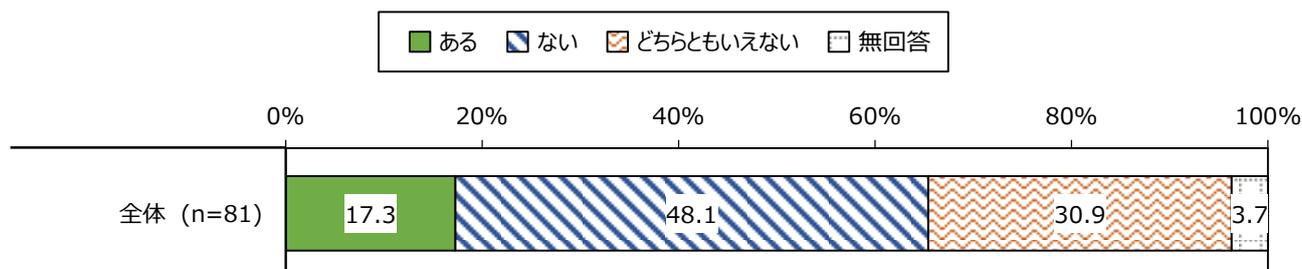


## 2-4 ケアプランを立てるときの偏り

問6 ケアプランを立てるときに、サービス提供事業所が自分の所属する系列の事業所に偏ることがありますか。(〇は1つ)

### ◆ 「ある」が約2割、「ない」が約5割

ケアプランを立てるときの偏りについて、「ある」が17.3%、「ない」が48.1%、「どちらともいえない」が30.9%となっています。

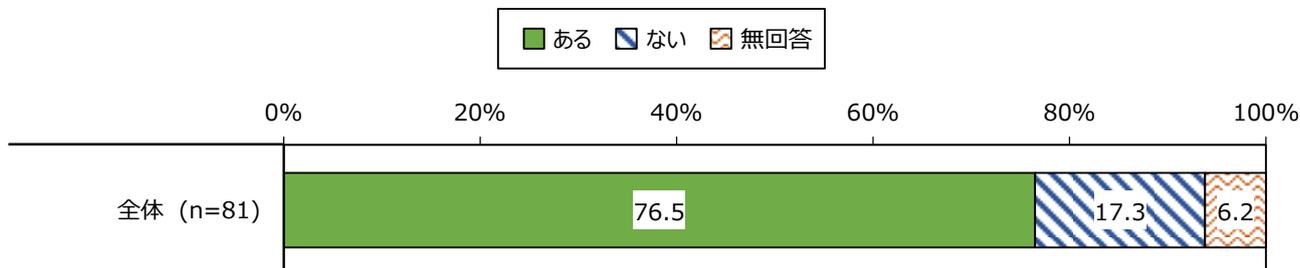


## 2-5 ケアプランの作成で困ることの有無

問7 ケアプランの作成で困ることがありましたか。(○は1つ)

### ◆ 「ある」が約8割

ケアプランの作成で困ることについて、「ある」が76.5%、「ない」が17.3%となっています。



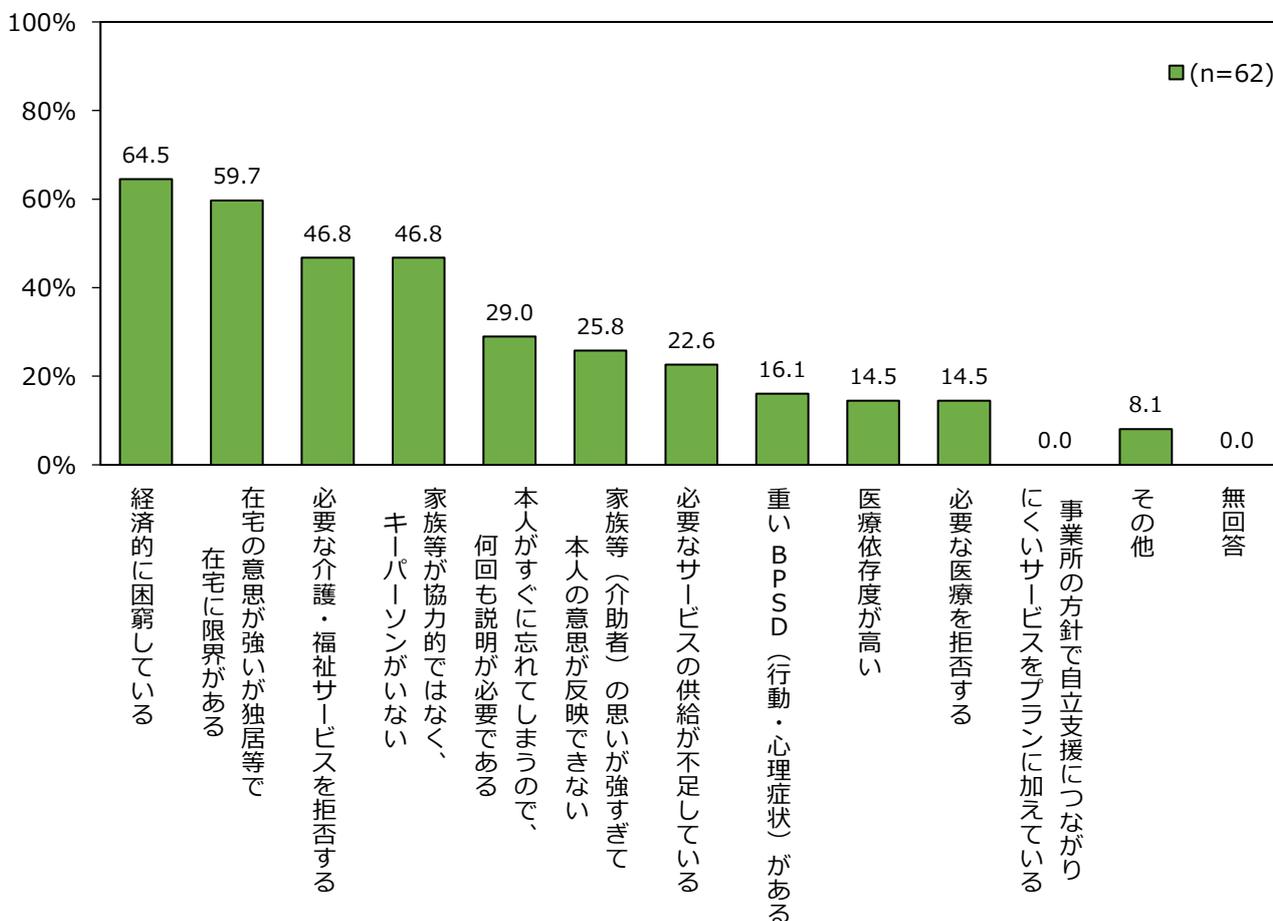
## 2-6 ケアプランの作成で困ること

問7で「ある」と答えた方

問7-1 その内容を教えてください。

### ◆ 「経済的に困窮している」が約6割

ケアプランの作成で困る内容について、「経済的に困窮している」が64.5%と最も多く、次いで「在宅の意思が強いが独居等で在宅に限界がある」が59.7%、「必要な介護・福祉サービスを拒否する」が46.8%、「家族等が協力的ではなく、キーパーソンがいない」が46.8%、「本人がすぐに忘れてしまうので、何回も説明が必要である」が29.0%となっています。

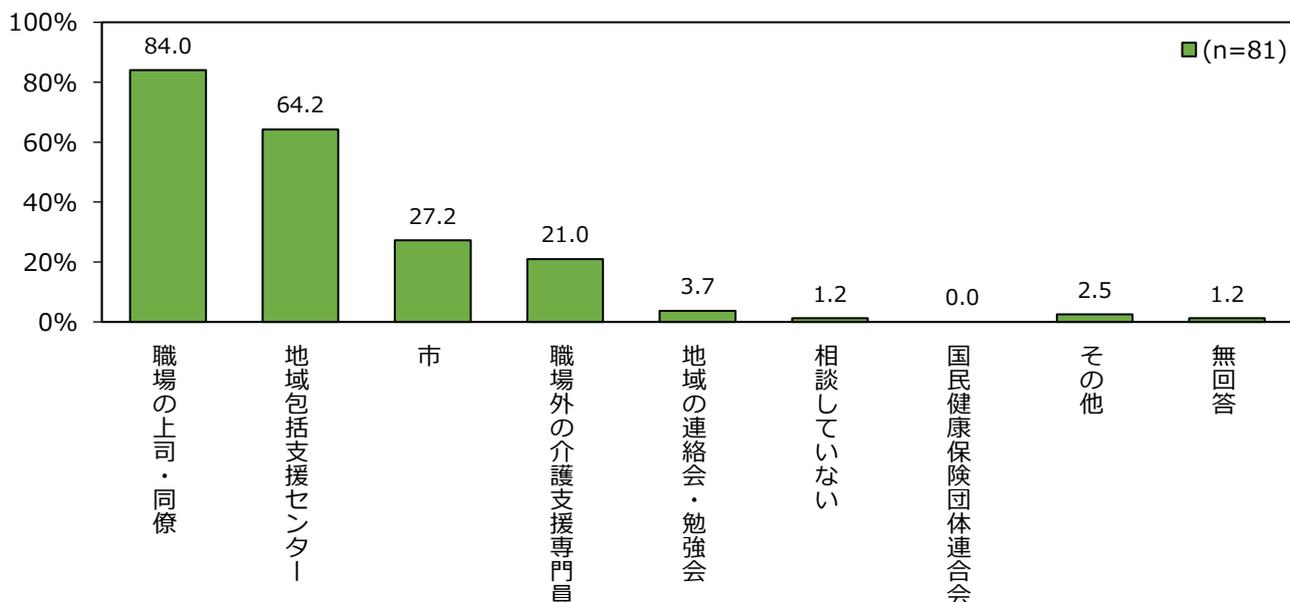


## 2-7 ケアプランに関して悩んだときの相談相手

問8 ケアプランに関して悩んだときなどに、どこに相談しますか。(〇はいくつでも)

### ◆ 「職場の上司・同僚」が約8割

ケアプランに関して悩んだときの相談相手について、「職場の上司・同僚」が84.0%と最も多く、次いで「地域包括支援センター」が64.2%、「市」が27.2%となっています。

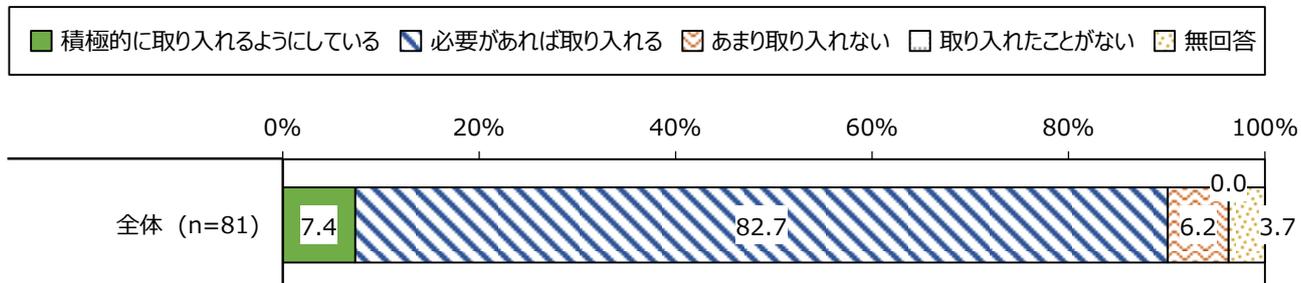


## 2-8 ケアプランに介護保険サービス以外のサービスを取り入れることの有無

問9 ケアプランを立てるときに、介護保険サービス以外のサービス（高齢者福祉サービス等）を取り入れることがありますか。(〇は1つ)

### ◆ 「必要があれば取り入れる」が約8割

ケアプランに介護保険サービス以外のサービスを取り入れることがあるかについて、「必要があれば取り入れる」が82.7%と最も多く、次いで「積極的に取り入れるようにしている」が7.4%、「あまり取り入れない」が6.2%となっています。



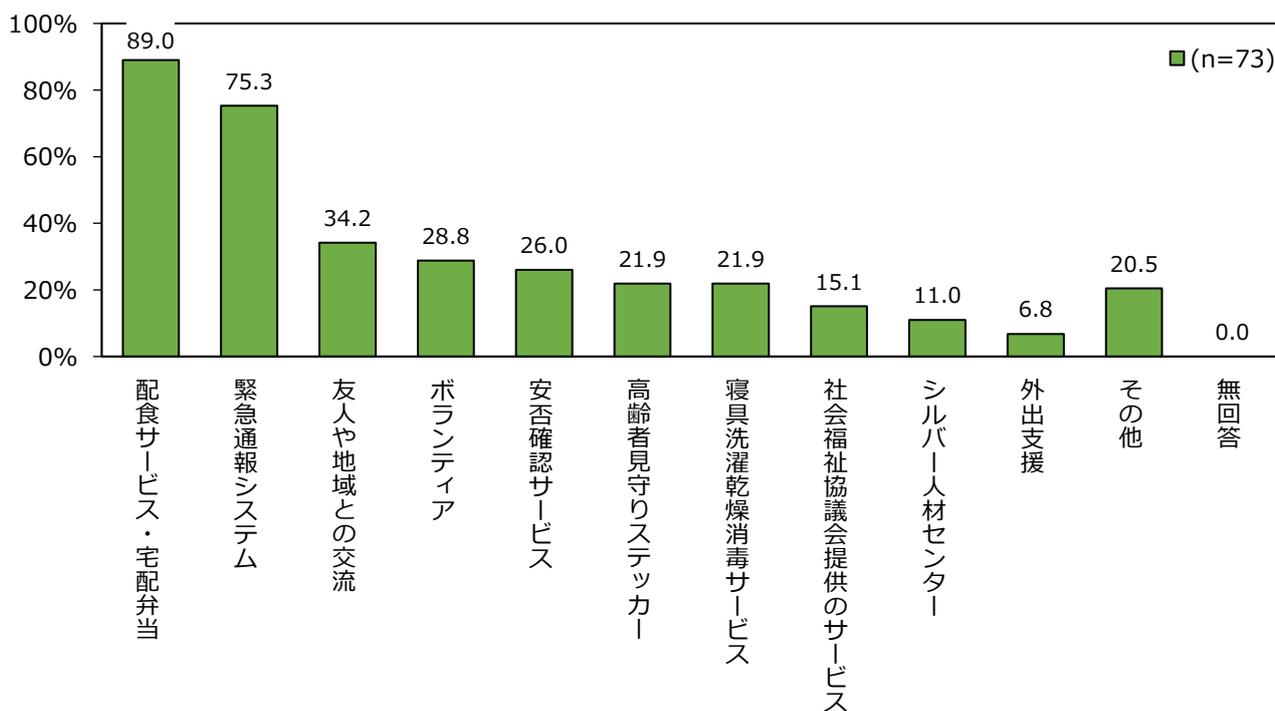
## 2-9 ケアプランを立てるときに取り入れるサービス

問9で「積極的に取り入れるようにしている」、「必要があれば取り入れる」と答えた方にお聞きします。

問9-1 具体的にはどのようなサービスですか。(〇はいくつでも)

### ◆ 「配食サービス・宅配弁当」が約9割

ケアプランに取り入れるサービスについて、「配食サービス・宅配弁当」が89.0%と最も多く、次いで「緊急通報システム」が75.3%、「友人や地域との交流」が34.2%、「ボランティア」が28.8%、「安否確認サービス」が26.0%となっています。

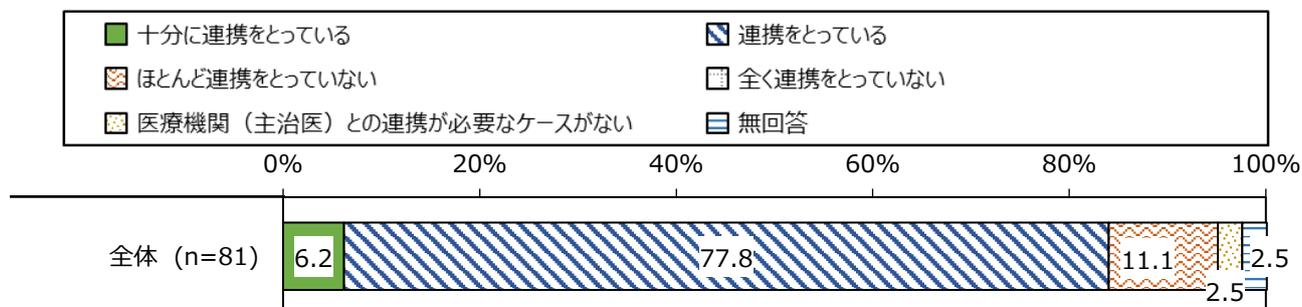


## 2-10 医療機関（主治医）との連携

問10 医療機関（主治医）との連携が必要だと思われるケースでは、連携をとっていますか。(〇は1つ)

### ◆ 「連携をとっている」が約8割

医療機関（主治医）との連携について、「連携をとっている」が77.8%と最も多く、次いで「ほとんど連携をとっていない」が11.1%、「十分に連携をとっている」が6.2%、「医療機関との連携が必要なケースがない」が2.5%となっています。



## 2-11 医療機関（主治医）との連携がとられている・連携がとられていない理由

問 10 で「十分に連携をとっている」、「連携をとっている」、「ほとんど連携をとっていない」、「全く連携をとっていない」と答えた方にお尋ねします。

問 10-1 連携がとられている、または連携がとられていないと感じる理由は何ですか。  
(自由記載)

医療機関（主治医）との連携が必要だと思われるケース	(n=77)
連携がとられている（「十分に連携をとっている」、「連携をとっている」）	(n=68)
必要な場合は意見を求めたり、情報共有を行っている	24
医療機関に連携体制がある、整っている	13
往診に同行し情報共有を行っている	11
書面（連携シート等）でのやりとりを行っている	9
入退院時に連携をとっている	9
看護師や相談員、家族等を介して連携をとっている	6
訪問看護事業所を通して情報を得たり、連絡をとっている	4
その他	12
連携がとられていない（「ほとんど連携をとっていない」、「全く連携をとっていない」）	(n=9)
連携がとりづらい	4
家族に医師の意見を聞いてもらってしまっている	2
医師が多忙	1
その他	2

※複数回答者あり

## 2-12 介護支援専門員と医療機関（主治医）との連携強化

問 11 今後、介護支援専門員と医療機関（主治医）との連携をどのようにすれば強化できると思いますか。（〇はいくつでも）

今後、介護支援専門員と医療機関（主治医）の連携強化	(n=57)
顔が見える環境づくり	11
情報交換を行う・行いやすくする	10
介護支援専門員から働きかけるよう努力をする	9
交流機会の創出	8
医療機関（主治医）の意識改革	7
医療機関（主治医）と介護支援専門員の上に相談員のような役割の人を設ける	7
ツールの活用	7
主治医に会議や研修等に参加してもらう	6
書面（連携シート等）の様式の統一	2
その他	9

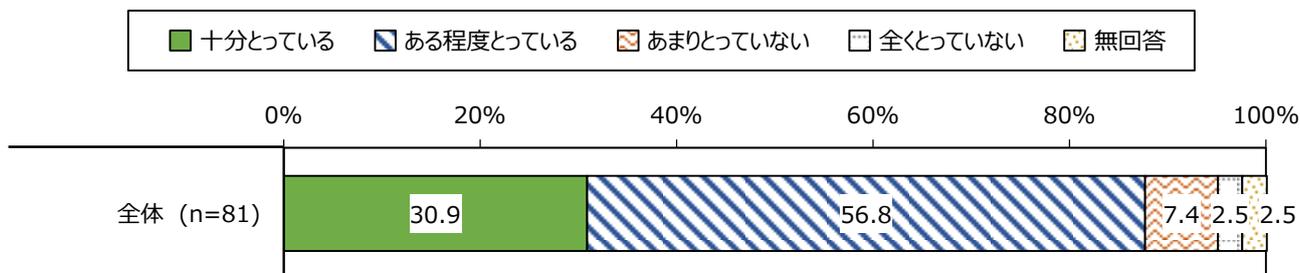
※複数回答者あり

## 2-13 地域包括支援センターとの連携

問 12 地域包括支援センターとの連携をとっていますか。(〇は1つ)

### ◆ 「ある程度とっている」が約6割

地域包括支援センターとの連携について、「ある程度とっている」が56.8%と最も多く、次いで「十分とっている」が30.9%、「あまりとっていない」が7.4%、「全くとっていない」が2.5%となっています。



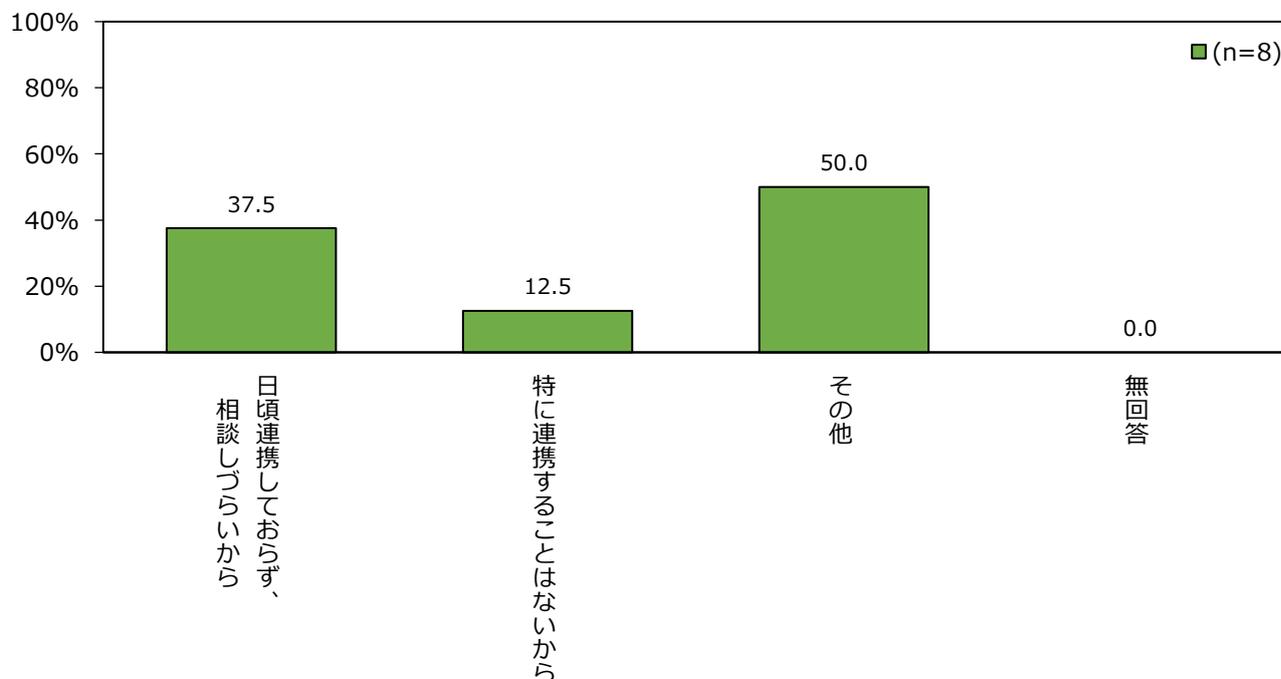
## 2-14 連携しなかった理由

問 12 で「あまりとっていない」と「全くとっていない」とお答えの方にお聞きします。

問 12-1 地域包括支援センターと連携しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

### ◆ 「日頃連携しておらず、相談しづらいから」が約4割

地域包括支援センターと連携しなかった理由は、「日頃連携しておらず、相談しづらいから」が37.5%と最も多く、次いで「特に連携することはないから」が12.5%となっています。

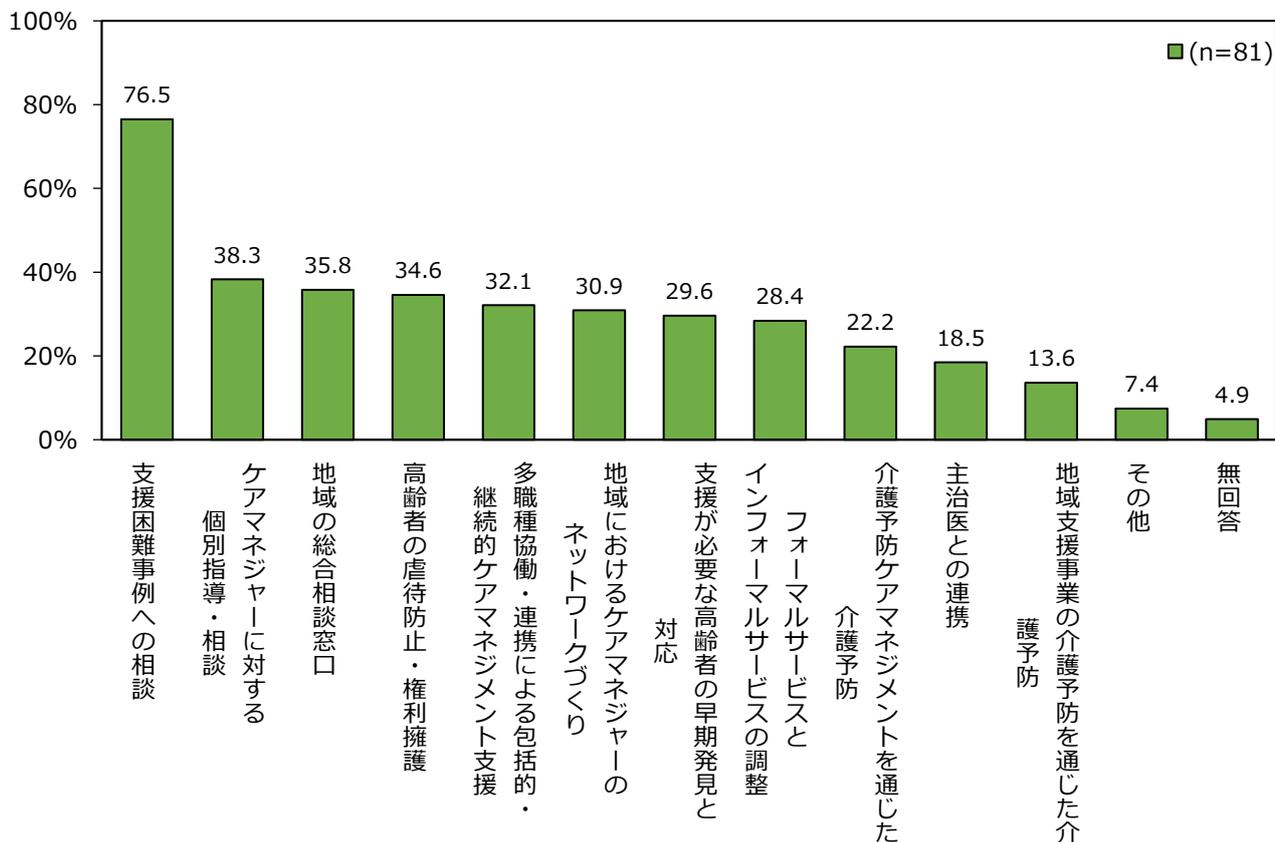


## 2-15 地域包括支援センターに期待すること

問 13 今後、地域包括支援センターに期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

### ◆ 「支援困難事例への相談」が約8割

地域包括支援センターに期待することについて、「支援困難事例への相談」が76.5%と最も多く、次いで「ケアマネジャーに対する個別指導・相談」が38.3%、「地域の総合相談窓口」が35.8%、「高齢者の虐待防止・権利擁護」が34.6%となっています。



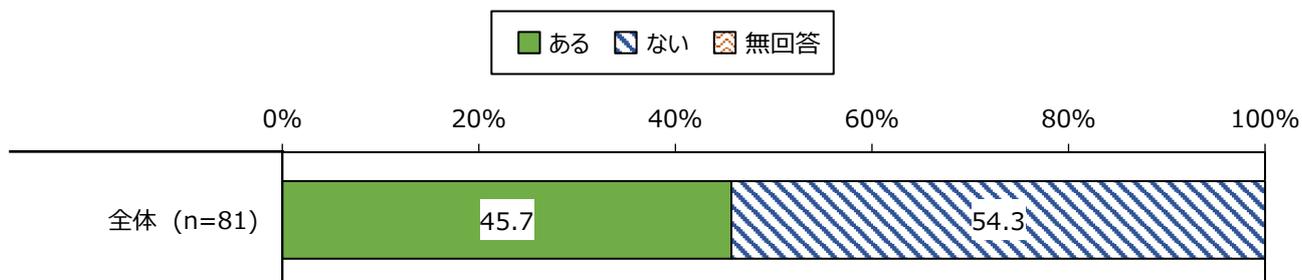
### 3) 高齢者虐待について

#### 3-1 家庭内における高齢者虐待の関わりの有無

問 14 家庭内における高齢者虐待の事例に関わったことがありますか。(○は1つ)

◆ 「ある」が約5割

高齢者虐待の事例への関わりについて、「ある」が45.7%、「ない」が54.3%となっています。



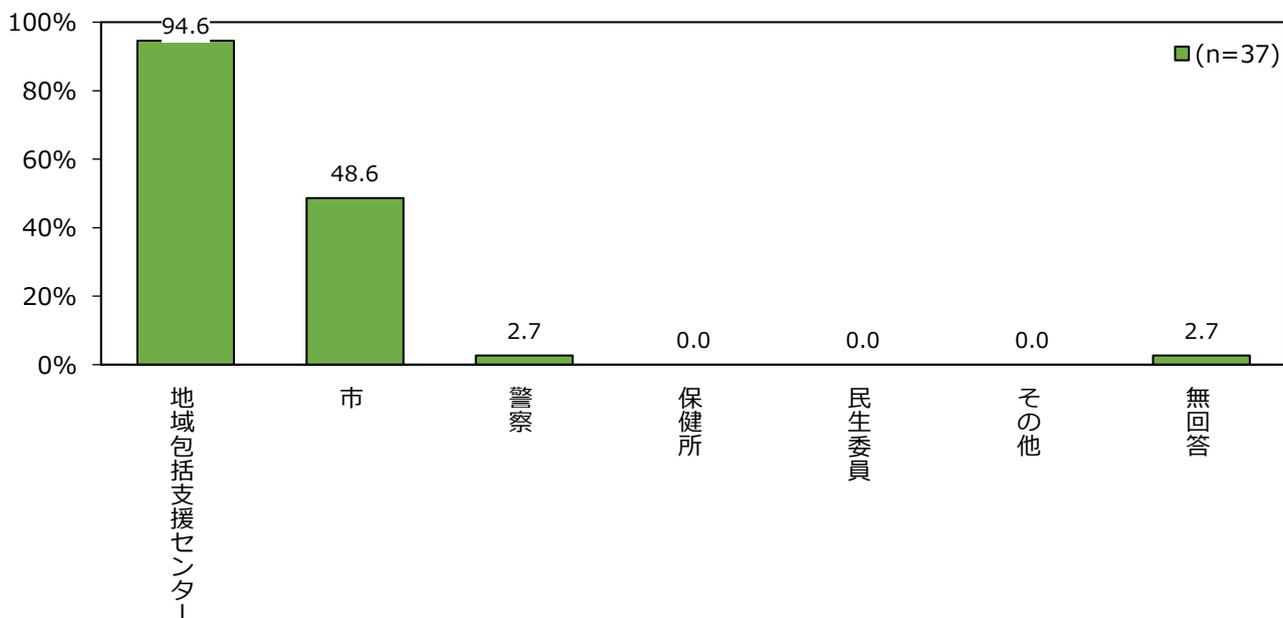
#### 3-2 高齢者虐待に関わったときに相談した機関

問 14 で「ある」とお答えの方にお聞きします。

問 14-1 その時にどこに相談しましたか。(○はいくつでも)

◆ 「地域包括支援センター」が約9割

高齢者虐待に関わったときの相談機関について、「地域包括支援センター」が94.6%と最も多く、次いで「市」が48.6%、「警察」が2.7%となっています。



### 3-3 高齢者虐待に関わったとき課題に感じたこと

問 14-2 高齢者虐待事例に関わったとき、どんなことが課題だと感じましたか。(自由記載)

高齢者虐待事例に関わったとき感じた課題	(n=37)
市やその他の関係機関の対応、連携	13
本人と家族の関係、家庭内の問題	10
家族への対応、コミュニケーションの取り方	7
介護者に対する支援	7
経済的な問題も抱えているとき	5
虐待をしているという自覚がない、認識不足	3
個人情報	3
権利擁護	2
その他	4

※複数回答者あり

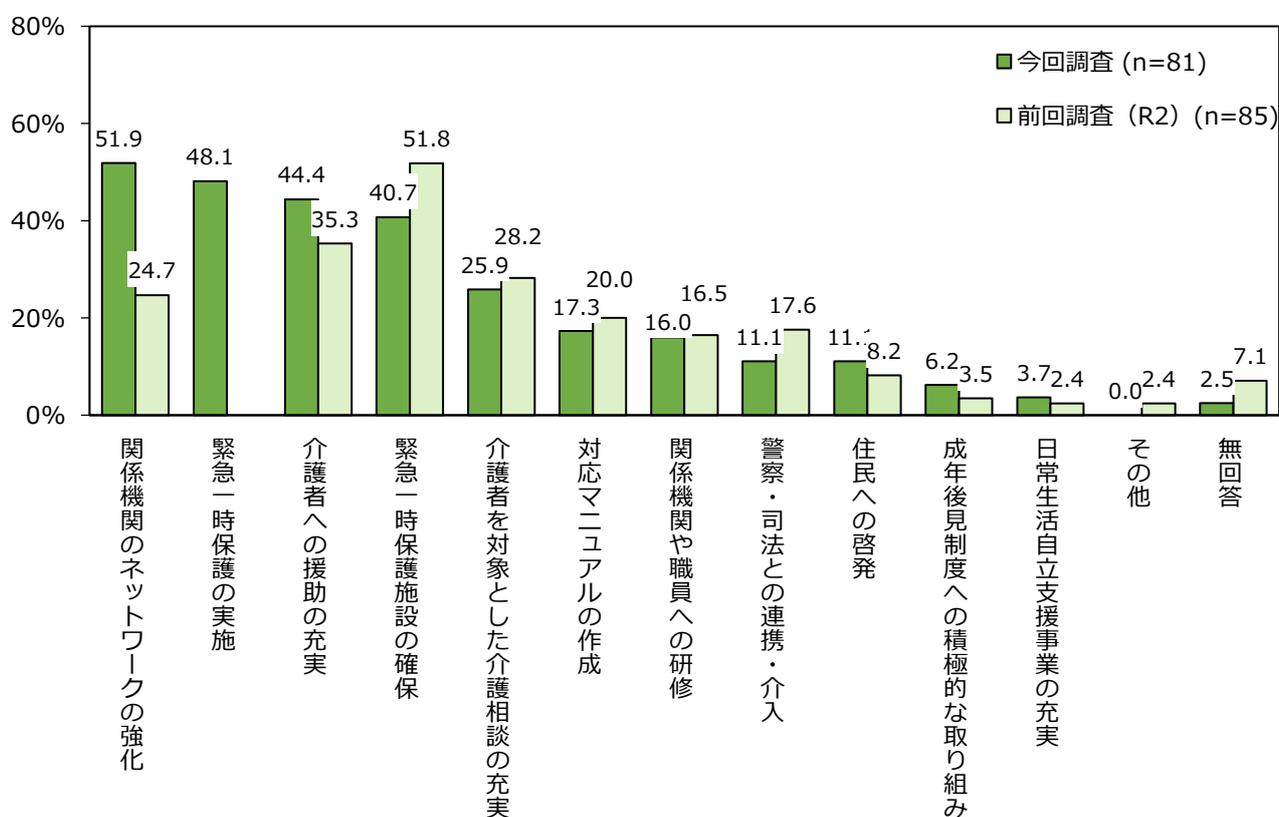
### 3-4 高齢者虐待の対応として必要な制度や仕組み

問 15 高齢者虐待の対応としてどのような制度や仕組みが必要だと思われますか。(○は3つまで)

#### ◆ 「関係機関のネットワークの強化」が約5割

高齢者虐待の対応として必要な制度や仕組みについて、「関係機関のネットワークの強化」が51.9%と最も多く、次いで「緊急一時保護の実施」が48.1%、「介護者への援助の充実」が44.4%、「緊急一時保護施設の確保」が40.7%となっています。

前回調査とみると、今回調査のほうが「関係機関のネットワークの強化」が多くなっています。



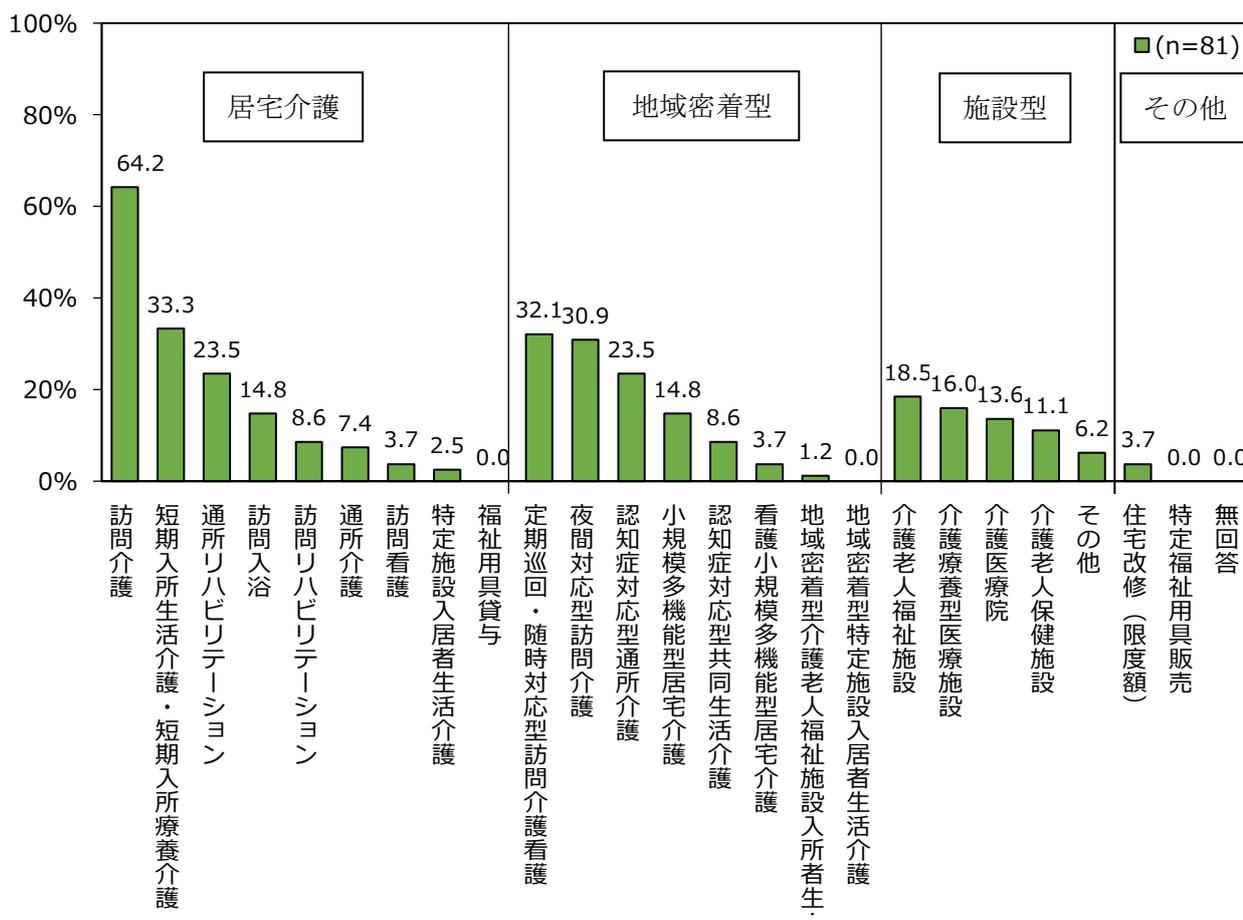
## 4) 高齢者施策について

### 4-1 介護保険サービスの中で供給が不足しているサービス

問 16 介護保険サービスの中で、供給が不足していると思われるサービスは何ですか。  
(○は5つまで)

#### ◆ 「訪問介護」が約6割

供給が不足していると思われるサービスについて、居宅介護では「訪問介護」が64.2%、地域密着型では「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が32.1%、「夜間対応型訪問介護」が30.9%、施設型では「介護老人福祉施設」が18.5%とそれぞれ多くなっています。

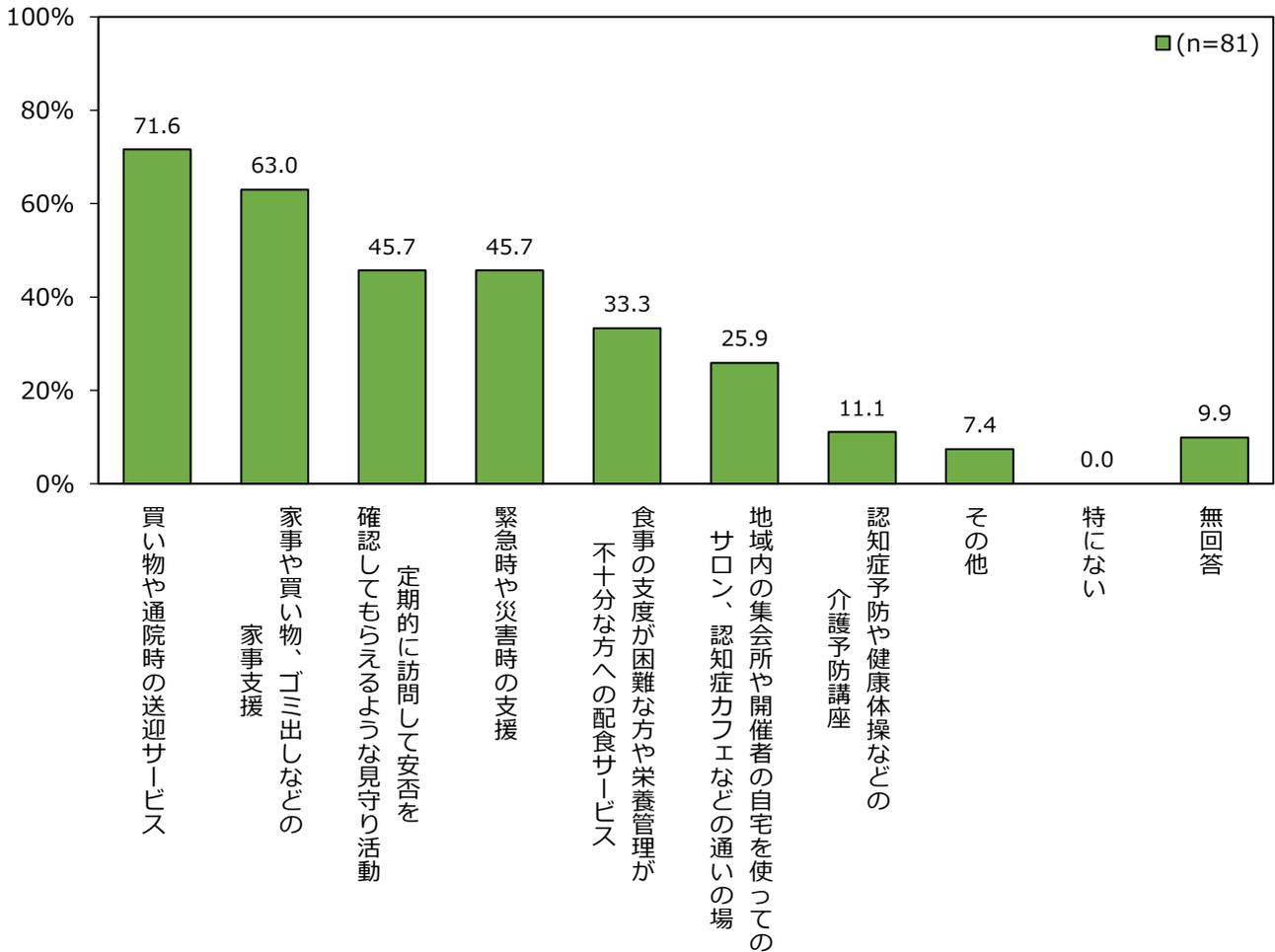


## 4-2 地域の中で活性化を期待するインフォーマルサービス

問 17 今後、地域の中で活性化を期待するインフォーマルサービスはありますか。(〇はいくつでも)

### ◆ 「買い物や通院時の送迎サービス」が7割

地域の中で活性化を期待するインフォーマルサービスについて、「買い物や通院時の送迎サービス」が71.6%と最も多く、次いで「家事や買い物、ゴミ出しなどの家事支援」が63.0%、「定期的に訪問して安否を確認してもらえるような見守り活動」、「緊急時や災害時の支援」がともに45.7%となっています。

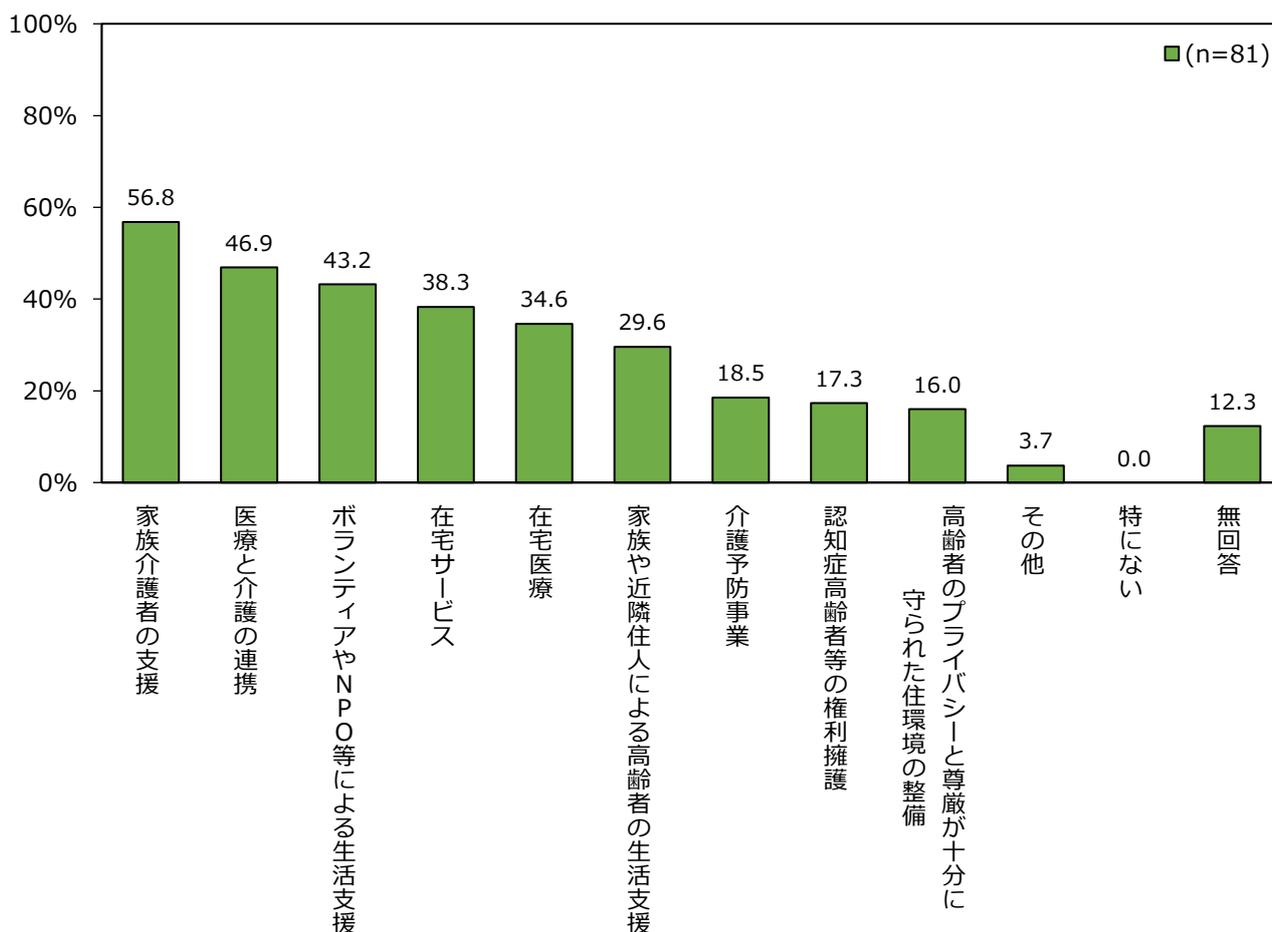


### 4-3 あま市において地域包括ケアシステムを実現するために必要なこと

問 18 現在、国では地域包括ケアシステムの深化・推進を掲げています。あま市において、どのような取り組みを行うことが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

#### ◆ 「家族介護者の支援」が約6割

あま市において地域包括ケアシステムを実現するために必要なことについて、「家族介護者の支援」が56.8%と最も多く、次いで「医療と介護の連携」が46.9%、「ボランティアやNPO等による生活支援」が43.2%、「在宅サービス」が38.3%となっています。



#### 4-4 在宅医療や介護に関する問題や地域包括ケアネットワークの構築について

問 19 高齢社会や高齢者ケアのニーズの増大などから、地域包括ケアが求められています。あま市において、高齢者の在宅医療や介護に関して、どのようなことが問題だと思われますか。(自由記載)

高齢者の在宅医療や介護に関する問題	(n=51)
施設やサービスなどの不足	16
高齢者とその家族について(独居、老老介護、経済的問題、介護者自身の問題など)	13
行政について	11
医療・医療機関について	11
関係機関との連携について	9
介護現場の人手不足(ケアマネ・ヘルパー・相談員等)	6
地域の理解・協力	4
新型コロナウイルスについて	3
介護保険制度について	3
その他	5

※複数回答者あり







# V 調查票



